

ネットワークビデオレコーダー

KB-IRIP04A / KB-IRIP08A / KB-IRIP16A

取扱説明書-設定編-



お客様へ

このたびは当社製品をお買い上げいただきありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

また、お読みになった後は、いつでも確認できるように場所を定めて保管してください。

株式会社 **ケービデバイス**

改訂履歴

日付	版数	改訂内容
2021.12.23	初版	初版です。

パスワードメモ

本機へのアクセス用のパスワードメモとしてお使いください。

パスワードは、不正アクセス防止のため必ず定期的に変更してください。

また、設定したパスワードは第三者に漏れないよう大切に保管してください。

本機の初期パスワードは初回起動時に設定されます。

初めてパスワードを設定する場合は、「1.6 初回起動時の設定をする(p.37)」をご覧ください。

以後、パスワードの変更方法については、「3.4.3 パスワードを変更する(p.107)」をご覧ください。

パスワード	設定日	備考

目次

限定保証	9
免責事項	9
安全にご使用いただくために	10
使用上のご注意	14
1 章 はじめに.....	17
1.1 概要	17
1.2 セット内容	18
1.3 本機各部の名称とはたらき	20
1.4 リモコンの各ボタン名称とはたらき	23
1.5 各種機器を接続する.....	24
1.5.1 IP カメラを接続する	25
1.5.2 メインモニターを接続する	26
1.5.3 SPOT OUT モニターを接続する.....	26
1.5.4 電源コードを接続する.....	27
1.5.5 外部センサーや警報機を接続する.....	28
1.5.6 PTZ カメラを接続する	33
1.5.7 音声機器を接続する.....	35
1.5.8 USB デバイスを接続する	35
1.5.9 ネットワーク機器を接続する	36
1.6 初回起動時の設定をする.....	37
1.7 ログイン・ログアウト・シャットダウンする.....	43
1.7.1 ログインする	43
1.7.2 ログインパスワードを忘れたら.....	44
1.7.3 ログアウトする	46
1.7.4 シャットダウンする.....	47
2 章 ライブ画面での操作・見方.....	48
2.1 各種アイコンのはたらき	48
2.2 タイムラインの見方.....	51
2.3 クイックメニュー	52
2.3.1 CH 表示位置を変更する	54
2.4 分割表示数を変更する.....	55
2.4.1 分割モードを切替える	55

2.4.2シーケンス表示を有効にする.....	55
2.5 映像を拡大表示(デジタルズーム)する	56
2.6 その他のライブ機能.....	57
2.6.1 イベントログを表示する	57
2.6.2 音声出力 CH を切替える	58
2.6.3 アラーム状態を確認する.....	58
2.6.4 ネットワーク接続状態を確認する	59
2.6.5 ディスク状態を確認する	62
3 章 各種設定	63
3.1 カメラ	65
3.1.1 IP カメラを登録する	65
3.1.2 カメラタイトルを変更する	72
3.1.3 カメラ映像を調整する	73
3.1.4 ライブ映像を非表示にする.....	80
3.1.5 モーション感度・領域を設定する.....	81
3.1.6 PTZ 設定	85
3.1.7 プライバシーマスクを表示する	86
3.1.8 AI 分析	88
3.1.9 設置設定モードを切り替える	89
3.2 ディスプレイ	90
3.2.1 ライブ画面の OSD 表示を編集する.....	90
3.2.2 画面切替え時間/モニター出力解像度を設定する.....	91
3.2.3 シーケンス表示パターンを編集する.....	92
3.2.4 SPOT OUT モニターの表示パターンを設定する.....	97
3.3 音声	100
3.3.1 スピーカーから音声を出力する.....	100
3.3.2 リモコン操作音を消す	102
3.4 ユーザー	103
3.4.1 アカウント情報を追加・編集する	103
3.4.2 登録したアカウントを削除する	106
3.4.3 パスワードを変更する	107
3.4.4 アカウントの操作権限を設定する.....	109
3.5 ネットワーク	110
3.5.1 ネットワークアドレス (IPv4) を設定する.....	110
3.5.2 ネットワークアドレス (IPv6) を設定する.....	111
3.5.3 DDNS サーバーを登録する.....	112
3.5.4 メール送信先を設定する.....	114
3.5.5 ネットワークステータスを確認する	115

3.5.6 ネットワークセキュリティーを有効にする	116
3.5.7 アドレスのアクセス制限を設定する	126
3.6 システム	128
3.6.1 日付/時刻を変更する	128
3.6.2 タイムサーバーと時刻同期する	130
3.6.3 タイムゾーン・サマータイムについて	132
3.6.4 システム管理	133
3.6.5 FW をアップデートする	135
3.6.6 全ての設定値を初期化する	136
3.6.7 システム情報	137
3.6.8 外部コントローラーとの接続を設定する	138
3.6.9 二重認証を有効にする	139
3.6.10 パスワードの設定条件を強化する	141
3.7 ストレージ	143
3.7.1 HDD 情報を確認する	143
3.7.2 録画データの上書き/削除/一部削除を行う	144
3.7.3 HDD の S.M.A.R.T 情報を確認する	148
3.8 イベント	149
3.8.1 アラーム出力を有効にする	150
3.8.2 イベント発生時の各通知手段を設定する	152
3.8.3 外部センサー作動時の動作を設定する	160
3.8.4 モーション検知時の動作を設定する	162
3.8.5 ビデオロス発生時の動作を設定する	164
3.8.6 AI 分析	166
3.8.7 システムイベント発生時の動作を設定する	167
3.9 録画設定	174
3.9.1 録画モードを選択する	175
3.9.2 常時録画時のパラメータ・スケジュールを設定する	178
3.9.3 モーション録画時のパラメータ・スケジュールを設定する	181
3.9.4 アラーム録画時のパラメータ・スケジュールを設定する	182
3.9.5 緊急録画時のパラメータを設定する	183
3.9.6 ネット配信時の FPS を設定する	184
3.9.7 録画計算機	185
4 章 検索・再生	186
4.1 録画映像を再生する(タイムサーチ)	187
4.2 録画映像を再生する(サムネイルサーチ)	189
4.3 録画映像を再生する(イベントサーチ)	191
4.4 AI 分析検索	193

4.5 再生画面での操作・見方	194
4.5.1 各種アイコンのはたらき	194
4.5.2 スナップショットを保存する	196
4.5.3 バックアップ予約をする	198
5 章 バックアップ	201
5.1 録画映像をバックアップする	202
5.2 リザーブデータをバックアップする	206
5.3 バックアップデータを再生する	208
5.4 FTP サーバーを登録する	210
5.5 PC でバックアップ映像を再生する	211
5.5.1 Windows Media Player で再生する(ビデオコーデックのインストール)	212
5.5.2 専用プレイヤーで再生する	213
5.5.3 専用プレイヤーでの操作・見方	215
6 章 PTZ 操作	217
6.1 PTZ 操作画面に入るには	217
7 章 PC からの遠隔監視	219
7.1 Edge を Internet Explorer モードで運用する	220
7.2 WEB ビューワーからアクセスする	223
7.3 WEB ビューワーの操作・見方	225
7.3.1 録画映像を再生する(タイムサーチ)	227
7.3.2 録画映像を再生する(イベントサーチ)	229
7.3.3 再生画面の操作・見方	231
7.3.4 録画映像をバックアップする	232
7.3.5 リザーブデータの管理	235
7.3.6 FTP サーバーの設定を行う	237
7.3.7 本機の設定を行う	238
7.4 遠隔地のレコーダーと音声通話を行う	239
8 章 スマートフォンからの遠隔接続	241
8.1 P2P nViewer をインストール・アカウント登録する	242
8.2 レコーダー情報を登録する	244
8.2.1 QR コードから登録を行う	244
8.2.2 DDNS アドレスから登録を行う	246
8.3 ライブ画面の操作・見方	245
8.4 タイムサーチ	247
8.5 再生画面での操作・見方	248
8.6 イベントログを表示する	249
8.7 遠隔地のレコーダーと音声通話を行う	250
9 章 トラブルシューティング	252

10 章	製品仕様	254
11 章	初期設定リスト	257
12 章	外形寸法図	263
13 章	録画日数表	265

限定保証

(株)ケービデバイス(以下当社)は KB-IRIP04A / KB-IRIP08A / KB-IRIP16A(以下、本機)が、頒付されている仕様条件にしたがって製造されたもので、材料上または仕上げ上欠陥がないことを保証いたします。

つきましては、当社へ返送していただいたもので、当社が点検した上で材料および仕上げに欠陥があると判断した場合は、当社の責任の元で修理、もしくは交換をいたします。

なお、この保証は、日本国内で購入され、購入後 5 年間かつ日本国内で使用される本機についてのみの有効なものとなります。

免責事項

- ① 当社は、市場性や市販性に関する保証、特定の目的または用途に関する保証、もしくは特許侵害に対する保証など、保証条件以外のものは一切保証いたしません。
- ② いかなる直接的損害、付随的もしくは間接的な損害金、あるいは欠陥製品もしくは製品の使用により発生した損失金または費用については何ら責任を負わないものとします。
また、そのような損害の発生があることについてあらかじめ知らされていた場合についても同様なものとします。
- ③ お客様は本機の使用、ならびに本機を使用して得られる結果に関する一切の責任を負うものとします。
この保証は、最初の購入者であるお客様に対して適用され、お客様が本機を転売された第三者には適用されません。
- ④ 当社は、第三者からの、または第三者のためになすお客様からのいかなる要求に関しても責任を負わないものとします。
- ⑤ 下記にあげる項目は、保証の対象外とさせていただきます。
 - ・ 火災、地震、第三者による行為、その他の事故により本機に不具合が発生した場合。
 - ・ お客様が本機に手を加えて改造、修理した場合。
 - ・ 本マニュアルに記載されている内容を守らないことで発生した損害等について。
 - ・ お客様の故意、もしくは過失・誤用が起因して発生した損害等について。
 - ・ アース接続が行われていないことで発生した損害等について。

安全にご使用いただくために

- 本機をご使用になる前に、必ず本書をよくお読みになり正しくお使いください。
- ここに記載している注意事項は、安全に関する重大な内容となりますので、必ずお守りください。
- 本書は必ず保管し、使用上不明な点等がある場合には再読し、ご確認ください。
- 本機の仕様範囲を超える条件において使用された場合については、動作は保証しかねますのであらかじめご了承ください。
- 本機は、宇宙、航空、医療、原子力、運輸、交通、各種安全装置など人命、事故にかかわる特別な品質、信頼性等が要求される用途でご使用にならないでください。
- 本機は防犯カメラと組み合わせて使用することで、犯罪の抑止と犯罪行為の証拠の記録を行うものであり、それ自体で犯罪を未然に防ぐものではありません。

【 表示および図記号について 】

本書では機器を安全に正しくご使用いただくために、さまざまな表示をしています。

内容をよくご理解の上、本文をお読みください。

注意	禁止記号			強制指示記号		
						
一般注意	禁止	接触禁止	分解禁止	強制	電源プラグを 抜いてください	アース接続を してください



警告

正しくご使用いただけない場合、死亡もしくは重傷につながる恐れがあります。

● 水に濡らさない



火災や感電の恐れがあるため、湿気の多い場所や水が本機内部に浸水する可能性がある場所への設置・据付はお止めください。

● 指定の電源電圧を超えない



表示された電源電圧を超える電圧を加えないでください。
火災および感電の恐れがあります。

● アースを接続する



電源コードは、AC100V(50/60Hz)のアース付きコンセントを使用し、必ずアース接続を行ってください。アース接続をしない場合、漏電時や落雷により火災および感電、機器の故障につながる恐れがあります。

● 使用中に異常が発生したとき



以下の場合、直ちに電源を切り、電源コードを抜いて販売店にご相談ください。

- 本機から煙や異臭または異音が発生した場合。
- 本機内部に液体や異物が混入した場合。
- 落下などにより本機または電源コードが損傷・断線した場合。

● 液体や金属片を上に置かない、挿入しない



本機の上に、液体の入った容器や金属製のゴミなどの異物を置いたり挿入したりしないでください。本機内に液体や金属が入ると、火災および感電の恐れがあります。

● 電源コードや配線を傷つけない



電源コードが損傷すると断線し、火災および感電の恐れがあります。以下をお守りください。

- 電源コードの上に重いものを置かない。
- 電源コードや配線に切れ目を入れる、折り曲げる、ねじる、引っ張る、熱する等をしない。

● 分解、改造をしない



本機を分解・改造しないでください。感電や火災の原因になります。

メンテナンスや検査が必要な場合には、ご購入いただいた販売店にご連絡ください。

● 落雷時は触れない



落雷があったときは、本機や電源コードに触れないでください。感電の恐れがあります。
落雷により異常が発生した場合は販売店にご相談ください。



注意

正しくご使用いただけない場合、人の怪我または物理的損傷につながる恐れがあります。

● 誤作動の原因となる場所に設置しない



以下のような場所でのご使用は、誤作動や故障、火災の原因となりますのでお止めください。

- 湿気やほこりが多いところ
- 水平でない場所や振動の激しい場所
- エアコンの前のように温度が急激に変動するところ
- 強い直射日光が当たるところや発熱体の近くなど、温度が高くなる場所
- 密閉させた狭い場所や温度調整機能のない密閉型ラック、盤の中
- 引火性溶剤（アルコールやシンナー等）が近くにある場所
- 潮風の当たるところ、温泉地、腐食性ガスの発生する場所
- 電波や磁力が発生している場所（無線受信機や配電盤の近く等）

● 雷サージ対策を行う



本機は、落雷による直撃雷、誘導雷、逆流雷等の影響を受ける可能性があり、誤動作や故障の原因となります。

アース接続や雷サージ用電源タップ等を使用することで、雷サージによる影響を軽減できるため必ず雷サージ対策を行ってください。

● 外部接続のときは外部装置の電源を切る



本機に外部装置をつなげる場合は、外部装置の電源が切れていることを確認してから接続してください。

本機およびカメラからの過電流による感電や故障の恐れがあります。

● 定期的に掃除を行う



内部の清掃については、販売店にご相談ください。

内部にほこりやゴミなどがたまったまま放置すると故障や火災の原因となります。

● 法規に準拠した廃棄を



本機が修理不可能なほどの損傷を受けた場合、または製品を廃棄する場合には、鉛、バッテリー、プラスチックなどの廃棄物に関するその地域の法規に準拠して廃棄してください。

● 通風口を塞がない



通風口を塞ぐと本機内部に熱がこもり、火災の原因となります。

また、通風口にほこりがたまらないように定期的に掃除してください。



注意

正しくご使用いただけない場合、人の怪我または物理的損傷につながる恐れがあります。

● 濡れた手で触れない



濡れた手で本機および電源プラグには触れないでください。

感電の恐れがあります。

● 製品に異物がついたとき



製品に異物がついた場合には、やわらかい布またはハンカチで取り除いてください。

化学薬品やエアゾール等で本機のクリーニングはしないでください。

本機の誤作動や感電の恐れがあります。

● 磁気を帯びたものを置かない



クレジットカード、テレホンカード、通帳、その他磁気を帯びたものを製品の近くに置かないでください。

● 静電気に注意



静電気は製品内部に損傷を起こす可能性があります。本機の各パネルおよびリアパネルの各電子部品に触る前には、体内の静電気を除去してください。

● コードを置いたままにしない



電源コード、その他のケーブルを通路に置いたままにしないでください。

通った人が足を引っ掛けて転ぶ恐れがあります。

使用上のご注意

- 仕様の動作温度、湿度の範囲外の環境で本機を使用しないでください。
- 排熱のため、通風口の周りは10cm以上のスペースを確保してください。
- 通風口にほこりがたまった場合は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、通風口の掃除をしてください。通風口の掃除は年1回程度を目安に行ってください。
- 強力な磁界や電界がある場所に設置しないでください。映像が乱れたり機器が故障したりする恐れがあります。
- 電源が不安定な場合、または感電が生じた場合には、適切に動作しない可能性があります。必ず正しい定格電圧で使用するようになしてください。
- 本機は、停電に備えて設計されていますが、停電によりHDDが損傷を受ける可能性があります。その場合、使用中のデータ損傷や、記録ができなくなることがあるため、無停電電源装置(UPS)を使用することを推奨します。
- 本機はビデオデータをHDDに録画する設計ですので、HDDのエラーまたはその他のエラーにより、製品が正常的に録画できない場合があります。製品の適切な運転のためには、定期的なメンテナンスが必要です。
- 本機は、ユーザーが自由に好みの設定を行える設計になっています。しかし、ユーザーの設定エラーが、誤作動につながる場合があります。
- 本機は外部機器(カメラ、センサー、USB装置、LAN、HDDなど)と接続して使用しているため、外部要因による誤作動の恐れがあります。安定した運用のため定期的なメンテナンスを推奨します。
- 本機は水平位置で使用するよう設計されています。垂直や傾けての使用はできません。
- HDDが故障した場合、当社では記録したデータの復旧はできません。データ損失を避けるため、定期的にバックアップすることを強く推奨します。
- 本機で記録された映像情報は個人情報やプライバシーに係る機密情報が含まれる場合がありますので「個人情報保護法」に準拠した取扱いを実施されることを推奨します。
- 本機は精密機器です。振動や強い衝撃を与えないでください。火災や感電、本機の破損につながります。
- 本機で記録された映像情報は個人情報やプライバシーに係る機密情報が含まれる場合があります。「個人情報保護法」に準拠した取扱いを実施されることを推奨します。
- 運送時の落下、振動によって発生した機器の破損についての責任を当社は負うことができません。あらかじめご了承ください。
- インターネットへの接続について本機は電気通信事業者(移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダーなど)の通信回線(公衆無線LAN含む)に直接接続することができません。本機をインターネットに接続する場合は、必ずルーターなどを経由し接続してください。

使用上のご注意

- 次の部品は消耗品です。下記寿命時間を目安に交換してください。

ただし、この時間はあくまで目安であり、部品の寿命時間を保証するものではありません。

- HDD : 約 30000 時間 (使用環境温度 25℃)
- 時計用ボタン電池 : 約 40000 時間 (使用環境温度 25℃)
- ファン : 約 70000 時間 (使用環境温度 25℃)

※この時間はあくまで目安であり、各部品の寿命時間を保証するものではありません。

特にHDDの寿命は、使用環境により異なりますが、通電時間が20000時間を越えると、書込みエラーが発生しやすくなり、30000時間を越えると、モーター部の劣化などにより寿命となります。(25℃で使用時)
録画データ保護のためにも、本機の周辺温度を25℃程度に保ち、18000時間を目安に交換することを推奨します。

長期間ご使用の際は、あらかじめ販売店にメンテナンスのご相談をお勧め致します。

- 本機に対し、改良のため予告なく仕様の一部を変更することがあります。
(ハードウェア、ソフトウェア、文書等)

ネットワークに関する注意事項

本機をネットワークに接続して使用する場合、以下のような被害を受けることが考えられます。

1. 本機を経由した情報漏洩や流出
2. 悪意をもった第三者による本機への不正操作
3. 悪意をもった第三者による本機への妨害や停止

このような被害を防ぐため、お客様の責任の下、下記のような対策を含め、ネットワークセキュリティ対策を十分に行ってください。

- ファイアウォールなどを使用し、安全性の確保されたネットワーク上で本機を使用する。
- PCが接続されているシステムで本機を使用する場合、コンピューターウイルスや不正プログラムの感染に対するチェックや駆除が定期的に(1週間に1回程度)行われていることを確認する。
- 不正な攻撃から守るため、ユーザー名、パスワードを初期値から変更しログインできるユーザーを制限する。
- 画像データ、認証情報(ユーザー名、パスワード)、アラームメール情報、FTP、サーバー情報、DDNSサーバー情報などをネットワーク上に漏洩させないため、ユーザー認証でアクセス制限するなどの対策を実施する。
- 管理者で本機にアクセスした後は、必ず全てのブラウザを閉じる。
- 本機、ケーブルなどが容易に破壊されるような場所に設置しないこと。

映像解析機能に関する注意事項

- 映像解析機能は、お客様自身の責任においてご利用ください。
- 撮影環境や被写体の性質や頻度によって検知精度が大きく変化します。システムでの運用時は必ず事前検証をおこない、検知精度を理解したうえでご利用ください。
- 検知精度に関するクレームや精度向上に関するお問い合わせには対応できません。
- 本機能は、録画映像の検索再生を容易にするための補助機能です。誤検知の際にお客様の業務や財産に影響を与えるようなシステムでのご利用は避けてください。
- 本機能での誤検知または未検知に関して、お客様に発生する一切の損害、お客様の損失利益その他の派生的または付随的損害、および第三者からお客様になされた損害賠償請求に基づく損害については、当社は一切責任を負いません。

DDNS機能に関する注意事項

- DDNS機能は、お客様自身の責任においてご利用ください。
- DDNS機能をご利用することに関して、お客様に発生する一切の損害、お客様の損失利益その他の派生的または付随的損害、および第三者からお客様になされた損害賠償請求に基づく損害については、当社は一切責任を負いません。

1章 はじめに

1.1 概要

本機は、IP カメラ入力に対応したネットワークビデオレコーダーです。

IP カメラを最大 4 台 (KB-IRIP04A) / 8 台 (KB-IRIP08A) / 16 台 (KB-IRIP16A) まで接続することができます。

録画には H.264 に加えて、圧縮率の高い H.265 形式を採用することでデータの長期保存が可能です。本機の操作には主にマウスを用います。リモコンでの操作も可能です。

1.2 セット内容

以下のものが入っているかをご確認ください。

レコーダー本機 x1

マウス x1

リモコン x1 /
テスト用電池 1.5V x2

USB メモリー x1
(取扱説明書など)
※録画データのバックアップにも
ご利用いただけます。

簡易取扱説明書 x1
クイックスタートガイド x1

電源ケーブル x1

AC アダプター x1
(KB-IRIP04A のみ)

ケーブルクリップ x1
(KB-IRIP04Aのみ)

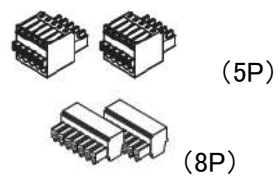


端子ブロック

KB-IRIP04A : 5P x2

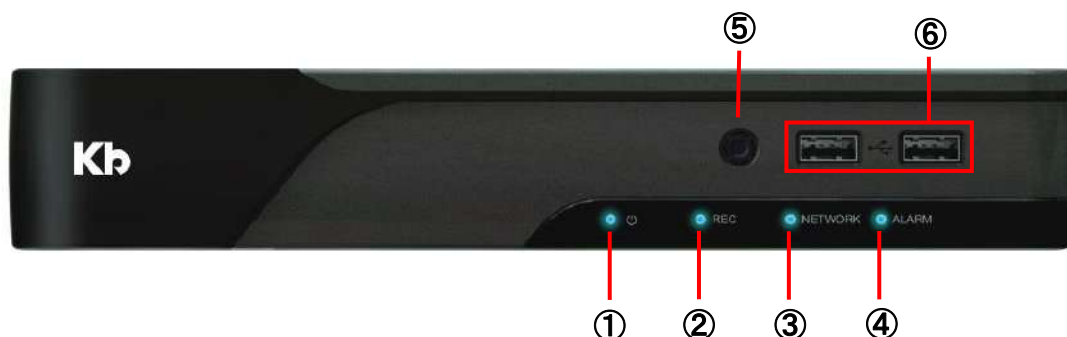
KB-IRIP08A : 8P x2

KB-IRIP16A : 8P x2



1.3 本機各部の名称とはたらき

【 前面パネル（KB-IRIP04A） 】



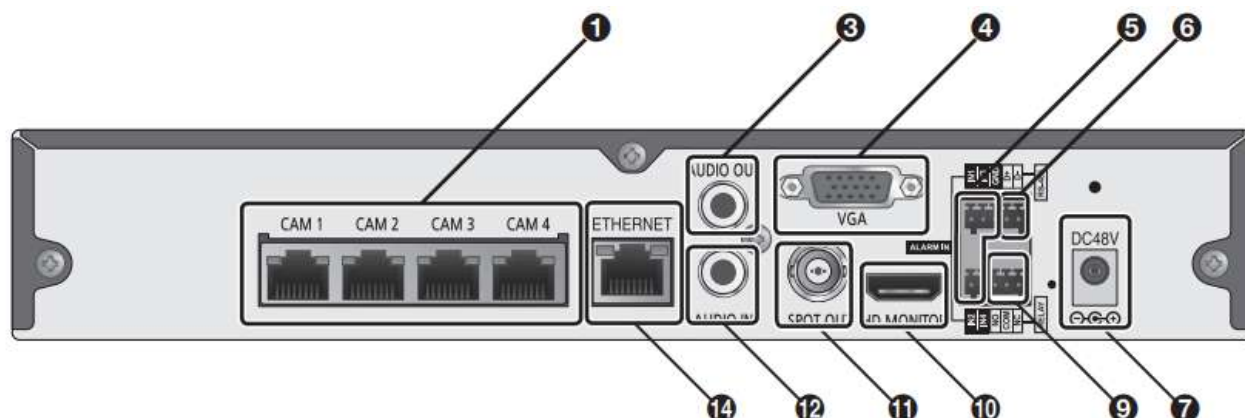
No.	名称	用途
1	電源ランプ	電源が入っている間、点灯します。
2	録画ランプ	カメラ映像を録画中に点灯します。
3	ネットワークランプ	クライアント PC からのネットワークアクセス中に点灯します。
4	アラームランプ	アラーム出力中に点灯します。
5	リモコン赤外線受信部	リモコンからの赤外線信号を受信します。
6	USB ポート	マウスまたは USB メモリーを接続します。

【 前面パネル（KB-IRIP08A / KB-IRIP16A） 】

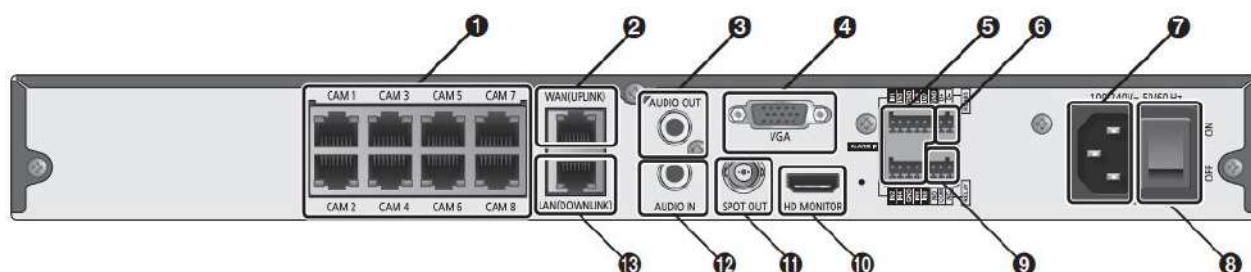


No.	名称	用途
1	電源ランプ	電源が入っている間、点灯します。
2	録画ランプ	カメラ映像を録画中に点灯します。
3	ネットワークランプ	クライアント PC からのネットワークアクセス中に点灯します。
4	アラームランプ	アラーム出力中に点灯します。
5	リモコン赤外線受信部	リモコンからの赤外線信号を受信します。
6	USB ポート	マウスまたは USB メモリーを接続します。

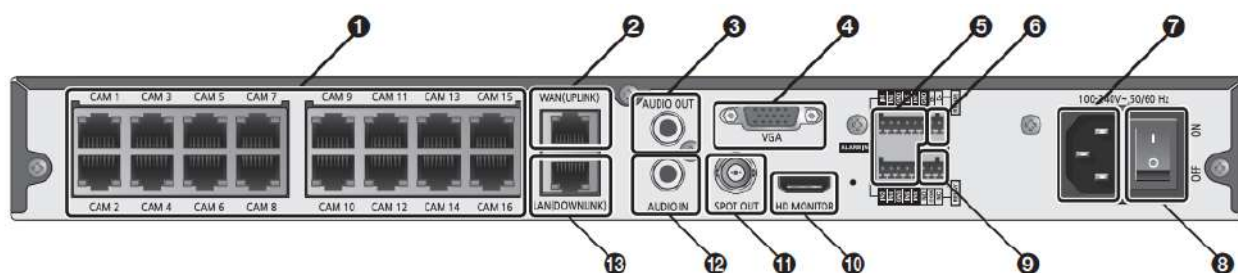
【 背面パネル（KB-IRIP04A） 】



【 背面パネル（KB-IRIP08A） 】



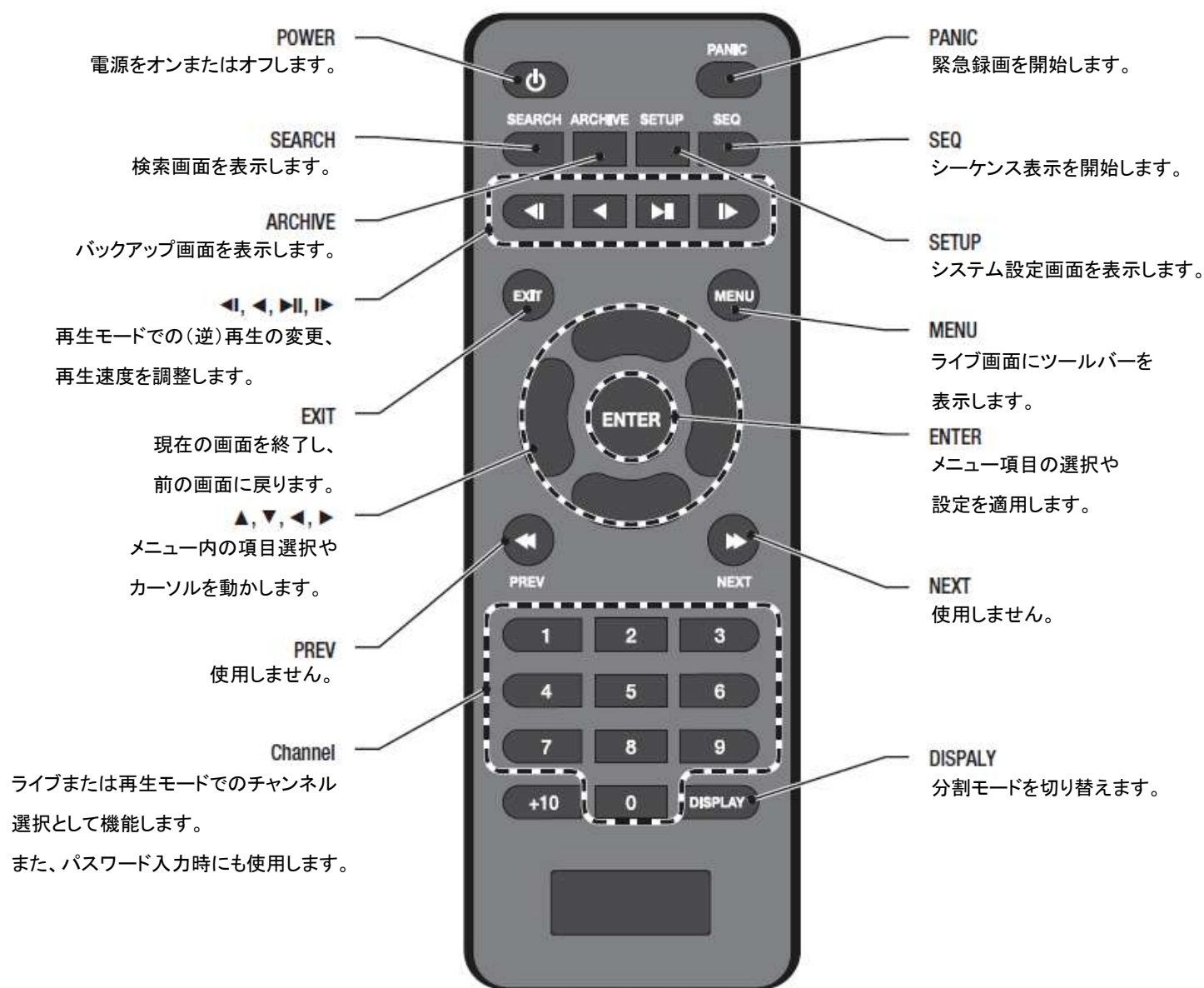
【 背面パネル（KB-IRIP16A） 】



No.	名称	端子名称	用途
1	CAM1～CAM16	RJ-45	IP カメラのストリーミングおよび電源供給に使用する PoE ポートです。(100BASE-T)
2	WAN(UPLINK)	RJ-45	ルーターまたはハブ等に接続するイーサネットポートです。
3	AUDIO IN	RCA ピンジャック	マイクを接続する音声入力端子です。
4	VGA	D-SUB15pin	モニターに接続する映像出力端子です。 VGA ケーブルを使用してモニターに接続します。
5	ALARM IN	プッシュロック端子	センサー機器などを接続するアラーム入力端子です。

No.	名称	端子名称	用途
6	RS-485	プッシュロック端子	PTZ カメラやキーボードコントローラーなどを接続する端子です。
7	DC48V / AC100V	DC ジャック / 3P コネクタ	本体電源入力端子です。 付属の電源コードを接続してください。
8	POWER	–	電源の ON/OFF を切り替えるスイッチです。
9	RELAY	プッシュロック端子	警報機などを接続するアラーム出力端子です。
10	HD MONITER	HDMI	モニターに接続する映像出力端子です。 HDMI ケーブルを使用してモニターに接続します。
11	SPOT OUT	BNC	1 画面または分割画面对応のスポット映像出力端子です。
12	AUDIO IN	PCA ピンジャック	スピーカーを接続する音声出力端子です。
13	LAN (DOWNLINK)	RJ-45	
14	ETHERNET	RJ-45	ルーターまたはハブ等に接続するイーサネットポートです。

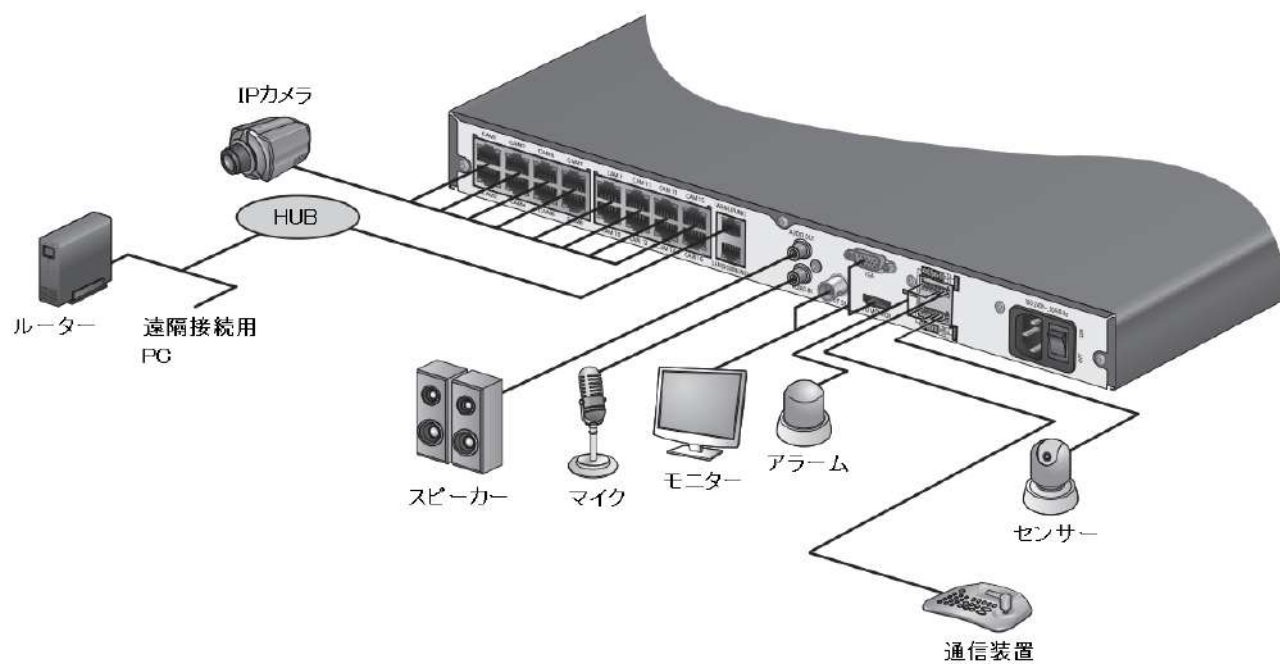
1.4 リモコンの各ボタン名称とはたらき



1.5 各種機器を接続する

マイクやスピーカーなど外部機器を使用する場合は、以下の図を参照して本機に接続してください。

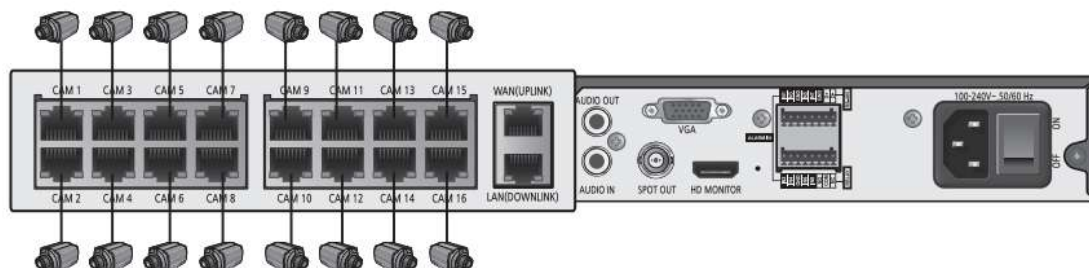
【 各種接続の全体イメージ 】



各種接続方法については、以降のページをご覧ください。

1.5.1 IP カメラを接続する

本機は、PoE HUB を内蔵しているため、IP カメラを背面の CAM1～CAM16 端子に接続することで、カメラに電源を供給することができます。



<< 注意 >>

- ・ LAN ケーブルは必ずシールド付きのケーブル(STP・FTP ケーブル)を使用し、本機もアース接続を行ったうえで運用してください。電氣的ノイズにより機器の動作不良や故障につながる恐れがあります。
- ・ 本機の 1 つの映像入力端子(IP CAM/PoE)に対して 2 台以上のネットワークカメラを接続しないでください。
- ・ 外部 HUB 経由でカメラを複数台入力する場合は、WAN ポートに接続してください。

1.5.2 メインモニターを接続する

メインモニターへの接続は HDMI または VGA 端子ケーブルを使用してください。

本機は、HDMI と VGA の同時出力が可能です。

メインモニターの画面では、ライブ画面や検索・再生、本機の各種設定が操作可能です。

<< 注意 >>

メインモニターは必ず下記のいずれかの入力解像度に対応したモニターをご使用ください。

- 3840 x 2160 (QFHD(4K)) ※HDMI のみ出力可能です。
- 2560 x 1440 (WQHD) ※HDMI のみ出力可能です。
- 1920 x 1080 (FullHD)
- 1280 x 1024 (SXGA)
- 1280 x 720 (720p)

上記のいずれにも対応していないモニターは使用できません。

モニターを接続し、本機を起動することで自動的に最適な解像度で映像を表示します。

対応モニターであっても正常に表示されない場合は、本機設定にて手動で解像度を設定してください。

解像度の設定については、「3.2.2 画面切替え時間/モニター出力解像度を設定する(p.91)」をご覧ください。

1.5.3 SPOT OUT モニターを接続する

SPOT モニターへの接続は、BNC 端子ケーブルを使用してください。

HDMI・VGA と合わせて同時出力が可能です。

SPOT モニターの画面では、ライブ映像のみの表示となりマウスやリモコンでの操作はできません。

SPOT モニターでの画面表示パターンについては、「3.2.5 SPOT OUT モニターの表示パターンを設定する(p.97)」をご覧ください。

1.5.4 電源コードを接続する

本機に AC アダプターを以下のように接続してください。

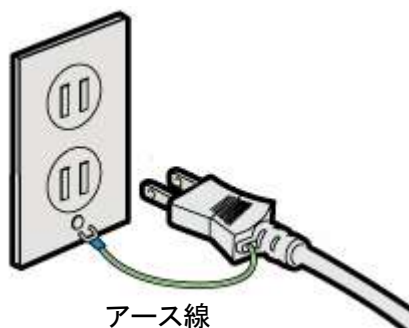
電源コード接続後は、自動的に起動シーケンスに移行します。

起動後の動作については、「1.6 初回起動時の設定をする(p.37)」をご覧ください。

<< 注意 >>

下記事項は必ずお守りください。

- 電源コードおよび AC アダプターは必ず同梱品のものをご使用ください。
- 電源を投入する前に必ずアース接地工事または、アース接続を行ってください。
落雷や静電気などにより本機が故障するリスクを低減できます。
- アース線は、同梱品の電源ケーブルについているアース線(緑色)をご利用ください。



1.5.5 外部センサーや警報機を接続する

本機は、外部センサーや警報機器と連動し、様々なイベント通知を行うことができます。

付属の端子ブロックに信号線を接続してから本機へ装着してください。

※端子ブロックへの接続間違いにご注意ください。

本機の接点端子は全て無電圧接点です。

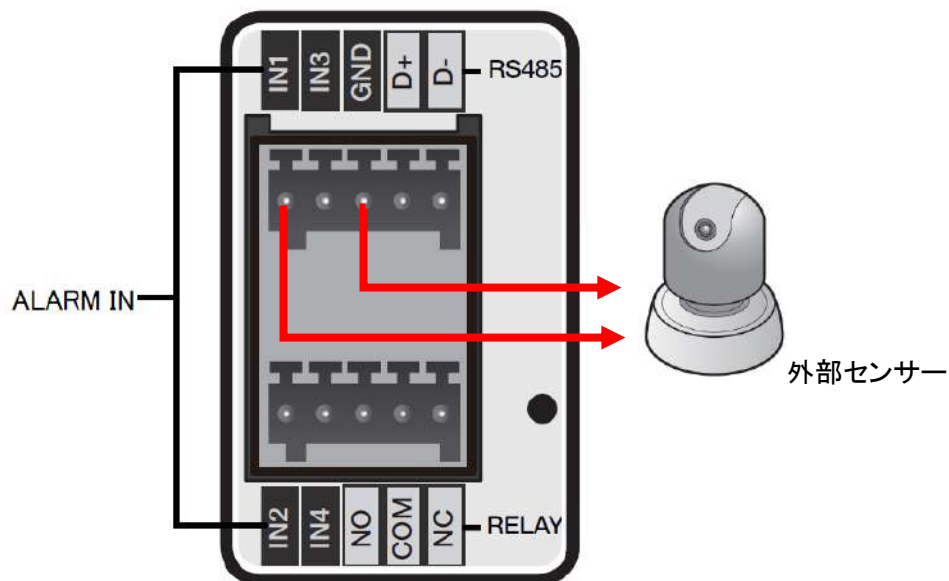
NO/NC は本機の設定画面で選択できます。

- **外部センサー(アラーム入力信号)を接続するには・・・**

1. アラーム入力機器の信号線の＋極を本機背面の 〈 ALARM IN 1～4/8/16 〉ポートに差し込みます。
2. アラーム入力機器の信号線の－極を本機背面の 〈 GND 〉ポートに差し込みます。
3. 差し込み後、2本の線を引っ張り、抜けないことを確認します。

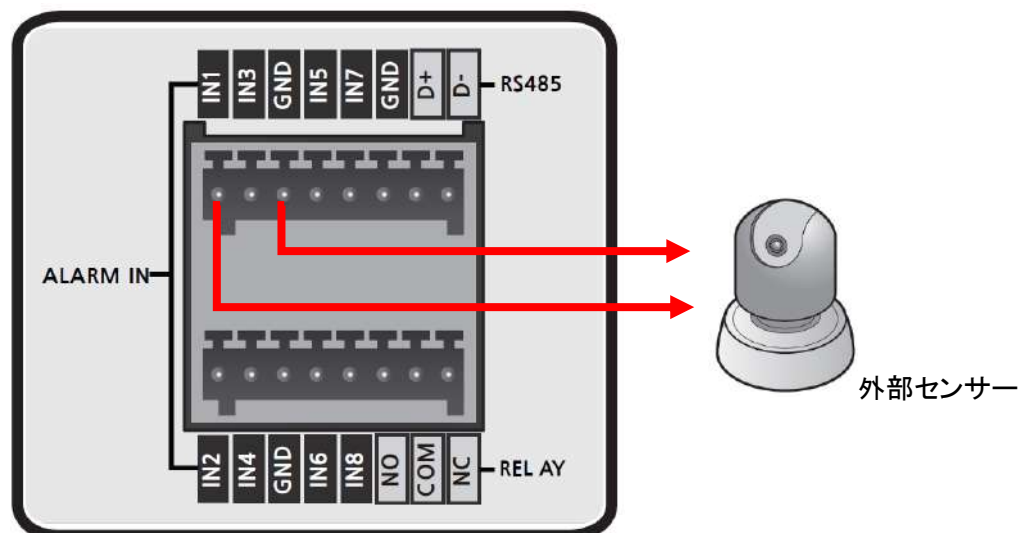
※信号線の接続箇所は以下の図を参照してください。

【 KB-IRIP04A の場合 】



外部センサーや警報機を接続する(つづき)

【 KB-IRIP08A / KB-IRIP16A の場合 】



外部センサーや警報機を接続する(つづき)

- 警報機(アラーム出力信号)を接続するには・・・

1. アラーム出力機器の信号線の＋極を

本機背面の 〈 RELAY 〉ポートの 〈 N/O 〉または〈 N/C 〉端子に差し込みます。

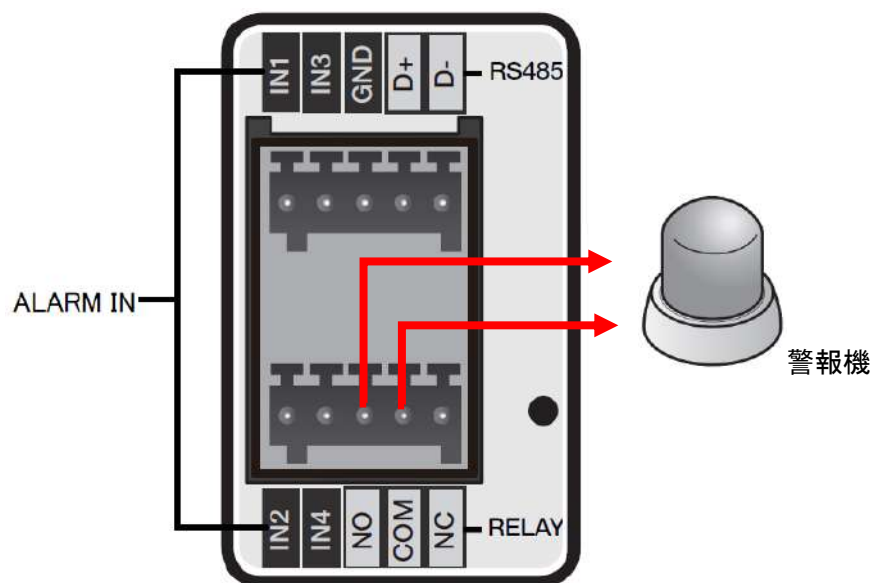
2. アラーム信号線の－極を〈 COM 〉端子に差し込みます。

3. 差し込み後、2本の線を引っ張り、抜けないことを確認します。

※モデル毎の信号線の接続箇所は以下の図を参照してください。

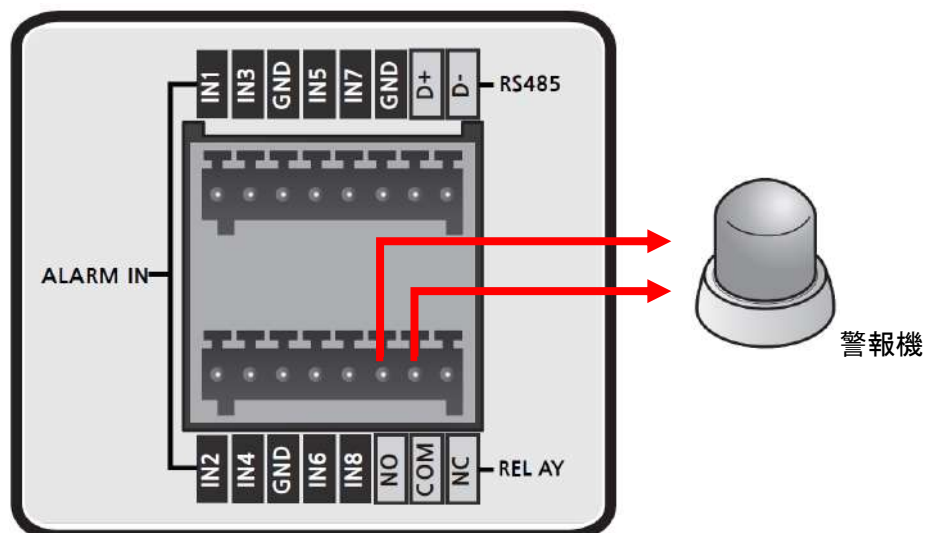
RELAY 端子は 30DCV 0.5A / 125ACV 0.5A 以下で使用してください。

【 KB-IRIP04A の場合 】



外部センサーや警報機を接続する(つづき)

【 KB-IRIP08A / KB-IRIP16A の場合 】



外部センサーや警報機を接続する(つづき)

<< 接点端子の動作について >>

各モデルによって接続する端子とアラーム設定によって出力状態が異なります。

各モデルの端子は以下の表のように動作します。

接続する端子		アラーム 出力設定	動作		
一方	もう一方		定常時	イベント発生時	非通電時
COM	NO	NO	オープン	ショート	オープン
		NC	ショート	オープン	オープン
	NC	NO	ショート	オープン	ショート
		NC	オープン	ショート	ショート

→アラーム出力設定については、「3.8.1 アラーム出力を有効にする(p.150)」をご覧ください。

<< 注意 >>

アラーム出力信号の設定変更後、設定内容を適用した時点で一度接点が作動します。

外部機器によっては、作動する場合がありますのでご注意ください。

1.5.6 PTZ カメラを接続する

PTZ カメラを接続して制御線にて制御する場合は、RS-485 端子に接続します。
付属の端子ブロックに信号線を接続してから本機へ装着してください。

- RS-485 を接続するには・・・

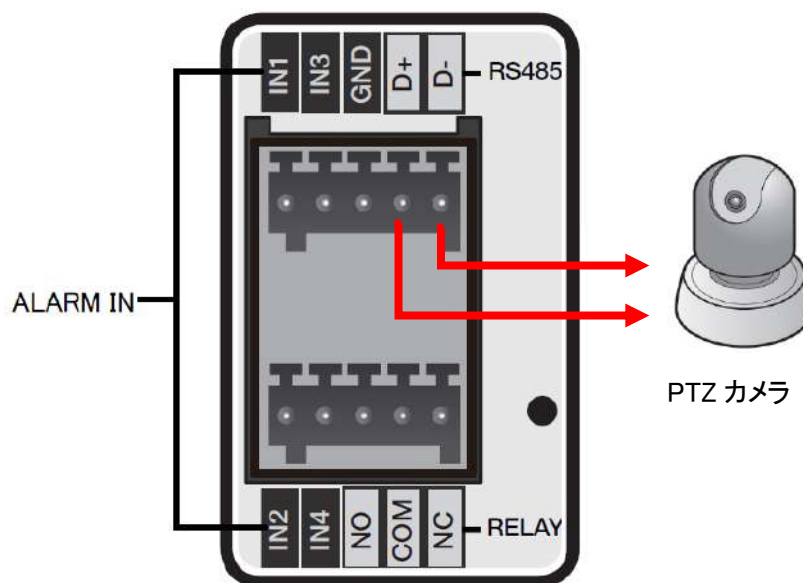
1. 本機背面の 〈 D+ 〉 に PTZ カメラの 〈 D+ 〉 を差し込みます。
2. 本機背面の 〈 D- 〉 に PTZ カメラの 〈 D- 〉 を差し込みます。

※モデル毎の信号線の接続箇所は以下の図を参照してください。

PTZ カメラの設定については、「3.1.7 PTZ 設定 (p.85)」をご覧ください。

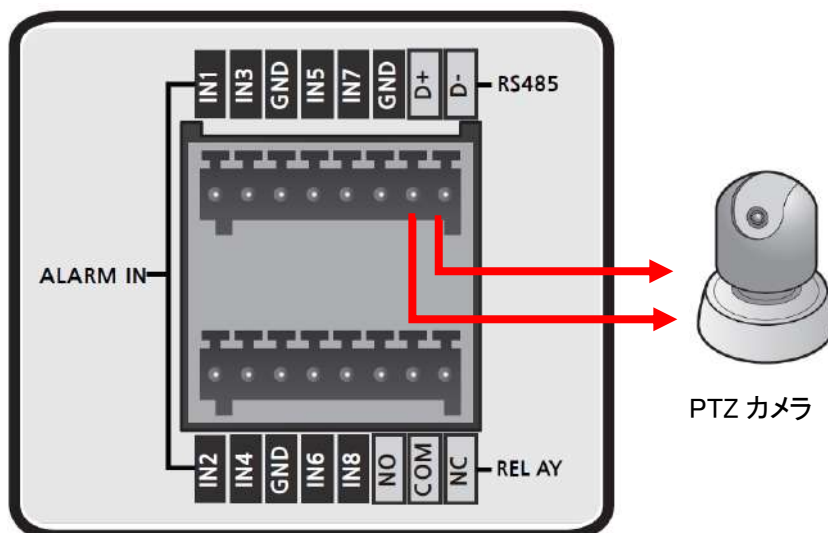
※RS-485 接続については、PTZ カメラのユーザーマニュアルをご覧ください。

【 KB-IRIP04A の場合 】



PTZ カメラを接続する(つづき)

【 KB-IRIP08A / KB-IRIP16A の場合 】



1.5.7 音声機器を接続する

音声機器との接続には、RCA 端子ケーブルを使用してください。

マイクなどの音声入力機器は、背面の〈 AUDIO IN 〉ポートに接続してください。

スピーカーなどの音声出力機器は、背面の〈 AUDIO OUT 〉ポートに接続してください。

※本機は、ラインレベル入力のみ対応しています。

<< 注意 >>

カメラによってカメラからの音声を録音できない場合があります。

あらかじめご了承ください。

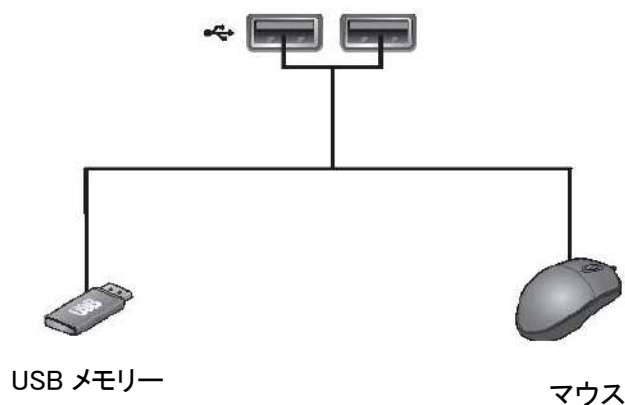
音声出力の設定については、「2.6.2 音声出力 CH を切替える(p.58)」または、

「3.3.1 スピーカーから音声を出力する(p.100)」をご覧ください。

1.5.8 USB デバイスを接続する

付属のマウスや USB メモリーは USB 端子へ接続してください。

USB メモリーを接続すると、記録映像のバックアップやシステム設定の保存(読み込み)、ファームウェアのアップデートを行うことができます。



電力消費の多い外部ストレージを接続する場合は、そのストレージ用に個別の電源を使用することを推奨します。

<< 注意 >>

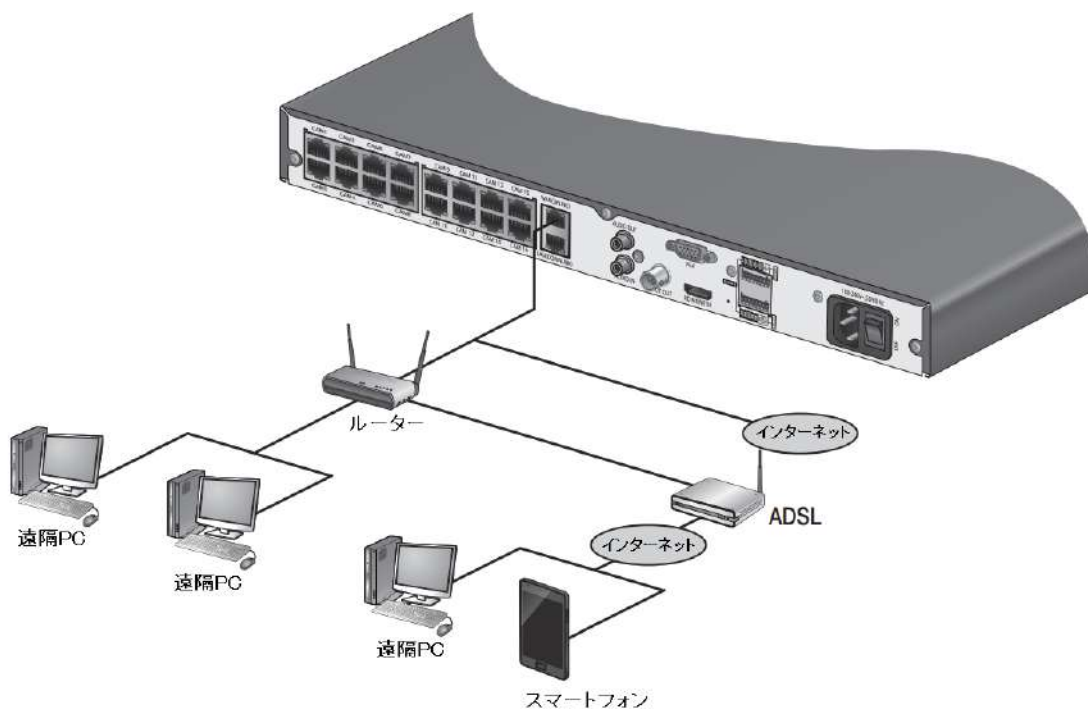
本機に接続する USB メモリーや HDD のファイルシステムは、「FAT32」に設定した上でご使用ください。

NTFS などその他ファイルシステムで構築されている場合、本機ではご使用になれません。

1.5.9 ネットワーク機器を接続する

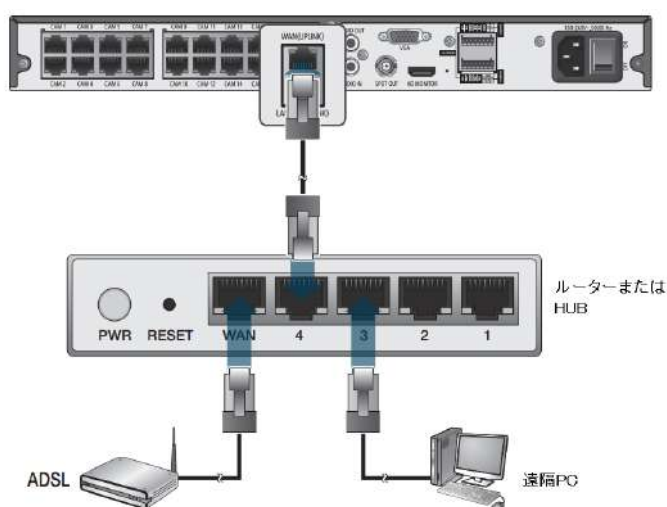
本機をネットワークに接続することで PC またはスマートフォンから遠隔接続し、レコーダーを制御または操作することができます。

【 ネットワーク機器の接続イメージ 】



• ネットワーク機器を接続するには・・・

1. 背面パネルの 〈 ETHERNET 〉または〈 WAN(UPLINK) 〉ポートにルーターまたはハブを
2. 接続します。



3. ローカル PC をルーターまたはハブに接続します。

※ネットワーク設定については、「3.5 ネットワーク(p.110)」をご覧ください。

1.6 初回起動時の設定をする

本機は、初回起動時にログインパスワードやネットワーク情報を設定する必要があります。
以下の手順にしたがって、本機を起動し、パスワード設定してください。

<< 注意 >>

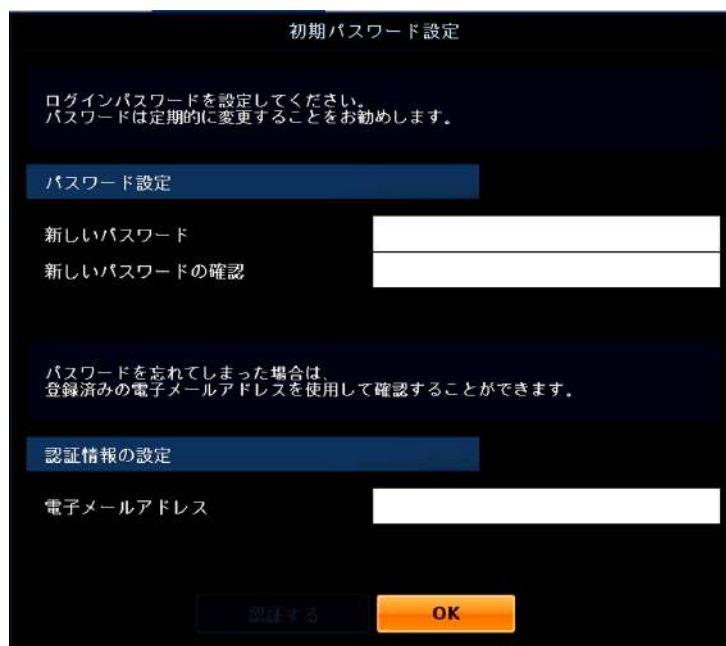
下記事項を必ずお守りください。

- パスワードは定期的に変更し、設定した値はメモをとるなど忘れないように管理をしてください。
※パスワードの変更については、「3.4.3 パスワードを変更する(p.107)」をご覧ください。

1. 本機背面に電源ケーブルを差し込みます。
接続については、「1.5.4 電源コードを接続する(p.27)」をご覧ください。
2. ビープ音が鳴り、前面の LED が点灯します。
数秒後にロゴ画面が表示されます。

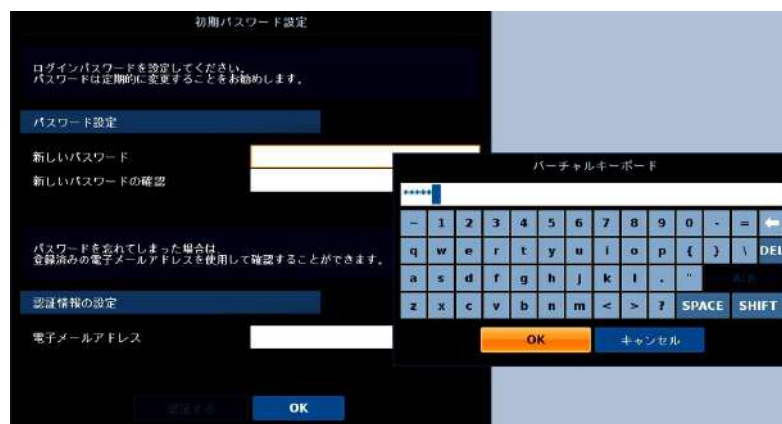


3. 起動プロセスが完了すると、初期パスワード設定画面が表示されます。

A screenshot of the 'Initial Password Setting' screen. The title is '初期パスワード設定'. The screen has a dark blue background with white text. It contains two main sections: 'パスワード設定' (Password Setting) and '認証情報の設定' (Authentication Information Setting). The 'パスワード設定' section has two input fields: '新しいパスワード' (New Password) and '新しいパスワードの確認' (Confirm New Password). The '認証情報の設定' section has one input field: '電子メールアドレス' (Email Address). At the bottom, there are two buttons: '戻る' (Back) and 'OK'.

初回起動時の設定をする(つづき)

4. 「新しいパスワード」欄をダブルクリックし、パスワードを設定します。
バーチャルキーボードで入力後、「OK」をクリックしてください。
設定したパスワードは、メモをとるなどし忘れないように管理してください。
p.3 のパスワードメモをご活用ください。



<< 注意 >>

パスワードを設定する際は、下記をお守りください。

- ・ 「1234」は初期パスワードとして設定することはできません。
- ・ 第3者から容易に推測される数字や文字はさけてください。
- ・ パスワードは最大8文字まで入力できます。

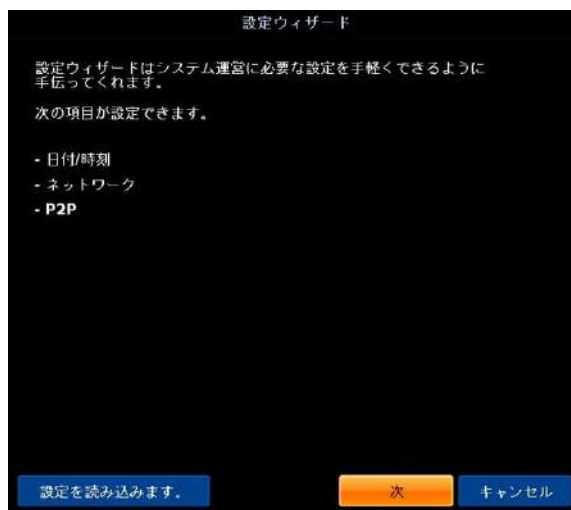
5. 「新しいパスワードの確認」欄に同じ値を入力します。
入力間違いにご注意ください。
6. 「認証情報の設定」欄にパスワードを忘れた場合の確認用メールアドレスを入力します。
7. パスワード設定後、「OK」をクリックします。



初回起動時の設定をする(つづき)

このページ以降の設定ウィザードは、後からでも設定・変更ができます。

「キャンセル」をクリックすると、初回起動時の設定は完了し、ログイン画面に移行します。



ログイン手順については、「1.7.1 ログインする(p.43)」をご覧ください。

また、後からネットワーク設定を行う場合は、「3.5 ネットワーク(p.110)」をご覧ください。

「次」をクリックすると続けて時刻の設定に移行します。

8. 本機の時刻を設定し、「次へ」をクリックします。

タイムゾーン・サマータイムは、初期設定値から変更しないでください。

日付/時刻 … 時計アイコンをクリックして本機の日時を調整できます。

日付表示形式 … 日付の表示形式を変更できます。

時刻表示形式 … 時刻の表示形式を変更できます。

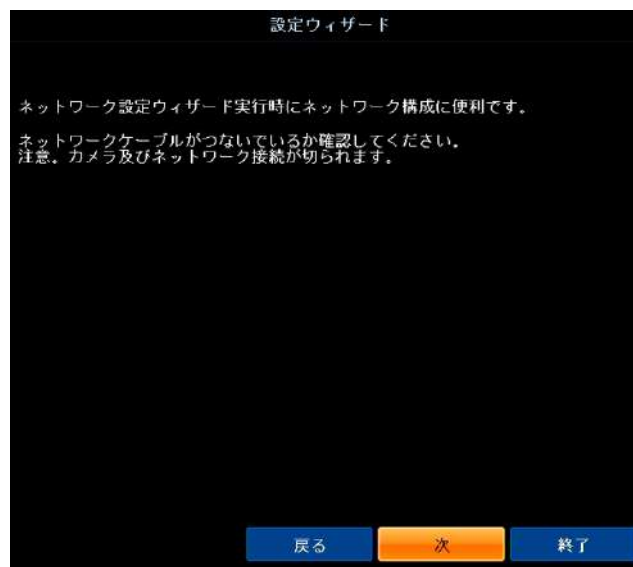


9. 続けて本機のネットワークアドレスを設定できます。

IP アドレスなどを設定する場合は、「次」をクリックします。

※本機にルーターなどのネットワーク機器に接続している必要があります。

アドレス設定を行わない場合は、「終了」をクリックします。



10. 本機の IP アドレスを設定し、「次」をクリックします。

「DHCP」・・・ DHCP サーバーから自動的に各アドレス情報を受け取ります。

「固定 IP」・・・ 手動で本機の各アドレス情報を入力します。

同一ネットワーク内にある他機器の IP アドレスと重複しないようにご注意ください。



初回起動時の設定をする(つづき)

11. ポート番号を設定し、「次」をクリックします。

同一ネットワーク内にある他機器のポート番号と重複しないようにご注意ください。

The screenshot shows the '設定ウィザード (3 / 5)' (Setup Wizard 3 / 5) screen. The title is 'サービスポート設定' (Service Port Setting). It contains two input fields: 'RTSPポート' (RTSP Port) with the value '5554' and 'WEBサーバーポート' (Web Server Port) with the value '8080'. Below these fields is a checkbox labeled '自動ポートフォワーディング使用' (Use automatic port forwarding), which is checked. At the bottom, there are three buttons: a help button with a question mark, a '戻る' (Back) button, an orange '次' (Next) button, and a '終了' (End) button.

お使いのルーターやモデムが自動ポートフォワーディング機能に対応していない場合は、「自動ポートフォワーディング使用」のチェックは外してください。

12. DDNS 機能を使用する場合は、「オン」をクリックしてください。

DDNS サーバーのご利用をはじめ、ネットワーク機能サービスを利用する際は、本機の情報提供に同意されたとみなされます。

※提供いただいた情報は、本機ネットワーク機能サービス向上のために使用されます。

The screenshot shows the '設定ウィザード (4 / 5)' (Setup Wizard 4 / 5) screen. The title is 'DDNS設定' (DDNS Setting). It has two radio buttons: 'オフ' (Off) and 'オン' (On), with 'オン' selected. Below the radio buttons are several fields: 'DDNSサーバー' (DDNS Server) is a dropdown menu showing 'dvrlink.net'; 'ユーザー名' (Username) and 'パスワード' (Password) are empty text boxes; 'NVR名' (NVR Name) is a text box with the value '00116f000721'; and 'NVR接続アドレス' (NVR Connection Address) is a text box with the value '00116f000721.dvrlink.net'. At the bottom, there is a paragraph of text: 'DDNSを始めてネットワーク関連サービスは機器の情報を活用します。サービス利用のために、機器情報提供に関する同意が必要です。' (Starting DDNS, network-related services will use device information. To use the service, you need to agree to provide device information.) followed by a checked checkbox labeled '機器情報提供に同意します。' (I agree to provide device information.). At the bottom, there are three buttons: a help button with a question mark, a '戻る' (Back) button, an orange '次' (Next) button, and a '終了' (End) button.

- DDNS サーバー … 「dvrlink.net」のみ選択してください。
- レコーダー名 … DDNS のドメイン名を入力します。
- DVR 接続アドレス … 本機の遠隔接続時のアドレスが表示されます。

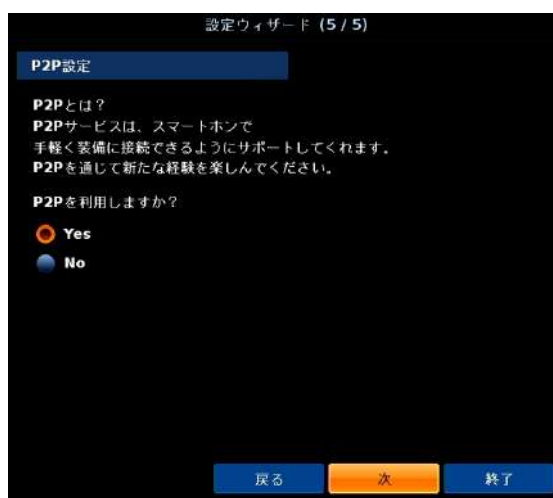
初回起動時の設定をする(つづき)

【DDNS サービスのご利用について(免責事項)】

DDNS サービスのご利用の際は下記内容に同意した上でご利用ください。

- DDNS サービスのご利用はお客様のもとでご利用ください。
- DDNS サービスを利用することにより発生した損害、または第三者に対して損害を与えた場合について弊社は一切の責任を負わないものとし、損害賠償する義務はないものとします。

13. P2P 設定の利用を選択し、「次」をクリックします。



P2P の使い方については、「8.1 P2P nViewer をインストール・アカウント登録する(p.243)」をご覧ください

14. 設定完了後、「終了」をクリックします。

ライブ画面が表示されたら初回起動時の設定は完了です。



1.7 ログイン・ログアウト・シャットダウンする

以下の手順でログイン・ログアウトまたはシャットダウンができます。

1.7.1 ログインする

起動完了後、ライブ画面に切り替わりログイン画面が表示されます。

1. ログイン画面の表示後、ユーザーID を選択します。

初期設定時は、「ADMIN」のみ選択できます。

ユーザーID を複数登録している場合は、プルダウンボタンをクリックして、該当 ID を選択してください。



ログイン画面のスクリーンショット。タイトルは「ログイン」です。ユーザーIDのプルダウンメニューには「ADMIN」が選択されています。パスワードの入力欄は空です。パスワードの入力欄の右側には「お忘れですか？」というリンクがあります。画面下部には、数字と英字のキーボードのイメージが表示されています。最下部には「OK」と「キャンセル」のボタンがあります。

2. 選択したユーザーID に対応したパスワードを入力します。

ADMIN の初期パスワードは、初回起動時に設定した値となります。



ログイン画面のスクリーンショット。ユーザーIDのプルダウンメニューには「ADMIN」が選択されています。パスワードの入力欄には6つの星（*****)が表示されています。パスワードの入力欄の右側には「お忘れですか？」というリンクがあります。画面下部には、数字と英字のキーボードのイメージが表示されています。最下部には「OK」と「キャンセル」のボタンがあります。

3. 「OK」をクリックし、ライブ画面が表示されたらログイン成功です。

ライブ画面での操作や見方については、「2.1 ライブ画面での操作・見方 (p.48)」をご覧ください。

「パスワードが正しくありません。」と表示された場合は選択中のユーザーID またはパスワードの入力に間違いがないかご確認ください。

1.7.2 ログインパスワードを忘れたら

ログインパスワードを忘れてしまった場合は、あらかじめ登録したメールアドレスに認証コードを送信できます。

1. ログイン画面にて、「お忘れですか？」をクリックします。



2. 登録済みのメールアドレスを入力します。

※「初回起動時の設定」の手順 6 で設定したアドレスまたは、「3.4.1 アカウント情報を追加・編集する」の手順 2 で設定したメールアドレスを入力してください。

※メールアドレスを登録していない場合は、認証コードを送信することはできません。



3. アドレス入力後、「認証コード送信」をクリックします。



4. 「認証コード送信成功」という確認画面表示後、「OK」をクリックします。

ログインパスワードを忘れたら(つづき)

5. 指定したアドレスに届いた認証コードを「認証コード入力」欄に入力します。
※認証コードの受付時間は、10 分間となります。
10 分以上経過した場合は、再度新しく認証コードの送信を行ってください。



パスワード確認

登録された携帯電話/電話番号または、Eメールで確認過程を経た後、パスワードを変更できます。

ユーザーID: ADMIN

メール: admin@hinet.jp.com

認証コード入力: 9:45

適用 キャンセル

入力後は、「適用」をクリックします。

6. 新しくログインパスワードを設定します。



パスワード変更

ユーザーID: ADMIN

新しいパスワード:

新しいパスワードの確認:

適用 キャンセル

7. 再設定後、「適用」をクリックして新しく設定したパスワードでログインしてください。
ログインができれば操作完了です。



ログイン

ユーザーID: ADMIN

パスワード:

お忘れですか?

~ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 - = < > [] \ DEL

a s d f g h j k l . " ENTER

z x c v b n m < > ? SPACE SHIFT

OK キャンセル

1.7.3 ログアウトする

不正アクセスを防止するため、画面から離れる場合はログアウトすることを推奨します。

1. ライブ画面にて、画面下部にカーソルを移動させ、ステータスバーを表示します。



2. 画面左下の「メニュー」>「ログアウト」の順にクリックするとログアウトします。
リモコン操作の場合は、「LOGOUT」ボタンを押すとログアウトします。
以上で操作は完了です。



1.7.4 シャットダウンする

本機の電源を切る場合は、以下の手順でシャットダウンを行ってください。

1. ライブ画面にて、画面下部にカーソルを移動させ、ステータスバーを表示します。



2. 画面左下の「メニュー」>「シャットダウン」の順にクリックします。
リモコン操作の場合は、「電源」ボタンを押します。
3. キーボードの文字をクリックし、パスワードを入力します。
パスワード入力後は、「OK」をクリックしてください。



4. 本機からビープ音がなったら、本機から AC アダプターを取り外します。
以上で操作完了です。

⚠ 注意

シャットダウンは必ず上記の方法で行ってください。

システム動作中に電源コードを抜くなどの正常ではない方法で電源を切ると、データ消失やディスクの寿命短縮につながる恐れがあります。

計画停電などでシャットダウンを行う際は、必ず電源コードをコンセントから取り外してください。
また、復電させる際は、あらかじめ電源コードを本機に接続してから起動を行ってください。

2章 ライブ画面での操作・見方

本機を起動すると、ライブ画面（現在のカメラ映像を閲覧する画面）が表示されます。
各種設定や検索・バックアップなどは、ライブ画面から選択して操作します。

2.1 各種アイコンのはたらき

ライブ画面内では、現在の録画状態やカメラタイトルなどさまざまなアイコンが表示されています。
各アイコンと内容については、次ページの表をご覧ください。

クイックメニュー

→詳細は、「2.3 クイックメニュー(p.52)」をご覧ください。

映像表示エリア

タイムライン

→詳細は、「2.2 タイムラインの見方(p.51)」をご覧ください。



ステータスバー

→詳細は、「2.1 各種アイコンのはたらき(p.49)」をご覧ください。

画面表示アイコン

アイコン	アイコン名	効果・内容
CAM1	カメラタイトル	カメラタイトルを表示します。
	録画モード アイコン	イベント録画の待機中に表示されます。
C		連続録画の状態を表示します。
A		アラーム発生時の録画状態を表示します。
M		モーションイベント発生時の録画状態を表示します。
P		手動録画(パニック録画)の状態を表示します。
	状態表示アイコン	MOTION(動き)検知中に表示します。

ステータスバーアイコン

アイコン	アイコン名	効果・内容
	メニュー	検索・バックアップやシステム設定など各種設定 設定画面へ移行できます。
	ユーザーID	現在ログインしているユーザーIDを表示します。
	画面制御	状態バーとタイムラインの両方が常時表示 されるように画面レイアウトを変更します。
		分割モードを選択します。
		自動切替えまたは特殊分割モードに切替えます。

ステータスバーアイコン

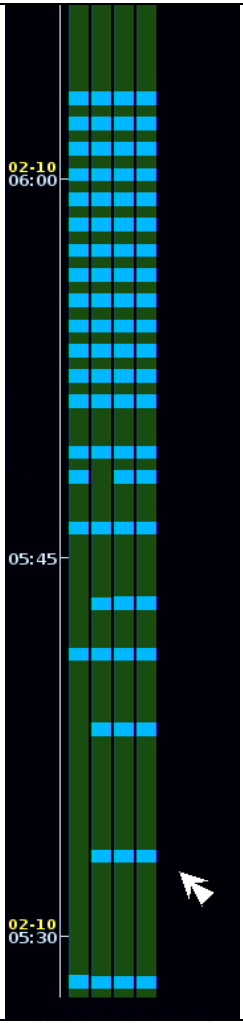
アイコン	アイコン名	効果・内容
	画面制御	カメラタイトルと録画モードアイコンの表示・非表示を切替えます。
	PTZ制御	PTZ画面に移動します。 PTZカメラまたはUTC機能によるコントロールができます。 →詳細は、「3.1.6 PTZ設定 (p.85)」をご覧ください。
	ズーム	デジタルズーム画面に移動します。 →詳細は、「2.5 映像を拡大表示(デジタルズーム)する (p.56)」をご覧ください。
	ログ	最新の録画イベントのログを表示します。
	オーディオCH 選択ボタン	音声入力しているCHを選択して、ライブ音声を聞くことができます。
	手動録画	手動(パニック)録画を開始します。 クリックすることで、緊急録画の開始・終了を切替えます。
	アラーム インジケータ	イベントが発生すると通知されます。 クリックすると発生したイベント情報を確認できます。
	ネットワーク 接続状況	外部PCまたはモバイル端末によるネットワーク接続が行われているかを確認します。 クリックするとネットワーク接続状況を確認できます。
	ディスク容量	ディスク容量の情報を表示します。 上書き中は「OW」と表示されます。 クリックするとディスク状態の詳細を確認できます。
	日時表示	現在の日付と時刻を表示します。

2.2 タイムラインの見方

画面の右側にマウスカーソルを移動すると、タイムラインが表示されます。

タイムラインでは、簡易的に記録映像の検索やバックアップを行うことができます。

タイムラインアイコン

アイコン	アイコン名	効果・内容
	タイムライン日付	現在のタイムラインの日付を表示します。 クリックするとカレンダーが表示され、タイムラインの日付を選択できます。
	タイムラインバー	録画データを時間で表示します。 録画モードごとに色分けされて表示されます。 緑: 連続録画 / 赤: アラーム録画 青: モーション録画 / 黄: 手動(パニック)録画 - タイムラインをダブルクリックすると、その時刻の再生画面に移動します。 - タイムライン上でドラッグ&ドロップで範囲を選択して右クリックすると、メニューが表示されます。  6 開始: 2021-08-06 10:20:40 終了: 2021-08-06 10:25:22 サーチ ▶ 書出 リザーブデータ <u>サーチ(イベントサーチ)</u> : 選択された範囲の中で、イベントサーチを行います。 <u>書出し</u> : 選択範囲の映像をバックアップします。 <u>リザーブデータ</u> : 選択範囲の映像をリザーブデータに追加します
	タイムラインの拡大/縮小	タイムラインをズームイン/ズームアウトします。
	タイムライン上下	タイムラインを上下にスクロールします。 マウスホイールでも同様の操作が可能です。

2.3 クイックメニュー

ライブ画面の各 CH の上でマウスを右クリックすると、クイックメニューが表示されます。
クイックメニューより、各 CH のデジタルズームや静止画を取得することができます。



クイックメニューの項目

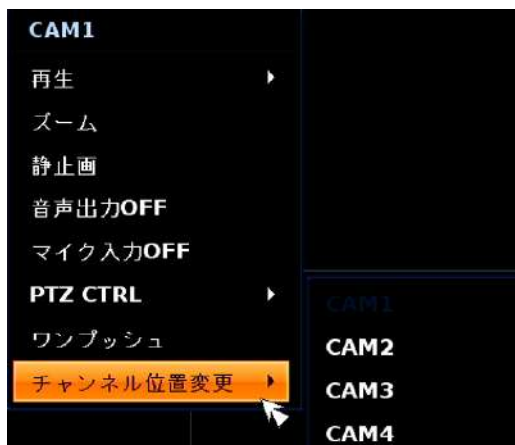
項目	効果・内容
CH番号	選択中のカメラタイトルが表示されます。
再生	時刻を選択し、その時点からの映像を再生します。 →再生画面での操作については、 「4章 検索・再生画面での操作・見方 (p.186)」をご覧ください。
ズーム	選択したチャンネルのデジタルズーム画面に移動します。 →詳細は、「2.5 映像を拡大表示(デジタルズーム)する (p.56)」をご覧ください。
静止画	ライブ映像のスナップショットをUSBメモリーに保存します。 →詳細は、「4.5.2 スナップショットを保存する (p.196)」をご覧ください。
音声出力ON / OFF	選択したチャンネルのライブ音声を出力します。 ライブ音声の有効中は、ライブ画面に音声出力アイコンが表示されます。 クリックするごとにONとOFFが切り替わります。
マイク入力ON / OFF	選択したチャンネルにマイク音声を入力します。 マイク音声の有効中はライブ画面にマイクアイコンが表示されます。 クリックするごとにONとOFFが切り替わります。

項目	効果・内容
PTZ CTRL	選択したチャンネルのPTZコントロールを行います。 ・EASY MODE … 分割表示状態のままズームやフォーカスの調整ができます。 ・設定 … ズームやフォーカスの調整に加え、定点ツアーやスキャン位置の登録ができます。
ワンプッシュ	選択したチャンネルのピント調整を行います。
チャンネル位置 変更	選択したCHと表示位置を交換します。 →詳細は、「2.3.1 CH表示位置を変更する(p.54)」をご覧ください。

2.3.1 CH 表示位置を変更する

ライブ画面の CH 表示レイアウトを自由に変更できます。

1. 変更したい CH の表示エリア上で右クリックし、「チャンネル位置変更」を選択します。
2. 変更先の CH を選択し、クリックします。



3. 選択した CH 同士が入れ替わります。
以上で操作は完了です。



CH の表示エリアをドラッグ & ドロップすることでも同様に表示レイアウトを変更できます。

2.4 分割表示数を変更する

画面分割モードの切り替えや、シーケンス表示の設定を行うことができます。

2.4.1 分割モードを切替える

ステータス画面のアイコンからそれぞれの分割モードをクリックすると、画面表示が切替わります。

リモコン操作の場合は、「DISPLAY」ボタンを押します。

※ 押す度に、画面表示が切り替わります。



- KB-IRIP04A は、1 画面または 4 分割画面が選択できます。
- KB-IRIP08A は、1 画面または 4 / (6 / 8) / 9 分割画面が選択できます。
- KB-IRIP16A は、1 画面または 4 / (6 / 8) / 9 / 16 分割画面が選択できます。

2.4.2 シーケンス表示を有効にする

ステータス画面のアイコンから「自動切替え」をクリックすると、シーケンス表示モードになります。

リモコン操作の場合は、「SEQ」ボタンを押します。

※押す度に、シーケンス表示機能を ON / OFF します。



シーケンス表示では表示パターンや切替えまでの時間を自由に設定できます。

詳細は、「3.2.2 画面切替え時間/モニター出力解像度を設定する(p.90)」および

「3.2.3 シーケンス表示パターンを編集する(p.92)」をご覧ください。

2.5 映像を拡大表示(デジタルズーム)する

ライブ画面にて、拡大表示したい箇所のデジタルズームを行うことができます。

1. ライブ画面にて、以下のいずれかの手順でデジタルズーム画面に移行します。



- ステータスバーよりズームアイコン をクリックします。
- 各 CH 上で右クリックし、「ズーム」をクリックします。
- リモコン操作の場合は、「ZOOM」ボタンを押します。

※デジタルズーム画面に移行します。



全体画面

黄色の枠をドラッグ&ドロップすることで、表示箇所を移動できます。

マウスホイールのスクロールで、ズームイン / ズームアウトを行います。

2. デジタルズーム画面では、以下のように操作を行います。

アイコン		説明
		デジタルズームを行うCHを選択します。 リモコンの場合 … 各CHボタン
		ズームアウトを行います。 リモコンの場合 … 巻戻しボタン
		ズームインを行います。 リモコンの場合 … 早送りボタン
		ライブ画面に戻ります。 リモコンの場合 … 〈 EXIT 〉ボタン

2.6 その他のライブ機能

その他、さまざまな機能をライブ画面のステータスバーより操作できます。

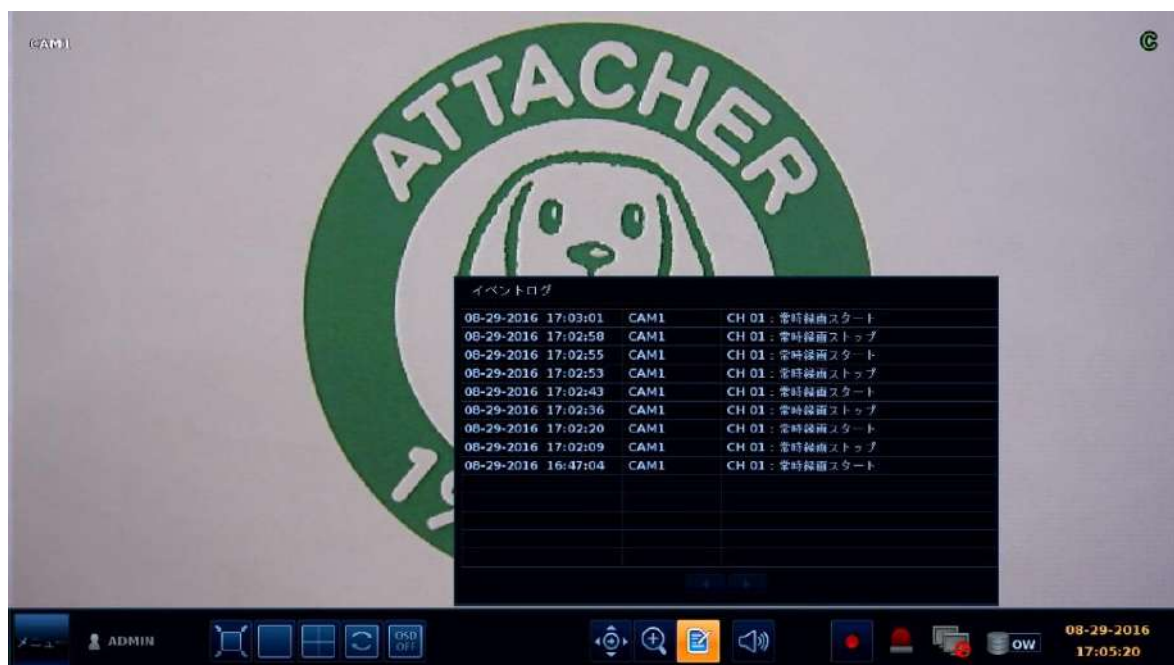
2.6.1 イベントログを表示する

以下の手順で、発生したイベントのログを確認することができます。



1. ステータスバーのイベントログアイコン  をクリックし、イベントログウィンドウを表示します。
リモコン操作の場合は、「LOG」ボタンを押します。

2. ログの項目をダブルクリックすると、映像が再生されます。



2.6.2 音声出力 CH を切替える

ライブ画面にて、どの CH の音声を出力するかを選択します。

ステータスバーより音声アイコン  をクリックし、出力したい CH を選択します。



再度アイコンをクリックすると、ウィンドウを閉じます。

2.6.3 アラーム状態を確認する

発生したイベント情報を確認することができます。

ステータスバーより、アラームアイコン  をクリックすると、アラームステータスが表示されます。
イベント発生中の CH は、赤色で表示されます。



「OK」をクリックすると、ウィンドウを閉じます。

2.6.4 ネットワーク接続状態を確認する

機器のネットワーク接続状態を確認することができます。

ステータスバーよりネットワークステータスアイコン  をクリックすると、ネットワークステータスが
表示されます。



緑線 ... 対象と接続中(通信中)です。

緑点線 ... 対象と接続・通信準備中です。

灰線 ... 接続・通信していません。

赤線 ... 接続・通信していません。

IP 衝突履歴 ... 同じネットワーク内で本機 IP アドレスと重複が発生した際のログを表示します。

IP衝突履歴		
種類	時間	MACアドレス
シス...	2021-07-06 16:20:42	00 : 07 : d8 : 1b : de...
シス...	2021-07-06 16:20:09	00 : 07 : d8 : 1b : de...
シス...	2021-07-06 16:19:35	00 : 07 : d8 : 1b : de...
シス...	2021-07-06 16:19:02	00 : 07 : d8 : 1b : de...
		更新
		閉じる

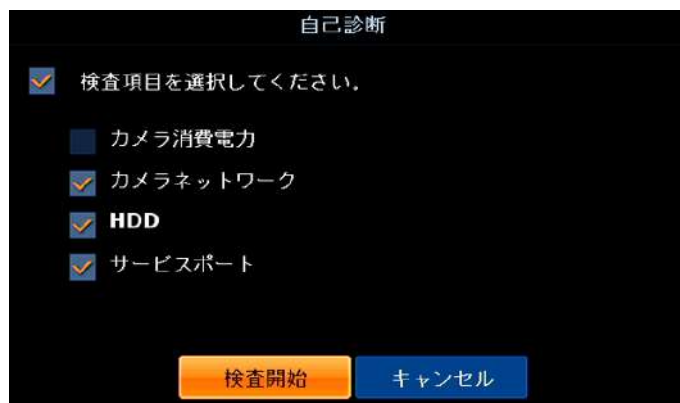
「OK」をクリックすると、ウィンドウを閉じます。

ネットワーク接続状態を確認する(つづき)

NVR の自己診断 … 本機に接続されているカメラや HDD などの動作状況を表示します。

以下の手順で動作状況を確認できます。

1. 「NVR の自己診断」をクリックします。
2. 確認したい項目にチェックを入れて、「検査開始」をクリックします。



3. 検査終了後、「結果」をクリックします。



ネットワーク接続状態を確認する(つづき)

4. 検査結果が表示されます。

検査結果画面では、カメラの接続状態、PoE 給電状況、HDD の動作状況、ネットワークポートの動作状況を確認できます。

「再実行」をクリックすると、再度検査を行います。

終了する場合は、「閉じる」をクリックしてください。



2.6.5 ディスク状態を確認する

現在のストレージ容量などを確認することができます。

ステータスバーより HDD ステータスアイコン



をクリックすると、HDD ステータスが

表示されます。

The screenshot shows a window titled "HDD ステータス" (HDD Status) with a sub-tab "内蔵ディスク" (Internal Disk). It displays a table with the following data:

	開始時刻	終了時刻	状況	容量	モデル	HDDステータス
全	2021-07-23 13:28:11	2021-12-06 18:32:17	-	-	-	-
ディスク1	2021-07-23 13:28:11	2021-12-06 18:32:17	使用中	1.8 TB	ST2000VM003-	正常
ディスク2	-	-	-	-	-	-
ディスク3	-	-	-	-	-	-
ディスク4	-	-	-	-	-	-
ディスク5	-	-	-	-	-	-

Below the table is an "OK" button. The background shows a grid of camera status boxes (CAM1 to CAM16) with labels like "接続なし" (No connection) or "ビデオロス" (Video loss). The bottom status bar includes a menu, user name "ADMIN", navigation icons, a system tray with various icons, and a timestamp "2021-12-07 10:41:34".

「OK」をクリックすると、ウィンドウを閉じます。

3章 各種設定

本機をお使いいただく上でのさまざまな設定を行います。

以下の手順で、システム設定画面に移行できます。

マウス



リモコン 1



リモコン 2



それぞれのメニューを選択します。



【 設定を終えるとき 】

設定値を保存するときは、画面下の〈 適用 〉を選択してください。

画面下のアイコン	内容
キャンセル	クリックすると設定値を破棄し、変更前の状態に戻ります。
適用	クリックすると変更した設定値を更新し、保存します。
閉じる	クリックすると設定メニューを閉じてライブ画面に戻ります。

3.1 カメラ

3.1.1 IP カメラを登録する

➤ メニュー＞システム設定＞カメラ＞カメラ登録(設置設定モードが「オープンモード」時)



以下の手順で IP カメラを設定・登録してください。

※IP カメラを登録する際は、一時的に録画が中断されますのでご注意ください。

1. あらかじめ本機のネットワーク情報を設定します。

設定方法については、「3.5.1 ネットワークアドレス(IPv4)を設定する(p.110)」をご覧ください。

※初回起動時の設定にて既にネットワーク設定が済んでいる場合は、次手順に進んでください。

2. 接続する IP カメラのアドレスを設定します。

IP カメラのアドレス変更方法については、IP カメラの取扱説明書をご覧ください。

IP カメラを登録する(つづき)

3. 「カメラ追加/削除」をクリックします。



4. 確認画面が表示されたら「OK」をクリックします。

※登録画面表示中は、録画が一時中断します。



IP カメラを登録する(つづき)

5. 本機に接続されているカメラのアドレスが表示されます。



カメラの IP アドレスが表示されない場合は、以下をお試しください。

- 「サーチ」をクリックする。
- 本機のネットワークアドレスが正しく設定されているか確認する。
- カメラのネットワークアドレスが正しく設定されているか確認する。
- 登録モードを「IP アドレス/ドメイン入力」に切り替えて登録を行う。
 1. 「IP アドレス/ドメイン」および「HTTP」に IP カメラの IP アドレスと HTTP ポートを入力します。

IPアドレス / ドメイン		HTTPポート	0
---------------	----------------------	---------	--------------------------------

2. 「追加」をクリックして完了です。
リスト一覧に検索したカメラアドレスが追加されます。
表示されない場合は、レコーダーもしくはカメラのアドレス設定をご確認ください。

- 登録モードを「RTSP 登録」に切り替えて登録を行う。
 1. 「RTSP 追加」をクリックします。



IP カメラを登録する(つづき)

2. 登録するカメラのアドレス等を入力します。

カメラ名 : 任意の名前を入力します。

IP アドレス/ドメイン : カメラの IP アドレスまたはドメイン名を入力します。

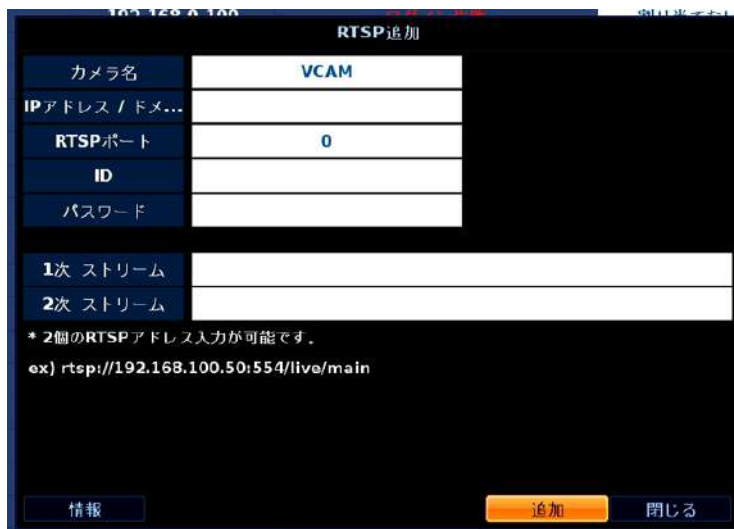
RTSP ポート : カメラの RTSP ポート番号を入力します。

ID : カメラのログイン ID を入力します。

パスワード : カメラのログインパスワードを入力します。

1 次ストリーム : 1 次 RTSP 用のアドレスを入力します。

2 次ストリーム : 2 次 RTSP 用のアドレスを入力します。



3. 「追加」をクリックして完了です。

リスト一覧に検索したカメラアドレスが追加されます。

表示されない場合は、レコーダーもしくはカメラのアドレス設定をご確認ください。

6. 登録するカメラの設定アイコン  をクリックします。

登録画面が表示されます。

IP カメラを登録する(つづき)

7. 「ユーザーID」、「パスワード」にカメラ側のユーザーID とパスワードを入力し、「ログイン」をクリックします。



8. 「閉じる」をクリックします。
カメラにログイン成功するとプレビュー画面にライブ映像が表示されます。



IP カメラを登録する(つづき)

9. 「CH 割り当て」に任意の CH を選択します。

「割り当てない」を選択した場合は、ライブ映像には表示されません。

「IP カメラ自動割り当て」をクリックした場合、一覧の上から順に CAM1、CAM2・・・と自動的に割り当てられます。



登録カメラが複数ある場合は、手順 6～9 をそれぞれ行ってください。

10. 「閉じる」をクリックします。



IP カメラを登録する(つづき)

11. 「適用」をクリックします。



12. ライブ映像が表示されたら登録は完了です。



3.1.2 カメラタイトルを変更する

➤ メニュー › システム設定 › カメラ › カメラタイトル



1. 各 CH 左上のカメラ名をダブルクリックします。
2. 表示されるキーボードでカメラタイトルを入力し、< OK >をクリックします。
カメラタイトル文字は、最大 16 文字(英数字、記号)まで設定できます。
※記号は、() @ # _ . が使用可能です。



<< Web ブラウザ上での注意 >>

Web ブラウザからカメラタイトルを設定する場合も、最大 16 文字(英数字、記号のみ)内で設定してください。

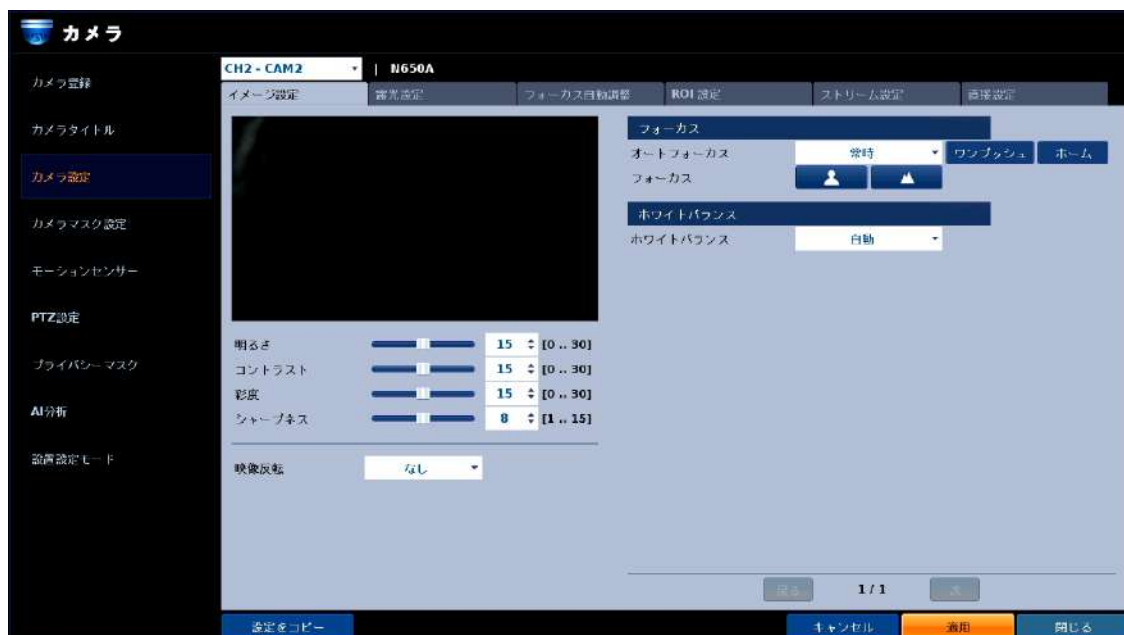
特殊記号は使用できません。文字化けの原因となります。

3. 設定後は、画面右下の< 適用 >をクリックして完了です。
適用後、新しく設定したカメラタイトルが表示されます。

3.1.3 カメラ映像を調整する

【 イメージ設定 】

➤ メニュー ＞ システム設定 ＞ カメラ ＞ カメラ設定 ＞ イメージ設定タブ



各 CH のカメラ映像の明るさ・コントラストなどの設定やレンズのフォーカス調整を行うことができます。
※ご使用のカメラによっては、調整できない項目があります。

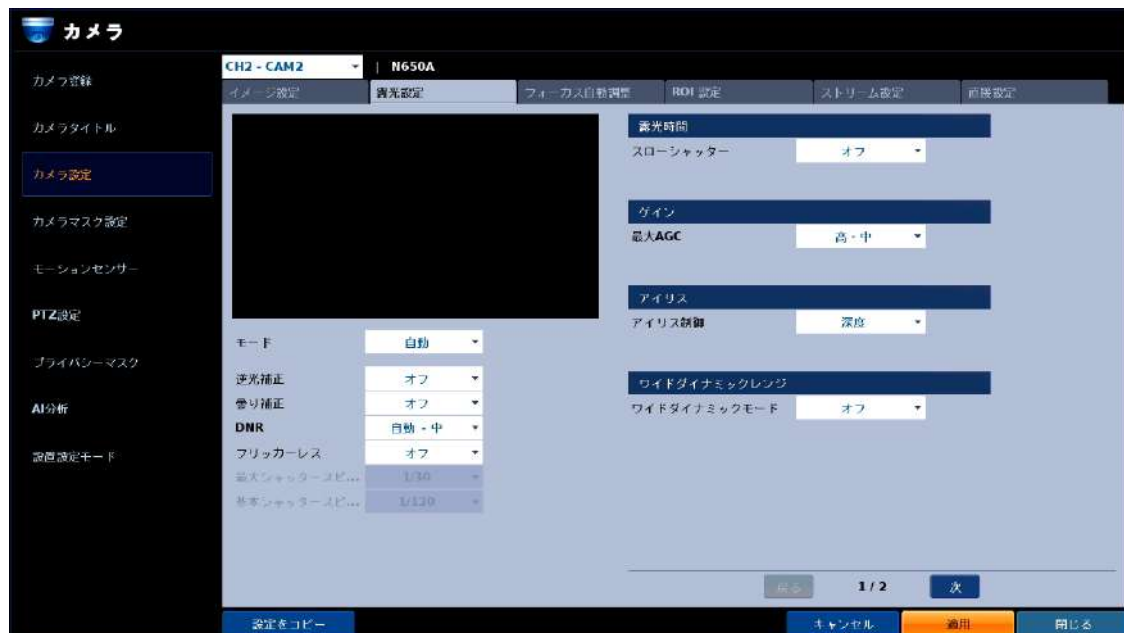
イメージ設定メニューの項目

項目	説明
CH	設定を行うカメラ CH を選択します。
明るさ	映像の明るさを調節します。(設定範囲 : 0 ~ 100)
コントラスト	画面のコントラストを調節します。(設定範囲 : 0 ~ 100)
彩度	画面の鮮やかさを調節します。(設定範囲 : 0 ~ 100)
シャープネス	画面のシャープネスを調節します。(設定範囲 : 0 ~ 8)
映像反転	カメラ映像の反転を行います。 - 水平 : 左右を逆転して表示します。 - 垂直 : 上下を逆転して表示します。 - 反転 : 上下左右を逆転して表示します。
オートフォーカス	ピントを自動で調節します。 - ワンプッシュ : その時点での映像に対してピント調整を行います。 - ホーム : カメラのレンズ位置を初期状態に戻します。
フォーカス	ピントを手動で調節します。
ホワイトバランス	映像のホワイトバランスを調節します。

カメラ映像を調整する(つづき)

【 露光設定 】

➤ メニュー＞システム設定＞カメラ＞映像設定＞露光設定タブ



各 CH の画面の見えやすさや蛍光灯のちらつきなどを調整できます。

※ご使用のカメラによっては、調整できない項目があります。

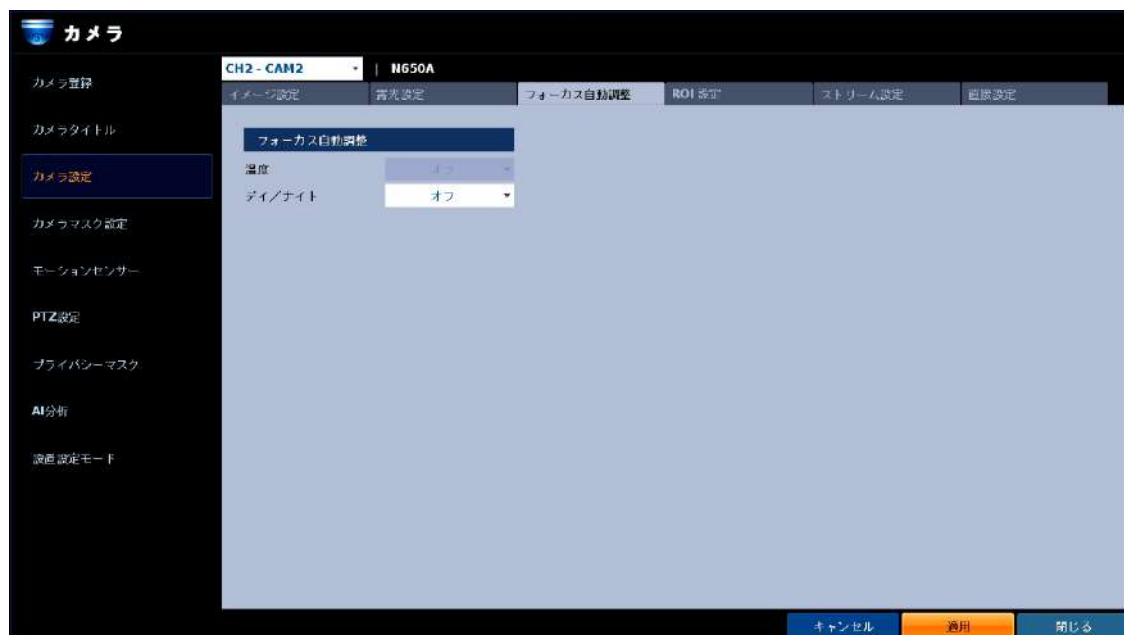
イメージ設定メニューの項目

項目	説明
CH	設定を行うカメラ CH を選択します。
モード	画面の明るさ調整モードを選択します。 - 自動 : 各種明るさの補正値の最適値を自動で設定します。 - 手動 : 各種明るさの補正値を手動で設定します。 - 自動(モーション優先) : 画面の動きに合わせて明るさを自動で設定します。
逆光補正	映像の逆光補正位置を選択します。 モードが「手動」の場合は、設定できません。
曇り補正	映像の曇り補正レベルを選択します。
DNR	映像のノイズ除去レベルを選択します。
フリッカーレス	蛍光灯のちらつき補正を選択します。 モードが「手動」の場合は、設定できません。
最大シャッタースピード	シャッタースピードを選択します。 モードが「手動」の場合は、設定できません。
基本シャッタースピード	シャッタースピードを選択します。 モードが「手動」の場合は、設定できません。
スローシャッター	スローシャッタースピードを選択します。
最大 AGC/ゲイン	映像の光量レベルを選択します。
アイリス制御	アイリス値を選択します。 モードが「手動」の場合は、設定できません。
ワイドダイナミックモード	ワイドダイナミックレンジ機能の有効/無効を選択します。 モードが「手動」の場合は、設定できません。
IR カットフィルター	IR カットフィルターの作動タイミングを選択します。 - 自動 : 映像の明るさに応じて自動的にカラーとモノクロを切り替えます。 - デイ : 常にカラー映像で撮影を行います。 - ナイト : 常にモノクロ映像で撮影を行います。 - スケジュール : デイとナイトを任意のタイミングで切り替えます。
切替時間	IR カットフィルターの作動時の切り替わり時間を選択します。 IR カットフィルターが「デイ・ナイト・スケジュール」の場合は、設定できません。
可変 IR	赤外線照射量を自動的に調整する機能の有効/無効を選択します。 IR カットフィルターが「デイ」の場合は、設定できません。
デイ→ナイト切替レベル	デイからナイトに切り替わる際の明るさ閾値レベルを選択します。 IR カットフィルターが「デイ・ナイト・スケジュール」の場合は、設定できません。
ナイト→デイ切替レベル	ナイトからデイに切り替わる際の明るさ閾値レベルを選択します。 IR カットフィルターが「デイ・ナイト・スケジュール」の場合は、設定できません。
昼間モード	IR カットフィルターをスケジュールした際の昼間の期間を設定します。 IR カットフィルターが「自動・デイ・ナイト」の場合は、設定できません。

カメラ映像を調整する(つづき)

【 フォーカス自動調整 】

➤ メニュー ＞ システム設定 ＞ カメラ ＞ 映像設定 ＞ フォーカス自動調整タブ



カラー・モノクロ撮影が切り替わるタイミングでピント調整を行うか選択できます。

※ご使用のカメラによっては、調整できない項目があります。

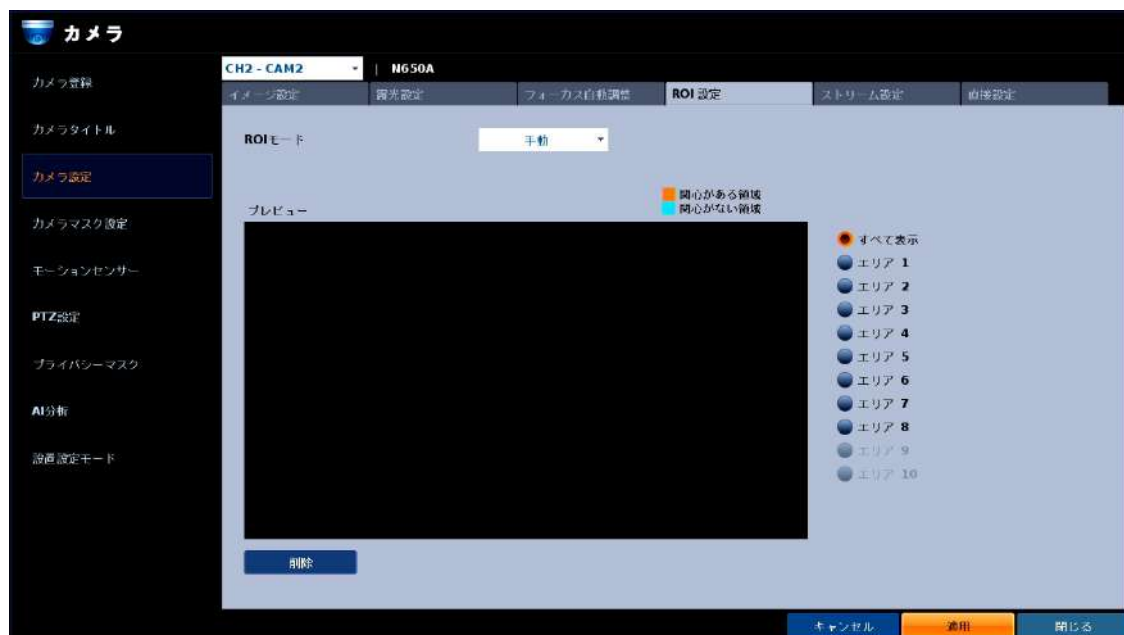
フォーカス自動調整メニューの項目

項目	説明
CH	設定を行うカメラ CH を選択します。
温度	本機能は使用できません。
デイ/ナイト	カラー・モノクロ撮影が切り替わるタイミングでピント調整を行う機能の有効/無効を選択します。

カメラ映像を調整する(つづき)

【 ROI 設定 】

➤ メニュー ＞ システム設定 ＞ カメラ ＞ 映像設定 ＞ ROI 設定タブ



関心領域機能を使用することで、指定したエリア内は、高画質、高フレームレートで映像表示、録画を行い、エリア外の画質、フレームレートは低く設定することができます。

※ご使用のカメラによっては設定できない場合があります。

1. ROI モードをクリックし、「手動」を選択します。
2. 画面右の「エリア 1」を選択し、プレビュー画面上で設定したい領域をドラッグ＆ドロップで指定します。選択中のエリアは、青色で表示されます。

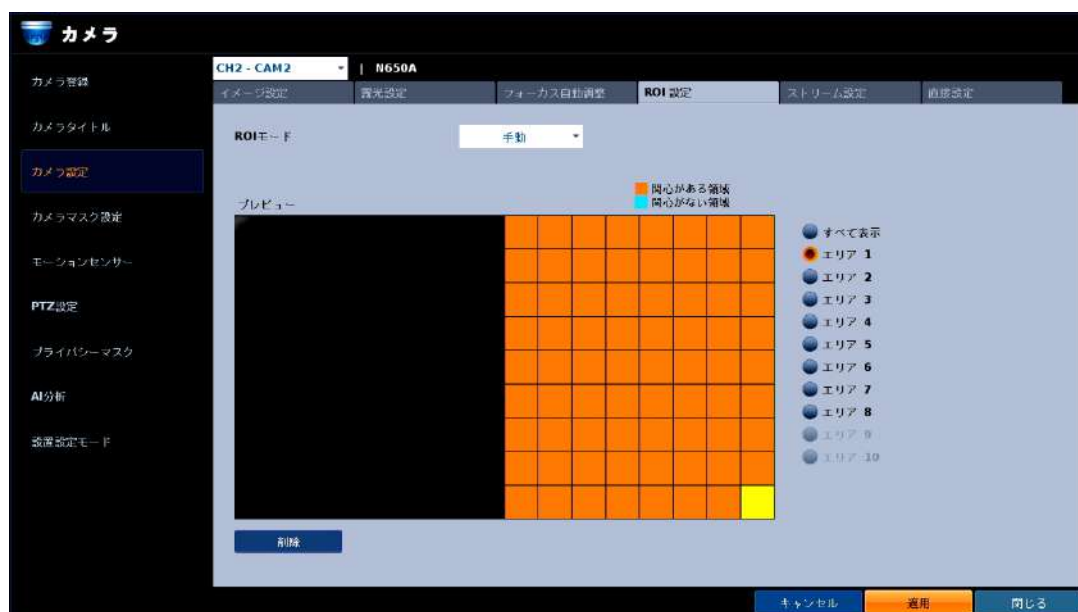


カメラ映像を調整する(つづき)

3. 「関心がある領域」をクリックします。

※選択したエリアがオレンジ色で表示されます。

また、「関心がない領域」を選択した場合は、青色で表示されます。



4. 設定するエリアが複数ある場合は、エリア 2 以降を選択して手順 2～3 をそれぞれ実施してください。
5. 設定したエリアを削除する場合は、削除したいエリア番号を選択し、「削除」をクリックします。
※「すべて表示」を選択した状態で「削除」を実行すると、すべてのエリア設定が初期化されます。
6. 設定後、「適用」をクリックして完了です。

カメラ映像を調整する(つづき)

【 ストリーム設定 】

➤ メニュー ＞ システム設定 ＞ カメラ ＞ 映像設定 ＞ ストリーム設定タブ



接続中のカメラのストリーム設定値を調整できます。

※ご使用のカメラによっては設定できない項目があります。

ストリーム設定メニューの項目

項目	説明
CH	設定するカメラ CH を選択します。
コーデック	ストリームのコーデックを選択します。
解像度	カメラの出力解像度を選択します。
最大 FPS	カメラの出力最大フレームレートを選択します。
ビットレート制御	カメラの出力ビットレートモードを選択します。
最大ビットレート(kbps)	カメラの最大出力ビットレート値を設定します。
最小ビットレート(kbps)	カメラの最小出力ビットレート値を設定します。

3.1.4 ライブ映像を非表示にする

➤ メニュー 〉 システム設定 〉 カメラ 〉 カメラマスク設定



特定のユーザーグループに対して各 CH のライブ映像を非表示にすることができます。

カメラマスク設定メニューの項目

項目	説明
ADMIN	〈 オン 〉にした CH は、ADMIN グループのユーザーは映像を見ることはできません。
MANAGER	〈 オン 〉にした CH は、MANAGER グループのユーザーは映像を見ることはできません。
USER	〈 オン 〉にした CH は、USER グループのユーザーは映像を見ることはできません。
ログアウト	〈 オン 〉にした CH は、本機がログアウト状態の時は映像を見ることはできません。
画面表示	マスク中の CH のライブ画面上での表記を設定します。 〈 映像入力なし 〉の場合は、「映像入力なし」と表示します。 〈 マスク 〉の場合は、「マスク」と表示します。

※ 各権限の欄をクリックすると、全ての CH を同じ設定にすることができます。

設定変更後は、「適用」をクリックしてください。

3.1.5 モーション感度・領域を設定する

➤ メニュー 〉 システム設定 〉 カメラ 〉 モーションセンサー 〉 有効タブ



CH ごとにモーション(動き)の感度や検知領域を設定できます。

※ご使用のカメラによって設定できない項目があります。

モーションセンサー設定メニューの項目

項目	説明
有効	〈 オン 〉にすると、モーション検知機能が有効になります。
モーションを表示	〈 オン 〉にすると、モーション検知中にライブ画面上にアイコンを表示します。

エリア設定タブにて、モーション検知を行う領域を設定します。

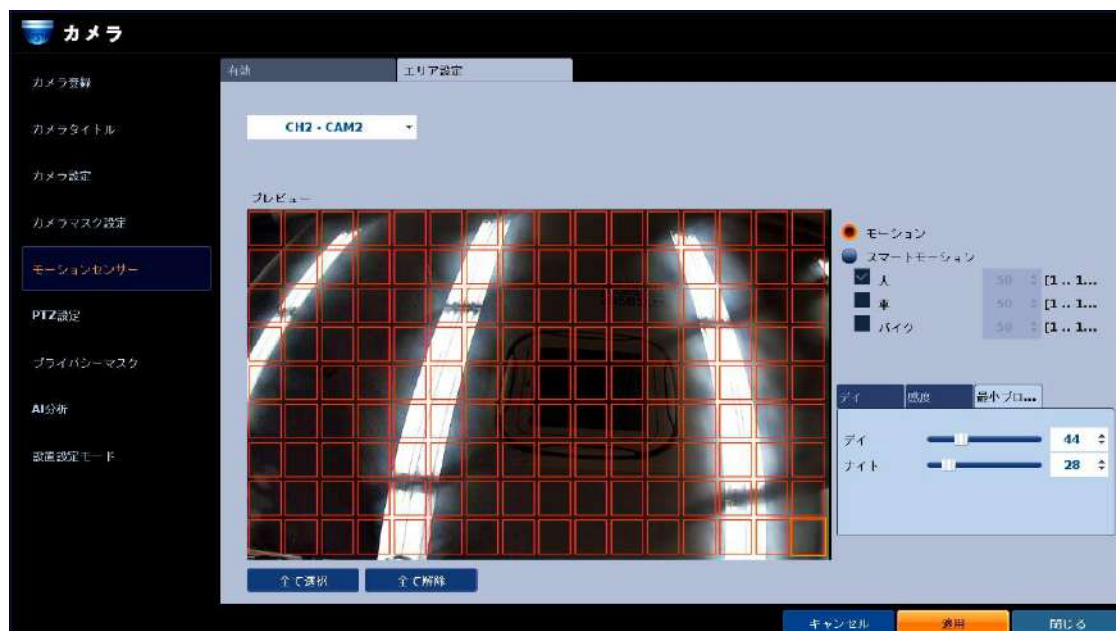
詳しくは、次ページをご覧ください。

設定変更後は、「適用」をクリックしてください。

モーション感度・領域を設定する(つづき)

【 エリア設定 】

モーション検知エリアの設定やモーション検知感度を設定できます。



感度設定メニューの項目

項目	説明
CH	設定を行うカメラ CH を選択します。
モーション	通常のモーション検知モードの有効/無効を選択します。 「スマートモーション」を有効中は使用できません。 検知エリアの設定については、「領域編集設定(p.83)」をご覧ください。
スマートモーション	映像分析によるモーション検知モードの有効/無効を選択します。 映像の内、人・車・バイクを識別してモーション検知を行います。 「モーション」を有効中は使用できません。 - 人：映像内の人が動いた場合のみモーション検知を行います。数値が高い程、検知感度がよくなります。 - 車：映像内の車が動いた場合のみモーション検知を行います。数値が高い程、検知感度がよくなります。 - バイク：映像内のバイクが動いた場合のみモーション検知を行います。数値が高い程、検知感度がよくなります。 検知エリアの設定については、「領域編集設定(p.83)」をご覧ください。
デイ	デイ(昼間)と定義する時間帯を設定します。
感度	デイ(昼間)とナイト(夜間)それぞれのモーション検知感度を設定します。 数値が大きい程、感度がよくなります。

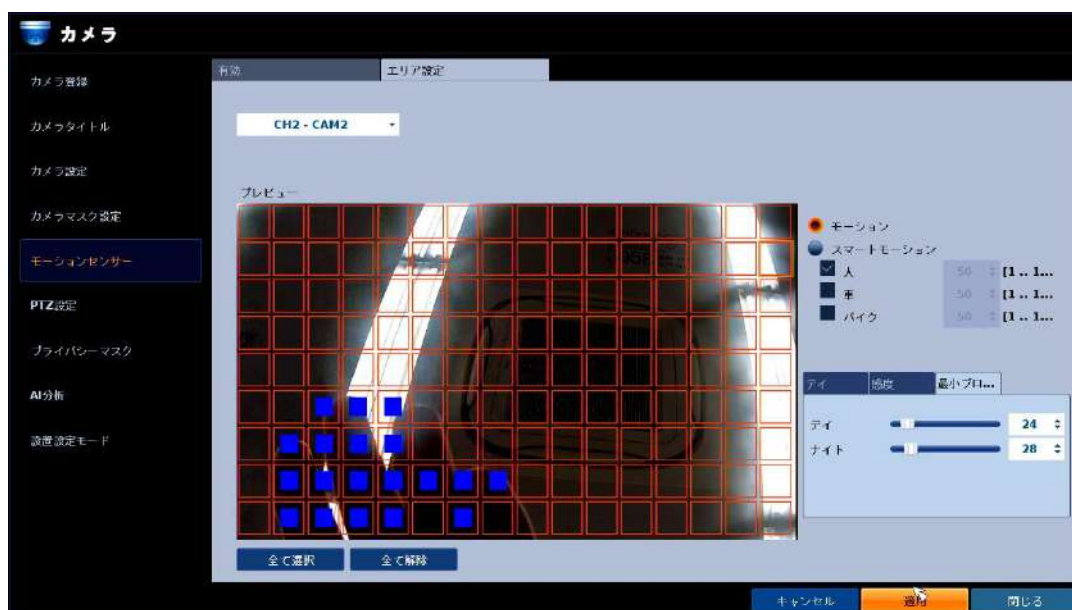
モーション感度・領域を設定する(つづき)

項目	説明
最小ブロック数	動きを検知する際の必要なブロック数を設定します。 数値が小さいほど動きを少ない数の検知したブロック数でモーション検知を行います。

【 領域編集設定 】

モーションを検知するエリアを自由に設定することができます。

1. プレビュー画面上でドラッグ&ドロップ操作して、モーション検知エリアを選択します。
「全て選択」をクリックすると全領域を一括で選択状態にします。
「全て解除」をクリックすると全領域を一括で選択状態を解除します。
2. 色付きブロックが、モーション検知が有効となるエリアです。
※ 動きを検知したエリアは、青色で表示します。



3. 設定変更後、「適用」をクリックして完了です。

モーション感度・領域を設定する(つづき)

〈〈 映像解析によるモーション検知の使用上の注意 〉〉

本機能をご利用になる前に「映像解析機能に関する注意事項(p.16)」をご覧ください。

下記の撮影環境で本機能を使用した場合、誤検知する場合があります。

- 暗い環境の場合
- 撮影環境の明るさの変化が激しい場合
- 影が発生する場合
- 木や植物が風に揺れる場合
- 川、湖、ビルの窓、鏡などのように反射が移る環境の場合
- カメラの AGC や IRIS 動作により明るさが変化した場合
- 背景と明るさの差が小さい被写体が移動する場合
- 台風、雪、雨のような悪天候の場合
- 被写体のサイズ変化量が大きい場合
- 木のような障害物の背後を被写体が通過した場合
- 動きが少ない場合
- 被写体の動きが速い場合
- 移動する物体が多く、背景との識別が難しい場合(例:通勤時間の地下鉄乗り場)
- カメラの揺れによる映像のぶれがある場合
- 撮影領域に点滅する光がある場合
- カメラレンズの汚れなどによりフォーカスが合わない場合

3.1.6 PTZ 設定

➤ メニュー 〉 システム設定 〉 カメラ 〉 PTZ 設定

CH	RS485	ID	プロトコル	ボーレート
1 CAM1	☐	0	PELCO-D	9600
2 CAM2	☐	0	PELCO-D	9600
3 CAM3	☐	0	PELCO-D	9600
4 CAM4	☐	0	PELCO-D	9600
5 CAM5	☐	0	PELCO-D	9600
6 CAM6	☐	0	PELCO-D	9600
7 CAM7	☐	0	PELCO-D	9600
8 CAM8	☐	0	PELCO-D	9600
9 CAM9	☐	0	PELCO-D	9600
10 CAM10	☐	0	PELCO-D	9600
11 CAM11	☐	0	PELCO-D	9600
12 CAM12	☐	0	PELCO-D	9600
13 CAM13	☐	0	PELCO-D	9600
14 CAM14	☐	0	PELCO-D	9600
15 CAM15	☐	0	PELCO-D	9600
16 CAM16	☐	0	PELCO-D	9600

本機に RS-485 制御の PTZ カメラを接続した場合、以下の設定を行います。

※ PTZ カメラ側の設定値と同じになるように設定してください。

PTZ 設定メニューの項目

項目	説明
RS485	RS485 にて制御を行う場合は、チェックを入れてください。
アドレス	PTZ カメラの ID を設定します。(0 ～ 255)
プロトコル	PTZ カメラのプロトコル(カメラモデル名)を選択します。 << 注意 >> お使いのカメラによっては制御できない項目がある場合があります。
ボーレート	PTZ カメラのボーレート(通信速度)を選択します。

設定変更後は、「適用」をクリックしてください。

3.1.7 プライバシーマスクを表示する

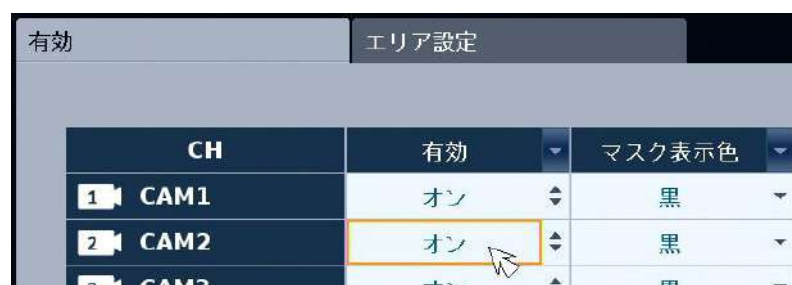
➤ メニュー 〉 システム設定 〉 カメラ 〉 プライバシーマスク



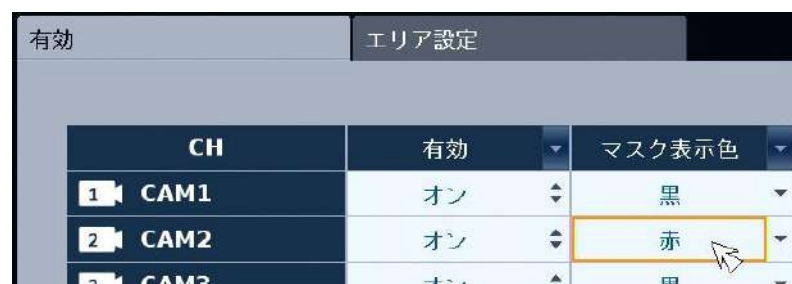
プライバシー保護のため、各 CH のカメラ映像の一部にマスク(目隠し)をかけることができます。
※ご使用のカメラによって設定できない場合があります。

下記手順にそって、マスク機能を設定してください。

1. マスク機能を有効にしたい CH の「有効」欄を「オン」に設定します。



2. 「マスク表示色」欄で任意の色を選択し設定します。
例：「赤」の場合は、マスクエリアが赤色で表示されます。



プライバシーマスクを表示する(つづき)

3. 画面右下<適用>をクリックして、設定を保存します。

4. <エリア設定>タブをクリックします。

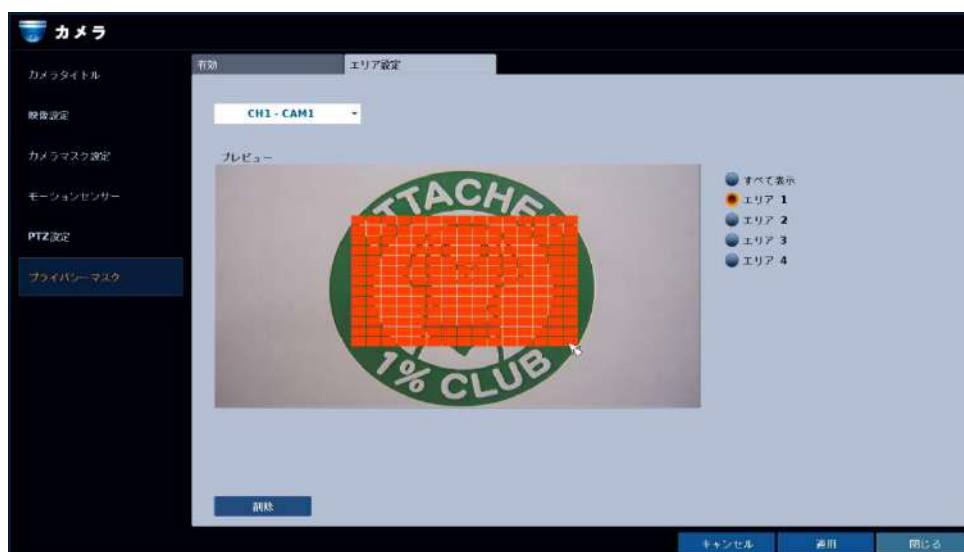


5. 設定するカメラ CH を選択します。



6. 画面右<エリア 1~4>から選択し、プレビュー画面上にてドラッグドロップ操作でマスクエリアを設定します。

※マスクエリアは、色付きブロックで表示されます。



設定したエリアを削除する場合は、エリアを選択し、<削除>をクリックしてください。

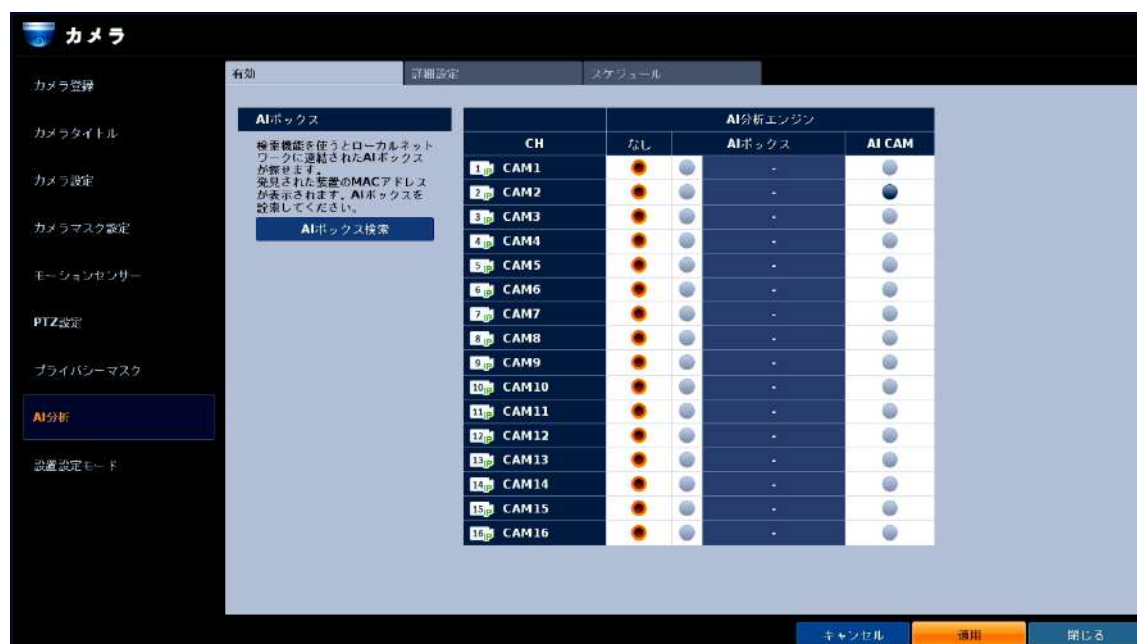
7. 設定が完了したら、<適用>をクリックして完了です。

適用後、ライブ画面上にマスクエリアが表示されます。



3.1.8 AI 分析

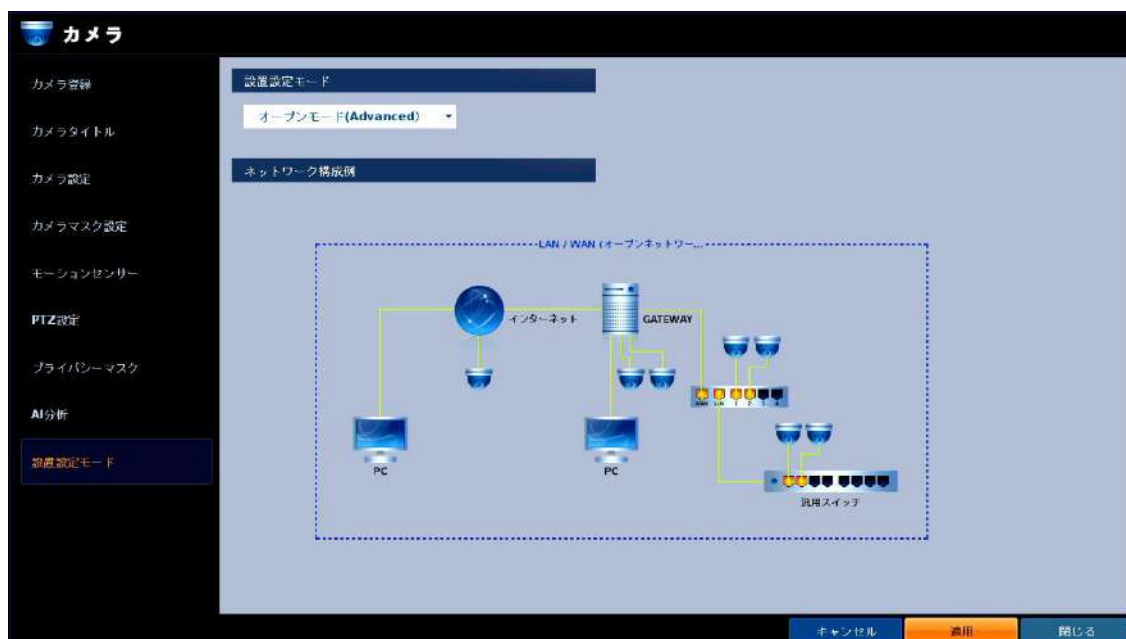
➤ メニュー 〉 システム設定 〉 カメラ 〉 AI 分析



現在のバージョンではサポートしていません。

3.1.9 設置設定モードを切り替える

➤ メニュー 〉 システム設定 〉 カメラ 〉 設置設定モード



ネットワーク運用モードを切り替えることができます。

設置設定モードメニューの項目

項目	説明
----	----

本機を外部ネットワークに接続して運用する場合は、
「オープンモード(Advanced)」でご利用ください。

ローカル内でのみの利用の場合は、「CCTV モード」でご利用ください。

※設置設定モードを切り替えて運用する場合は、本機の再起動が必要です。

設置設定モード



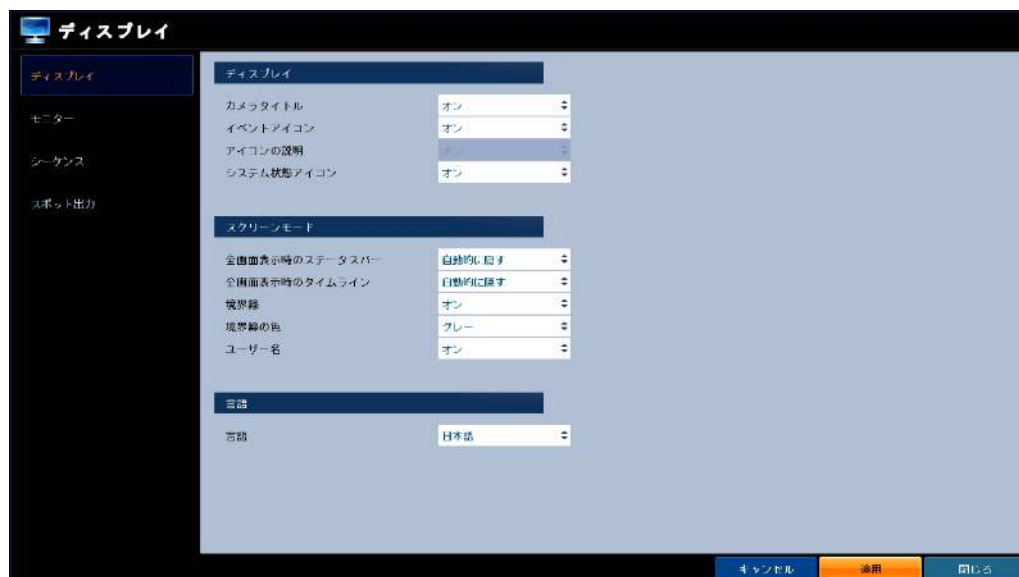
「実行」をクリックすると、再起動を行い、モードが切り替わります。

設定変更後は、「適用」をクリックしてください。

3.2 ディスプレイ

3.2.1 ライブ画面の OSD 表示を編集する

メニュー ＞ システム設定 ＞ ディスプレイ ＞ ディスプレイ



ライブ画面上のアイコン表示や言語設定の変更ができます。

ディスプレイ設定メニューの項目

項目	説明
カメラタイトル	カメラタイトルの表示の有効(オン)/無効(オフ)を選択します。
イベントアイコン	イベントアイコンの表示の有効(オン)/無効(オフ)を選択します。
アイコンの説明	ライブ画面(9 分割表示中)に各種アイコンの説明が表示されます。 ※KB-IRIP08A / KB-IRIP16A のみの機能です。
システム状態アイコン	ライブ画面にてアラームステータス、ネットワークステータス、HDD ステータスのアイコンの表示の有効(オン) / 無効(オフ)を選択します。
全画面表示時のステータスバー	ライブ画面でステータスバーを表示させる時間を設定します。 (自動的に隠す/常にオン/ 5 秒/ 10 秒/15 秒/20 秒/30 秒/1 分)
全画面表示時のタイムライン	ライブ画面でタイムラインを表示させる時間を設定します。 (自動的に隠す/常にオン/ 常にオフ)
デジタルズーム時のワイプ画面	デジタルズーム画面の右下に表示されるウィンドウ表示を自動的に隠すか、常に表示するかを設定します。(常にオン/1 秒/3 秒/5 秒)
境界線	各 CH 間の境界線の表示(オン)/非表示(オフ)を選択します。
境界線の色	各 CH 間の境界線の色を選択します。(グレー/黄/青/緑/赤/白)
ユーザー名	ログイン中のユーザー名の表示の有効(オン)/無効(オフ)を選択します。
言語	システムの表示言語を選択します。

3.2.2 画面切替え時間/モニター出力解像度を設定する

➤ メニュー 〉 システム設定 〉 ディスプレイ 〉 モニター



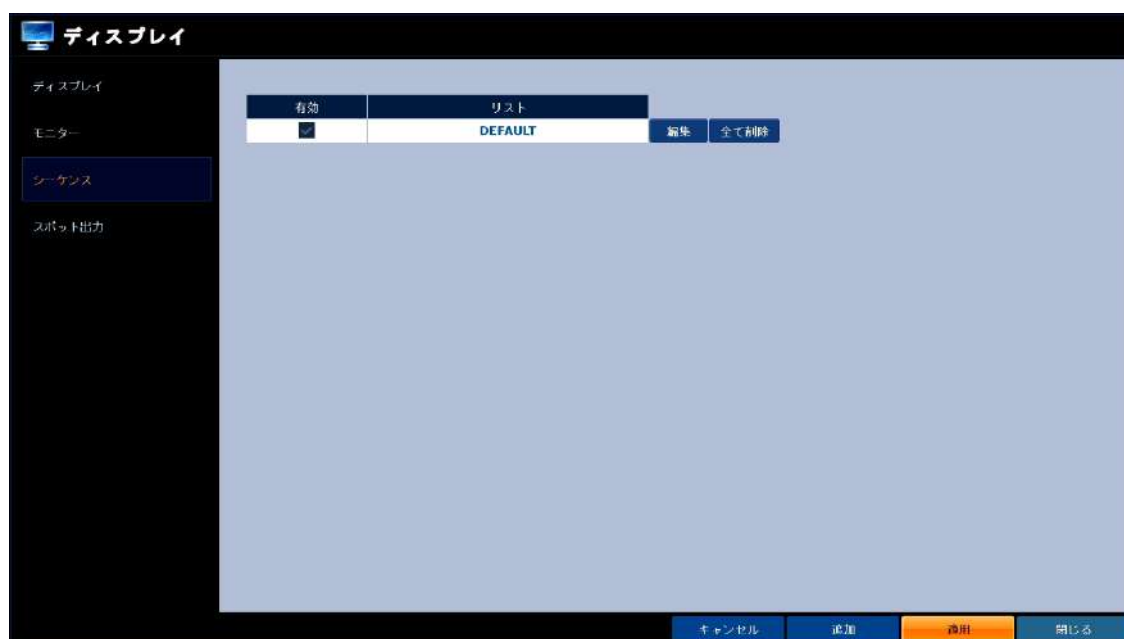
メイン/スポットモニターの画面切替え時間を設定することができます。

モニター設定メニューの項目

項目	説明
シーケンス切替時間	メインモニター側の画面切替え時間を設定します。 (3 秒/5 秒/ 10 秒/15 秒/20 秒/30 秒/40 秒/60 秒)
スポット画面切替時間	メインモニターでの表示パターンの設定については、 「3.2.3 シーケンス表示パターンを編集する(p.92)」をご覧ください。 スポットモニター側の画面切替え時間を設定します。 (3 秒/5 秒/ 10 秒/15 秒/20 秒/30 秒/40 秒/60 秒)
モニター解像度	メインモニターへ出力する解像度を設定します。 (自動/1920×1080/1280×720/1280×1024) ※4K および 400 万画素のモニターに接続する際は、「自動」を選択してください。 << 注意 >> 設定値を適用する際、本機が一度再起動しますのでご注意ください。 「適用」ボタンを押した後下記メッセージが表示されたら「OK」をクリックしてください。

3.2.3 シーケンス表示パターンを編集する

➤ メニュー › システム設定 › ディスプレイ › シーケンス



メインモニター側のライブ画面にてシーケンス表示を行う場合の表示パターンを設定できます。

※初期設定では、各 CH を順番に 1 画面表示する〈 DEFAULT 〉が登録されています。

なお DEFAULT は、削除できません。

シーケンス設定メニューの項目

項目	説明
有効	シーケンス表示機能の有効(オン) / 無効(オフ)を表示します。 有効にできるシーケンスパターンは 1 つのみです。 有効/無効の設定は、〈 編集 〉で行います。
リスト	シーケンスパターンを一覧で表示します。 パターン名の変更は、〈 編集 〉で行います。
編集	リストを追加する場合は、画面右下の「追加」をクリックしてください。 →詳細は、「リストを追加するには(p.93)」をご覧ください。
全て削除	シーケンスのレイアウトやリストに表示する名前の変更などを行います。 →詳細は、「リストを追加するには(p.93)」をご覧ください。
	登録済みのシーケンスを一括で削除します。 ※「DEFAULT」は削除できません。

シーケンス表示パターンを編集する(つづき)

【 リストを追加するには 】

以下の手順で、新しくシーケンスパターンを追加することができます。

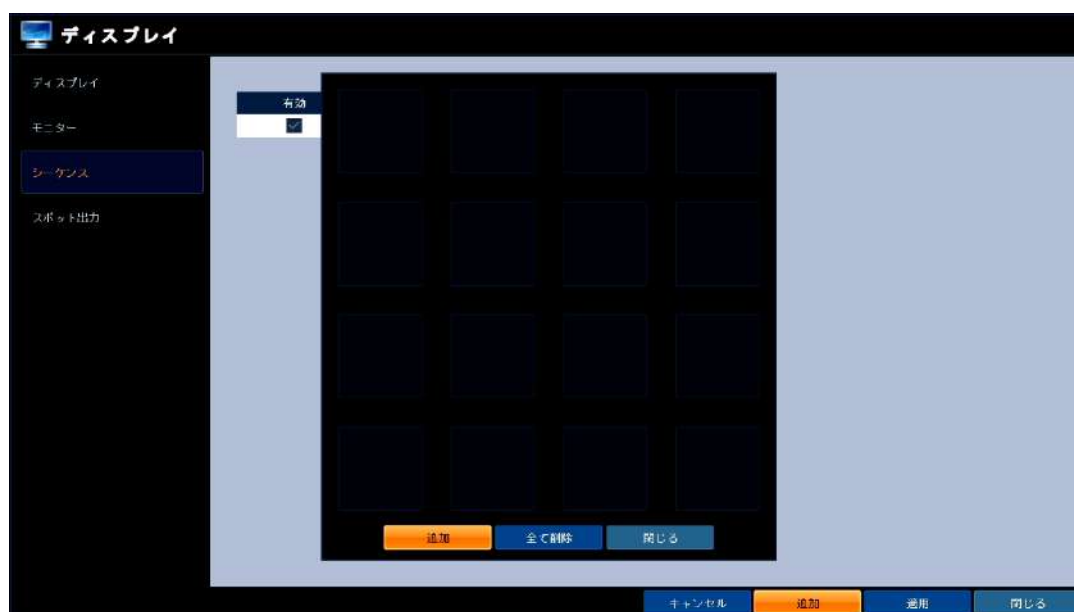
1. 画面右下の「追加」をクリックします。



2. 「シーケンス」欄をダブルクリックし、リスト上に表示する名前を設定します。
また、追加したシーケンスを使用する場合は、「有効」欄を「オン」に設定します。
設定後は、「保存」をクリックします。



3. 「保存」をクリックすると、新しく表示レイアウト画面が表示されます。
レイアウト画面表示後、「追加」をクリックします。



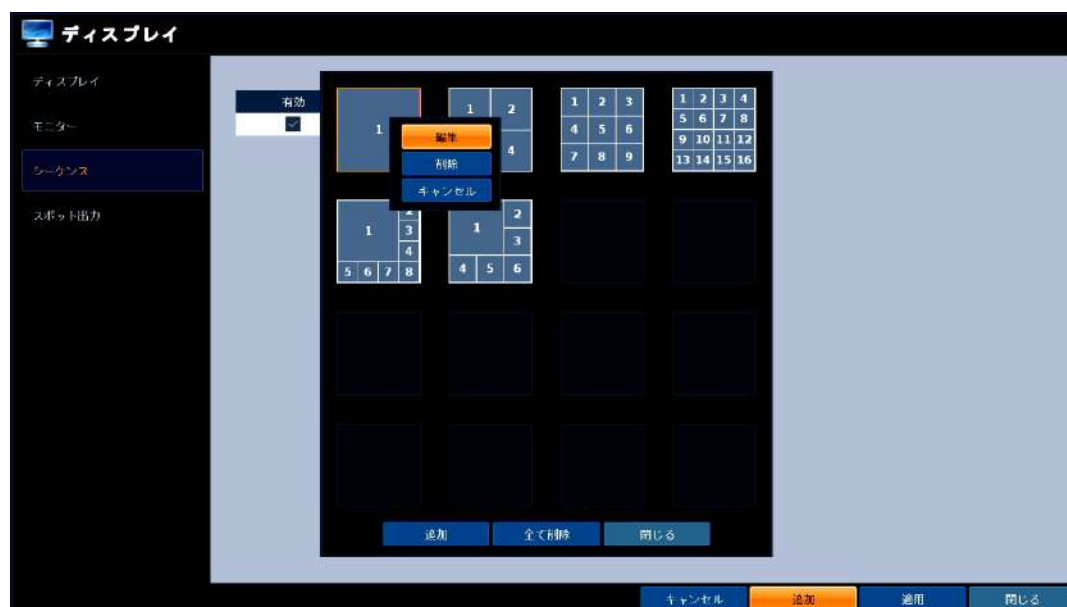
シーケンス表示パターンを編集する(つづき)

【リストを追加するには(つづき)】

4. 〈ビューアーモード〉の中から、表示する画面の分割モードを選択し、〈確認〉をクリックします。
分割画面の場合は、〈画面配置〉の左右の矢印をクリックして、CHのレイアウトを指定します。



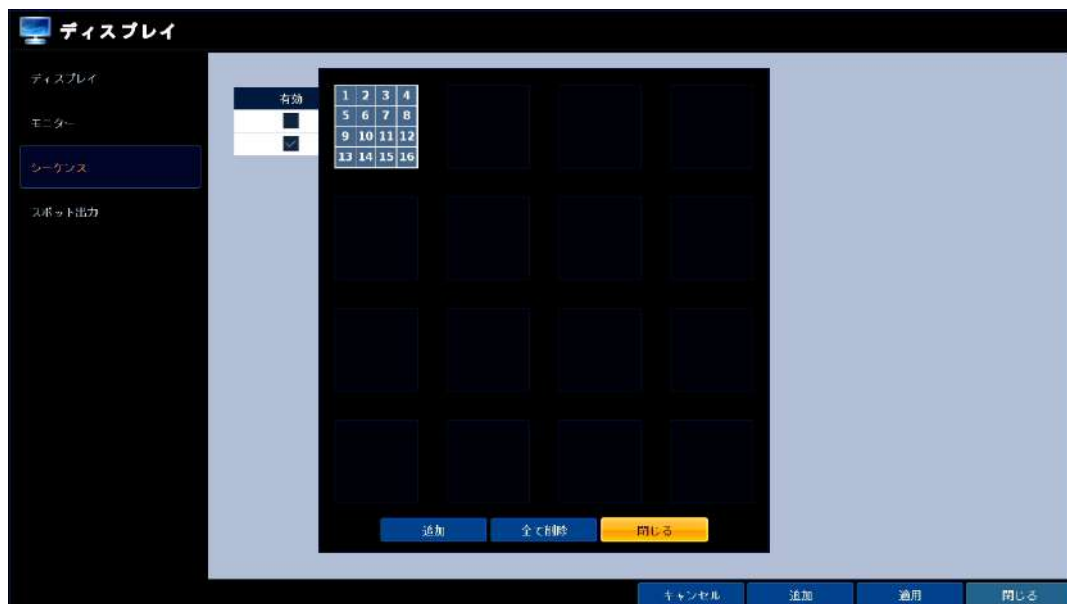
5. レイアウト画面に表示タイルが表示されます。
複数追加する場合は、続けて〈追加〉をクリックして登録を行ってください。
〈全て削除〉をクリックすると、追加済みの表示タイルを一括で削除します。
個別に再編集・削除したい場合は、表示タイルを右クリックしてクイックメニューから編集・削除を行ってください。



シーケンス表示パターンを編集する(つづき)

6. < 閉じる >をクリックします。

シーケンスリスト一覧に追加されているのを確認します。



< 編集 >をクリックすると、編集画面が表示されます。

編集画面からシーケンスパターンの変更やリストからの削除を行うことができます。

シーケンス表示パターンを編集する(つづき)

〈 編集 〉をクリックすると、編集画面が表示されます。

編集画面からシーケンスパターンの変更やリストからの削除を行うことができます。



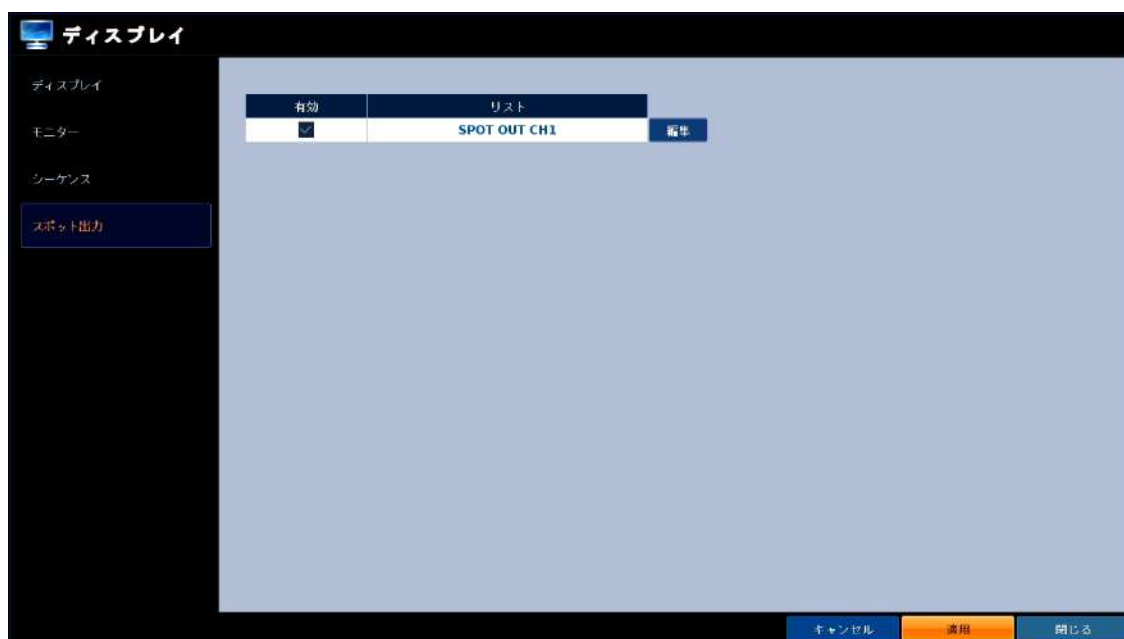
7. 〈 適用 〉をクリックし、操作は完了です。

ライブ画面上にてシーケンスアイコンをクリックすると、シーケンス表示を開始します。



3.2.4 SPOT OUT モニターの表示パターンを設定する

➤ メニュー 〉 システム設定 〉 ディスプレイ 〉 スポット出力



本機背面にある SPOT 端子から出力する画面の表示パターンを設定できます。

SPOT OUT モニターには、ライブ映像のみが表示されます。

※SPOT OUT 端子の接続については、「1.5.3 SPOT OUT モニターを接続する(p.26)」をご覧ください。

【 SPOT OUT 画面を編集するには 】

1. リスト欄をダブルクリックし、編集画面を表示します。



2. < スポット名 > 欄をダブルクリックすると、リストに表示する名前を変更します。
スポット出力機能を使用する場合は、< 有効 > 欄を< オン > に設定します。

SPOT OUT モニターの表示パターンを設定する(つづき)

【 SPOT OUT 画面を編集するには(つづき) 】

3. < 編集 >をクリックすると、表示レイアウト画面が表示されます。
新しく表示タイルを追加する場合は、< 追加 >をクリックします。
すでに登録されている表示タイルを編集する場合は、表示タイルを右クリックし
< 編集 >をクリックします。



※ 表示タイルを削除する場合は、表示タイルを右クリックし、< 削除 >をクリックします。
< 全て削除 >をクリックすると、追加済みの表示タイルを一括で削除します。

4. < ビューアーモード >の中から、表示する画面の分割モードを選択します。
分割画面の場合は、< 画面配置 >の左右の矢印をクリックして、CH のレイアウトを指定できます。



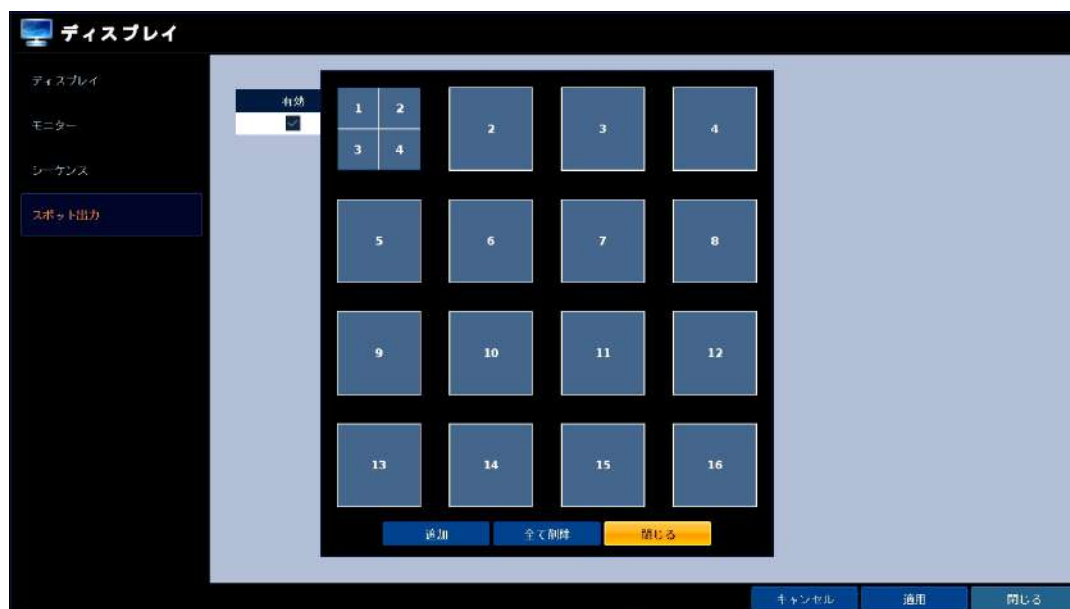
5. < 確認 >をクリックします。
上記 3～4 を繰り返して表示パターンを作成します。

SPOT OUT モニターの表示パターンを設定する(つづき)

【 SPOT OUT 画面を編集するには(つづき) 】

6. 表示パターンを設定後、〈 閉じる 〉をクリックします。

適用後、SPOT OUT モニター側に設定した表示パターンでライブ映像を出力します。



7. 〈 適用 〉をクリックして、操作は完了です。

3.3 音声

3.3.1 スピーカーから音声を出力する

➤ メニュー 〉 システム設定 〉 音声 〉 音声



ライブ音声出力やネットワーク音声双方向通信を設定できます。

音声設定メニューの項目

項目	説明
音声出力タイプ	音声出力を RCA 端子から出力するか、HDMI ケーブルに重畳して出力するかを設定します。(RCA/HDMI)
初期ライブ音声 CH	ライブ画面で出力する音声の初期 CH を指定します。(オフ/音声 1～16)
ネットワーク音声送信	遠隔監視時、クライアント PC への音声送信の有効(オン)/無効(オフ)を設定します。
ネットワーク音声受信	遠隔監視時、クライアント PC からの音声受信の有効(オン)/無効(オフ)を設定します。

設定変更後は、「適用」をクリックしてください。

ライブ音声出力の手順については、次ページをご覧ください。

スピーカーから音声出力する(つづき)

【ライブ映像の音声出力するには】

1. 本機背面の< AUDIO IN/OUT >端子にマイク及びスピーカーを接続します。
本機とマイク/スピーカーの接続については、「1.5.7 音声機器を接続する(p.35)」をご覧ください。
2. メニュー > システム設定 > 音声 > 音声 の順にクリックし、< 音声出力タイプ >を選択します。



RCA ... RCA 端子ケーブルを使用してスピーカーから出力する場合

HDMI ... HDMI ケーブルに映像と重畳させて出力する場合

3. 出力タイプを選択後、< 適用 >をクリックします。
4. ライブ画面にて、< 音声出力 >アイコンをクリックし、出力したい音声 CH を選択します。

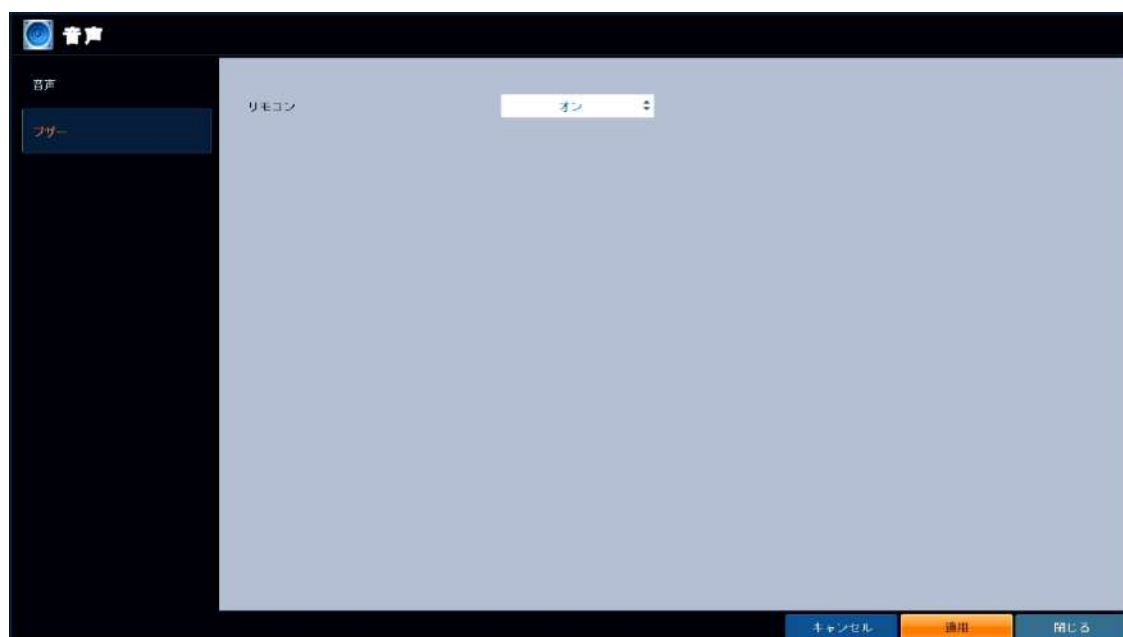


例：本機背面の< AUDIO IN 16 >端子にマイクを接続している場合は、< 音声 16 >を選択します。

5. 出力 CH 選択後、スピーカーからライブ音声出力されます。
※ライブ音声出力されない場合は、下記項目をご確認ください。
 - 本機とスピーカーが正しく接続されているか
 - スピーカーのボリュームが小さくないか
 - 音声出力タイプが正しく設定されているか
 - お使いのモニターが音声出力に対応しているか

3.3.2 リモコン操作音を消す

➤ メニュー 〉 システム設定 〉 音声 〉 ブザー



リモコン操作時の確認音をミュートにできます。

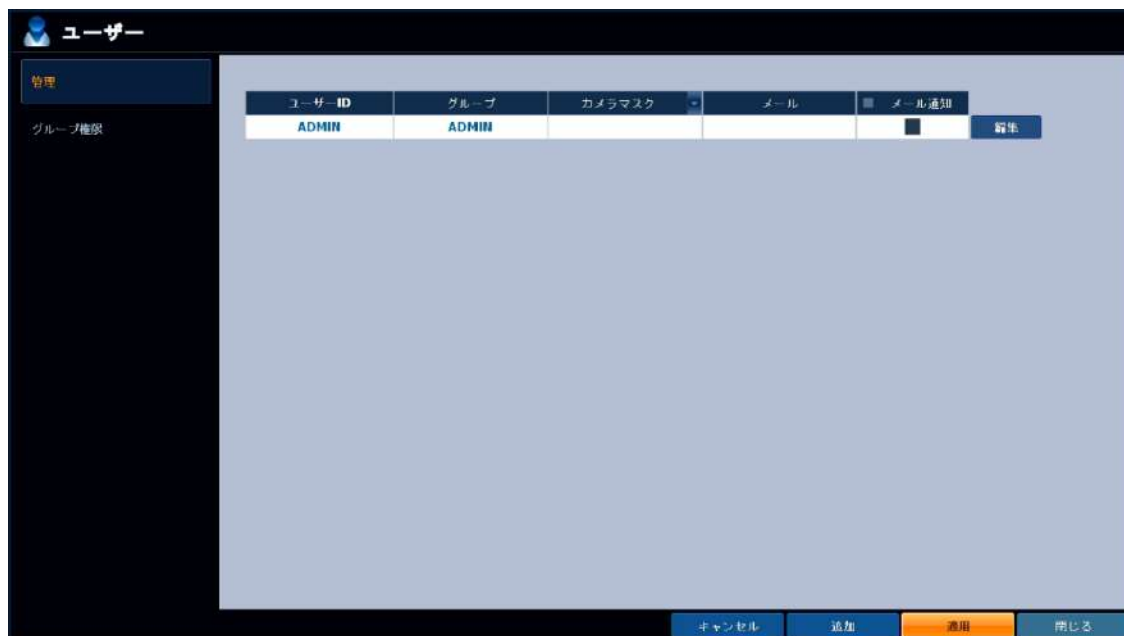
ブザー設定メニューの項目	
項目	説明
リモコン	リモコン操作時にブザー音を鳴らす(オン)または、鳴らさない(オフ)を選択します。

設定変更後は、「適用」をクリックしてください。

3.4 ユーザー

3.4.1 アカウント情報を追加・編集する

➤ メニュー > システム設定 > ユーザー > 管理

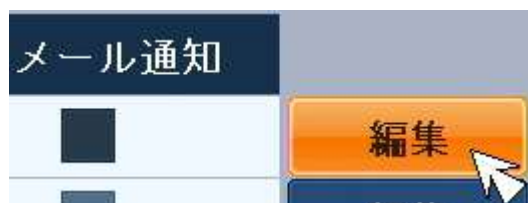


アカウントの新規登録やパスワードを編集することができます。

1. < 追加 >をクリックします。



既に登録したアカウントを編集する場合は、< 編集 >をクリックします。



アカウント情報を追加・編集する(つづき)

2. 各項目をダブルクリックして設定値を入力します。

追加

ユーザーID: user1

パスワード: ****

グループ: ADMIN

メール: test@kbdevic...

メール通知: オフ

カメラマスク

☐ すべて

☐ 1 ☐ 2 ☐ 3 ☐ 4

☐ 5 ☐ 6 ☐ 7 ☐ 8

☐ 9 ☐ 10 ☐ 11 ☐ 12

☐ 13 ☐ 14 ☐ 15 ☐ 16

OK キャンセル

項目	説明
ユーザーID	登録するアカウント名を入力します。 ユーザーID 設定ルールを変更している場合は、設定値に条件が付与されます。詳細は、「3.6.10 パスワードの設定条件を強化する(p.141)」をご覧ください。
パスワード	ログインパスワードを入力します。 ※パスワードは定期的に変更してください。 パスワードの変更については、「3.4.3 パスワードを変更する(p.3-36)」をご覧ください。 パスワード設定ルールを変更している場合は、設定値に条件が付与されます。詳細は、「3.6.10 パスワードの設定条件を強化する(p.141)」をご覧ください。
グループ	作成するアカウントのグループを選択します。 ※グループ権限によって操作可能な内容が異なります。 グループ権限の設定については、「3.4.4 アカウントの操作権限を設定する(p.109)」をご覧ください。
メール	イベントメールなどのメール送信先アドレスを入力します。 また、ログインパスワードを忘れた場合の認証コード送信先のアドレスとしても使用します。 ※認証コードについては、「1.7.2 ログインパスワードを忘れたら(p.44)」をご覧ください。
メール通知	メール送信機能の有効/無効を選択します。 有効にする場合は、< オン >を選択してください。
カメラマスク	ライブ画面で閲覧させない CH を選択します。 チェックを入れた CH が閲覧不可能になります。 < すべて >を選択すると全 CH が閲覧不可能となります。

アカウント情報を追加・編集する(つづき)

3. <適用>をクリックして操作完了です。

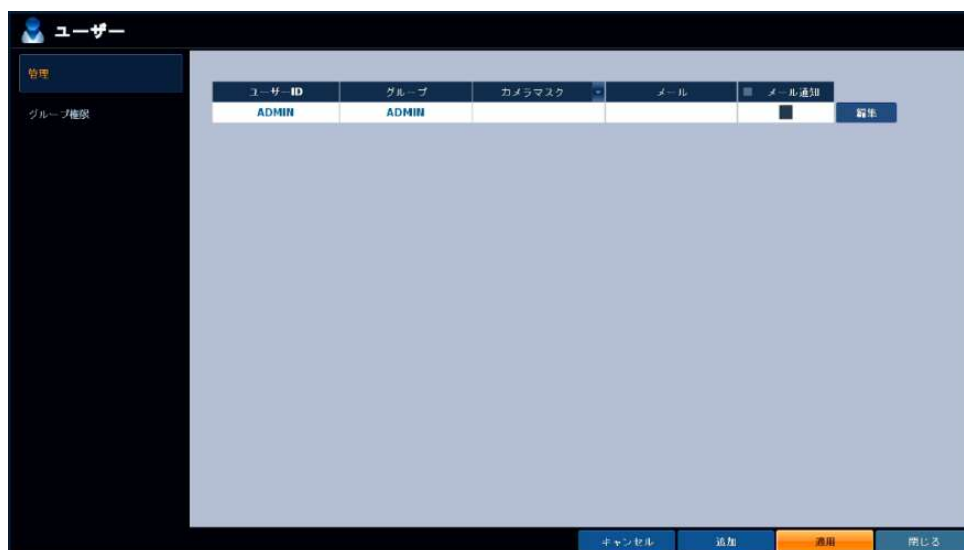
適用後は、アカウントリストに新しく作成した情報が追加表示されます。



ユーザーID	グループ	カメラマスク	メール	メール通知		
ADMIN	ADMIN			☐	編集	
user1	MANAGER		test@kbdevice.com	☐	編集	削除

3.4.2 登録したアカウントを削除する

➤ メニュー＞システム設定＞ユーザー＞管理



登録済みのアカウント情報を削除します。

ただし、＜ADMIN＞は削除できません。

1. 削除したいアカウント行の＜削除＞をクリックします。



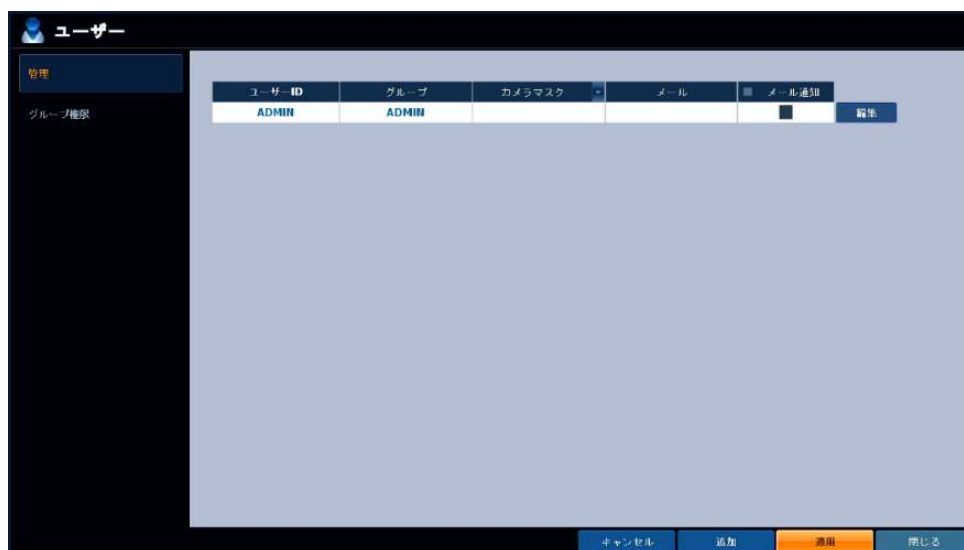
2. 削除後、＜適用＞をクリックして操作完了です。
適用後は、アカウントリストから消去されます。



ユーザーID	グループ	カメラマスク	メール	メール通知	編集
ADMIN	ADMIN			☐	

3.4.3 パスワードを変更する

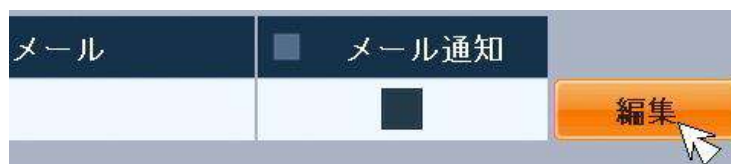
➤ メニュー＞システム設定＞ユーザー＞管理



各アカウントのパスワードを変更します。

パスワードは定期的に変更し、メモとるなど忘れないよう管理を行ってください。

1. 変更したいアカウント行の「編集」をクリックします。



2. 編集画面のうち、「パスワード」をダブルクリックし、現在のパスワードを入力します。



パスワードを変更する(つづき)

3. 新しいパスワードと確認用のパスワードを入力します。



パスワード変更	
ユーザーID	ADMIN
新しいパスワード	*****
新しいパスワードの確認	*****
適用 キャンセル	

パスワード設定ルールを変更している場合は、設定値に条件が付与されます。
詳細は、「3.6.10 パスワードの設定条件を強化する(p.141)」をご覧ください。

4. 再設定後、< 適用 >をクリックして操作完了です。
以降は、新しく設定したパスワードでログインを行ってください。

3.4.4 アカountの操作権限を設定する

➤ メニュー 〉 システム設定 〉 ユーザー 〉 グループ権限



＜管理＞にて＜MANAGER＞または＜USER＞のグループで作成したアカウントの操作権限を設定することができます。

以下の項目の操作を制限することができます。

チェックを外した項目は、その権限では操作ができなくなります。

ADMIN 以外のアカウント権限の設定間違いには十分ご注意ください。

グループ権限設定メニューの項目

項目	説明
サーチ	過去映像の検索を行う権限です。
バックアップ	映像のバックアップを行う権限です。
システム設定	システム設定の変更を行う権限です。
録画設定	録画設定の変更を行う権限です。
イベント動作の制御	アラーム等のイベント発生時にアラーム出力やブザー制御を行う権限です。
音声出力	カメラの音声を聞く権限です。
リモートログイン	ネットワークから本機に遠隔接続を行う権限です。
シャットダウン	本機をシャットダウンする権限です。

設定変更後は、「適用」をクリックしてください。

3.5 ネットワーク

3.5.1 ネットワークアドレス(IPv4)を設定する

➤ メニュー › システム設定 › ネットワーク › IP 設定 › IPv4 タブ



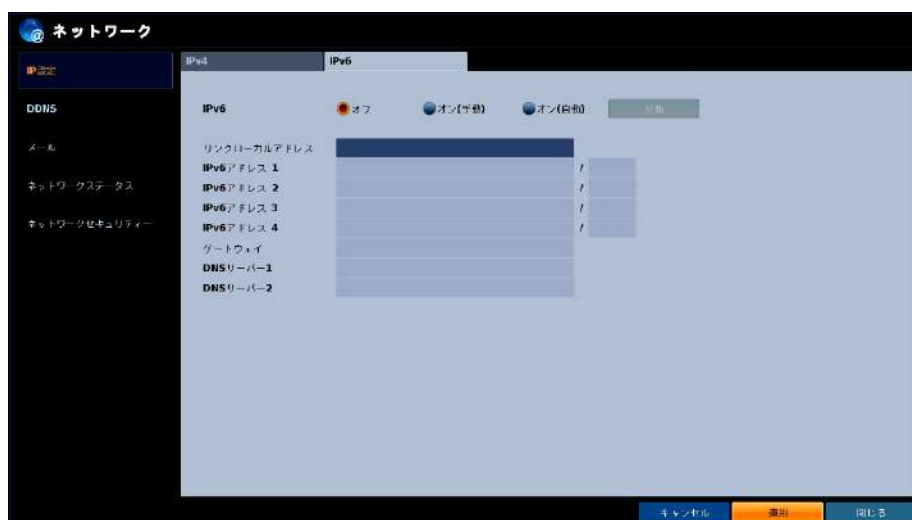
本機のネットワークステータス(IPv4)を設定できます。

IP 設定メニュー(IPv4)の項目

項目	説明
DHCP	チェックを入れると、利用可能な IP アドレスを自動取得します。 チェックを入れてない場合は、〈 更新 〉はクリックすることはできません。
IPv4 アドレス	固定 IP アドレスを使用する際は、ここに IP アドレスを入力します。
ゲートウェイ	固定 IP アドレスを使用する際は、ここにゲートウェイを入力します。
サブネットマスク	固定 IP アドレスを使用する際は、ここにサブネットマスクを入力します。
DNS サーバー1	固定 IP アドレスを使用する際は、ここに優先 DNS サーバーを入力します。
DNS サーバー2	固定 IP アドレスを使用する際は、ここに代替 DNS サーバーを入力します。
自動ポートアップデート	使用しません。
自動ポートステータス	使用しません。
RTSP ポート	ネットワークストリーミングに使用するポート番号を指定します。 ※同一ネットワーク内の他機器の設定と重複しないようにご注意ください。
WEB サーバーポート	WEB ブラウザおよび同梱のクライアントソフトから本機にアクセスする際に 使用するポート番号を指定します。 ※同一ネットワーク内の他機器の設定と重複しないようにご注意ください。
ネットワーク帯域制限	ネットワーク接続時の最大速度を設定します。 選択肢：制限なし / 32Mbps / 16Mbps / 8Mbps / 4Mbps / 2Mbps / 1Mbps 512Kbps / 256Kbps

3.5.2 ネットワークアドレス(IPv6)を設定する

➤ メニュー 〉 システム設定 〉 ネットワーク 〉 IP 設定 〉 IPv6 タブ



本機のネットワークステータス(IPv6)を設定できます。

IP 設定メニュー(IPv6)の項目

項目	説明
IPv6	IPv6 機能の有効/無効を切り替えます。 オン(手動) ... 本機の IPv6 アドレスを手動で設定します。 オン(自動) ... 「更新」をクリックすると、本機の IPv6 アドレスをネットワークサーバーから自動で割り当てられます。 ※ネットワークサーバーとの接続がない場合は、アドレスは設定されません。
リンクローカルアドレス	ネットワークサーバーから割り当てられた IPv6 アドレスが表示されます。 ※「IPv6」にてオン(手動)を選択した場合は、設定できません。
IPv6 アドレス 1~4	本機の IPv6 アドレスを入力します。 ※「IPv6」にてオン(自動)を選択した場合は、設定できません。
ゲートウェイ	ゲートウェイアドレスを入力します。 ※「IPv6」にてオン(自動)を選択した場合は、設定できません。
DNS サーバー1	優先 DNS サーバーアドレスを入力します。 ※「IPv6」にてオン(自動)を選択した場合は、設定できません。
DNS サーバー2	代替 DNS サーバーアドレスを入力します。 ※「IPv6」にてオン(自動)を選択した場合は、設定できません。

【 IPv6 アドレス使用時の注意 】

- WEB ブラウザからは「[http://\[IPv6 アドレス \]:ポート番号 /](http://[IPv6アドレス]:ポート番号/)」で接続できます。
- 外部からIPv6 アドレスで接続する場合、ファイアウォールなどのセキュリティ設定の変更が必要となります。
詳しくは、インターネットサービスプロバイダーまたはルーターの製造元へご確認ください。
- 後述の弊社 DDNS サーバーは、IPv4 アドレス(または IPv4/IPv6 デュアルスタック)にのみ対応します。
- インターネットサービスプロバイダーによって使用可能なポート番号が異なる場合があります。
詳しくは、インターネットサービスプロバイダーへご確認ください。

3.5.3 DDNS サーバーを登録する

➤ メニュー 〉 システム設定 〉 ネットワーク 〉 DDNS



当社指定の DDNS サーバーを使用して、本機の IP アドレスを任意のドメイン名に変換することができます。

DDNS 設定メニューの項目

項目	説明
DDNS	DDNS を利用する場合は「オン」に設定します。
DDNS サーバー	使用する DDNS サーバーが表示されます。 <u>※「dvrlink.net」以外は使用できません。</u> (当社指定のサーバーを使用します。)
レコーダー名	DDNS のドメイン名を入力します。 ※ 初期値は本機の MAC アドレスが入力されています。 <u>DDNS を利用する場合は、入力後に必ず「DDNS 登録テスト」をクリックして下さい。</u> <u>サーバーにホスト名が登録完了すると、「成功」と表示されます。</u>
ユーザー名	使用しません。
パスワード	使用しません。
DVR 接続アドレス	本機のドメイン名が表示されます。 外部からの接続時、IP アドレスがこのドメイン名となります。 <u>DDNS を利用する場合は、入力後に必ず「DDNS 接続テスト」をクリックして下さい。</u>
P2P	P2P 機能を利用する場合は「オン」に設定します。 お使いのスマートフォンで遠隔接続する際に QR コードを使用して接続を容易にできます。

DDNS サーバーを登録する(つづき)

【 DDNS を利用した遠隔接続時の注意】

※例として「レコーダー名」を「kbdevice」と設定した場合、本機の IP アドレスは、「kbdevice.dvrlink.net」に変換されます。

この場合、Internet Explorer でアクセスする時の URL は、<http://kbdevice.dvrlink.net:8080/>となります。
(ポート番号が 8080 の場合)

※ DDNS サービスのご利用について(免責事項)

DDNS サービスのご利用の際は下記の内容に同意したうえでご利用ください。

- ・DDNS サービスのご利用はお客様のもとでご利用ください。
- ・DDNS サービスを利用することにより発生した損害、または第三者に対して損害を与えた場合について当社は一切の責任を負わないものとし、損害賠償する義務はないものとします。

3.5.4 メール送信先を設定する

➤ メニュー 〉 システム設定 〉 ネットワーク 〉 メール

ネットワーク

IP設定

DDNS

メール

ネットワークステータス

ネットワークセキュリティ

サーバー: dc14.ctius.jp

ポート: 587

ネットワークセキュリティ: オン

ユーザー:

パスワード:

テストメールアドレス:

テスト

キャンセル 適用 閉じる

メールサーバー情報を設定することができます。

送信先メールアドレスの登録については、「3.8.2 イベント発生時の各通知手段を設定する【メール】(p.154)」をご覧ください。

メール設定メニューの項目

項目	説明
サーバー	メール送信に使用するメールサーバーを入力します。
ポート	メール送信に使用するポート番号を入力します。
ネットワークセキュリティ	使用するメールサーバーがパスワード認証を必要とする場合、「オン」に設定します。
ユーザー	使用するメールサーバーがパスワード認証を必要とする場合、ユーザーを入力します。
パスワード	使用するメールサーバーがパスワード認証を必要とする場合、パスワードを入力します。
テストメールアドレス	テストメール用の送信先アドレスを入力します。
テスト	「テスト」をクリックすると、上記アドレスにテストメールが送信されます。

3.5.5 ネットワークステータスを確認する

➤ メニュー › システム設定 › ネットワーク › ネットワークステータス



本機を含め、ネットワークの接続状況を確認することができます。

ネットワークステータスの項目

項目	説明
IPv4 アドレス	本機の IPv4 アドレスを表示します。
IPv6 アドレス	本機の IPv6 アドレスを表示します。
MAC アドレス	本機の MAC アドレスを表示します。
DDNS アドレス	本機の DDNS アドレスを表示します。
RTSP ポート	本機の RTSP ポートを表示します。
WEB サーバーポート	本機の WEB サーバーポートが表示されます。
DDNS 更新状況	DDNS 更新の状況が表示されます。
グローバル IP アドレス	本機のグローバル(WAN 側)IP アドレスが表示されます。
P2P	P2P 機能の有効/無効を表示します。
NETSTAT	カーネル内のアドレスステータスを表示します。
PING テスト	指定した IP アドレスに対して PING コマンドを実行します。
IP 衝突履歴	同じネットワーク内で本機アドレスと重複が発生した際のログを表示します。 更新 ... ログ情報を更新します。 閉じる ... ログウィンドウを閉じます。

IP衝突履歴

種類	時間	MACアドレス
シス...	2021-07-06 16:20:42	00 : 07 : d8 : 1b : de...
シス...	2021-07-06 16:20:09	00 : 07 : d8 : 1b : de...
シス...	2021-07-06 16:19:35	00 : 07 : d8 : 1b : de...
シス...	2021-07-06 16:19:02	00 : 07 : d8 : 1b : de...

更新 閉じる

3.5.6 ネットワークセキュリティを有効にする

➤ メニュー＞システム設定＞ネットワーク＞ネットワークセキュリティ＞暗号化



ストリーム配信時のセキュリティ強度を設定できます。

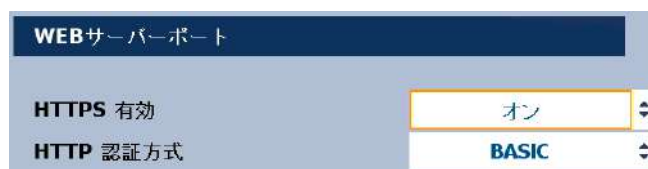
ネットワークセキュリティの項目

項目	説明
RTSP 暗号化有効	「オン」にすると、VLC Media Player などの汎用プレイヤーでの再生ができなくなります。
HTTPS 有効	「オン」にすると、Web ブラウザで本機へアクセスする際に HTTPS で接続が可能になります。 なお、オンにした場合は、HTTP での遠隔接続ができなくなります。 HTTPS での接続時には、証明書の作成が必要となります。 証明書の作成については、「HTTPS 証明書を作成する(p.117)」をご覧ください。
HTTP 認証方式	本項目は設定を変更しないでください。 初期設定は、「BASIC」となります。

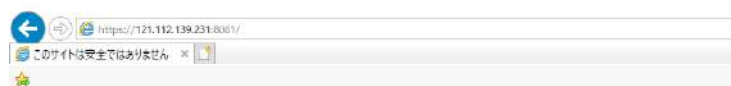
ネットワークセキュリティを有効にする(つづき)

【 HTTPS 証明書を作成する 】

1. 「HTTPS 有効」を「オン」に設定します。
「HTTP 認証方式」は、「BASIC」から変更しないでください。



2. 画面右下の「適用」をクリックします。
3. Internet Explorer を起動し、「https://本機アドレス:ポート」を入力して本機へアクセスします。
※アクセスすると警告画面が表示されます。

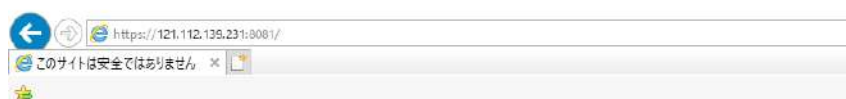


このサイトは安全ではありません

だれかが利用者を騙そうとしているか、サーバーに送信されたデータを盗み取ろうとしている可能性があります。このサイトをすぐに閉じてください。

- [このタブを閉じる](#)
- [詳細情報](#)

4. 「詳細情報」をクリックし、「Web ページに移動(非推奨)」をクリックします。



このサイトは安全ではありません

だれかが利用者を騙そうとしているか、サーバーに送信されたデータを盗み取ろうとしている可能性があります。このサイトをすぐに閉じてください。

- [このタブを閉じる](#)
- [詳細情報](#)

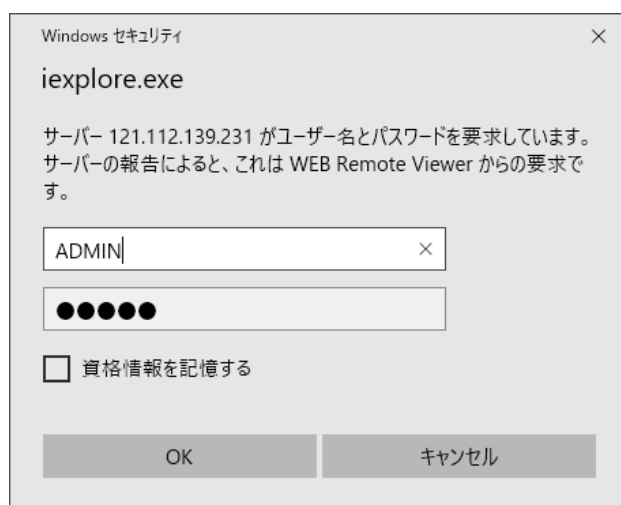
お使いの PC はこの Web サイトのセキュリティ証明書を信頼しません。
Web サイトのセキュリティ証明書のホスト名が、参照しようとしている Web サイトと異なります。

エラー コード: DLG_FLAGS_INVALID_CA
DLG_FLAGS_SEC_CERT_CN_INVALID

[Web ページに移動 \(非推奨\)](#)

ネットワークセキュリティを有効にする(つづき)

5. 本機の遠隔接続時のログイン ID およびパスワードを入力し、「OK」をクリックします。



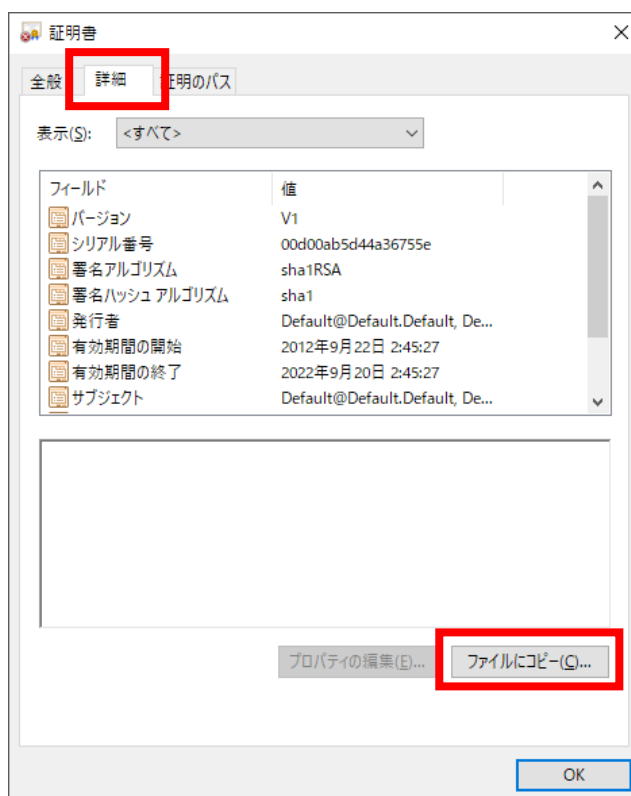
6. Web 画面上の「証明書のエラー」をクリックし、「証明書の表示」をクリックします。



証明書の設定画面が表示されます。

ネットワークセキュリティを有効にする(つづき)

7. 「詳細」タブをクリックし、「ファイルにコピー」をクリックします。



8. 「次へ」をクリックします。



ネットワークセキュリティを有効にする(つづき)

9. 「Base 64 encoded X.509(.CER)」を選択し、「次へ」をクリックします。

エクスポート ファイルの形式

さまざまなファイル形式で証明書をエクスポートできます。

使用する形式を選択してください:

☐ DER encoded binary X.509 (.CER)(D)

☒ Base 64 encoded X.509 (.CER)(S)

☐ Cryptographic Message Syntax Standard - PKCS #7 証明書 (.P7B)(C)

10. エクスポートするファイル名(任意)を入力し、「次へ」をクリックします。

証明書のエクスポートウィザード

エクスポートするファイル

エクスポートするファイルの名前を入力してください

ファイル名(任意): kb-ahri6k

参照(R)...

次へ(N) キャンセル

11. 「完了」をクリックします。

証明書のエクスポートウィザード

証明書のエクスポートウィザードの完了

証明書のエクスポートウィザードが正常に完了しました。

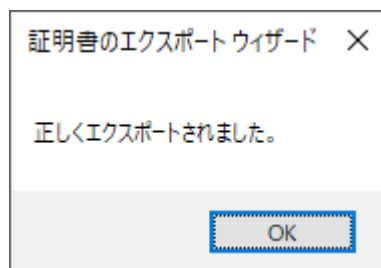
次の設定が指定されました:

ファイル名	C:\Users\B-B-CSP
キーのエクスポート	いいえ
証明のパスにあるすべての証明書を含める	いいえ
ファイルの形式	Base 64 Encoded X...

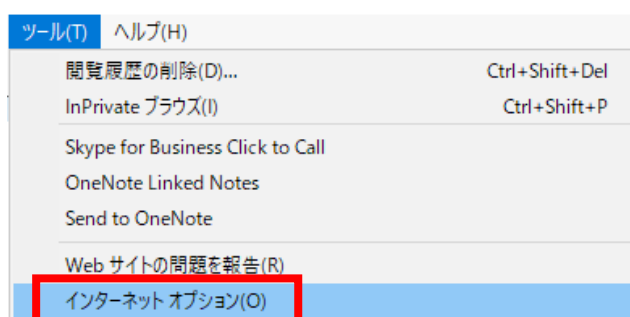
完了(F) キャンセル

ネットワークセキュリティを有効にする(つづき)

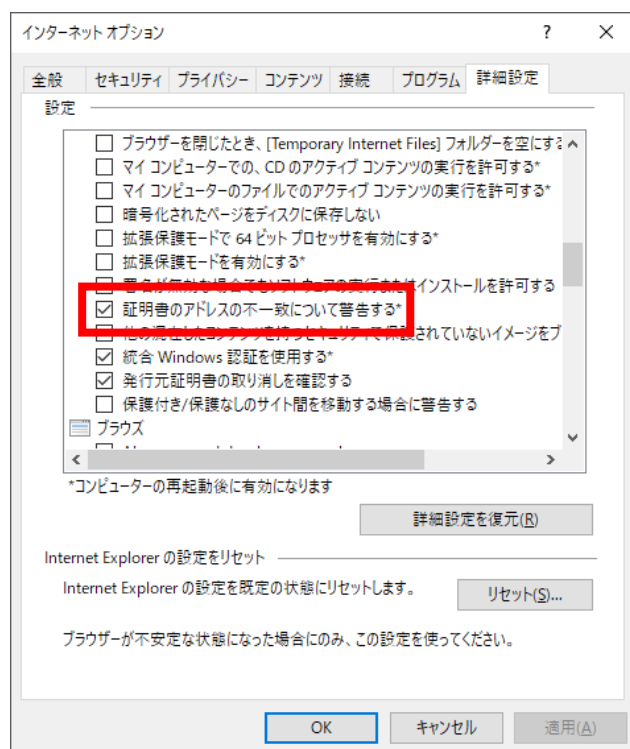
12. 表示された確認画面で「OK」をクリックします。



13. 「インターネットオプション」を開きます。



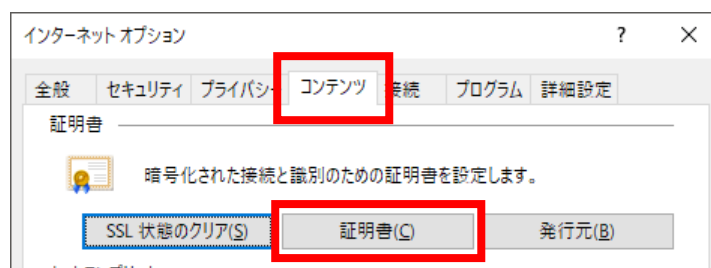
14. 「詳細設定」タブをクリックし、「証明書のアドレス不一致について警告する」のチェックを外します。



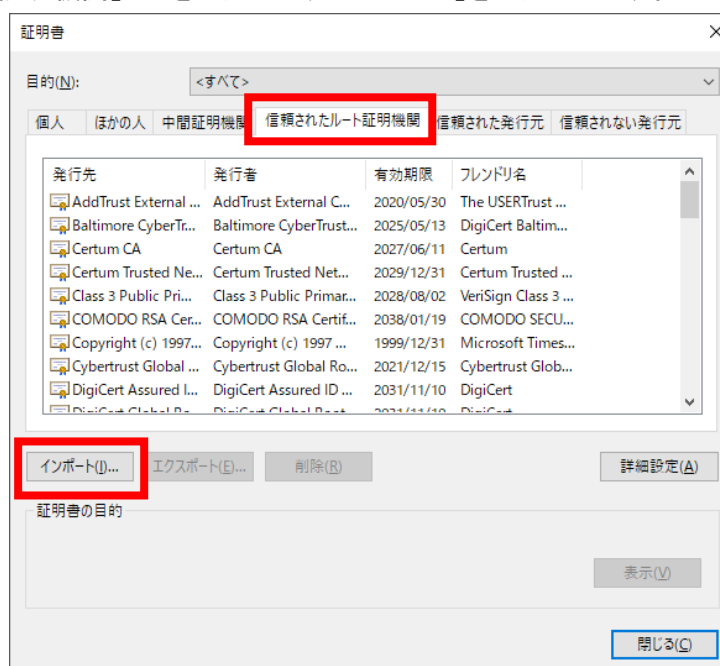
15. 設定変更後、「適用」をクリックします。

ネットワークセキュリティを有効にする(つづき)

16. 「コンテンツ」タブをクリックし、「証明書」をクリックします。



17. 「信頼されたルート証明機関」タブをクリックし、「インポート」をクリックします。

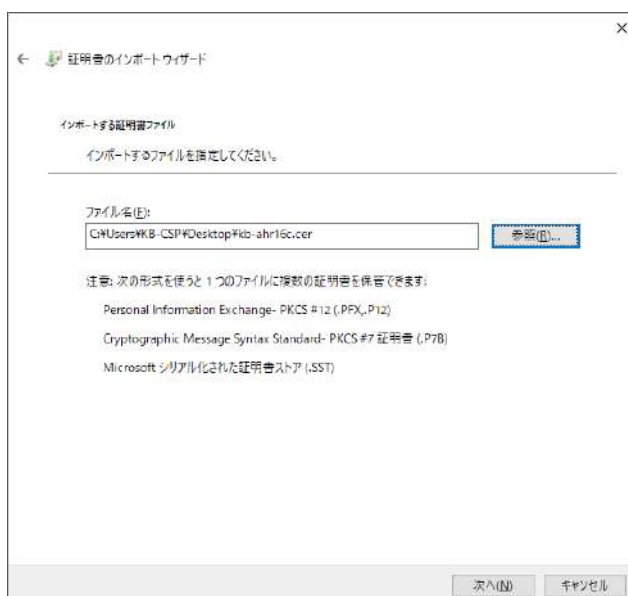


ネットワークセキュリティを有効にする(つづき)

18. 「次へ」をクリックします。

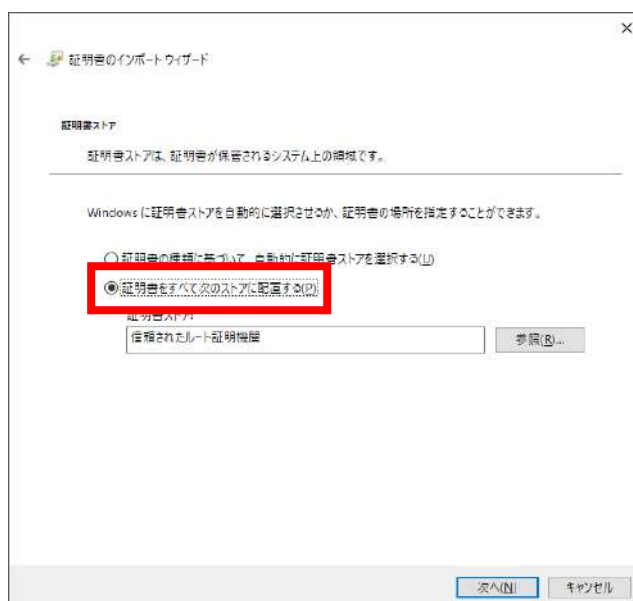


19. 手順 9 にて作成したファイルを選択し、「次へ」をクリックします。

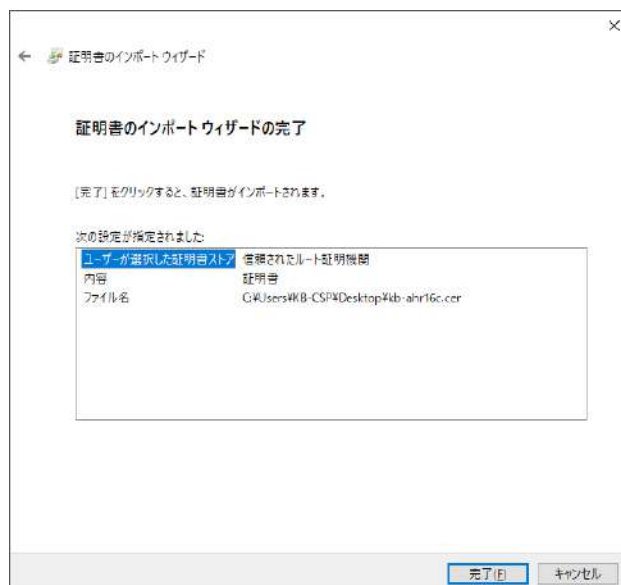


ネットワークセキュリティを有効にする(つづき)

20. 「証明書をすべて次のストアに配置する」を選択し、「次へ」をクリックします。

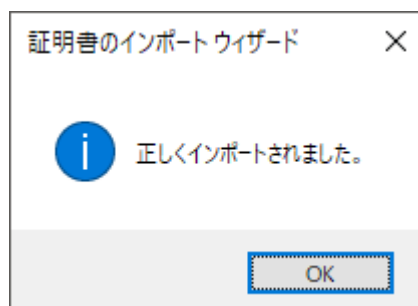
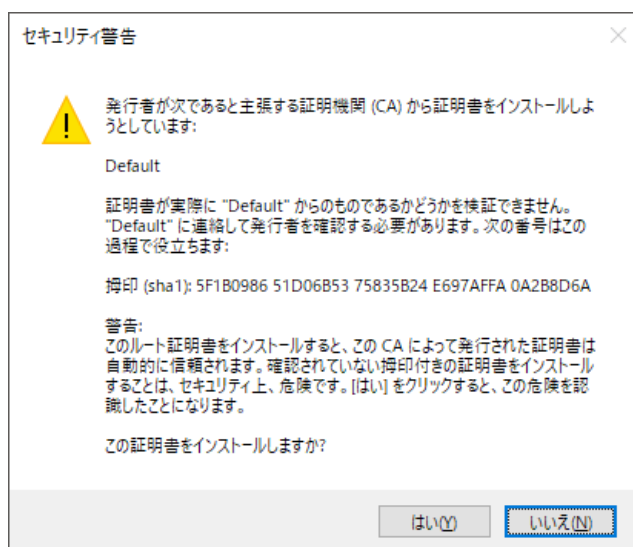


21. 「完了」をクリックします。



ネットワークセキュリティを有効にする(つづき)

22. 表示された確認画面で「はい」をクリックします。

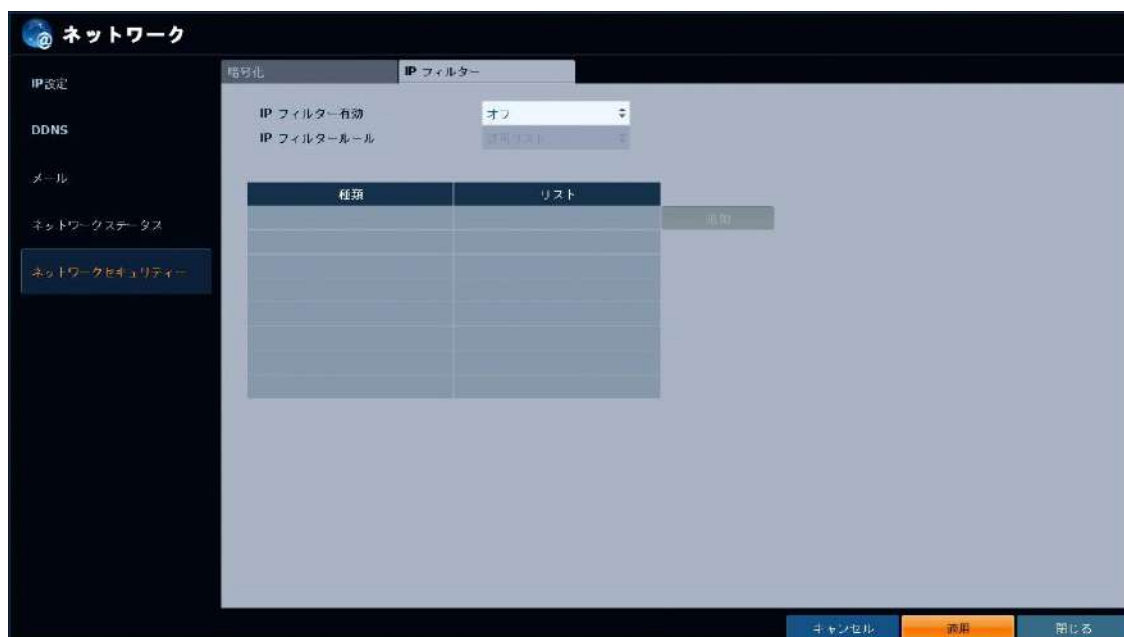


23. すべての設定画面を閉じ、Internet Explorer もすべて終了します。

24. Internet Explorer を再起動後、https にて本機の遠隔接続が可能となります。

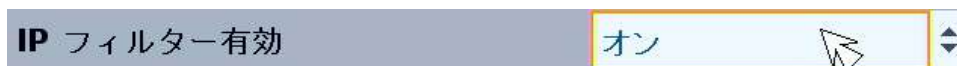
3.5.7 アドレスのアクセス制限を設定する

➤ メニュー＞システム設定＞ネットワーク＞ネットワークセキュリティ＞IP フィルター

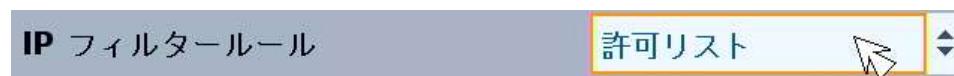


登録したアドレスのみ本機アクセスできるようにしたり、登録したアドレスは本機にアクセスできないように設定できます。

1. 「IP フィルター有効」を「オン」にします。



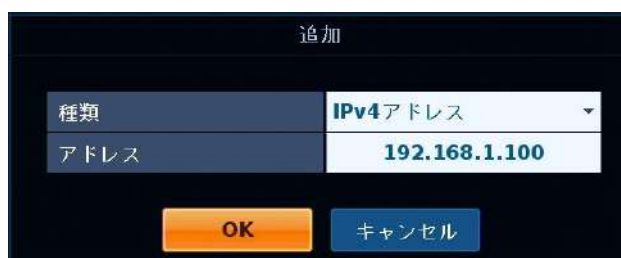
2. 「IP フィルタールール」を「許可リスト」または「拒否リスト」から選択します。



- 許可リスト … 登録したアドレスのみ本機に遠隔接続できます。
- 拒否リスト … 登録したアドレスは本機に遠隔接続できなくなります。

アドレスのアクセス制限を設定する(つづき)

3. 「追加」をクリックし、アドレス情報を入力します。



追加

種類	IPv4アドレス
アドレス	192.168.1.100

OK キャンセル

- 種類 … 登録するアドレスに合わせて、アドレスタイプを選択します。
- アドレス … 制限を設けるアドレスを入力します。

4. 設定後、「OK」をクリックし、「適用」をクリックして完了です。



ネットワーク

IP 設定

DDNS

メール

ネットワークステータス

ネットワークセキュリティ

IP フィルタ

IP フィルタ有効 オン

IP フィルタルール 許可リスト

名前	リスト
IPv4アドレス	192.168.1.100

編集 削除 追加

キャンセル 適用 閉じる

3.6 システム

3.6.1 日付/時刻を変更する

➤ メニュー＞システム設定＞システム＞日付/時刻＞時刻設定

時刻設定

日付/時刻 08-29-2016 18:44:24

日付表示形式 月/日/年

時刻表示形式 24時間

NTP

タイムサーバー pool.ntp.org

自動時刻同期 オフ

同期化周期 7 日

同期時刻 00:00

同期予定時間 設定なし

タイムゾーン/サマータイム

タイムゾーン GMT+09:00 Asia/Tokyo

サマータイム オン

キャンセル 適用 閉じる

1. <日付/時刻> 時計アイコン  をクリックして、現在の日時・時刻を手動で設定します。
各項目の上下アイコンで値を変更できます。

日付/時刻

年	月	日	時	分	秒
2019	01	15	16	34	06

OK キャンセル

日付/時刻を変更する(つづき)

<< 注意 >>

設定した時間によっては、記録データが消える場合があります。

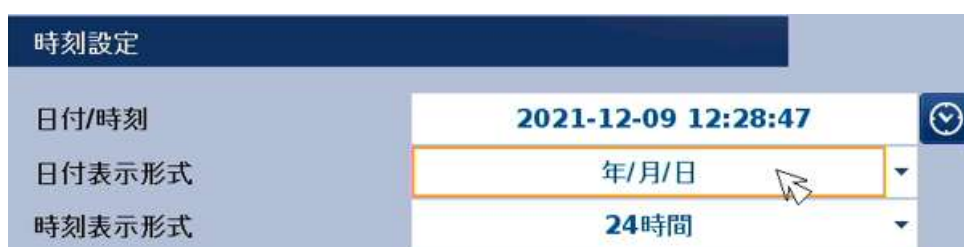
時刻を変更する場合は、大事なデータはあらかじめバックアップすることをお勧めします。

表示された確認画面で、問題なければ< OK >をクリックしてください。

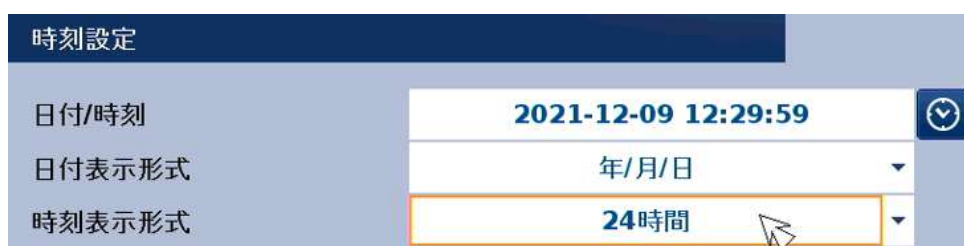


2. 設定完了後、< OK >をクリックして、設定を反映させます。

3. < 日付表示形式 > ライブ画面の日付表示形式を選択します。



4. < 時刻表示形式 > ライブ画面の時刻表示形式を選択します。



5. 設定変更後は、< 適用 >をクリックし完了です。

適用後、ライブ画面の時間表示が設定した内容で表示されます。

3.6.2 タイムサーバーと時刻同期する

➤ メニュー＞システム設定＞システム＞日付/時刻＞NTP

The screenshot shows the 'システム' (System) configuration page with the '日付/時刻' (Date/Time) section selected. The '時刻設定' (Time Setting) section displays the current date and time as '08-29-2016 18:44:24'. The 'NTP' section is expanded, showing the 'タイムサーバー' (Time Server) set to 'pool.ntp.org', '自動時刻同期' (Automatic Time Synchronization) set to 'オフ' (Off), '同期の周期' (Synchronization Cycle) set to '7 日' (7 days), '同期時刻' (Synchronization Time) set to '00:00', and '同期予定時間' (Synchronization Scheduled Time) set to '設定なし' (Not set). The 'タイムゾーン/サマータイム' (Time Zone/Summer Time) section shows 'タイムゾーン' (Time Zone) set to 'GMT+09:00 Asia/Tokyo' and 'サマータイム' (Summer Time) set to 'オン' (On). At the bottom right, there are buttons for 'キャンセル' (Cancel), '適用' (Apply), and '閉じる' (Close).

1. <タイムサーバー> ネットワーク時刻同期を行うサーバーアドレスを入力します。

This close-up view of the NTP settings form shows the 'タイムサーバー' (Time Server) field with the value 'pool.ntp.org' entered. The '自動時刻同期' (Automatic Time Synchronization) field is set to 'オン' (On). The '同期の周期' (Synchronization Cycle) is '7 日' (7 days), and the '同期時刻' (Synchronization Time) is '00:00'. The '次回同期日時' (Next Synchronization Date/Time) is displayed as '22-01-2019 00:00'. A mouse cursor is pointing at the 'pool.ntp.org' field.

※  をクリックすると、クリックしたタイミングで時刻同期を行います。

2. <自動時刻同期> 自動的に NTP サーバーと時刻同期したい場合は、<オン>にします。

This close-up view of the NTP settings form shows the '自動時刻同期' (Automatic Time Synchronization) field with the value 'オン' (On) selected. The 'タイムサーバー' (Time Server) is 'pool.ntp.org', the '同期の周期' (Synchronization Cycle) is '7 日' (7 days), and the '同期時刻' (Synchronization Time) is '00:00'. The '次回同期日時' (Next Synchronization Date/Time) is '22-01-2019 00:00'. A mouse cursor is pointing at the 'オン' field.

タイムサーバーと時刻同期する(つづき)

3. < 同期の周期 > 時刻同期を行う周期を設定します。
4. < 同期時刻 > 時刻同期を行う時間を設定します。

NTP	
タイムサーバー	pool.ntp.org
自動時刻同期	オン
同期の周期	毎日
同期時刻	00:00
次回同期日時	毎日 00:00

例・・・毎日 0:00 と設定した場合、毎日 0:00 に 1 度本機が自動的にタイムサーバーと時刻同期を行います。

<< 注意 >>

本機の設定画面を開いている間は、NTP による時刻同期は行いません。

ライブ画面にて本機操作を行っていない状態でのみ時刻同期を行います。

時刻同期を行っている間は、一時的に記録動作が中断し、同期完了後、記録動作を再開します。

5. 設定後、< 適用 >をクリックし完了です。
適用後、定期的に時刻同期を行います。

3.6.3 タイムゾーン・サマータイムについて

➤ メニュー > システム設定 > システム > 日時/時刻 > タイムゾーン/サマータイム

The screenshot shows the 'システム' (System) settings page. On the left is a sidebar with '日時/時刻' (Date/Time) selected. The main area has three sections: '時刻設定' (Clock Setting) with fields for '日付/時刻' (Date/Time) set to '08-29-2016 18:44:24', '日付表示形式' (Date display format) set to '月/日/年' (Month/Day/Year), and '時刻表示形式' (Time display format) set to '24時間' (24 hours). The 'NTP' section has 'タイムサーバー' (Time server) set to 'pool.ntp.org', '自動時刻同期' (Automatic time synchronization) set to 'オフ' (Off), '同期化間隔' (Synchronization interval) set to '7 日' (7 days), '同期時刻' (Synchronization time) set to '00:00', and '同期予定時間' (Synchronization scheduled time) set to '設定なし' (None). The 'タイムゾーン/サマータイム' (Time Zone/Summer Time) section has 'タイムゾーン' (Time zone) set to 'GMT+09:00 Asia/Tokyo' and 'サマータイム' (Summer time) set to 'オン' (On). At the bottom are buttons for 'キャンセル' (Cancel), '適用' (Apply), and '閉じる' (Close).

タイムゾーンおよびサマータイムは初期設定値から変更しないでください。

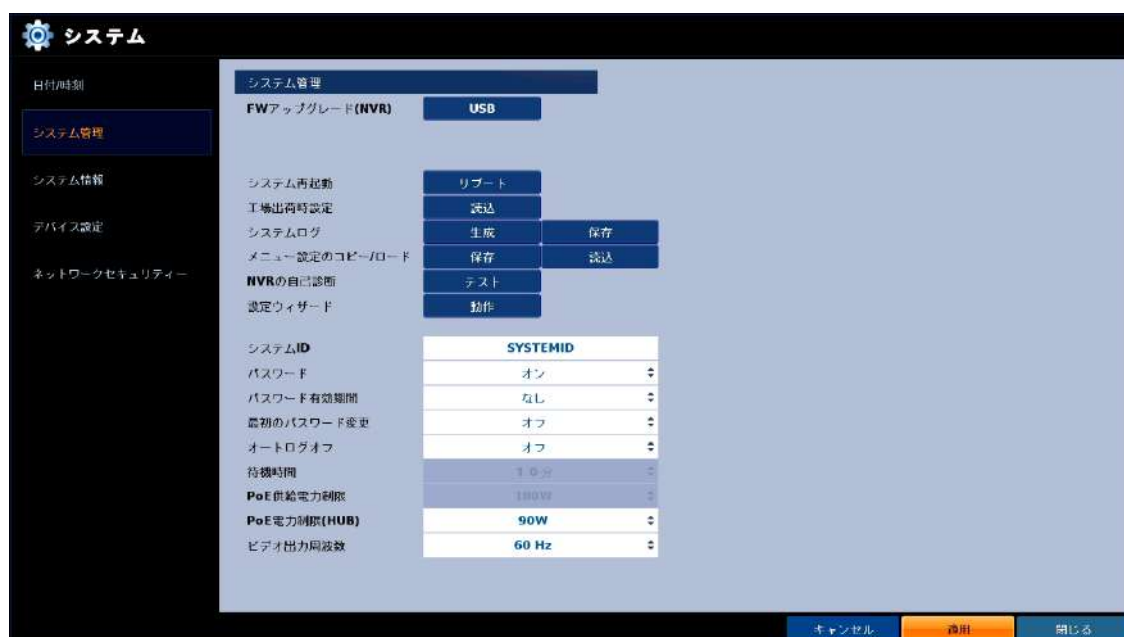
変更すると、時刻ずれの原因となります。

This is a close-up of the 'タイムゾーン/サマータイム' (Time Zone/Summer Time) section. It shows two dropdown menus: 'タイムゾーン' (Time zone) with the value 'GMT+09:00 Asia/Tokyo' and 'サマータイム' (Summer time) with the value 'オフ' (Off).

- タイムゾーン の初期設定 ... GMT+09:00 Asia/Tokyo
- サマータイム の初期設定 ... オフ

3.6.4 システム管理

➤ メニュー 〉 システム設定 〉 システム 〉 システム管理



システム管理設定メニューの項目

項目	説明
FW アップグレード (NVR)	本機のファームウェアをアップグレードできます。 →詳細は、「3.6.5 FW をアップデートする(p.135)」をご覧ください。
システム再起動	「リブート」をクリックすると、本機の再起動を行います。
工場出荷時設定	本機の全ての設定を初期化します。 ※実行すると、すべての設定が初期状態に戻ります。 →詳細は、「3.6.6 全ての設定値を初期化する(p.136)」をご覧ください。
システムログ	本機のシステムログを取得します。
メニュー設定のコピー/ ロード	「保存」をクリックすると、設定内容を USB メモリーに バックアップすることができます。 「読み込み」をクリックすると、USB メモリーに保存したシステム設定内容を 読み込みます。
NVR の自己診断	本機の PoE 給電状況や HDD 動作状況を自己診断し、異常がないかを 確認します。 「テスト」をクリックすると、自己診断を開始します。
設定ウィザード	本機の日時設定、ネットワークの設定ウィザードが表示されます。
システム ID	本機の名称を入力することができます。

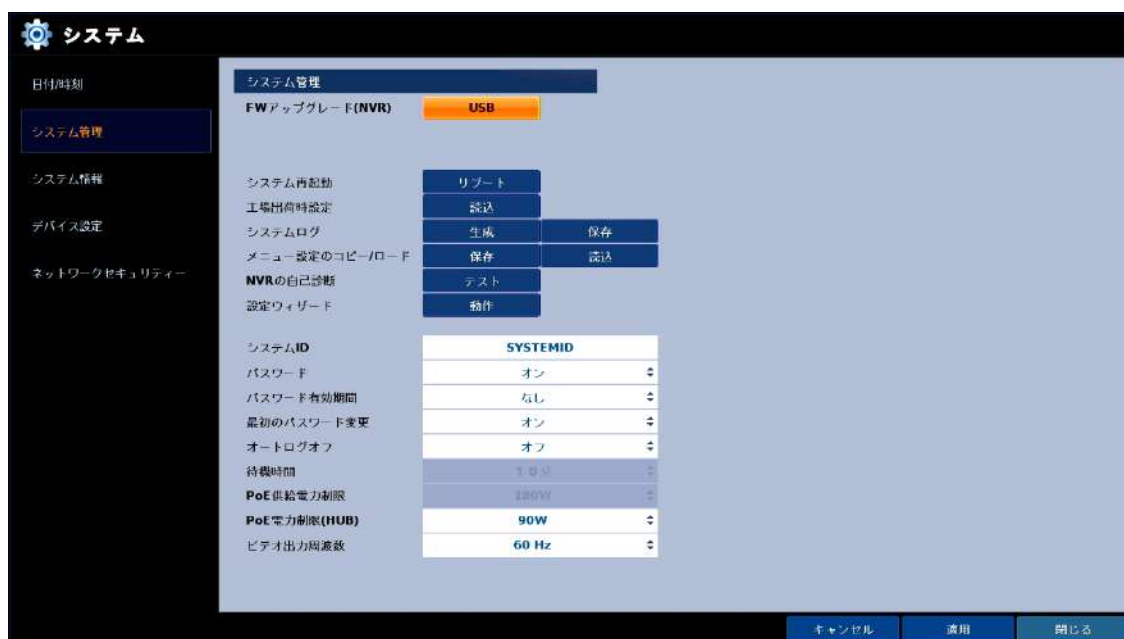
システム管理一覧(つづき)

システム管理設定メニューの項目

項目	説明
パスワード	検索画面や設定画面に入る際、パスワード入力を求める(オン)または求めない(オフ)を選択することができます。 ※安全に運用するために、必ずくオン>に設定してください。
パスワードの有効期間	設定すると、一定期間が経過したときにパスワードの変更を求められます。 (なし / 1ヶ月 / 2ヶ月 / 4ヶ月 / 6ヶ月)
最初のパスワード変更	「オン」にすると、ADMIN 以外のアカウントでログインした際、新しくパスワードの変更を求められます。
オートログオフ	「オン」にすると、一定期間が経過したときにユーザーがログアウトされます。
待機時間	オートログオフを行うまでの時間を設定します。 (1分 / 2分 / 3分 / 5分 / 10分) ※くオートログオフ>がくオフ>の場合は、設定できません。
PoE 供給電力制限	本機では使用しません。 初期値から変更しないでください。
PoE 電力制限(HUB)	本機では使用しません。 初期値から変更しないでください。
ビデオ出力周波数	映像の出力周波数を設定します。 (50Hz / 60Hz)

3.6.5 FW をアップデートする

➤ メニュー > システム設定 > システム > システム管理 > FW アップデート



1. 本機の FW アップデートデータが入った USB メモリーを接続します。
※FW アップデータは、USB メモリーのトップ階層に保存してください。

2. 「FW アップデート」の「USB」をクリックします。



3. 「デバイス」に USB メモリーのデバイス名が表示されていることを確認し、「F/W リスト」から新しい FW を選択します。



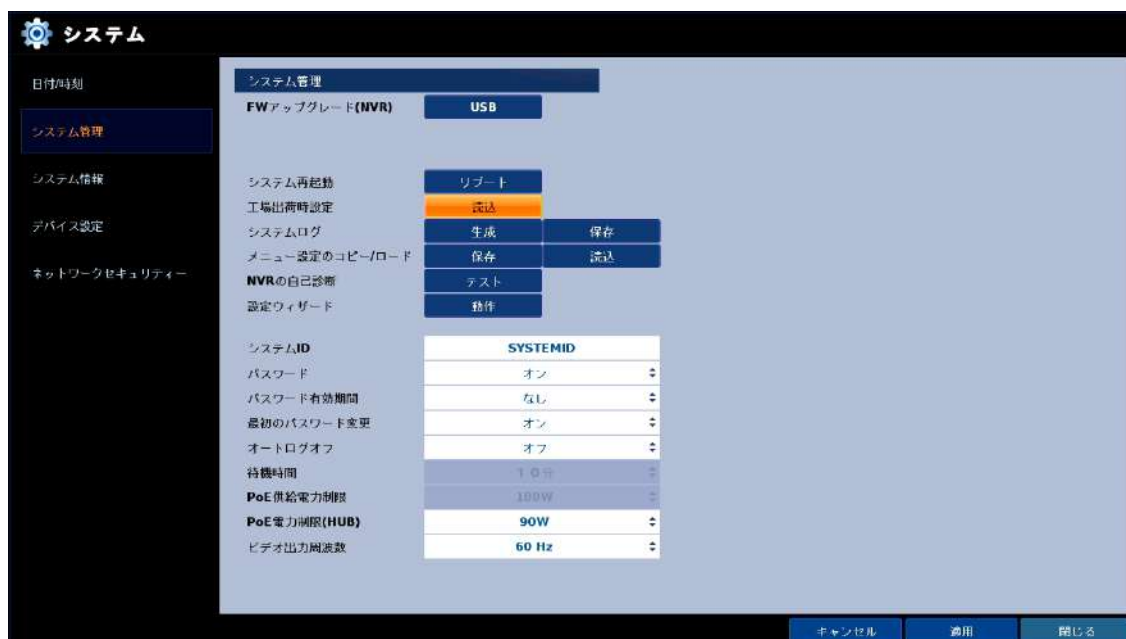
4. 選択後、「アップグレード」をクリックし、表示された確認画面で「OK」をクリックします。
クリック後、自動的にアップデートが始まります。アップデートには数分かかります。

<< 注意 >>

故障の原因となりますのでアップグレード中は、絶対に本機の電源を抜かないでください。
また、アップデート中は数回本機が再起動します。

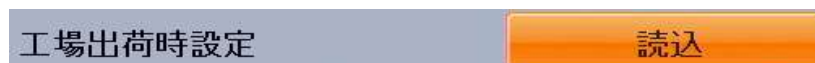
3.6.6 全ての設定値を初期化する

➤ メニュー > システム設定 > システム > システム管理 > 工場出荷設定

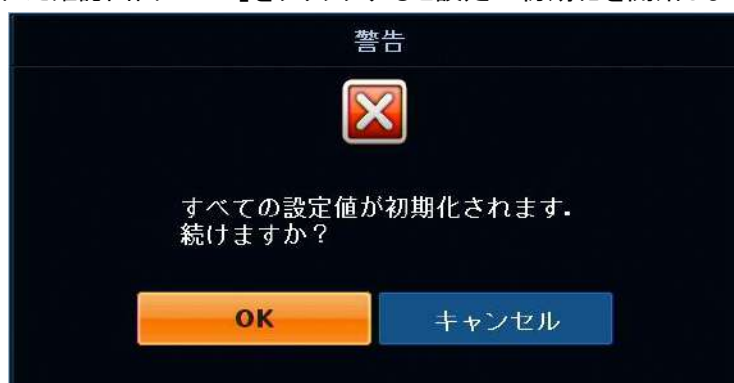


全ての設定値を工場出荷時の初期設定値に戻すことができます。
パスワードやネットワーク情報もリセットされるのでご注意ください。

1. 「工場出荷時設定」の「読込」をクリックします。



2. クリック後、表示された確認画面で「OK」をクリックすると設定の初期化を開始します。



3. 初期化完了後は、パスワードやネットワーク情報を設定する画面が表示されます。
画面に従って、設定を行ってください。
詳細は、「1.6 初回起動時の設定をする(p.37)」をご覧ください。

3.6.7 システム情報

メニュー › システム設定 › システム › システム情報



本機の FW バージョンやアドレス情報などを一覧で確認できます。

システム情報の項目

項目	説明
モデル	本機のモデル名を表示します。
FW バージョン	本機のファームウェアバージョンを表示します。
最終アップデート日	最後に FW アップデートを行った日時を表示します。
HW バージョン	本機のハードウェアバージョンを表示します。
HDD 容量	HDD の総容量を表示します。
HDD 使用量	HDD の使用中の容量を表示します。
HDD 数	本機に搭載している HDD の数量を表示します。
IPv4 アドレス	本機の IPv4 アドレスを表示します。
IPv6 アドレス	本機の IPv6 アドレスを表示します。
MAC アドレス	本機の MAC アドレスを表示します。
DDNS アドレス	本機の DDNS アドレスを表示します。
RTSP ポート	クライアントソフトから本機にアクセスする際に使用するポートを表示します。
WEB サーバーポート	ウェブブラウザから本機にアクセスする際に使用するポートを表示します。
解像度	モニターへの出力解像度を表示します。
システム ID	本機のシステム ID を表示します。
カメラ接続	接続中のカメラ CH を赤く表示します。
アラーム入力(カメラ)	カメラ側のアラーム入力が発生中の CH を赤く表示します。
アラーム入力 (レコーダー)	アラーム入力が発生中の CH を赤く表示します。
アラーム出力(カメラ)	カメラ側のアラーム出力が発生中の CH を赤く表示します。
アラーム出力 (レコーダー)	アラーム出力が発生中の CH を赤く表示します。

3.6.8 外部コントローラーとの接続を設定する

➤ メニュー 〉 システム設定 〉 システム 〉 デバイス設定



キーボードコントローラーの ID や操作プロトコルを設定できます。

デバイス設定メニューの項目

項目	説明
システム ID	キーボードコントローラーのシステム ID を設定します。
プロトコル	キーボードコントローラーのプロトコルを設定します。
ボーレート	キーボードコントローラーのボーレート(通信速度)を設定します。

設定変更後は、「適用」をクリックしてください。

3.6.9 二重認証を有効にする

➤ メニュー＞システム設定＞システム＞ネットワークセキュリティ＞データセキュリティー

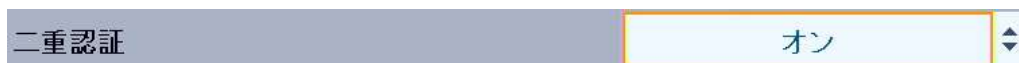


＜MANAGER＞または＜USER＞権限で、検索・再生とバックアップ画面へ移動する際に ADMIN 権限のパスワードを要求します。

本機能を利用する場合は、あらかじめゲストユーザーを作成する必要があります。

ゲストユーザーの作成については、「3.4.1 アカウント情報を追加・編集する(p.103)」をご覧ください。

有効にする場合は、「二重認証」を「オン」に設定し、「適用」をクリックします。



1. ゲストユーザーでログインし、「サーチ」または「バックアップ」をクリックします。



二重認証を有効にする(つづき)

2. ゲストユーザーのログインパスワードを入力し、「OK」をクリックします。



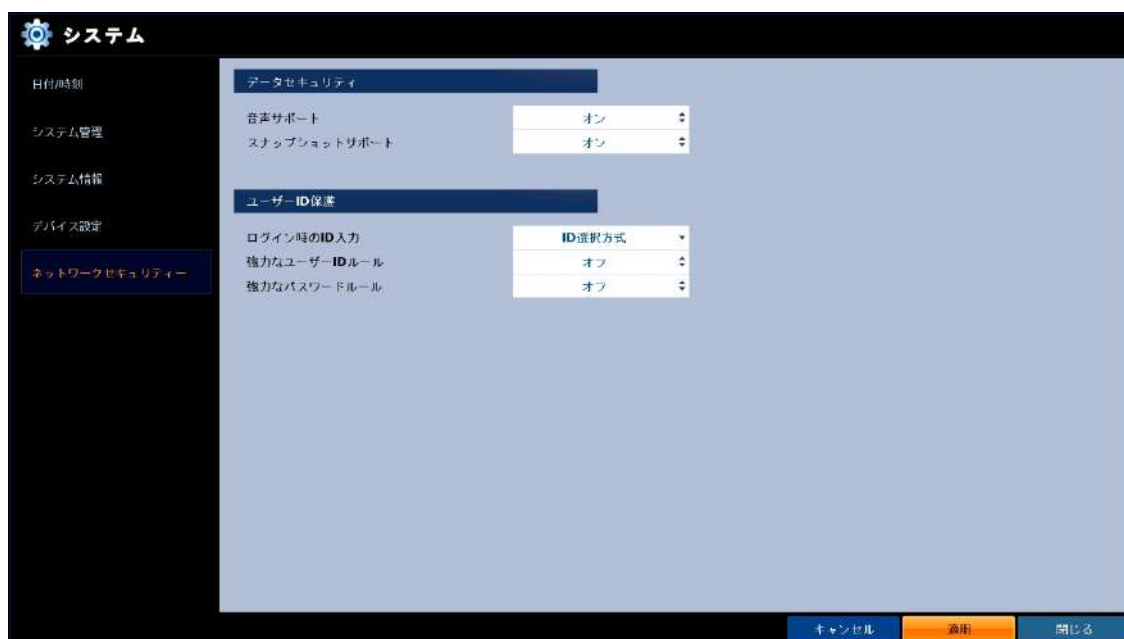
3. 続けて ADMIN 権限のログインパスワードを入力し、「OK」をクリックします。



4. 両アカウントのパスワードを入力後、検索・再生/バックアップ画面が表示されます。

3.6.10 パスワードの設定条件を強化する

➤ メニュー > システム設定 > システム > ネットワークセキュリティ > ユーザーID 保護



ログイン時のユーザーID 選択形式の変更や、パスワードの最低登録文字数など設定条件を変更できます。

1. 「ログイン時の ID 入力」でログイン時などユーザーID の選択形式を選択します。



- ID 選択方式 …… プルダウンから登録済みのユーザーID を選択します。
- 直接の入力方式 …… 登録済みのユーザーID を手動で入力します。
ID の入力間違いにご注意ください。

2. 「強力なユーザーID ルール」で「オン」を設定します。



オンにすると、ユーザーID を登録・編集する際に下記条件を満たす必要があります。

- 5 文字以上 10 文字以内の英数字

例 : testuser1

パスワードの設定条件を強化する(つづき)

3. 「強力なパスワードルール」で「オン」を設定します。

強力なパスワードルール	オン
-------------	----

オンにすると、パスワードを登録・編集する際に下記条件を満たす必要があります。

- 8文字以上 16文字以内の文字数
- 英字(大文字)、英字(小文字)、数字、記号の全てを含む
- 同一文字を、3回以上使用しない
- 3個以上連続する数字または英文字は使用しない
- ユーザーIDと同じ設定値は使用しない

例 : KbDevice@0131

4. 「適用」をクリックします。

適用後は、新しい設定ルールに従ってユーザーID・パスワードを設定してください。

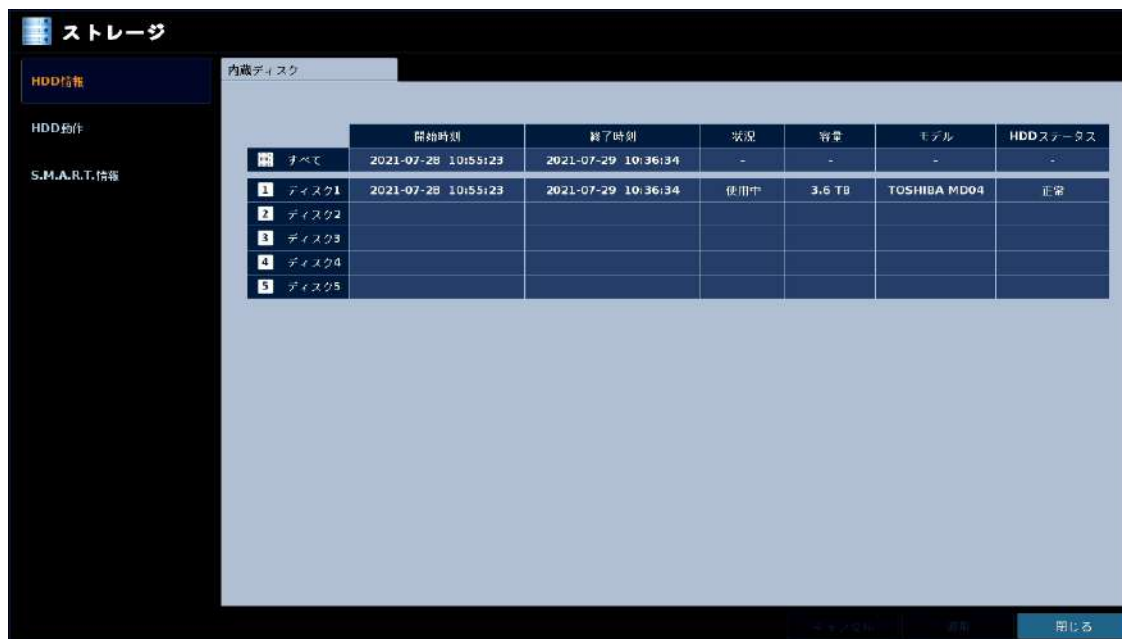
ユーザーID・パスワードの登録・編集については、「3.4.1 アカウント情報を追加・編集する(p.103)」をご覧ください。

3.7 ストレージ

3.7.1 HDD 情報を確認する

【 内蔵ディスク 】

➤ メニュー ＞ システム設定 ＞ ストレージ ＞ HDD 情報 ＞ 内蔵ディスク



		開始時刻	終了時刻	状況	容量	モデル	HDDステータス
すべて		2021-07-28 10:55:23	2021-07-29 10:36:34	-	-	-	-
1	ディスク1	2021-07-28 10:55:23	2021-07-29 10:36:34	使用中	3.6 TB	TOSHIBA MD04	正常
2	ディスク2						
3	ディスク3						
4	ディスク4						
5	ディスク5						

本機に搭載している HDD の情報を確認することができます。

内蔵ディスクの項目

項目	説明
開始時刻	HDD に通電を開始した日時を表示します。
終了時刻	HDD が最後に通電確認をした時刻を表示します。
状況	接続状況を表示します。
容量	HDD の総容量を表示します。
モデル	HDD の品番を表示します。
HDD ステータス	HDD の S.M.A.R.T.状態を表示します。

3.7.2 録画データの上書き/削除/一部削除を行う

➤ メニュー 〉 システム設定 〉 ストレージ 〉 HDD 動作



HDD の記録保存方法や初期化を行うことができます。

HDD 動作設定メニューの項目

項目	説明
HDD 上書きモード	〈 オン 〉にすると、HDD 使用量が 100%になった際に、最も古いデータを消去しながら記録を続けます。 ※ 上書き中、ライブ画面の HDD 使用量は「OW」と表示されます。 ※〈 オフ 〉に設定すると、HDD 使用量が 100%になった時点で録画を停止します。
録画画像保存期限	〈 時/日/週 〉に設定すると、その期間を過ぎた映像を消去します。 ※ 3ヶ月以上の期間を設定することはできません。
HDD フォーマット	〈 フォーマット 〉をクリックすると、HDD のフォーマットを行います。実行すると記録データも全て消去されるためご注意ください。 ※重要な映像データなどは、あらかじめバックアップを行ってください。
録画を削除	〈 削除 〉をクリックすると、指定した期間の録画データを削除できます。操作方法については、以下の手順をご確認ください。 ※重要な映像データなどは、あらかじめバックアップを行ってください。

設定変更は、「適用」をクリックしてください。

録画データの上書き/削除/一部削除を行う(つづき)

【録画データの一部を削除するには】

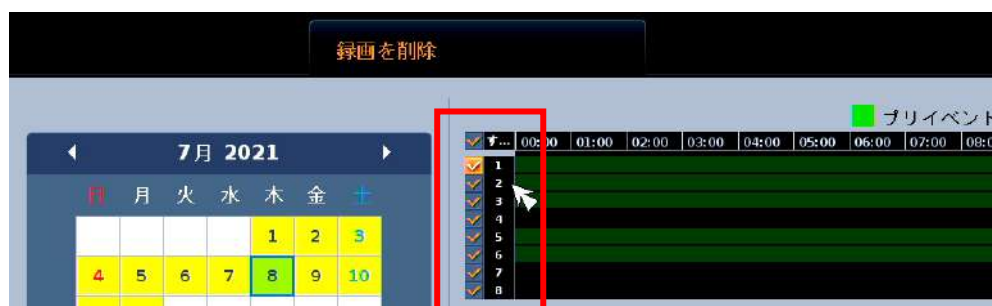
1. 「削除」をクリックします。



2. ログイン時のパスワードを入力します。

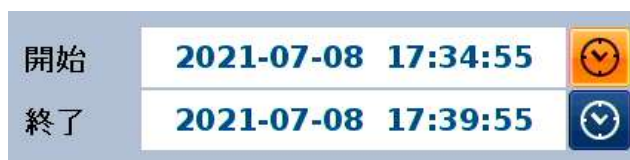


3. 画面上のタイムライン上で削除を行う CH を選択します。



※チェックの入った項目が削除対象となります。

4. 画面左の「開始」と「終了」欄の時計アイコンをクリックします。



開始 ... 削除を行う開始時点を指定します。

終了 ... 削除を行う終了時点を指定します。

録画データの上書き/削除/一部削除を行う(つづき)

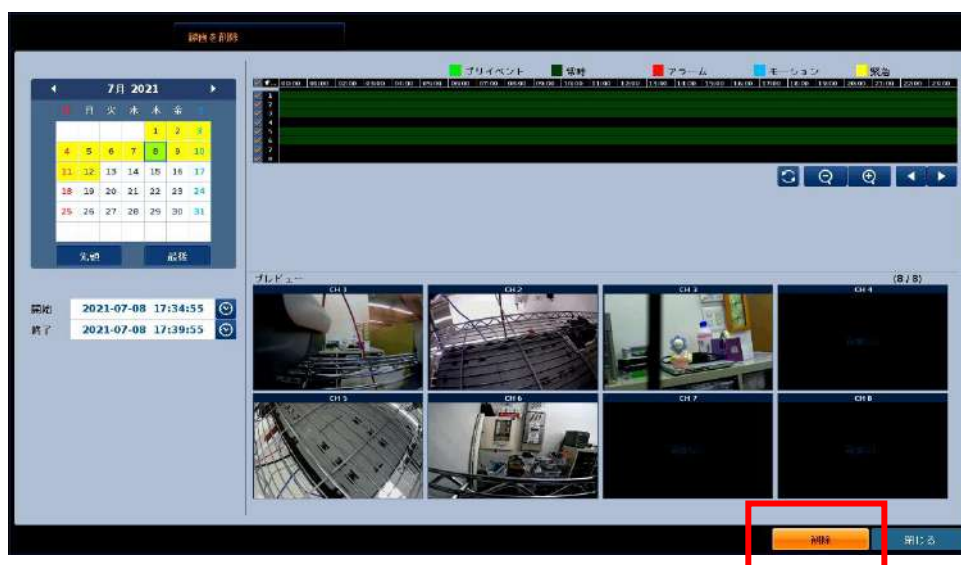
5. 時点を設定後、「OK」をクリックします。

開始

年	月	日	時	分	秒
2021	07	08	17	34	55

OK キャンセル

6. 「削除」をクリックします。



7. ログイン時のパスワードを入力します。

パスワード確認

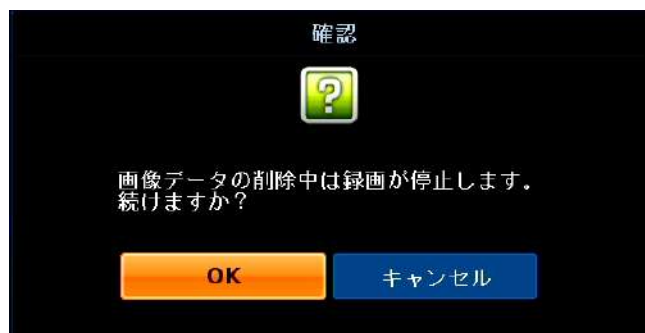
ユーザーID: ADMIN

パスワード: *****

OK キャンセル

録画データの上書き/削除/一部削除を行う(つづき)

8. メッセージを確認し、「OK」をクリックします。



※録画データ削除中は、録画が停止します。

9. 「削除しました。」のメッセージが表示されたら「OK」をクリックします。



以上で操作は完了です。

3.7.3 HDD の S.M.A.R.T 情報を確認する

【 内蔵ディスク 】

➤ メニュー 〉 システム設定 〉 ストレージ 〉 S.M.A.R.T 情報 〉 内蔵ディスクタブ



本機に接続中の HDD に書き込みエラーなどの異常が発生していないかを確認できます。

S.M.A.R.T 情報設定メニューの項目

項目	説明
S.M.A.R.T.ステータス	各 HDD の状態を表示します。 通常 : ディスクは通常の状態です。 チェック : ディスクにエラーがあり、ディスクまたはディスク接続ケーブルのチェックが必要です。 問題が解決しないと、録画できない場合があります。 直ちにディスクの交換をお勧めします。 エラー : ディスクが破損しているか、ディスクまたはケーブルのエラーにより使用できません。直ちにディスクを交換してください。 ディスクの交換については、販売店または当社までお問い合わせください。 〈 詳細情報 〉 をクリックすると、さらに詳細の情報を表示します。
S.M.A.R.T.検査間隔	S.M.A.R.T.チェックを行う間隔を設定します。(6 時間 / 12 時間 / 24 時間) 〈 検査開始 〉 をクリックすると、ただちに S.M.A.R.T.チェックを開始します。

3.8 イベント

イベントごとに発報させるアラームなどの動作を設定することができます。

【 機器異常時の動作概要 】

※例 1 HDD に異常が生じた場合・・・

- ライブ画面上に「S.M.A.R.T.HDD ALARM DETECTED !」の文字を表示します。
- 本機フロントパネルの REC ランプが消灯します。
- アラーム出力 / ブザー / メール送信 のうち、設定したいいくつかの動作を行います。

※例 2 ビデオロス(映像断)が生じた場合・・・

- ライブ画面上で、ビデオロスが生じた CH に「ビデオロス」の文字を表示します。
- 全 CH でビデオロスが生じた場合、本機フロントパネルの REC ランプが消灯します。
アラーム出力 / ブザー / メール送信 / イベントプリセット のうち、
設定したいいくつかの動作を行います。

3.8.1 アラーム出力を有効にする

【 アラーム出力 】

➤ メニュー 〉 システム設定 〉 イベント 〉 アラーム出力 〉 カメラタブ



本機から警報機などへアラーム信号を出力する場合の動作を設定します。

本機のアラーム出力端子の接続については、「1.5.5 外部センサーや警報機を接続する(p.28)」をご覧ください。

アラーム出力設定メニューの項目

項目	説明
名前	名称が表示されます。
動作	アラームの接点タイプを選択します。 N/O(A 接点)：通常は Open 状態で、アラーム発生時に Close の状態になります。 N/C(B 接点)：通常は Close 状態で、アラーム発生時に Open の状態になります。
持続時間	アラームを出力する時間を設定します。 (復帰するまで/5 秒/10 秒/15 秒/20 秒/30 秒/40 秒/60 秒/120 秒/180 秒/300 秒/キーを押すまで) 「復帰するまで」を選択すると、イベント状態から復帰するまでアラーム出力を継続します。 「キーを押すまで」を選択すると、リモコンまたはマウスの何れかのボタンを押すまでアラーム出力を継続します。
テスト	クリックすると、テストとしてアラーム出力信号を出します。

アラーム出力を有効にする(つづき)

【 ON/OFF スケジュール 】

➤ メニュー 〉 システム設定 〉 イベント 〉 アラーム出力 〉 ON/OFF スケジュールタブ



本機のアラーム出力を有効にする時間帯を設定します。

以下の手順で、スケジュール設定を行うことができます。

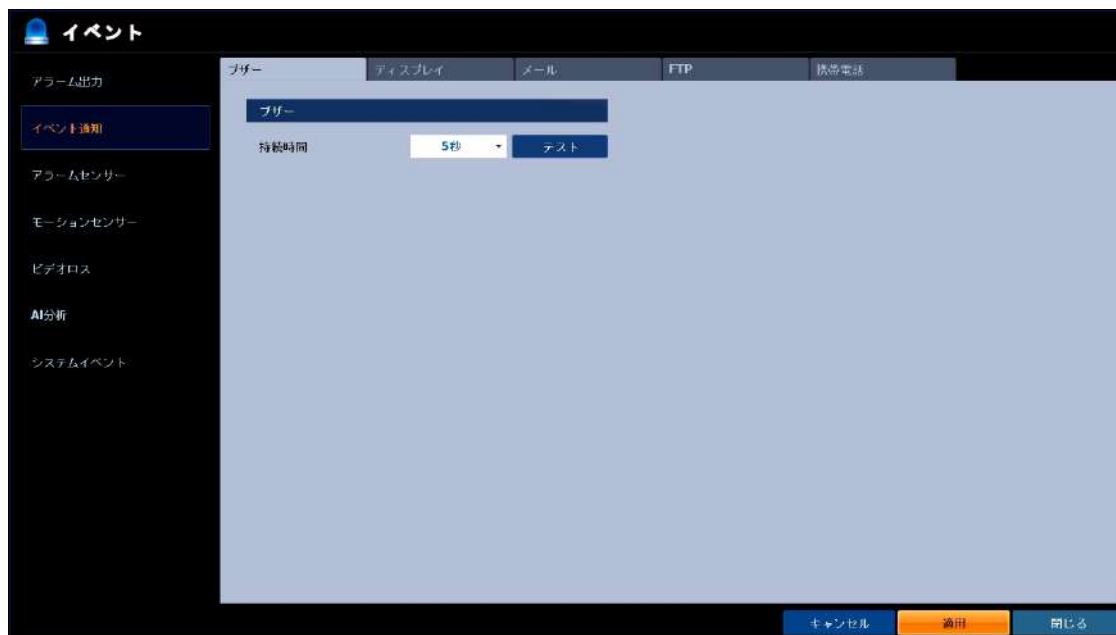
1. マウスのドラッグ & ドロップで、スケジュールを変更するカメラと時間帯を範囲選択します。
2. 任意のアラーム出力モードを選択します。
 - オン : アラーム出力を常に オン に設定します。
 - オフ : アラーム出力を常に オフ に設定します。
 - イベント : イベント発生に応じて、アラーム出力のオン/オフを切り替えます。
※ センサーや HDD イベント、ビデオロスなどのイベントと連動させる場合に、「イベント」を選択します。
3. 「スケジュールのコピー」をクリックすると、現在の設定を選択した別の曜日にコピーすることができます。
※ 曜日ごとに設定する場合は、画面左上の「曜日」欄をクリックし、任意の曜日を選択します。
4. 設定後「OK」をクリックし、「適用」をクリックして完了です。

3.8.2 イベント発生時の各通知手段を設定する

イベント発生時に通知する手段（ブザー / ポップアップ / メール / FTP）を設定できます。

【ブザー】

➤ メニュー ＞ システム設定 ＞ イベント ＞ イベント通知 ＞ ブザータブ



イベント発生時、ブザーを鳴らす時間の長さを設定できます。

ブザー設定メニューの項目

項目	説明
	ブザーを鳴らし続ける時間を設定します。 (復帰するまで/5 秒/10 秒/15 秒/20 秒/30 秒/40 秒/60 秒/120 秒/180 秒/300 秒/キーを押すまで)
持続時間	「復帰するまで」を選択すると、イベント状態から復帰するまでアラーム出力を継続します。 「キーを押すまで」を選択すると、リモコンまたはマウスの何れかのボタンを押すまでアラーム出力を継続します。 「テスト」をクリックすると、テストとしてブザーを作動させます。

イベント発生時の各通知手段を設定する(つづき)

【 ディスプレイ 】

➤ メニュー ＞ システム設定 ＞ イベント ＞ イベント通知 ＞ ディスプレイタブ



イベント発生時、特定のカメラをチャンネルポップアップ(一定時間、1 画面表示にする)やインフォメーションポップアップ(イベントの内容を画面に表示する)の設定を行うことができます。

ディスプレイ設定メニューの項目

項目	説明
チャンネルポップアップ	イベント発生時、その CH 映像をポップアップする時間を設定します。 (5 秒/10 秒/15 秒/20 秒/30 秒/40 秒/60 秒/120 秒/180 秒/300 秒/ キーを押すまで) 「キーを押すまで」を選択すると、リモコンまたはマウスの何れかの ボタンを押すまで 1 画面表示を継続します。
インフォメーション ポップアップ	イベント発生時、画面上に文字を表示する時間を設定します。 (5 秒/10 秒/15 秒/20 秒/30 秒/40 秒/60 秒/120 秒/180 秒/300 秒/ キーを押すまで) 「キーを押すまで」を選択すると、リモコンまたはマウスの何れかの ボタンを押すまでインフォメーション表示を継続します。

イベント発生時の各通知手段を設定する(つづき)

【 メール 】

➤ メニュー ＞ システム設定 ＞ イベント ＞ イベント通知 ＞ メールタブ

イベント発生時、指定したアドレスにイベント情報や静止画を送信できます。

メール通知設定メニューの項目

項目	説明
新規メールを追加	＜ 編集 ＞をクリックして、メール送信先アドレスを登録できます。 →詳細は、「送信先アドレスを登録・削除する(p.155)」をご覧ください。
最小メール送信間隔	メールを送信してから次のメールを送信するまでの間隔を設定します。 (0 秒 / 1 分 / 5 分 / 10 分 / 15 分 / 30 分 / 60 分) ※ メールサーバーによって、配信周期が短すぎるメールをブロックするものがあります。その場合、この設定によってメール配信の間隔を設定し、通知もれを回避します。
スナップショット イメージを含める	チェックを入れると、メールにイベントの発生した CH の静止画を添付します。

メールのお知らせ時間設定の項目

項目	説明
日 ～ 土	メールを受け取る曜日を選択します。 各曜日のボックスをクリックします。
開始 - 終了	メールを受け取る時間帯を設定します。

※ メール受け取り設定手順については、「メール受け取り時間の設定(p.156)」をご覧ください。

イベント発生時の各通知手段を設定する(つづき)

【 送信先アドレスを登録・削除する 】

以下の手順で、イベント発生時の送信先アドレスを登録できます。

1. 〈 新規メールを追加 〉欄の〈 編集 〉をクリックします。
2. 〈 メール 〉枠をダブルクリックし、バーチャルキーボードよりアドレスを入力します。
アドレス入力後、〈 追加 〉をクリックします。



3. 〈 リスト 〉欄に入力したアドレスが追加されていることを確認します。



4. 登録したアドレスを削除する場合は、〈 リスト 〉欄からアドレスを選択し、〈 削除 〉をクリックします。
5. 設定完了後は、〈 閉じる 〉をクリックし、〈 適用 〉をクリックして完了です。

イベント発生時の各通知手段を設定する(つづき)

【メール受け取りの時間の設定】

以下の手順で、イベントメールを受け取る日時を設定することができます。

1. 各スケジュールの曜日を選択し、クリックします。

スケジュール 1	日	月	火	水	木	金	土	開始 ~ 終了					
	☒	☒	☒	☐	☐	☐	☐	00 ▾	:	00 ▾	~	00 ▾	:

2. < 開始 - 終了 > 欄のメールの受け取りを開始する時間(左)および終了する時間(右)を設定します。

スケジュール 1	日	月	火	水	木	金	土	開始 ~ 終了					
	☒	☒	☒	☐	☐	☐	☐	01 ▾	:	00 ▾	~	02 ▾	:

3. < 適用 > をクリックして完了です。

イベント発生時の各通知手段を設定する(つづき)

【 FTP 】

➤ メニュー ＞ システム設定 ＞ イベント ＞ イベント通知 ＞ FTP タブ



イベント発生時、FTP サーバーにテキストデータを送信できます。

FTP 通知設定メニューの項目

項目	説明
FTP サーバー	テキストデータ保存先の FTP サーバーを登録できます。 ※FTP サーバーを利用する場合は、本機をインターネットに接続しておく必要があります。ネットワークの設定については、「3.5.1 ネットワークアドレス(IPv4)を設定する(p.110)」をご覧ください。 ※FTP サーバーの登録手順については、「FTP サーバーを登録・編集する(p.158)」をご覧ください。
ディレクトリ	FTP 内の保存先ディレクトリ名の設定を行います。 (手動 / 手動_日付 / システム ID / システム ID_日付) 〈 手動 〉を選択した場合、任意でディレクトリ名を設定します。
ファイル名	保存するテキストデータのファイル名の設定を行います。 (手動 / 手動_日付_時刻 / システム ID / システム ID_日付_時刻) 〈 手動 〉を選択した場合、任意でファイル名を設定します。
最小通知間隔	メールを送信してから次のメールを送信するまでの間隔を設定します。 ※メールサーバーによって、配信周期が短すぎるメールをブロックするものがあります。その場合、この設定によってメール配信間隔を設定し通知漏れを回避します。
Web Link を含める	チェックを入れると、テキストデータにブラウザからアクセスするためのアドレスを添付します。
スナップショット イメージを含める	チェックを入れると、テキストデータにイベントの発生した CH の静止画を添付します。
HELP	クリックすると、FTP 通知設定に関する補足説明を表示します。 〈 終了 〉をクリックすると、閉じます。

【 FTP サーバーを登録・編集する 】

以下の手順で、FTP サーバー情報を設定することができます。

1. 「FTP サーバー」欄の「編集」をクリックします。
2. 「ホスト名」欄をダブルクリックし、バーチャルキーボードよりホスト名を入力します。



3. 「ユーザー名」および「パスワード」欄をダブルクリックし、バーチャルキーボードより設定先の FTP サーバーにアクセスするためのユーザー名とパスワードを入力します。

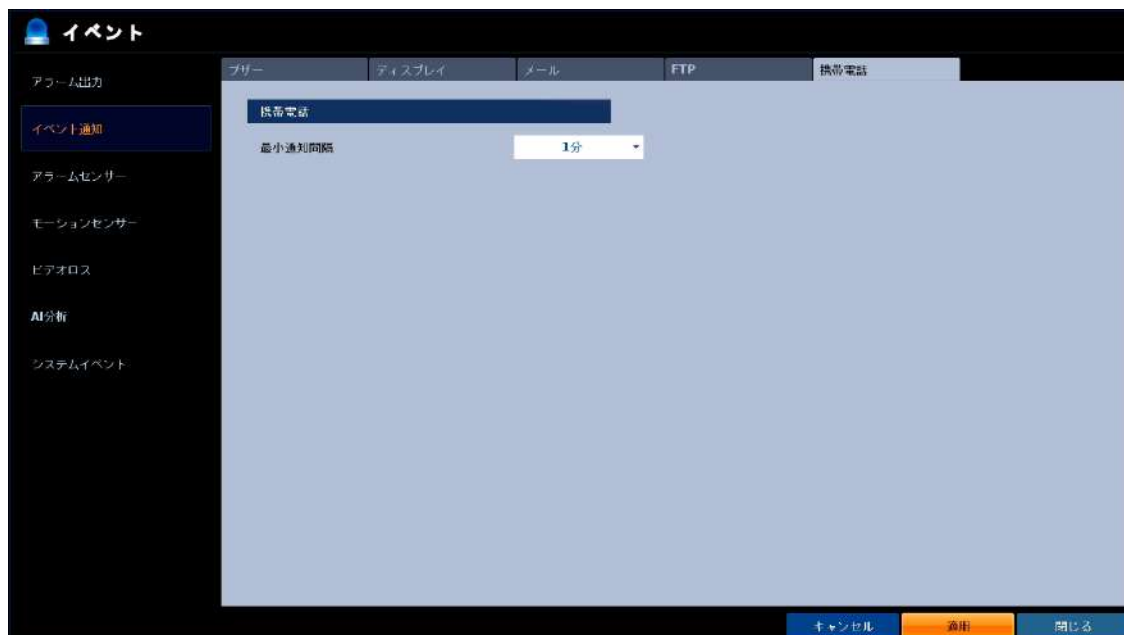


4. 「接続テスト」をクリックすると、設定した FTP サーバーへテストアクセスします。
※接続テストエラーと表示されたら、ホスト名など入力した設定値を見直してください。
5. 設定完了後「OK」をクリックし、「適用」をクリックして完了です。

イベント発生時の各通知手段を設定する(つづき)

【 携帯電話 】

➤ メニュー ＞ システム設定 ＞ イベント ＞ イベント通知 ＞ 携帯電話タブ



スマートフォンアプリ「P2P nViewer」をインストールし、本機のネットワーク情報が登録済みの場合、各イベントが発生時にお使いのスマートフォンにイベント発生通知が送信されます。

「P2P nViewer」のインストール方法や登録方法については、「8.1 P2P nViewer をインストール・アカウント登録する(p.242)」をご覧ください。

携帯電話プッシュ設定メニューの項目

項目	説明
最小通知間隔	イベント発生検知を有効とする最小間隔を選択します。 例：1分に設定した場合、イベント発生を検知した後1分以内に再度発生した同じイベント内容には反応せず、通知を行いません。
	アプリからの通知頻度を調整します。 (0秒 / 1分 / 5分 / 10分 / 15分 / 30分 / 60分)

設定変更後は、「適用」をクリックしてください。

3.8.3 外部センサー作動時の動作を設定する

➤ メニュー 〉 システム設定 〉 イベント 〉 アラームセンサー



外部センサーからアラーム入力信号を検知した場合の動作を設定します。

本機への外部センサー機器の接続については、「1.5.5 外部センサーや警報機を接続する(p.28)」をご覧ください。

アラームセンサー設定メニューの項目

項目	説明
AI1～AI16	端子の名称を表示します。
名前	名称を表示します。
動作	アラームの接点タイプを選択します。 N/O(A 接点): 通常は Open 状態で、アラーム発生時に Close の状態になります。 N/C(B 接点): 通常は Close 状態で、アラーム発生時に Open の状態になります。
連動カメラ	アラーム入力発生時に、録画を行う CH を指定します。 アラーム入力発生時に、接続されている PTZ カメラを指定のプリセットに移動させる設定を行います。
プリセット	「プリセット」にチェックを入れ、  をクリックしてカメラ CH ごとにプリセット位置を指定します。
アラーム出力	アラーム入力発生時に、アラーム出力を行う出力ポートを指定します。 N/A はアラーム出力無効です。

設定変更後は「適用」をクリックしてください。

外部センサー作動時の動作を設定する(つづき)

アラームセンサー設定メニューの項目(つづき)

項目	説明
	チェックを入れると、アラーム入力検知時にブザーを鳴らします。
	チェックを入れると、アラーム入力検知時にその CH 映像をポップアップ表示します。
	チェックを入れると、アラーム入力検知時にインフォメーションポップアップを表示します。
	チェックを入れると、アラーム入力検知時にメール通知を行います。
	チェックを入れると、アラーム入力検知時に FTP サーバーに通知を行います。
	チェックを入れると、アラーム入力検知時にお使いのスマートフォンに通知を行います。

設定変更後は、< 適用 >をクリックしてください。

3.8.4 モーション検知時の動作を設定する

➤ メニュー ＞ システム設定 ＞ イベント ＞ モーションセンサー



カメラ映像にモーション(動き)が発生した場合の動作を設定することができます。

モーションセンサー設定メニューの項目

項目	説明
カメラ	それぞれの CH のカメラを示します。
無視する時間	モーション検知を有効とする最小間隔を指定します。 たとえば 5 秒に設定した場合、モーションを検知した後 5 秒以内に発生したモーションには反応しなくなります。 モーション検知の回数が多すぎる場合にここで調整します。 (5 秒 / 10 秒 / 15 秒 / 20 秒 / 25 秒 / 30 秒)
アラーム出力	モーション検知時にアラーム出力を行う出力ポートを指定します。 N/A はアラーム出力無効です。
プリセット	モーション検知時に接続されている PTZ カメラを指定のプリセットに移動させる設定を行います。 「プリセット」にチェックを入れ、  をクリックしてカメラ CH ごとにプリセット位置を指定します。
	チェックを入れると、モーション検知が発生したときブザーを鳴らします。
	チェックを入れると、モーション検知が発生したときその CH 映像をポップアップ表示します。

設定変更後は、「適用」をクリックしてください。

モーション検知時の動作を設定する(つづき)

モーションセンサー設定メニューの項目(つづき)

項目	説明
	チェックを入れると、モーション検知時にインフォメーションポップアップを行います。
	チェックを入れると、モーション検知時にメール通知を行います。
	チェックを入れると、モーション検知時に FTP サーバーに通知を行います。
	チェックを入れると、モーション検知時にお使いのスマートフォンに通知を行います。

各種設定後は、「適用」をクリックしてください。

3.8.5 ビデオロス発生時の動作を設定する

➤ メニュー 〉 システム設定 〉 イベント 〉 ビデオロス



カメラとの接続が途切れ、ビデオロスが発生した場合の動作を設定します。

ビデオロス設定メニューの項目

項目	説明
カメラ	それぞれの CH のカメラを示します。
無視する時間	ビデオロス検知を有効とする最小間隔を指定します。 たとえば 5 秒に設定した場合、ビデオロスを検知した後 5 秒以内に発生したビデオロスには反応しなくなります。 (0 秒 / 5 秒 / 10 秒 / 15 秒 / 20 秒)
アラーム出力	ビデオロス発生時、アラーム出力を行う出力ポートを指定します。 N/A はアラーム出力無効です。
プリセット	ビデオロスが発生したときに、接続されている PTZ カメラを指定のプリセットに移動させる設定を行います。 「プリセット」にチェックを入れ、  をクリックしてカメラ CH ごとにプリセット位置を指定します。
	チェックを入れると、ビデオロス検知時にブザーを鳴らします。
	チェックを入れると、ビデオロス検知時にメール通知を行います。

設定変更後は、「適用」をクリックしてください。

ビデオロス発生時の動作を設定する(つづき)

ビデオロス設定メニューの項目(つづき)

項目	説明
	チェックを入れると、ビデオロス検知時に FTP サーバーに通知を行います。
	チェックを入れると、ビデオロス検知時にお使いのスマートフォンに通知を行います。

設定変更後は、「適用」をクリックしてください。

3.8.6 AI 分析

➤ メニュー > システム設定 > イベント > AI 分析



現在のバージョンではサポートしていません。

3.8.7 システムイベント発生時の動作を設定する

【ディスク】

➤ メニュー ＞ システム設定 ＞ イベント ＞ システムイベント ＞ ディスクタブ



書き込みエラーなど HDD に関するイベントが発生した場合の動作を設定します。

イベントタイプの項目

項目	説明
上書き開始	古いデータから上書きを開始する場合の動作を設定します。 HDD 上書きモードを「オン」に設定している場合に有効となります。
HDD 空き容量なし	HDD の空き容量がなくなった場合の動作を設定します。 HDD 上書きモードを「オフ」に設定している場合に有効となります。
HDD 使用量警告	HDD の使用量が一定量を超えた場合の動作を設定します。 たとえば、90%と設定した場合、HDD の記録容量が 90%を超えたときにイベント発生時のアクションを起します。 (50% / 60% / 70% / 80% / 90%)
S.M.A.R.T.エラー	HDD に異常が発生した場合の動作を設定します。
HDD 認識エラー	接続中の HDD が認識できなくなった場合の動作を設定します。

設定変更後は、「適用」をクリックしてください。

システムイベント発生時の動作を設定する(つづき)

【 ディスク(つづき) 】

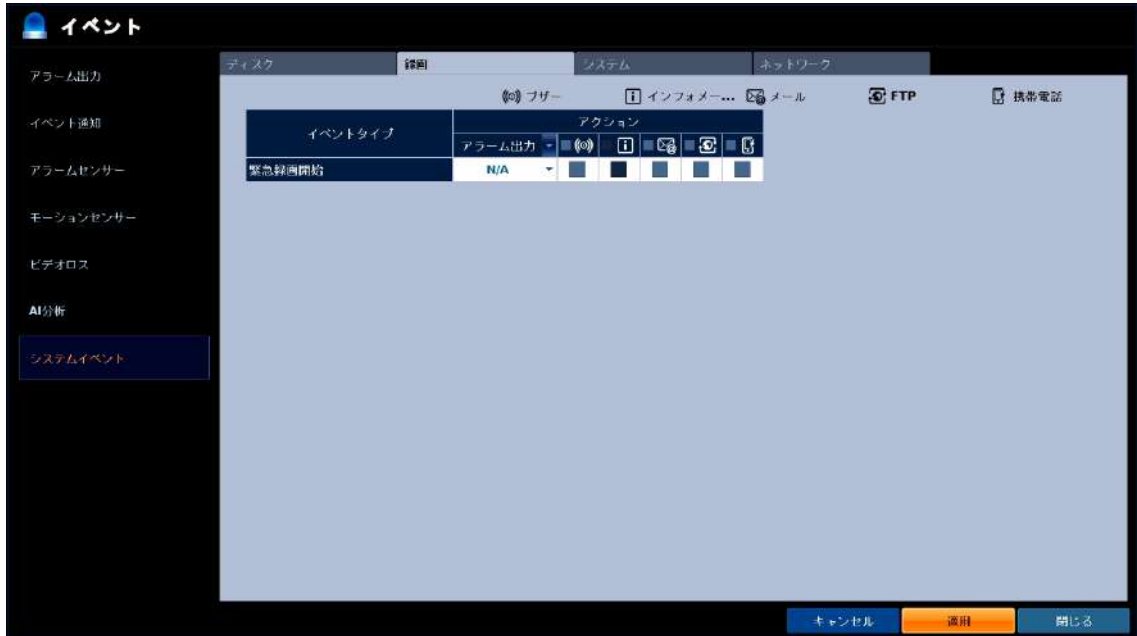
アクションの項目	
項目	説明
アラーム出力	ディスクイベント発生時に、アラーム出力を行う出力ポートを選択します。 < N/A >は、アラーム出力無効となります。
	チェックを入れると、ディスクイベント発生時にブザーを鳴らします。
	チェックを入れると、ディスクイベント発生時にインフォメーションポップアップを表示します。
	チェックを入れると、ディスクイベント発生時にメール通知を行います。
	チェックを入れると、ディスクイベント発生時に FTP サーバーに通知を行います。
	チェックを入れると、ディスクイベント発生時にお使いのスマートフォンに通知を行います。

設定変更後は、「適用」をクリックしてください。

システムイベント発生時の動作を設定する(つづき)

【録画】

➤ メニュー ＞ システム設定 ＞ イベント ＞ システムイベント ＞ 録画タブ



緊急録画を開始した場合の動作を設定します。

イベントタイプの項目

項目	説明
緊急録画開始	手動録画を開始する場合の動作を設定します。

アクションの項目

項目	説明
アラーム出力	緊急録画開始時に、アラーム出力を行う出力ポートを選択します。 < N/A >は、アラーム出力無効となります。
☐ 	チェックを入れると、緊急録画開始時にブザーを鳴らします。
☐ 	チェックを入れると、緊急録画開始時にメール通知を行います。
☐ 	チェックを入れると、緊急録画開始時に FTP サーバーに通知を行います。
☐ 	チェックを入れると、緊急録画開始時にお使いのスマートフォンに通知を行います。

設定変更後、「適用」をクリックしてください。

システムイベント発生時の動作を設定する(つづき)

【 システム 】

➤ メニュー ＞ システム設定 ＞ イベント ＞ システムイベント ＞ システムタブ



本機の温度警告などシステムに関するイベントが発生した場合の動作を設定します。

イベントタイプの項目

項目	説明
システム起動	本機が起動した場合の動作を設定します。
ログインエラー	パスワードの誤入力によりログインに失敗した場合の動作を設定します。 ※ イベントタイプ項目をクリックし、ログインに何回失敗したらイベントを発生させるかを指定することができます。 (リトライ 1回 / 2回 / 3回 / 4回 / 5回)

設定変更後、「適用」をクリックしてください。

システムイベント発生時の動作を設定する(つづき)

【 システム(つづき) 】

アクションの項目	
項目	説明
アラーム出力	システムイベント発生時に、アラーム出力を行う出力ポートを選択します。 < N/A >は、アラーム出力無効となります。
	チェックを入れると、システムイベント発生時にブザーを鳴らします。
	チェックを入れると、システムイベント発生時にインフォメーションポップアップを表示します。
	チェックを入れると、システムイベント発生時にメール通知を行います。
	チェックを入れると、システムイベント発生時に FTP サーバーに通知を行います。
	チェックを入れると、システムイベント発生時にお使いのスマートフォンに通知を行います。

設定変更後、「適用」をクリックしてください。

システムイベント発生時の動作を設定する(つづき)

【 ネットワーク 】

➤ [メニュー](#) > [システム設定](#) > [イベント](#) > [システムイベント](#) > [ネットワークタブ](#)



ネットワークに関するイベントが発生した場合の動作を設定します。

イベントタイプの項目

項目	説明
ネットワークエラー	本機のネットワーク接続にエラーが発生した場合の動作を設定します。 ※ 本機のネットワーク設定を行わない場合は、通知を行わない設定にしてください。
クライアントログインエラー	クライアント PC から本機へログインに失敗した場合の動作を設定します。 ※ 本項目をクリックし、ログインに何回失敗したらイベントを発生させるかを指定することができます。 (リトライ 1 回 / 2 回 / 3 回 / 4 回 / 5 回)
DDNS 更新エラー	DDNS アドレスの更新に失敗した場合の動作を設定します。 ※ 本項目をクリックし、更新に何回失敗したらイベントを発生させるかを指定することができます。 (リトライ 1 回 / 2 回 / 3 回 / 4 回 / 5 回)
IP 衝突イベント	同じネットワーク内に IP アドレスが重複している場合の動作を設定します。
AI ボックス障害イベント	現在のバージョンではサポートしていません。

設定変更後、「適用」をクリックしてください。

システムイベント発生時の動作を設定する(つづき)

【 ネットワーク(つづき) 】

アクションの項目	
項目	説明
アラーム出力	ネットワークイベント発生時に、アラーム出力を行う出力ポートを選択します。 < N/A >は、アラーム出力無効となります。
	チェックを入れると、ネットワークイベント発生時にブザーを鳴らします。
	チェックを入れると、ネットワークイベント発生時にインフォメーションポップアップを表示します。
	チェックを入れると、ネットワークイベント発生時にメール通知を行います。
	チェックを入れると、ネットワークイベント発生時に FTP サーバーに通知を行います。
	チェックを入れると、ネットワークイベント発生時にお使いのスマートフォンに通知を行います。

設定変更後、「適用」をクリックしてください。

3.9 録画設定

本機の録画モードや解像度・フレームレートなどを設定することができます。

【 録画設定画面に入るには 】

マウスの使用方法



リモコンの使用方法



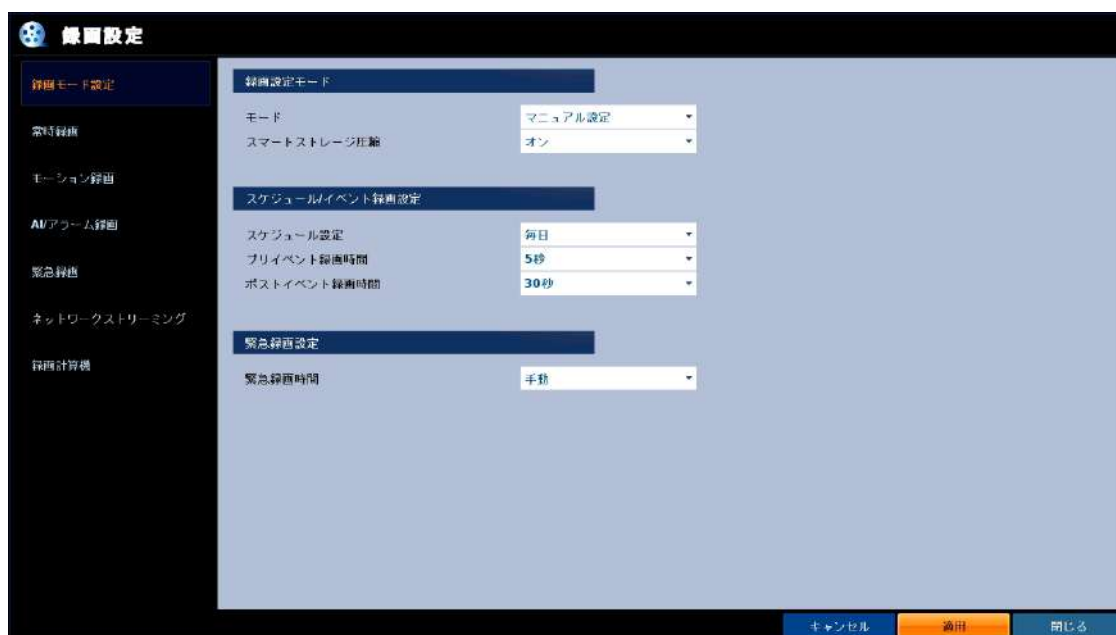
【 設定を終えるとき 】

設定値を保存するときは、画面下の「適用」を選択してください。

画面下のアイコン	内容
キャンセル	クリックすると設定値を破棄し、変更前の状態に戻ります。
適用	クリックすると変更した設定値を更新し、保存します。
閉じる	クリックすると設定メニューを閉じてライブ画面に戻ります。

3.9.1 録画モードを選択する

➤ メニュー ＞ 録画設定 ＞ 録画モード設定



録画モード設定メニューの項目

項目	説明
モード	録画モードを設定します。 - かんたん設定：推奨の記録モードの中から選択して録画を行います。（解像度やフレームレートは自動的に設定されます。） - マニュアル設定：解像度やフレームレートを詳細に設定して録画を行います。（解像度やフレームレートを任意で設定して録画を行います。） ※IP カメラを登録・運用する場合は、マニュアル設定モードを選択してください。
スマートストレージ圧縮	「オフ」にすると、設定したビットレートを録画 FPS と画質関係なく、最大値で録画をおこないます。 「オン」にすると、録画 FPS と画質設定によってビットレートを最適化しながら録画をおこないます。
スケジュールイベント録画設定	〈モード〉で選択した録画モードによって、設定内容が異なります。詳細は、【かんたん設定 (p.176)】または、【マニュアル設定 (p.177)】をご覧ください。
緊急録画時間	緊急録画を開始した際、何分間録画を行うかを設定します。 (手動 / 1 分 / 5 分 / 10 分 / 20 分 / 30 分 / 40 分 / 50 分 / 60 分) ※手動 ：ユーザーが緊急録画を停止するまで録画を継続します。

設定変更後は、「適用」をクリックしてください。

録画モードを選択する(つづき)

【 スケジュール・イベント録画設定(かんたん設定) 】

➤ メニュー＞録画設定＞録画モード＞モード(かんたん設定)＞スケジュール・イベント録画設定



録画モードにて「かんたん設定」を選択します。

スケジュール・イベント録画設定の項目(かんたん設定)

項目	説明
常時録画 (HD 録画日数を優先)	長期間の録画ができるよう解像度/画質/フレームレートを自動で調整します。
常時録画 (HD 録画画質を優先)	最大解像度/最高画質/最大フレームレートで連続録画(24 時間録画)を行います。
モーション録画	普段は録画を行わず、モーションを検知した場合のみ録画を行います。
アラーム録画	普段は録画を行わず、アラーム入力が発生した場合のみ録画を行います。
モーション or アラーム録画	普段は録画を行わず、モーション検知あるいはアラーム入力が発生した場合のみ録画を行います。
モーション優先/ 常時録画	普段は低解像度/低画質/低フレームレートで録画を行い、モーションを検知した場合に、最大解像度/最高画質/最大フレームレートで録画を行います。
アラーム優先/ 常時録画	普段は低解像度/低画質/低フレームレートで録画を行い、アラーム入力が発生した場合に最大解像度/最高画質/最大フレームレートで録画を行います。
モーション or アラーム 優先/常時録画	普段は低解像度/低画質/低フレームレートで録画を行い、モーション検知あるいはアラーム入力が発生した場合に最大解像度/最高画質/最大フレームレートで録画を行います。

設定変更後は、「適用」をクリックしてください。

録画モードを選択する(つづき)

【 スケジュール・イベント録画設定(マニュアル設定) 】

➤ メニュー > 録画設定 > 録画モード > モード(マニュアル設定) > スケジュール・イベント録画設定

スケジュール/イベント録画設定	
スケジュール設定	毎日 ▼
プリイベント録画時間	5秒 ▼
ポストイベント録画時間	30秒 ▼

スケジュール/イベント録画設定メニューの項目(マニュアル設定)

項目	説明
スケジュール設定	スケジュールを行う単位を設定します。 毎日： 毎日同じスケジュールで録画を行います。 曜日： 1 週間のうち曜日ごとに異なるスケジュールで録画を行います。 ※ スケジュール設定時に、曜日ごとに録画タイミングを設定したい場合は、 「曜日」を必ず選択してください。
プリイベント録画	イベント発生は何秒前からの映像を録画するかを設定します。 ※10 秒または 15 秒を選択した場合、解像度を下げた映像でプリイベント 録画を行います。
ポストイベント録画	イベント発生は何秒後まで映像を録画するかを設定します。

設定変更後は、「適用」をクリックしてください。

※ マニュアル設定を適用する場合は、これ以降の常時録画・モーション録画・アラーム録画
の設定を行ってください。

3.9.2 常時録画時のパラメータ・スケジュールを設定する

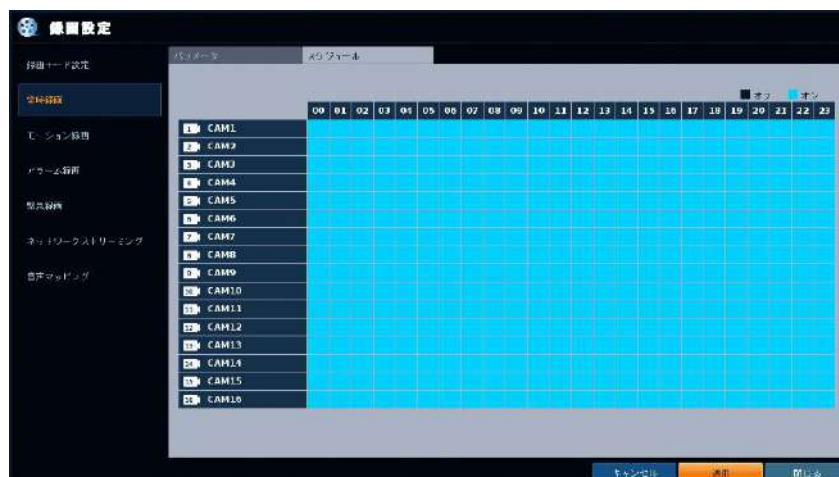
メニュー > 録画設定 > 常時録画



常時録画(24 時間録画)の解像度・フレームレートやスケジュールを設定します。

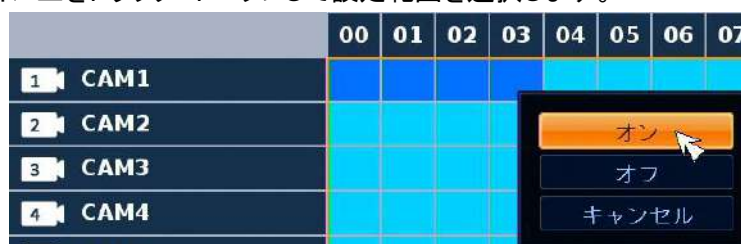
以下の手順でスケジュールの設定ができます。

1. 「スケジュール」タブをクリックします。



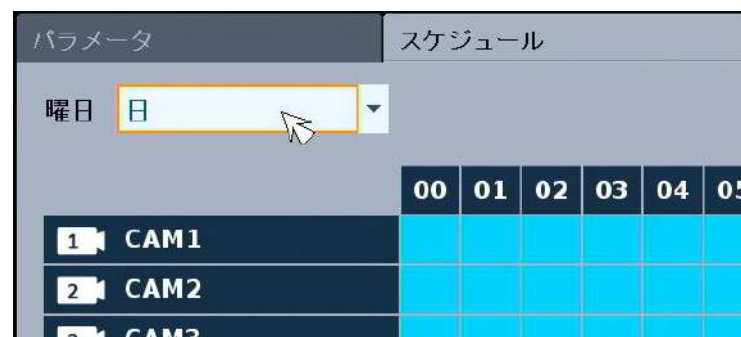
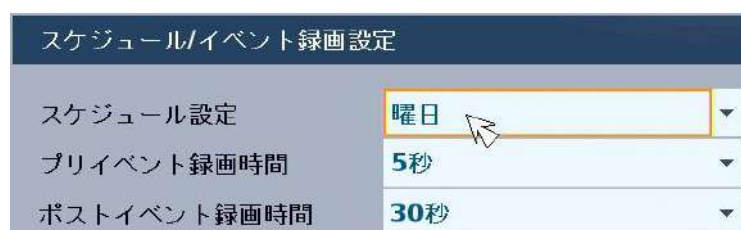
常時録画時のパラメータ・スケジュールを設定する(つづき)

2. 各 CH のタイムライン上でドラッグ&ドロップして設定範囲を選択します。



「オン」を選択すると有効となり、水色で表示されます。(オフは黒色で表示されます。)
初期設定では、全 CH が全ての時間、常時録画機能が有効となっています。

3. 「スケジュール設定」が「曜日」である場合、曜日ごとにスケジュールを設定できます。



4. スケジュール設定後、「適用」をクリックします。

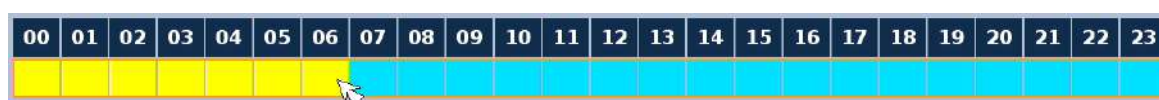
常時録画時のパラメータ・スケジュールを設定する(つづき)

5. 続けて、「パラメータ」タブをクリックします。



6. 画面上のタイムライン上をドラッグ&ドロップして、設定範囲を選択します。

7. パラメータ設定画面で、各 CH 行の項目を設定します。



項目	説明
解像度	録画する画像サイズを指定します。
FPS	フレームレート(1秒間に何枚の画像を録画するか)を指定します。
画質	録画する画質を指定します。
音声	音声記録を行うかどうかを設定します。 << 注意 >> IPカメラを登録しているCHは、音声記録・再生は対応しません。 あらかじめご了承ください。 ライブ音声出力の手順については、「3.3.1 スピーカーから音声出力する(p.100)」をご覧ください。

8. 設定後、「OK」をクリックし、「適用」をクリックして完了です。
適用後は、設定されたパラメータ・スケジュールで常時録画を行います。

3.9.3 モーション録画時のパラメータ・スケジュールを設定する

➤ メニュー > 録画設定 > モーション録画



動きを検知した際の録画の解像度・フレームレートやスケジュールを設定することができます。

設定手順は、常時録画と同様となります。

詳細は、「3.9.2 常時録画のパラメータ・スケジュールを設定する(p.178)」をご覧ください。

3.9.4 アラーム録画時のパラメータ・スケジュールを設定する

➤ メニュー ＞ 録画設定 ＞ AI/アラーム録画



アラーム録画の解像度・フレームレートやスケジュールを設定することができます。

設定手順は、常時録画と同様となります。

詳細は、「3.9.2 常時録画のパラメータ・スケジュールを設定する(p.179)」をご覧ください。

3.9.5 緊急録画時のパラメータを設定する

➤ メニュー ＞ 録画設定 ＞ 緊急録画

	解像度	FPS	画質	音声
1 CAM1	1920x1080	7	高	オフ
2 CAM2	2592x1944	7	高	オフ
3 CAM3	1920x1080	7	高	オフ
4 CAM4	1920x1080	7	高	オフ
5 CAM5	1920x1080	7	高	オフ
6 CAM6	1920x1080	7	高	オフ
7 CAM7	1920x1080	7	高	オフ
8 CAM8	1920x1080	7	高	オフ
9 CAM9	1920x1080	7	高	オフ
10 CAM10	1920x1080	7	高	オフ
11 CAM11	1920x1080	7	高	オフ
12 CAM12	1920x1080	7	高	オフ
13 CAM13	1920x1080	7	高	オフ
14 CAM14	1920x1080	7	高	オフ
15 CAM15	1920x1080	7	高	オフ
16 CAM16	1920x1080	7	高	オフ

設定

キャンセル 適用 閉じる

緊急録画の解像度・フレームレートなどを設定することができます。

設定手順は、常時録画と同様となります。

詳細は、「3.9.2 常時録画のパラメータ・スケジュールを設定する(p.179)」をご覧ください。

※緊急録画設定には、スケジュールを設定する項目はありません。

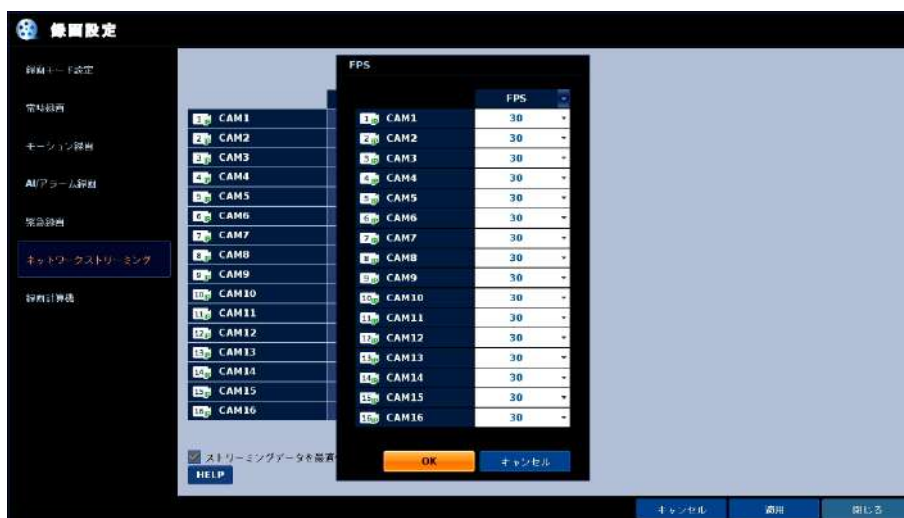
3.9.6 ネット配信時の FPS を設定する

➤ メニュー > 録画設定 > ネットワークストリーミング



遠隔配信時のフレームレートを設定できます。

「設定」をクリックすると、各 CH の配信時のフレームレート設定画面が開きます。

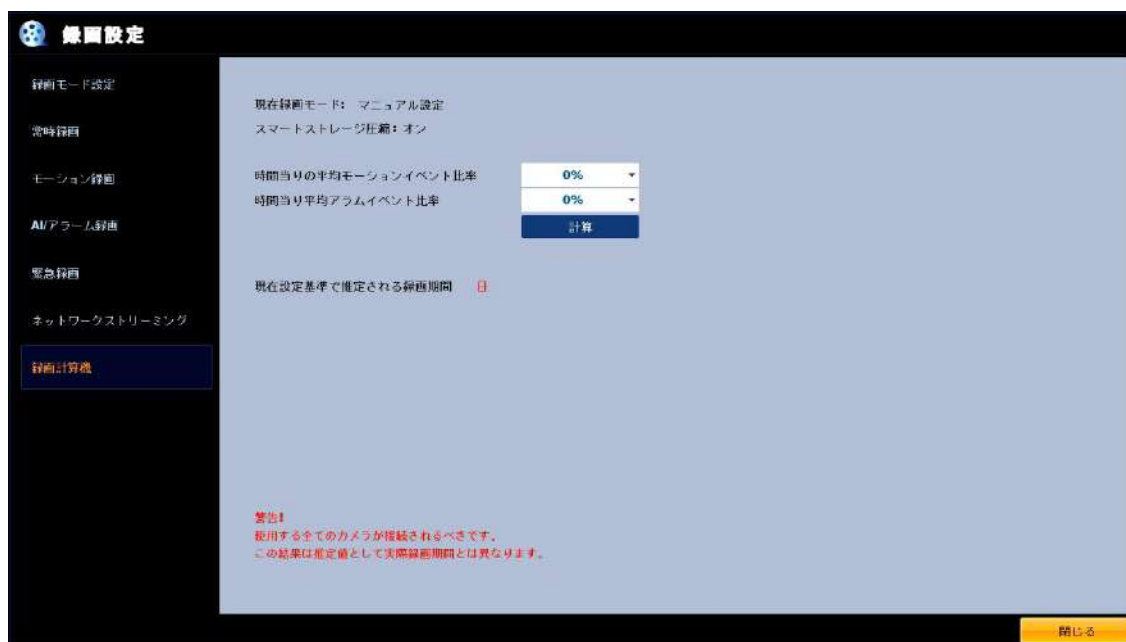


設定変更後は、「OK」をクリックします。

「ストリーミングデータを最適化する」にチェックをいれると、遠隔接続時のフレームレート値を自動的に調整して配信を行います。

3.9.7 録画計算機

➤ メニュー > 録画設定 > 録画計算機

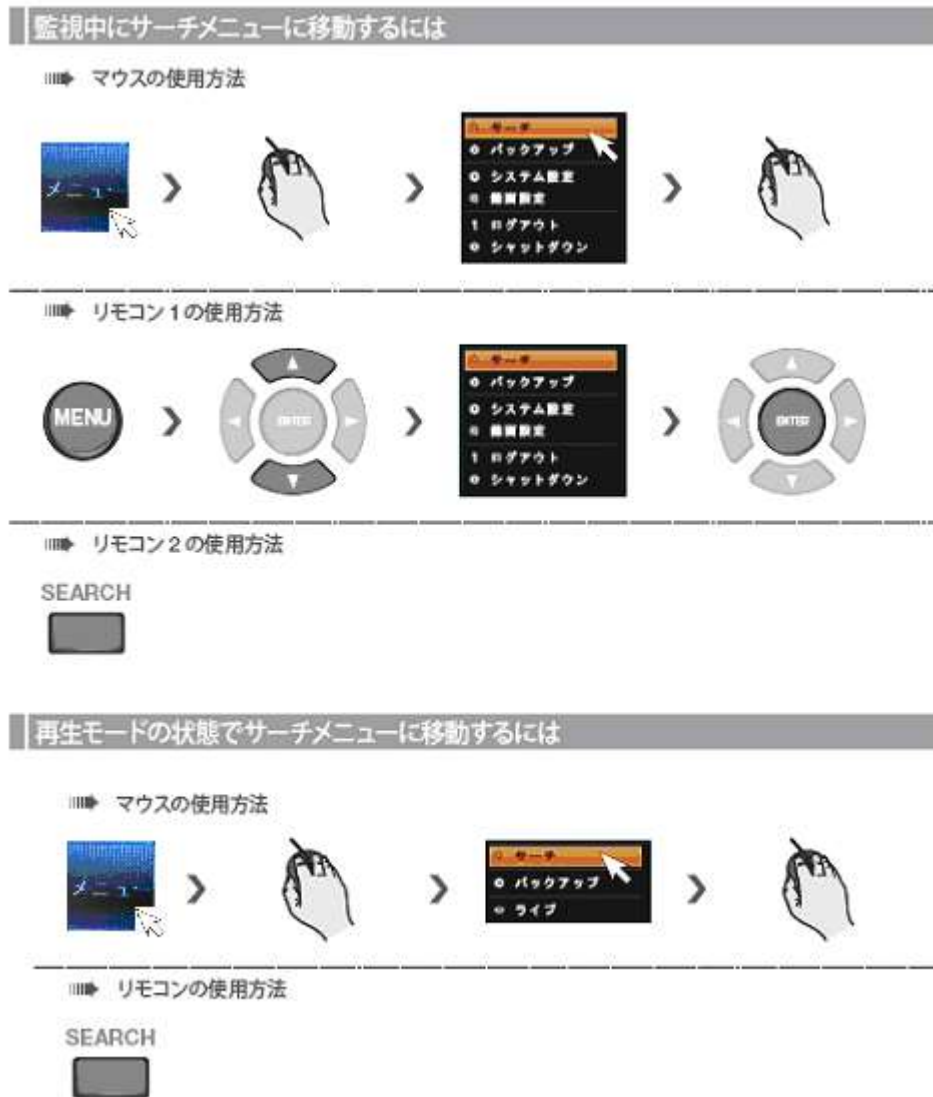


現在のバージョンではサポートしていません。
初期値から変更しないでください。

4章 検索・再生

本機に録画した映像を検索（サーチ）・再生を行います。

以下のいずれかの方法で、サーチ画面に入ることができます。



以下の検索方法から選択してください。

- **タイムサーチ** … カレンダーとタイムバーから日時を選択し、映像を検索します。（→p.4-2）
- **サムネイルサーチ** … 1時間ごと/1分ごとなど、映像を一覧表示して検索します。（→p.4-4）
- **イベントサーチ** … アラームやモーションなどのイベントログから、映像を検索します。（→p.4-6）

4.1 録画映像を再生する(タイムサーチ)

➤ メニュー > サーチ > タイムサーチ



カレンダーとタイムバーを使用して記録映像を検索します。

1. サーチ画面上方の「タイムサーチ」タブをクリックします。



2. 画面左上のカレンダーから、見たい映像の日付を選択します。
※ 録画映像がある日付は背景が黄色で表示されます。

〈 カレンダーの見方 〉



タイムサーチ(つづき)

3. カレンダー上で日付を選択し、画面右上にタイムバーが表示されます。
ドラッグ&ドロップでタイムバーを移動させ、見たい映像の時間帯を選択します。

※ タイムバー上では、映像のある時間帯が録画モードごとに色つきで表示されます。

緑 … 常時録画 / 赤 … アラーム録画 / 青 … モーション録画
黄 … 緊急録画 / 黄緑 … プリイベント録画



タイムバーでの操作項目

アイコン	説明
	タイムバーを最新の状態に更新します。
	タイムバーをズームイン / ズームアウトします。
	タイムバーを左右にスクロールします。

※再生日時を細かく設定したい場合

再生する映像の日時が判明している場合は、直接日時を指定して再生を行うことができます。

- ① カレンダー下の時刻入力欄にある  をクリックし、日時指定ウィンドウを表示します。
- ② 上下の矢印のアイコンをクリックし、年/月/日/時/分/秒 を設定します。

日付/時刻

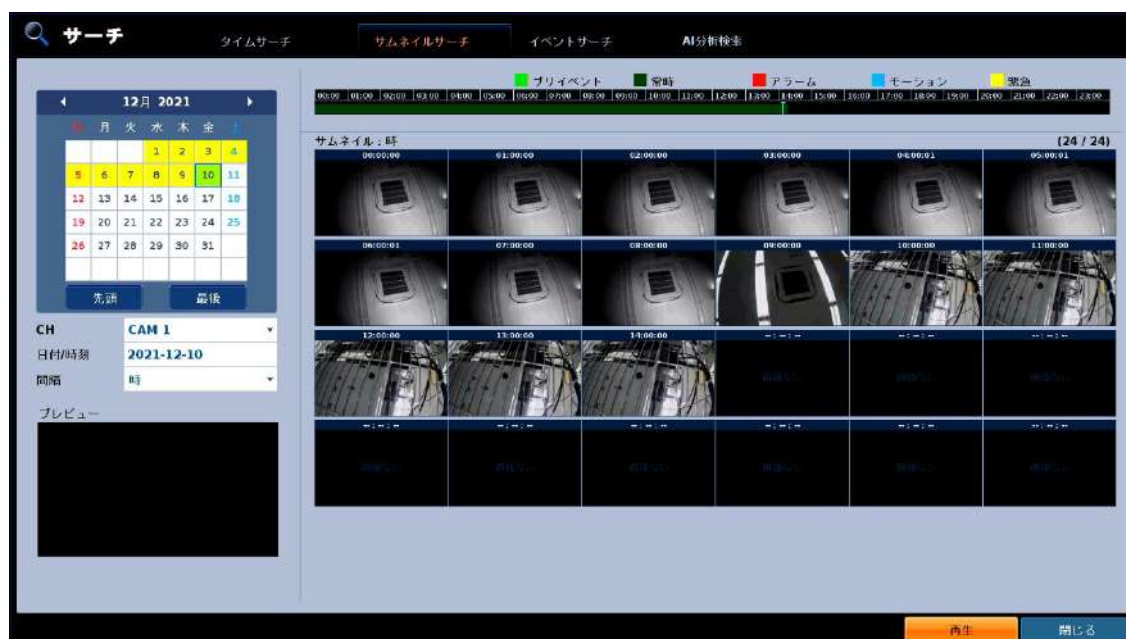
年	月	日	時	分	秒
2015	02	05	19	22	02

OK キャンセル

- ③ 「OK」をクリックします。
4. 画面右下の「再生」をクリックすると、再生画面となり選択した時間からの映像を表示します。
※再生画面の操作方法については、「4.5 再生画面での操作・見方(p.194)」をご覧ください。

4.2 録画映像を再生する(サムネイルサーチ)

➤ メニュー ＞ サーチ ＞ サムネイルサーチ



CH ごとに 1 日ごと、1 時間ごと、あるいは 1 分ごとの映像の一覧を表示して検索します。

1. サーチ画面上方の「サムネイルサーチ」タブをクリックします。



2. 画面左上のカレンダーから、見たい映像の日時を選択します。

※ カレンダーの見方については、「4.1 録画映像を再生する<カレンダーの見方>」(p.187)をご覧ください。

3. カレンダー下の各項目を以下のように設定します。

- CH … 検索対象とするカメラチャンネルを選択します。
- 日付/時刻 … 表示するサムネイルの開始日時を設定します。(設定後は、「OK」をクリックします。)
- 間隔 … 表示する一覧を 1 日ごと/1 時間ごと/1 分ごとにするかを選択します。

CH	CAM 1
日付/時刻	2019-01-21 07H
間隔	分

サムネイルの日時

年	月	日
2016	07	05

OK キャンセル

サムネイルサーチ(つづき)

- 画面右上のタイムバーから、検索する時間帯を選択します。
※ タイムバーの見方については、「4.1 録画映像を再生する(タイムサーチ)(p.188)」をご覧ください。
- 画面右に映像のサムネイルが表示されるので、その中から再生したいサムネイルをクリックします。
画面左下のプレビューウィンドウに映像が再生されます。



- 画面下の「再生」をクリックすると、再生画面となり選択した時間からの映像を表示します。
※再生画面の操作方法については、「4.5 再生画面での操作・見方(p.194)」をご覧ください。

4.3 録画映像を再生する(イベントサーチ)

➤ メニュー > サーチ > イベントサーチ



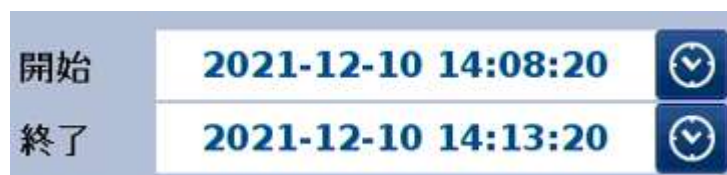
指定した時間帯に発生したイベントログを検索し、イベント発生時の映像を再生することができます。

1. サーチ画面上方の「イベントサーチ」タブをクリックします。



2. 画面左上の「開始」の  をクリックし、検索開始点となる日時を指定します。

画面左上の「終了」の  をクリックし、検索終了点となる日時を指定します。



3. 画面左上の「CH」のプルダウンをクリックし、検索対象とするカメラチャンネルを選択します。



イベントサーチ(つづき)

4. 画面左上の〈 イベント 〉欄から検索対象とするイベントを選択します。
 〈 すべて 〉のチェックを入れると、全イベント検索を検索できます。
 検索対象を設定後、〈 サーチ 〉をクリックします。

- 全 : すべてのイベントログを検索します。
- アラーム : アラーム入力を検出したログを検索します。
- ビデオ : ビデオロス・ビデオロスからの復帰したログを検索します。
- システム : ログインやシステム起動、システムエラーなどのログを検索します。
- ネットワーク : 遠隔接続やネットワークエラーなどのログを検索します。
- モーション : モーション検知が発生したログを検索します。
- 録画 : 各録画モードで録画を開始したログを検索します。
- ストレージ : HDD エラーなどが発生したログを検索します。
- IP カメラ : 各 CH の IP カメラの接続・切断・ログインエラーのログを検索します。
- 設定 : レコーダーの設定変更を行ったログを検索します。

5. 検索で表示されたログの中から再生したい映像のものを選択します。

〈 並び替え 〉でイベントログの並びを変更できます。

種類	時間	ログ
システム設定	08-29-2016 18:38:20	ADMINログオン
録画	08-29-2016 18:37:39	CH 01 : 常時録画スタート
ビデオ	08-29-2016 18:37:39	#01ビデオロス復帰
録画	08-29-2016 18:37:32	CH 01 : 常時録画ストップ
ビデオ	08-29-2016 18:37:32	#01ビデオロス検出
システム設定	08-29-2016 18:37:25	ADMINログオフ

6. 画面下の〈 再生 〉をクリックすると、再生画面となりイベント発生時の映像を表示します。
 ※再生画面の操作方法については、「4.5 再生画面での操作・見方(p.194)」をご覧ください。

4.4 AI 分析検索

➤ メニュー ＞ サーチ ＞ AI 分析検索



現在のバージョンではサポートしていません。

4.5 再生画面での操作・見方

4.5.1 各種アイコンのはたらき

再生画面内では、記録映像や再生・停止アイコンなどさまざまなアイコンが表示されています。
各アイコンと内容については、次ページをご覧ください。

タイムライン

→詳細は、「2.2 タイムラインの見方(p.51)」をご覧ください。



再生映像の録画時刻を表示します。

画面表示を切り替えます。

サーチ画面やライブ画面に移動します。

※表示パネル上で右クリックすると、クイックメニューが表示されます。



各種アイコンのはたらき(つづき)

再生画面アイコン

アイコン	説明
	再生画面を最大化します。
	画面の分割表示を切り替えます。 4CH モデル：最大 4 分割 8CH モデル：最大 9 分割 16CH モデル：最大 16 分割 << 注意 >> 録画再生時、1 画面表示から分割表示画面に切替えると、フレーム処理のため 1 コマ進んだ状態で表示されます。また、画面を切替えた際に映像が非表示の状態であっても、再生アイコン  をクリックすることで正常に映像再生を再開します。
	OSD メニューを非表示にします。
	再生中、映像を 5 秒戻します。
	再生中： 巻戻しを行います。 クリックするごとに倍率を変更できます。(x2 / x4 / x8 / x16 / x32 / x64) 一時停止中： コマ戻しを行います。(1 フレームずつ戻します。)
	逆方向再生をします。
	再生中に一時停止をします。
	正方向再生をします。
	再生中： 早送りを行います。 クリックするごとに倍率を変更できます。(x2 / x4 / x8 / x16 / x32 / x64) 一時停止中： コマ送りをを行います。(1 フレームずつ進みます。)
	再生中、映像を 5 秒送ります。
	1 画面表示のとき、デジタルズーム画面に入ります。 ※詳細は、「2.5 映像を拡大表示(デジタルズーム)する(p.56)」をご覧ください。
	1 画面表示のとき、カメラのスナップショット(静止画)を保存します。 ※詳細は、「4.5.2 スナップショット保存(p.196)」をご覧ください。
	録画映像をバックアップするためのリザーブデータ(予約)を作成します。 ※詳細は、「4.5.3 バックアップ予約をする(p.198)」をご覧ください。

4.5.2 スナップショットを保存する

- ライブ画面 > 表示パネル上で右クリック > 静止画
- 再生画面 > 表示パネル上で右クリック > 静止画

ライブ映像や記録映像の 1 コマを静止画として保存することができます。

※ カメラからの映像がないチャンネルは、スナップショットを行うことはできません。

1. USB メモリーを本機に接続します。
接続箇所については、「1.3 本機各部の名称とはたらき (p.20)」をご覧ください。
2. スナップショットを行う CH を選択し、表示パネル上で右クリックします。



3. 「静止画」をクリックし、静止画取得画面を表示します。



4. 「書込」をクリックすると、USB メモリーなどに静止画を保存することができます。
「リザーブ」をクリックすると、現在の静止画のリザーブデータとして、保存することができます。
リザーブした静止画を保存する場合は、「5.2 リザーブデータをバックアップする (p.206)」をご覧ください。

スナップショットを保存する(つづき)

5. 「書込」をクリックした場合、さらに書込み設定画面が表示されます。

書込設定メニューの項目

項目	説明
デバイス名	USB メモリーなどを接続している場合、外部メモリー名を表示します。
タグ名	バックアップデータの名前を入力します。(必須)
メモ	テキストデータ内にメモとして情報を入力することができます。(任意)
バックアップ	静止画のバックアップを開始します。
デバイス フォーマット後に 書込	バックアップ先のデバイス内をフォーマットし、 その後、静止画のバックアップを開始します。 ※ あらかじめデバイス内に保存されているデータは全て消去されます。
キャンセル	静止画のバックアップを中止します。

6. 「デバイス名」と「タグ名」を設定後、「バックアップ」をクリックします。

7. 「データの書込みが正常に完了しました。」と表示されたら、< OK >をクリックしバックアップ完了です。



4.5.3 バックアップ予約をする

➤ 再生画面＞リザーブアイコン



➤ 再生画面＞表示パネル上で右クリック＞リザーブ開始



映像を再生中、その時点からのバックアップを行いたい場合に、バックアップ予約(リザーブデータ)を作成できます。

1. 記録映像を再生中、バックアップする映像の開始点となるシーンで、「一時停止」します。

2. 再生画面右下の予約アイコン



をクリックします。

表示パネル上で右クリックし、「リザーブ開始」からでも設定できます。



バックアップ予約をする(つづき)

3. リザーブ設定画面にて各項目に入力し、〈 開始 〉をクリックします。



リザーブ設定メニューの項目

項目	説明
タグ	リザーブデータのタイトルを入力します。(必須)
開始	バックアップ映像開始時刻を表示します。
終了	バックアップ映像終了時刻を表示します。
メモ	ブックマークのコメントを入力します。(任意)
情報	バックアップデータの容量を表示します。
バックアップ チャンネル	バックアップを実行するカメラチャンネルを選択します。(必須)
ログ	チェックを入れると、バックアップ時にログのテキストデータを保存します。
コーデック	チェックを入れると、バックアップ時に映像再生に必要なコーデックを保存します。
リザーブ	リザーブデータを登録します。
実行	バックアップを開始/再開します。
開始	開始点において、リザーブを開始します。
停止	終了点において、リザーブを終了します。

※ リザーブデータを作成中は、リザーブ作成アイコンが  と表示されます。

バックアップ予約をする(つづき)

4. リザーブ動作を終了させる場合は、リザーブアイコン  をクリックし、「停止」をクリックします。
「停止」をクリックすると、「リザーブ」が選択できるようになります。
※クイックメニューから操作する場合は、「リザーブ停止」をクリックします。
※「実行」をクリックすると、リザーブ動作を再開します。



- ＜ 開始(終了) ＞にリザーブ期間が表示されます。
- ＜ 情報 ＞にデータ容量が表示されます。

5. 「リザーブ」をクリックし、表示された確認画面で「OK」をクリックしバックアップ予約は完了です。



※ ブックマークした映像を実際に USB メモリーなどに保存するには、「5-2 リザーブデータをバックアップする(p.206)」をご覧ください。

5章 バックアップ

録画映像を USB メモリーまたは FTP サーバーにバックアップを行います。

USB メモリーへのバックアップは、付属の USB メモリー(32GB)をご使用いただけます。

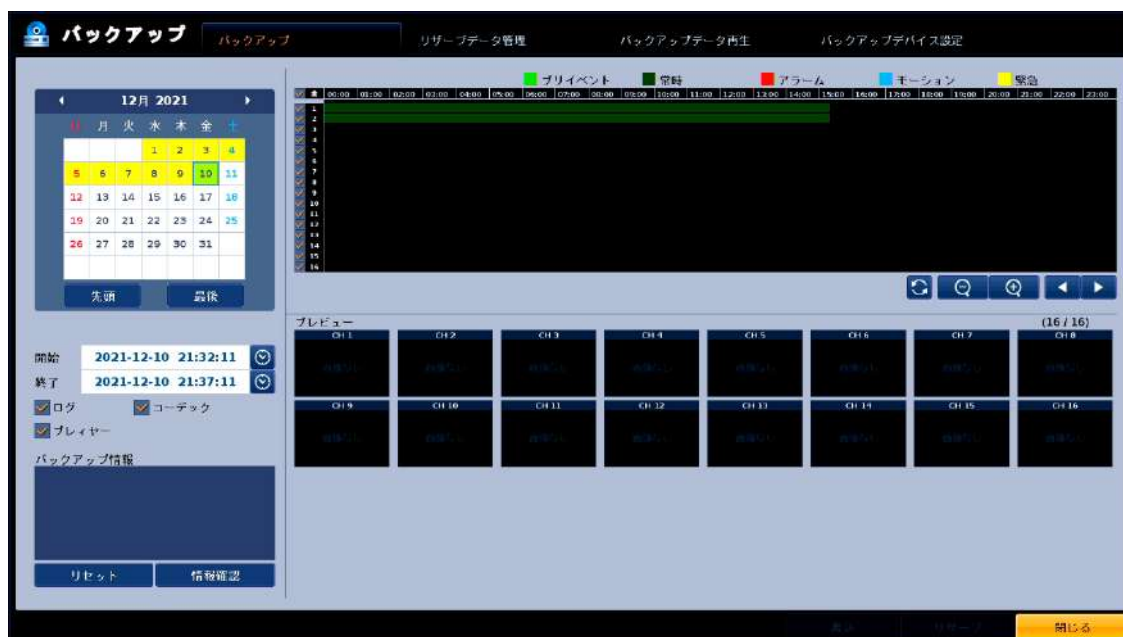
【 バックアップ画面に入るには 】

ライブ画面左下の  をクリックして、〈 バックアップ 〉をクリックします。



5.1 録画映像をバックアップする

➤ メニュー > バックアップ > バックアップ



開始日時と終了日時を指定してバックアップを行います。

1. USB メモリーを本機に接続します。
接続箇所については、「1.3 本機各部の名称とはたらき(p.20)」をご覧ください。
2. バックアップ画面上方の< バックアップ >タブをクリックします。



3. 画面左上のカレンダーから、バックアップする映像の日付を選択します。
※カレンダーの操作については、「4.1 録画映像を再生する(タイムサーチ)(p.187)」をご覧ください。
4. タイムバーの左側のチェックボックスをクリックし、バックアップを行うカメラチャンネルを選択します。



記録映像をバックアップする(つづき)

5. 画面右上のタイムバーから、映像をバックアップする時間帯をドラッグ&ドロップで範囲選択します。



※ タイムバーの見方・操作については、「4.1 録画映像を再生する(タイムサーチ) (p.187)」をご覧ください。

※ 1 度にバックアップできるデータ容量は、最大 20GB です。

※バックアップ日時を細かく設定したい場合

- ① カレンダー下の「開始(終了)」にある  をクリックし、日時指定ウィンドウを表示します。
- ② 上下の矢印のアイコンをクリックし、年/月/日/時/分/秒 を設定します。



- ③ 「OK」をクリックします。

6. 画面左のチェックボックスで、映像と一緒に保存するデータの設定を行います。



- ログ … チェックを入れると、バックアップ映像のイベントログのテキストデータを保存します。
- プレイヤー … チェックを入れると、バックアップ映像を PC で再生するために必要なプレイヤーを保存します。
- コーデック … チェックを入れると、バックアップ映像を PC で再生するために必要なビデオコーデックを保存します。

記録映像をバックアップする(つづき)

7. 画面左下の〈 情報確認 〉をクリックします。

〈 バックアップ情報 〉欄にバックアップを行うデータの容量を表示します。



8. 画面右下の〈 書込み 〉をクリックします。

※〈 リザーブ 〉をクリックすると、リザーブデータに追加されます。

→詳細は、「5.2 リザーブデータをバックアップする(p.206)」をご覧ください。

9. 各項目に設定値を入力します。

- デバイス名 ... 保存先のメディアを選択します。
- データ形式 ... データの保存形式を選択します。
 - ✓ AVI ... 汎用形式です。WindowsMediaPlayerなどで再生できます。
 - ✓ RAW ... 独自形式です。再生には専用のソフトが必要です。
 - ✓ RAW(暗号化) ... 独自形式に加え、パスワードを設定できます。

パスワード設定欄に再生時のパスワードを入力してください。

- タグ名 ... 任意の値を入力してください。
- メモ ... 任意の値を入力してください。

記録映像をバックアップする(つづき)

10. < バックアップ >をクリックすると、バックアップを実行します。

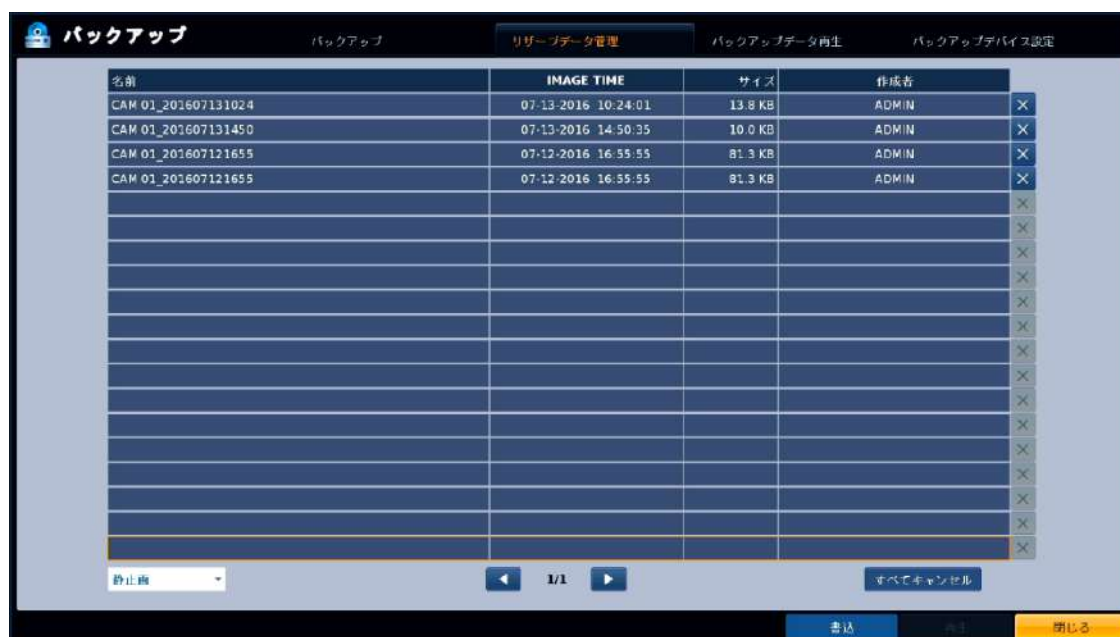
< デバイスフォーマット後にバックアップ >をクリックすると、始めに保存先デバイスをフォーマットし、その後、バックアップを行います。

※バックアップ中は、下記項目にご注意ください。

- 全ての操作ができなくなります。
- 本機の電源は絶対に切らないでください。
- 実行中は、USB メモリーを本機から抜き取らないでください。

5.2 リザーブデータをバックアップする

➤ メニュー > バックアップ > リザーブデータ管理



リザーブデータ(バックアップ予約した記録映像または静止画)を USB メモリーに保存します。

※リザーブデータ作成方法は、「4.4.3 バックアップ予約をする(p.198)」をご覧ください。

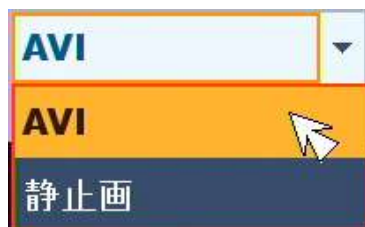
静止画のリザーブデータ作成については、「4.5.2 スナップショットを保存する(p.196)」をご覧ください。

1. USB メモリーを本機に接続します。
- 接続箇所については、「1.3 本機各部の名称とはたらき (p.20)」をご覧ください。

2. バックアップ画面上方の「リザーブデータ管理」タブをクリックします。



3. 画面左下の「AVI(静止画)」で、リザーブデータの表示を切替えます。



4. リストの中からバックアップを行うデータをクリックして選択します。
※ 選択したファイルは、赤色の枠で囲まれます。

リザーブデータをバックアップする(つづき)

5. 画面右下の「書込」をクリックします。
※「再生」をクリックすると映像を再生します。

6. 各項目に設定値を入力します。

- デバイス名 … 保存先のメディアを選択します。
- データ形式 … データの保存形式を選択します。
 - ✓ AVI … 汎用形式です。WindowsMediaPlayerなどで再生できます。
 - ✓ RAW … 独自形式です。再生には専用のソフトが必要です。
 - ✓ RAW(暗号化) … 独自形式に加え、パスワードを設定できます。

パスワード設定欄に再生時のパスワードを入力してください。

- タグ名 … 任意の値を入力してください。
 - メモ … 任意の値を入力してください。
7. 「バックアップ」をクリックすると、バックアップを実行します。
「デバイスフォーマット後バックアップ」をクリックすると、始めに保存先デバイスをフォーマットし、その後、バックアップを行います。

※バックアップ中は、下記項目にご注意ください。

- 全ての操作ができなくなります。
- 本機の電源は絶対に切らないでください。
- 実行中は、USBメモリーを本機から抜き取らないでください。

【リザーブデータを削除する場合】

削除したいデータ行の  をクリックすると、選択したデータが削除されます。

5.3 バックアップデータを再生する

➤ メニュー > バックアップ > バックアップデータ再生



USB メモリーにバックアップした映像を再生や、バックアップデータの情報を確認できます。
本機能を使用する場合は、あらかじめバックアップデータが入った USB メモリーを接続しておく必要があります。

1. バックアップ画面上方の「バックアップデータ再生」タブをクリックします。



2. 画面上の「サーチ」をクリックし、USB メモリー内のバックアップ映像のリストを表示します。

バックアップデータを再生する(つづき)

3. リストの中から、再生したいデータをクリックして選択します。

※選択したファイルは赤色の枠で表示されます。

詳細アイコン



をクリックすると、バックアップデータの詳細情報が表示されます。

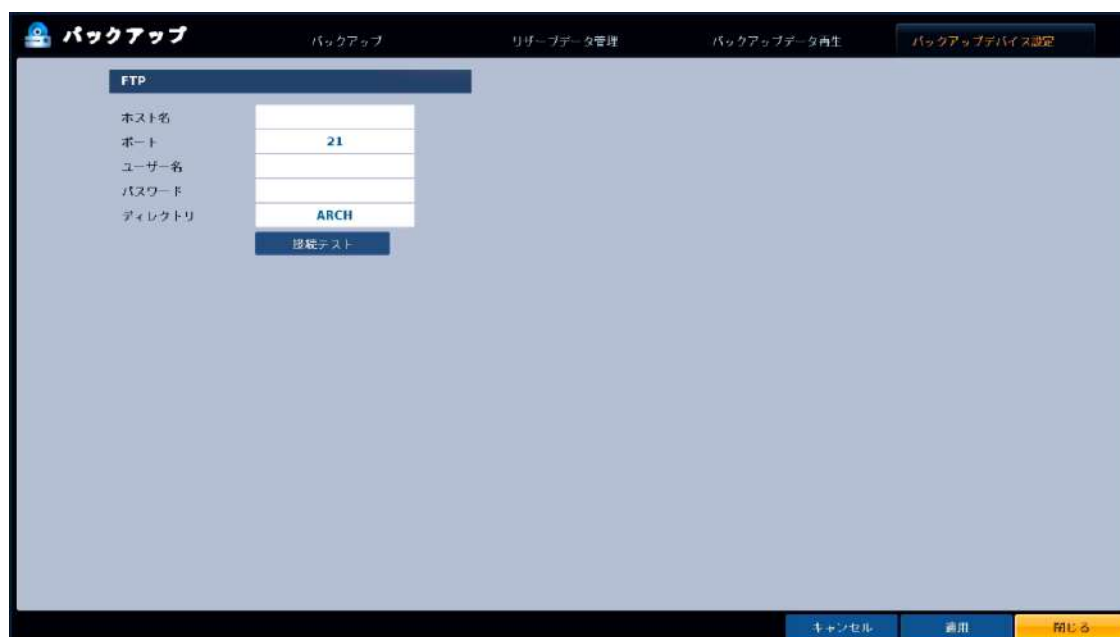


＜ 閉じる ＞をクリックすると、元の画面に戻ります。

4. 画面右下の＜ 再生 ＞をクリックすると映像を再生画面となりバックアップデータを再生します。
再生画面に表示される各アイコンについては、「4.5.1 各種アイコンのはたらき(p.194)」をご覧ください。

5.4 FTP サーバーを登録する

➤ メニュー > バックアップ > バックアップデバイス設定



バックアップ映像を FTP サーバーへ保存する際の、保存先 FTP サーバーを設定できます。
各項目に送信先 FTP サーバー情報を設定してください。

バックアップデバイス設定メニューの項目

項目	説明
ホスト名	FTP サーバーのアドレスを入力します。
ポート	FTP サーバーで使用するポート番号を入力します。
ユーザー名	FTP サーバーに登録しているユーザー名を入力します。
パスワード	FTP サーバーに登録しているパスワードを入力します。
ディレクトリ	FTP サーバー内の保存先ディレクトリのパスを入力します。
接続テスト	クリックすると、FTP サーバーへアクセスできるかどうかのテストを行います。

<< 注意 >>

FTP サーバーへのバックアップを行う場合は、本機をインターネットに接続しておく必要があります。
ネットワークの設定については、「3.5.1 ネットワークアドレス(IPv4)を設定する(p.110)」をご覧ください。

設定変更後は、「適用」をクリックしてください。

5.5 PC でバックアップ映像を再生する

バックアップ映像をお使いの PC で再生できます。

動作確認済み OS は、Windows10 です。

- バックアップしたメディアを PC で展開すると、以下のようにフォルダが作成されています。



フォルダ名 : ARCHIVE(タグ名)_バックアップ実施日時

このフォルダ内には、以下の 3 つ(または 2 つ)のフォルダおよびファイルが保存されています。



専用プレイヤーおよびビデオコーデックが保存されています。



arch_info
テキストドキュメント
5 KB

ログを保存した場合、この TXT ファイルが保存されています。



ch01(CAM1)_15
0209120828_15
0209120916_00
_12MB_ADMIN

バックアップ映像ファイルです。

ファイル名 :

CH 番号(カメラ名)_映像開始日時_映像終了日時_保存回数

- Web ブラウザからバックアップした場合は、指定した場所へ以下のデータが作成されています。



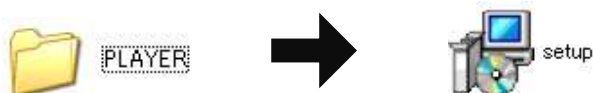
ch01_2021072916
3234_001

ファイル名 : CH 番号_映像開始日時_001～ となっています。

5.5.1 Windows Media Player で再生する(ビデオコーデックのインストール)

専用のビデオコーデックを PC にインストールすることで、Windows Media Player でバックアップ映像を再生できます。

1. 「PLAYER」フォルダ内の「Setup」ファイルを開きます。



2. 画面の指示に従ってインストールを開始します。



3. インストール完了後、〈 Finish 〉をクリックして完了となります。
完了後、バックアップ映像ファイルが、Windows Media Player で再生可能になります。



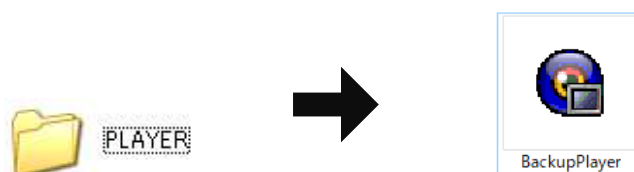
※ Windows Media Player で再生ができなかった場合は、後述の専用プレイヤーをお使いください。

5.5.2 専用プレイヤーで再生する

バックアップ時のファイル形式を「RAW」または「RAW(暗号化)」を選択した場合は、専用プレイヤーで再生する必要があります。

※AVI 形式の録画データでも専用プレイヤーで再生が可能です。

1. 「PLAYER」フォルダ内の「BackupPlayer」を起動します。

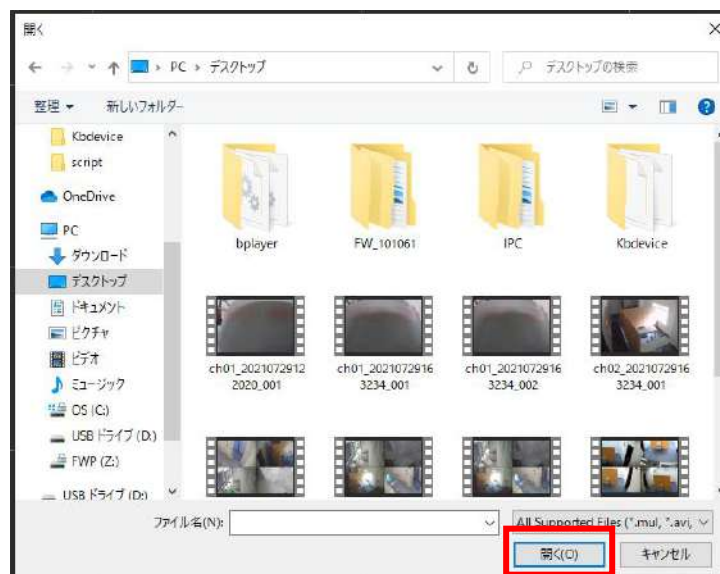


Web ブラウザからプレイヤーをダウンロードした場合は、「bplayer」フォルダ内に保存されています。

2. プレイヤー左下の「ファイルオープンアイコン」をクリックします。

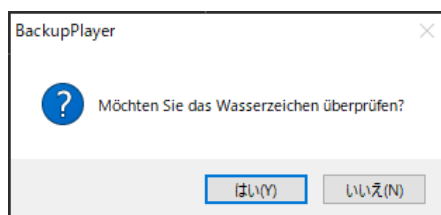


3. バックアップ映像ファイルのあるフォルダを参照し、ファイルを選択して「開く」をクリックします。

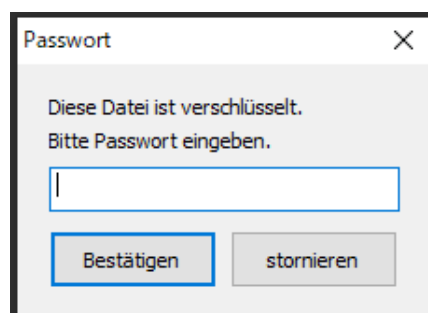


専用プレイヤーで再生する(つづき)

4. 以下のウィンドウで、「はい」をクリックします。



※「RAW(暗号化)」を選択していた場合、再生時にパスワードを要求されます。
確認画面でパスワードを入力し、「Confirm」をクリックしてください。

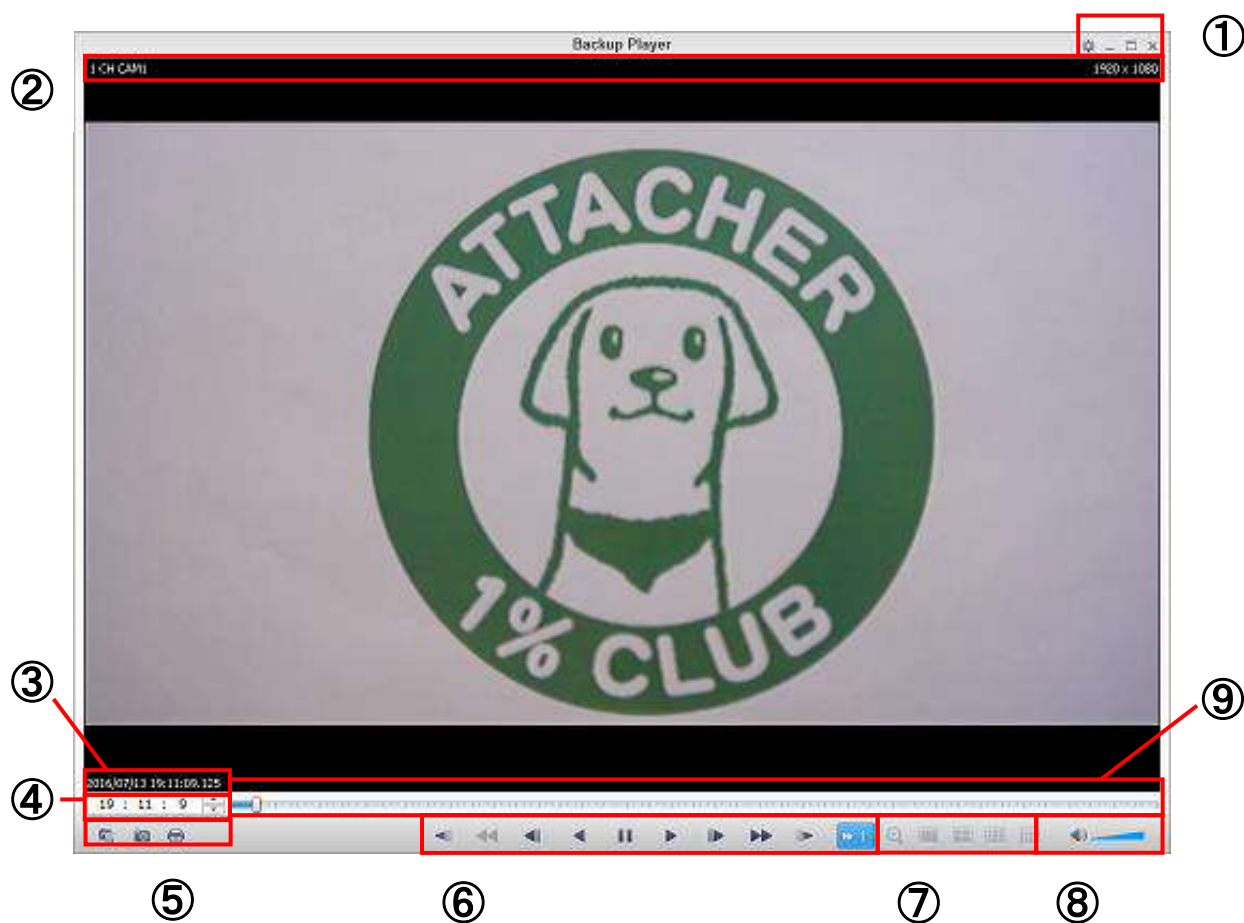


5. バックアップ映像が再生されます。



※ 専用プレイヤーの操作については、「5.5.3 専用プレイヤーでの操作・見方(p.215)」をご覧ください。

5.5.3 専用プレイヤーでの操作・見方



番号	名称	説明
①	設定 最小化/閉じる	プレイヤーの設定を行います。 ウィンドウを最小化したり終了したりします。
②	映像情報	解像度等の情報を表示します。
③	再生時刻	再生中の時刻を表示します。
④	タイムバー時刻	タイムバーの時刻を表示します。
⑤	ファイルオープン	ファイルを指定して読み込みます。
	スナップショット 印刷	再生中の映像のスナップショットを保存します。 再生中の映像を印刷します。
⑥	操作アイコン	再生映像の早送りや巻戻しを行います。 操作については、「操作アイコンのはたらき(p.216)」をご覧ください。
⑦	画面表示	1 画面表示/分割画面表示を切り替えます。
⑧	音量	音量を調整します。
⑨	タイムバー	映像の再生位置を表示します。

専用プレイヤーでの操作・見方(つづき)

【 操作アイコンのはたらき 】

アイコン	説明
	映像を逆方向にスロー再生します。 クリックするごとに倍率を変更できます。(x1/2 / x1/4 / x1/8)
	映像を早巻き戻しします。 クリックするごとに倍率を変更できます。(x2 / x4 / x8 / x16)
	一時停止中、1 秒前の映像に移動します。
	映像を逆再生します。
	映像を一時停止します。
	映像を再生します。
	一時停止中、1 秒後の映像に移動します。
	映像を早送りします。 クリックするごとに倍率を変更できます。(x2 / x4 / x8 / x16)
	映像をスロー再生します。 クリックするごとに倍率を変更できます。(x1/2 / x1/4 / x1/8)
	再生速度を表示します。

6章 PTZ 操作

PTZ 対応カメラを接続して、本機でカメラの PTZ コントロールを行うことができます。

6.1 PTZ 操作画面に入るには

ライブ画面で PTZ カメラを接続しているカメラチャンネルを 1 画面表示にし、

ステータスバーの  をクリックすることで、PTZ 操作画面に切り替わります。



PTZ 操作設定メニューの項目

番号	名称	説明
①	CH 切換え	PTZ 操作を行うカメラ CH を選択します。
②	プリセット	プリセットの登録 ... プリセット NO.を選択し、名前を入力して「セット」をクリックすると、下のリストに追加されます。
③	プリセットリスト	プリセットの移動 ... プリセット NO.を選択し、 をクリックすると登録したプリセットに移動します。  ... クリックするとそのプリセットに移動します。  ... クリックするとそのプリセットを削除します。
④	スキャン/ツアー	スキャンやツアー（自動巡回）の設定および動作をオン/オフします。  ... クリックすると、それぞれの設定画面に入ります。 <u>スキャン</u> : 2 つのプリセット間を交互に移動します。 設定画面では 2 つのプリセット位置を決定し、何秒間停止させるかを 選択して「OK」をクリックします。 「OK」をクリックするとスキャンを開始します。 <u>ツアー（自動巡回）</u> : 最大 16 のプリセットを順番に移動します。 設定画面では、上から順に移動させるプリセット位置を決定し、 何秒間停止させるかを選択して「OK」をクリックします。 「OK」をクリックするとツアーを開始します。
⑤	  詳細設定	パン・チルト方向に移動を行います。 カメラのホームポジションに移動します。 PTZ 速度等の詳細設定画面に入ります。
⑥		ズーム/フォーカス/アイリスの設定を行います。
⑦	ライブアイコン	ライブ画面と同様、緊急録画や音声出力切換え等を行います。
⑧	ステータス	録画やアラームのステータスを表示します。
⑨	補助機能	オートフォーカスを作動させます。 ※お使いのカメラによっては使用できない場合があります。
⑩	終了	ライブ画面に戻ります。

7章 PC からの遠隔監視

PC を用いて遠隔地から本機へアクセスします。

PC 側の操作でライブ監視、検索・再生、設定変更などの操作を行うことができます。

※ 接続には、Windows のバージョンに関わらず Internet Explorer が推奨ブラウザとなります。

※ Windows10 の標準ブラウザ Edge(エッジ)をお使いになる場合は、Internet Explorer モードにしてお使いください。

詳しい設定方法については、「7.1 Edge を Internet Explorer モードで運用する(p.220)」をご覧ください。

【 推奨 PC のスペック 】

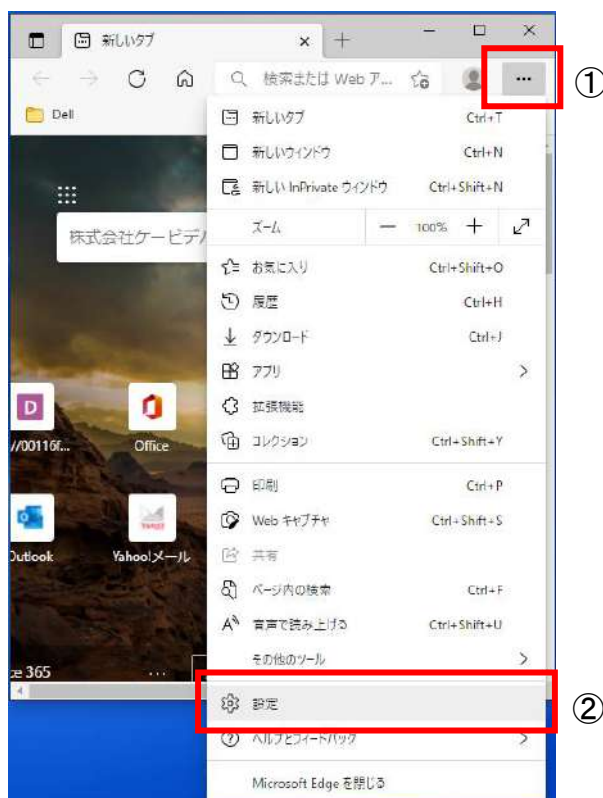
OS	Windows 10
CPU	Intel Core i5 2GHz 以上
グラフィックカード	DirectX10 以上、ビデオメモリー1GB 以上
メモリー	4GB 以上
ストレージ空き容量	1GB 以上 (Active X インストール用)
ネットワーク	100BASE-T 以上
解像度	1920 x 1080

7.1 Edge を Internet Explorer モードで運用する

推奨ブラウザは、Internet Explorer ですが、Edge をお使いになる場合は、Internet Explorer モードにしてから接続を行ってください。

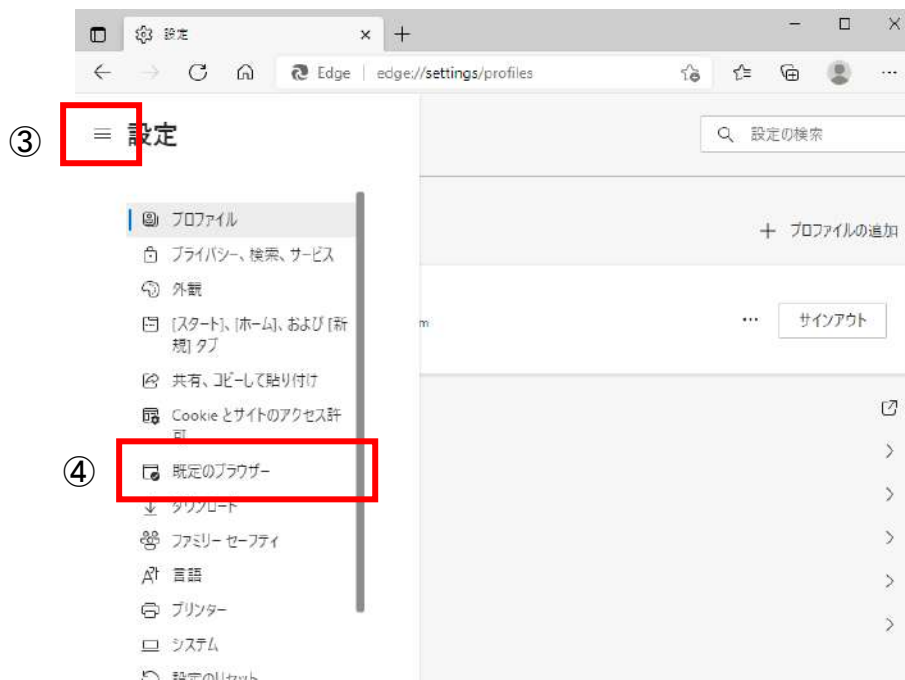
以下の手順で、Edge を Internet Explorer モードに切り替えることができます。

1. Edge を起動し、画面右上のメニューアイコンをクリックします。
2. メニューから「設定」をクリックします。

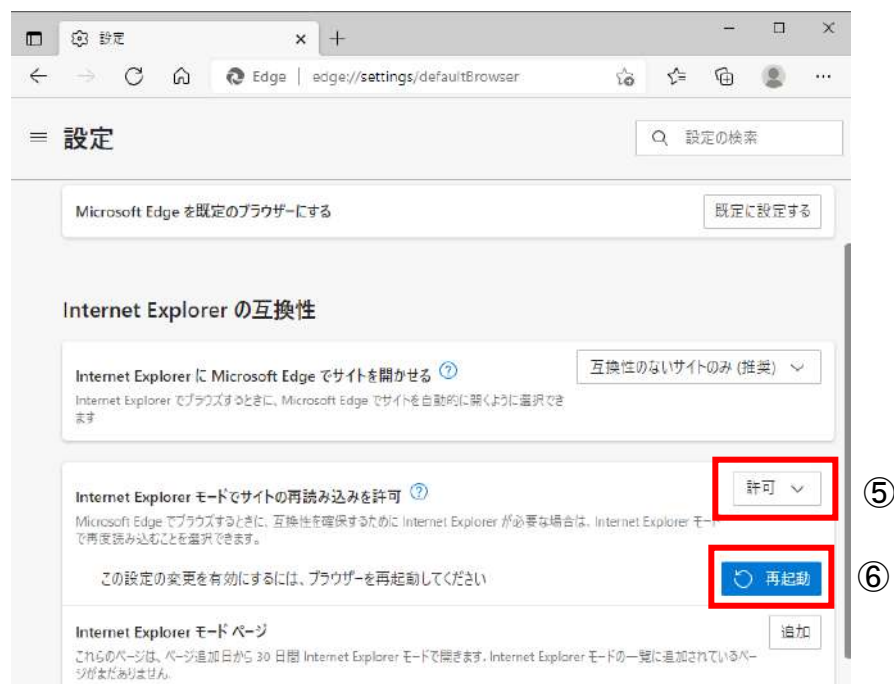


Edge を Internet Explorer モードで運用する(つづき)

- 画面左のメニューアイコンをクリックします。
- メニューから「既定のブラウザ」をクリックします。

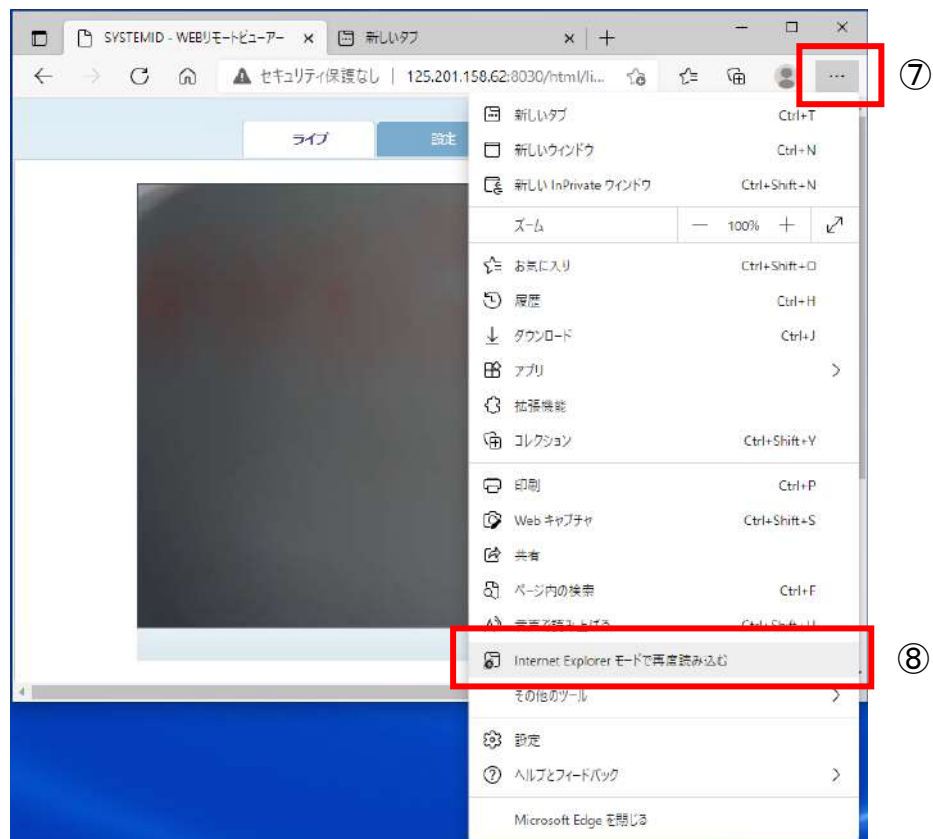


- 「Internet Explorer モードでサイトの再読み込みを許可」を「許可」もしくは「オン」に変更します。
- 「再起動」をクリックし、Edge を再起動します。



Edge を Internet Explorer モードで運用する(つづき)

7. 本機へブラウザ接続後、再度画面右上のメニューアイコンをクリックします。
8. 「Internet Explorer モードで再度読み込む」をクリックして完了です。



7.2 WEBビューワーからアクセスする

以下の手順で、PC から本機へ遠隔アクセスすることができます。

1. Edge を開き、アドレスバーに本機のアドレスまたは URL を入力します。
 - IP アドレスを入力する場合 … 本機の IP アドレスを入力します。(ローカル接続時のみ有効)
 - グローバルアドレスを入力する場合 … 本機のグローバル IP アドレスを入力します。
 - URL を入力する場合 … 本機の DDNS 設定で入力したドメイン名を入力します。※詳細は、「3.5.3 DDNS サーバーを登録する(p.112)」をご覧ください。

本機の初期 WEB サーバーポート番号は、「8080」なので、アドレスまたはドメインの後に、「:8080」を入力します。

※ WEB サーバーポートを変更した場合は、アドレスまたはドメインの後に「:WEB サーバーポート番号」を入力します。

※ IP アドレスおよび WEB サーバーポートの設定は、「3.5.1 ネットワークアドレス(IPv4)を設定する(p.110)」をご覧ください。



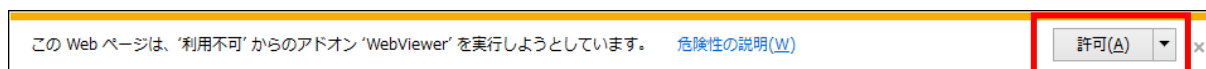
IP アドレス : ポート番号

2. 本機に設定したユーザー名およびパスワードを入力します。

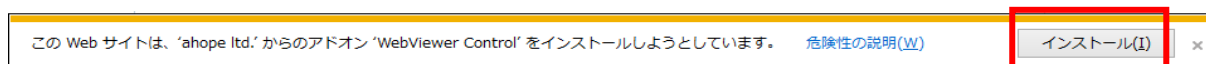
3. 「OK」をクリックすると、WEB ビューワーが表示されます。

WEB ビューワーからアクセスする(つづき)

4. PC 画面下に表示されるメッセージの「許可」をクリックします。



5. しばらくすると再度 PC 画面下に表示されるので、「インストール」をクリックします。



6. 認証情報の設定画面が表示された場合は、本機に登録済みのメールアドレスを入力または、「次回に認証する」をクリックします。

認証情報の設定

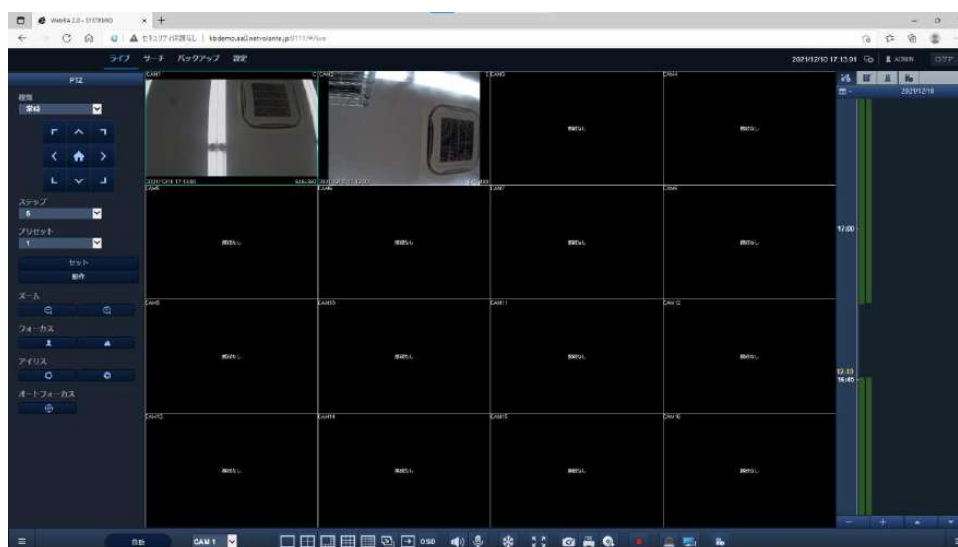
電子メールは認証されていません。パスワードを忘れた場合は、登録された認証情報を使用して確認することができます。

電子メールアドレス設定

電子メールアドレス

認証コード入力 00:00

7. インストール完了後、ライブ画面が表示されます。



7.3 WEB ビューワーの操作・見方

【 ライブ画面 】

ライブ画面下の操作パネルで、以下の操作をすることができます。

※ ライブ画面のそれぞれのカメラ CH をダブルクリックすることで、1 画面表示にすることができます。
再度ダブルクリックすると分割画面表示に戻ります。



WEB ビューワー操作の項目

番号	名称	説明
①	タブ切替	ライブ・検索・バックアップ・設定画面へ移動します。
②	PTZ 操作	PTZ カメラの操作、ズーム・フォーカス・ピント調整の操作できます。
③	ステータスエリア	タイムライン、動作ログ、アラーム動作状況、ネットワークステータスを表示します。
④	画質切替	カメラのストリームを切り替えます。
⑤	CAM1～16	選択した CH を 1 画面表示に切り替えます。
⑥	分割表示切替	ライブ画面の分割表示数を切り替えます。
⑦	OSD	カメラタイトや時刻などの OSD 表示/非表示を切り替えます。
⑧	音声出力	選択した CH のライブ音声出力します。 有効中は、音声出力アイコンが表示されます。
⑨	音声入力	選択した CH にマイク音声を入力します。
⑩	一時停止	クリックするとライブ映像を一時停止します。 再度クリックすると、ライブ映像を再生します。
⑪	全画面表示	全画面表示に切り替えます。 esc キーを押すことで元の表示に戻ります。

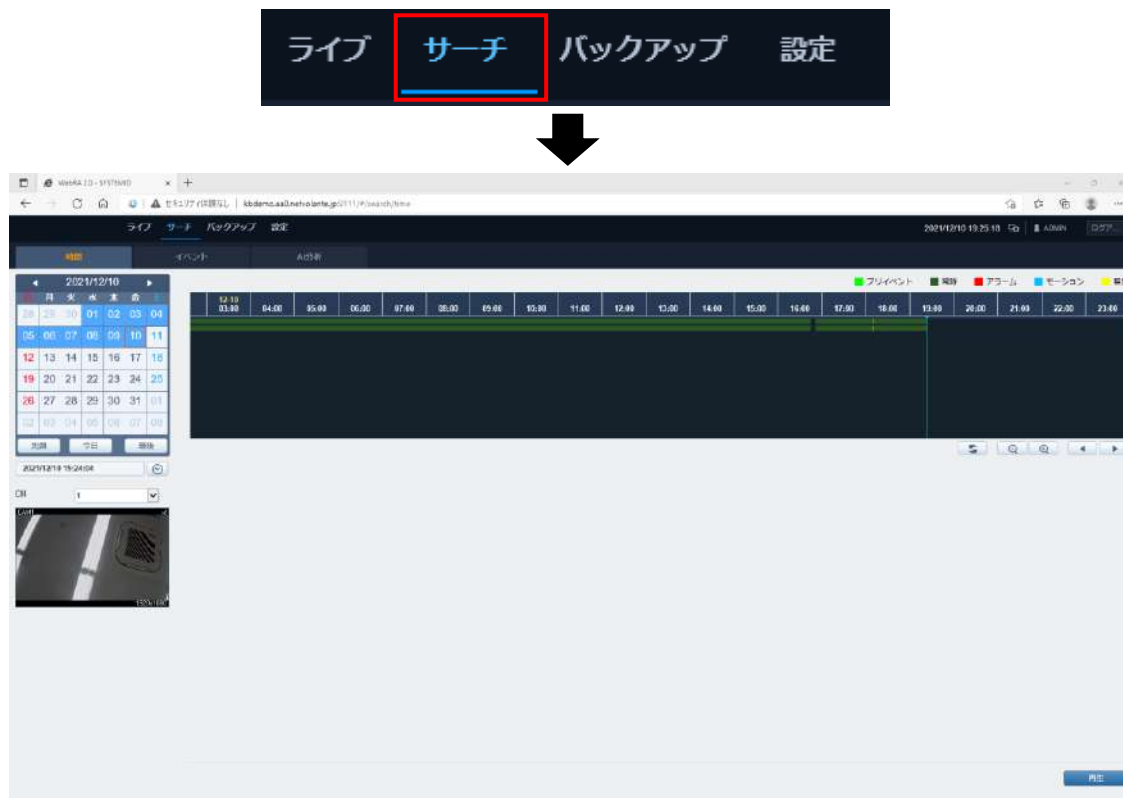
WEB ビューワースの操作・見方(つづき)

WEB ビューワース操作の項目

番号	名称	説明
⑫	スナツプショット	選択したCHのライブ画面の静止画を取得します。
⑬	全 CH スナツプショット	全 CH のライブ画面の静止画を取得します。
⑭	クイックバックアップ	選択した CH のライブ映像のバックアップを取得します。 クリックすると、アイコンが点灯し、バックアップが始まります。 再度クリックすると、アイコンが消灯し、バックアップが終了します。 終了後は、データの保存場所が表示されます。 バックアップした映像は、Windows Media Player にて再生できます。
⑮	緊急録画	緊急録画を開始します。 有効中は、アイコンが点灯します。 再度クリックすると、アイコンが消灯し緊急録画が停止します。
⑯	アラームステータス	接続中のレコーダースのアラーム動作状況を表示します。
⑰	ネットワーク ステータス	接続中のレコーダースのネットワークステータス画面を表示します。
⑱	ネットワーク ステータス	接続中のレコーダースの IP アドレスなどを表示します。

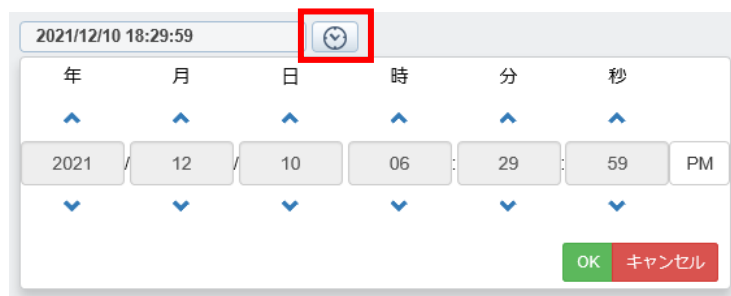
7.3.1 録画映像を再生する（タイムサーチ）

画面左上の「サーチ」タブをクリックすると、レコーダーの録画映像を検索・再生画面に切り替わります。



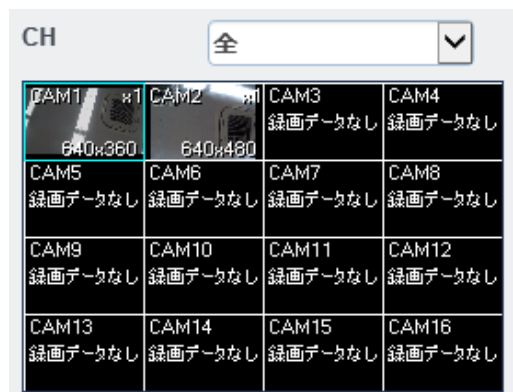
以下の手順で録画映像の再生ができます。

1. カレンダーにて再生したい日にちをクリックします。
録画データがある日は、青色で表示されます。
「先頭」をクリックすると、一番古い録画日時にジャンプします。
「今日」をクリックすると、本日の日時にジャンプします。
「最後」をクリックすると、一番新しい録画日時にジャンプします。
2. カレンダー下の時計アイコンをクリックし、再生した時刻を指定します。
指定後は、「OK」をクリックします。

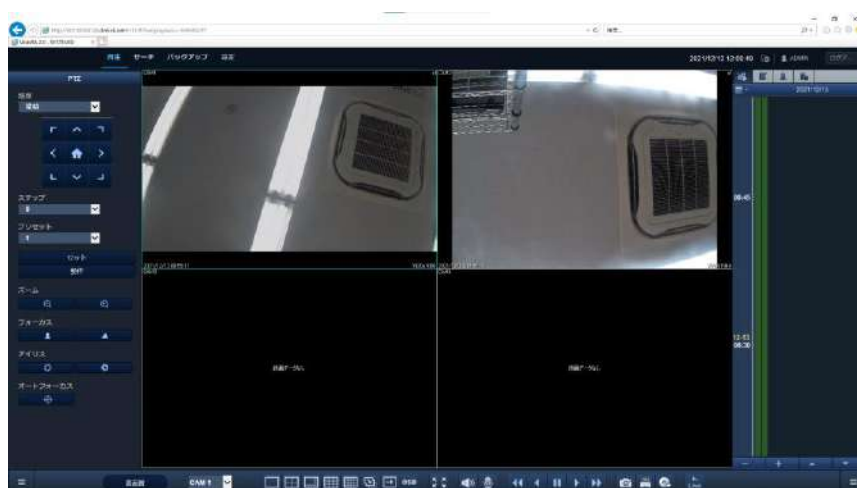


録画映像を再生する(タイムサーチ)(つづき)

3. 「CH」にて、再生したいカメラチャンネルを選択すると、プレビュー画面に録画映像が表示されます。
「全」を選択した場合は、全てのカメラチャンネルの録画映像を表示します。

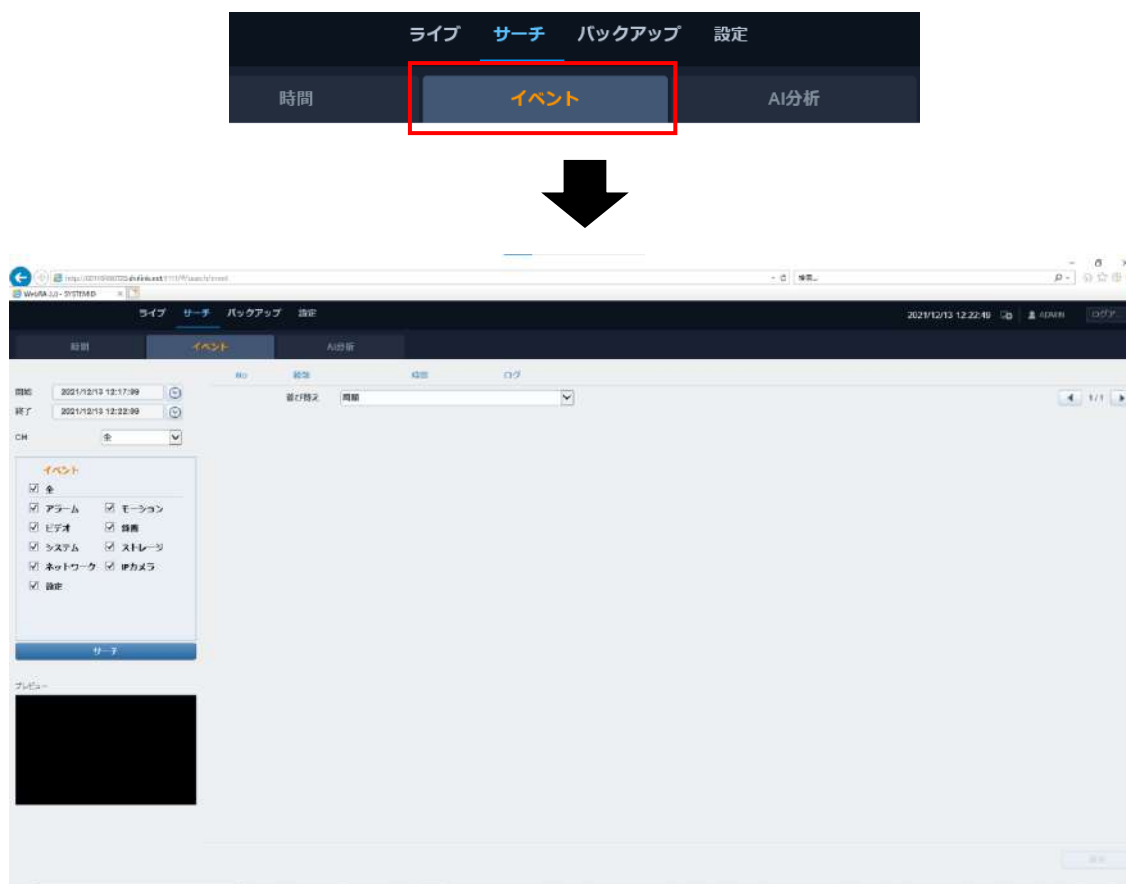


4. 画面右下の「再生」をクリックします。
録画映像の再生画面に切り替わります。



7.3.2 録画映像を再生する（イベントサーチ）

検索・再生画面の「イベント」タブをクリックすると、指定した時間帯で発生したイベントを検索できます。

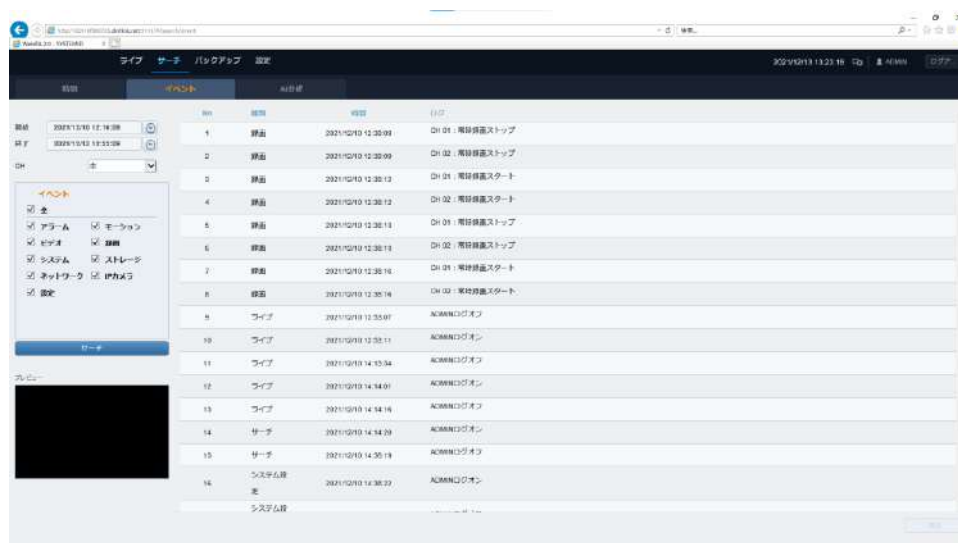


以下の手順で録画映像の再生ができます。

1. 「開始」、「終了」の時計アイコンをクリックして検索したい期間を設定します。
2. 「CH」にて検索するカメラチャンネルを選択します。
「全」を選択した場合は、全てのカメラチャンネルにてイベント検索を行います。
3. 「イベント」にて検索するイベント候補を選択します。
チェックの入った項目が検索対象となります。

録画映像を再生する(イベントサーチ)(つづき)

4. 「サーチ」をクリックします。



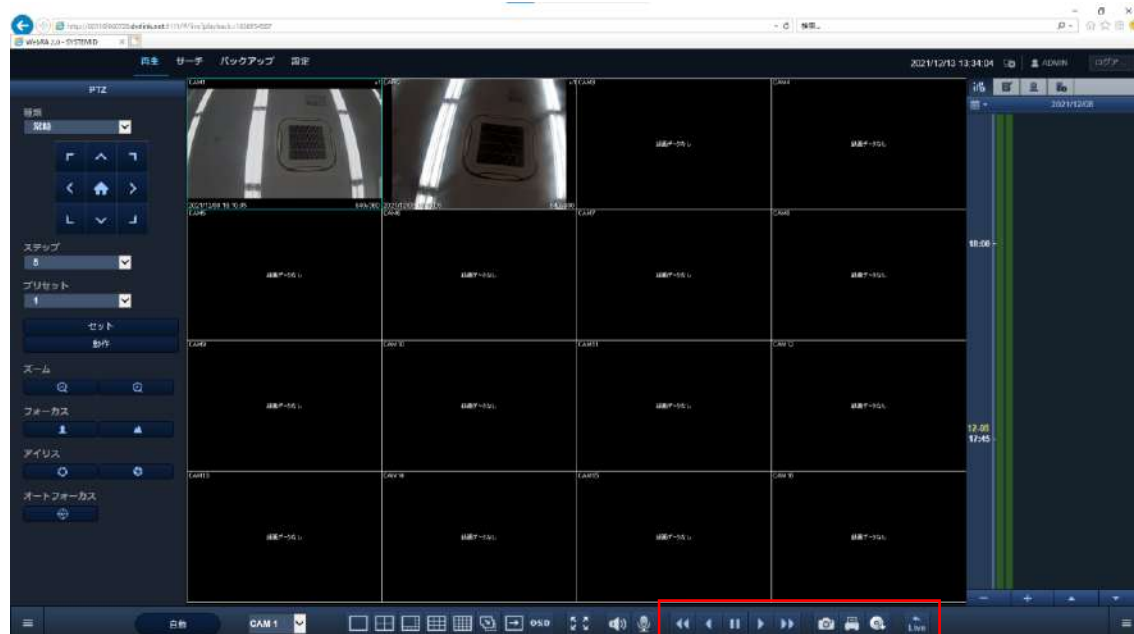
イベント履歴は一度に 100 件まで表示されます。

5. イベント一覧から再生したい項目をクリックし、「再生」をクリックします。
録画映像の再生画面に切り替わります。



7.3.3 再生画面の操作・見方

再生画面内では、記録映像や再生・停止アイコンなどさまざまなアイコンが表示されています。
各アイコンと内容については、次ページをご覧ください。

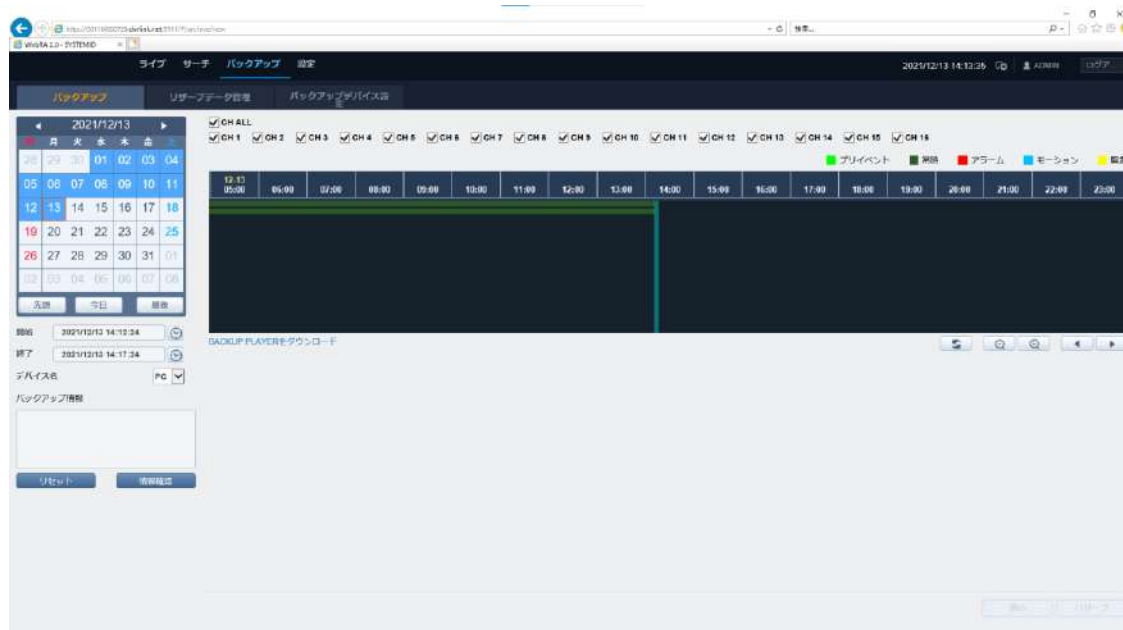


再生画面アイコンの操作項目

アイコン	説明
	映像を早巻き戻しします。 クリックすることにより倍率を変更できます。
	映像を巻き戻しします。
	映像を一時停止します。
	映像を再生します。
	映像を早送りします。 クリックすることにより倍率を変更できます。
	選択中のチャンネルのスナップショットを取得します。
	画面全体のスナップショットを取得します。
	選択した CH の録画映像のバックアップを取得します。 クリックすると、アイコンが点灯し、バックアップが始まります。 再度クリックすると、アイコンが消灯し、バックアップが終了します。 終了後は、データの保存場所が表示されます。
	バックアップした映像は、Windows Media Player にて再生できます。 ライブ画面に戻ります。

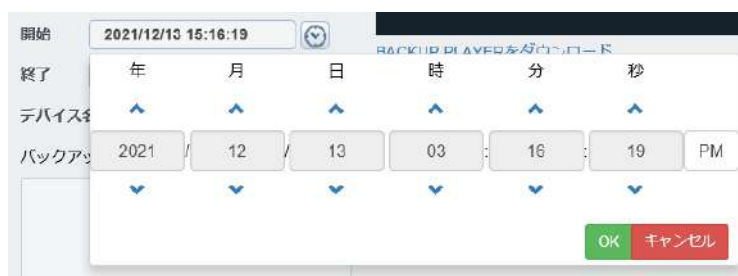
7.3.4 録画映像をバックアップする

画面左上の「バックアップ」タブをクリックすると、バックアップ画面に切り替わります。



以下の手順で、バックアップができます。

1. カレンダーにて、バックアップを行う日付を選択します。
録画データがある日付は、青色で表示されます。
「先頭」をクリックすると、一番古い録画日時にジャンプします。
「今日」をクリックすると、本日の日時にジャンプします。
「最後」をクリックすると、一番新しい録画日時にジャンプします。
2. 「開始」・「終了」の時計アイコンをクリックして、バックアップ期間を設定します。
設定後は、「OK」をクリックします。



録画映像をバックアップする(つづき)

3. 画面真ん中上の「CH」欄にてバックアップを行うカメラチャンネルを選択します。
チェックのある CH がバックアップ対象です。



☒ CH ALL
☒ CH 1 ☒ CH 2 ☒ CH 3 ☒ CH 4

4. 「デバイス名」にて、保存先を選択します。
「PC」・・・ 接続中のパソコンにバックアップデータを保存します。
「FTP」・・・ FTP サーバーにバックアップデータを保存します。

5. 「情報確認」をクリックします。
保存容量が表示されます。



バックアップ情報

ファイルサイズ : 76.2 MB

リセット 情報確認

6. 画面右下の「書込」をクリックします。
「リザーブ」をクリックすると、ブックマークとして一時保存できます。
リザーブデータのバックアップについては、「5.2 リザーブデータをバックアップする(p.206)」をご覧ください。
7. 「タブ名」にバックアップデータの名前を設定します。
「メモ」は任意で内容を設定します。



書込

データ形式: AVI

タグ名: バックアップデータ

メモ: 自由に記載

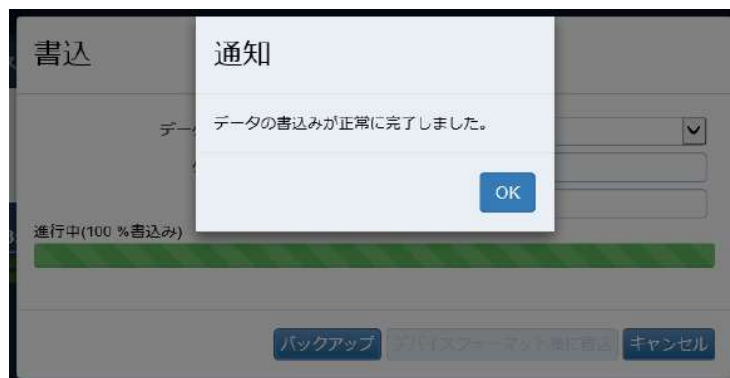
進行状況

バックアップ デバイスフォーマット後に書込 キャンセル

録画映像をバックアップする(つづき)

8. 「バックアップ」をクリックします。

バックアップ完了のメッセージが表示されたら「OK」をクリックして完了です。

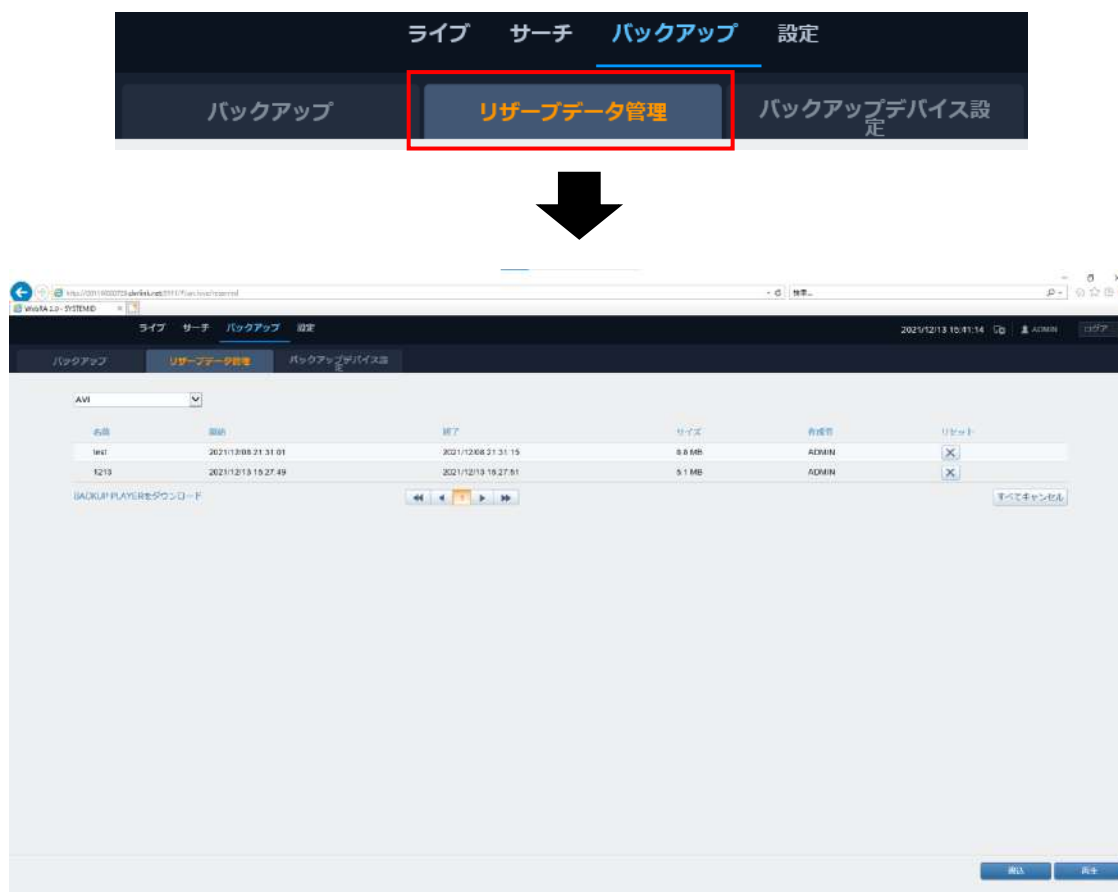


バックアップした映像データの再生方法については、「5.5 PC バックアップ映像を再生する(p.210)」をご覧ください。

7.3.5 リザーブデータの管理

一時保存したリザーブデータをバックアップできます。

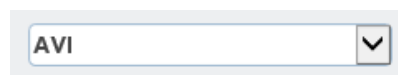
バックアップ画面から「リザーブデータ管理」タブをクリックすると、管理画面に切り替わります。



以下の手順でリザーブデータのバックアップができます。

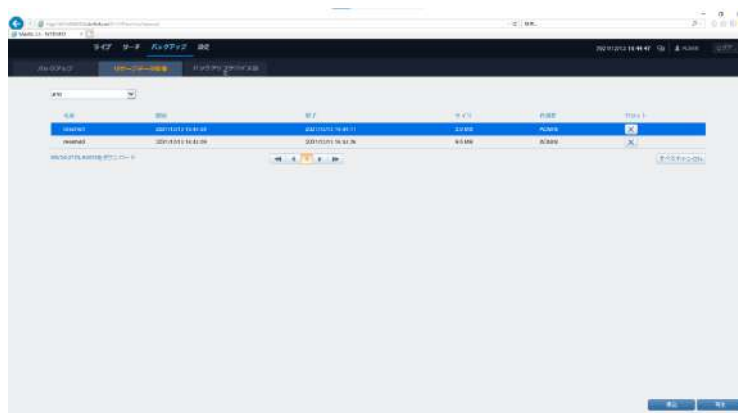
※リザーブデータをバックアップする場合は、FTP サーバーの登録が必要です。

1. リザーブデータの形式を選択します。



リザーブデータの管理(つづき)

2. バックアップしたいリザーブデータ行をクリックします。

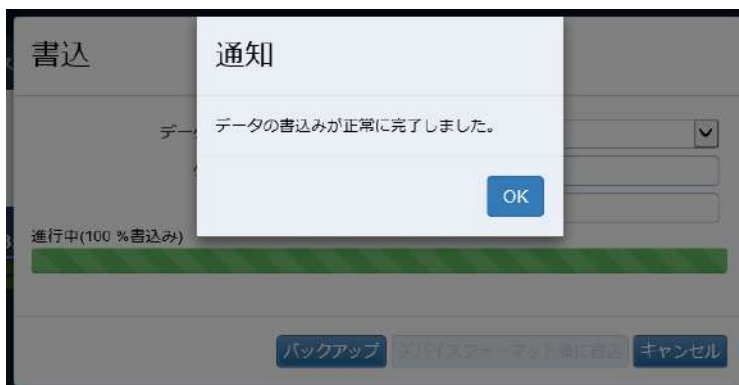


「すべてキャンセル」をクリックすると、保存済みのリザーブデータリストを全て削除します。

3. 画面右下の「書込」をクリックします。
「再生」をクリックすると、選択したリザーブデータを再生します。
4. 「データ形式」を選択します。

A screenshot of a dialog box titled '書込' (Write). It contains the following fields: 'デバイス名' (Device Name) with a dropdown menu showing 'FTP', 'データ形式' (Data Format) with a dropdown menu showing 'AVI', 'タグ名' (Tag Name) with a text input field containing 'free.txt', and 'メモ' (Memo) with a text area. Below these fields is a '進行状況' (Progress) section with a progress bar. At the bottom, there are three buttons: 'バックアップ' (Backup), 'デバイスフォーマット後に書込' (Write after device formatting), and 'キャンセル' (Cancel).

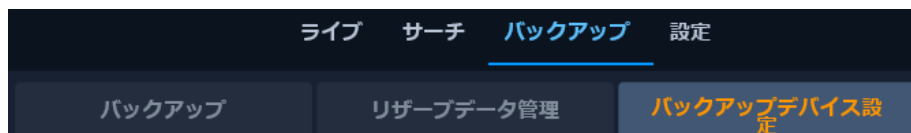
5. 「バックアップ」をクリックします。
バックアップ完了のメッセージが表示されたら「OK」をクリックして完了です。



7.3.6 FTP サーバーの設定を行う

接続先のレコーダーの FTP サーバーの設定を行います。

バックアップ画面から「バックアップデバイス設定」タブをクリックすると、設定画面に切り替わります。

A screenshot of the 'FTP' configuration page within the 'バックアップデバイス設定' tab. The page has a light blue header with the same tabs as the previous image. The main content area is white and contains a form for configuring an FTP server. The form includes labels for 'ホスト名' (Host Name), 'ポート' (Port), 'ユーザー名' (Username), 'パスワード' (Password), and 'ディレクトリ' (Directory). Each label is followed by a text input field. Below the input fields is a blue button labeled '接続テスト' (Test Connection). At the bottom right of the page, there are two buttons: 'キャンセル' (Cancel) and '適用' (Apply).

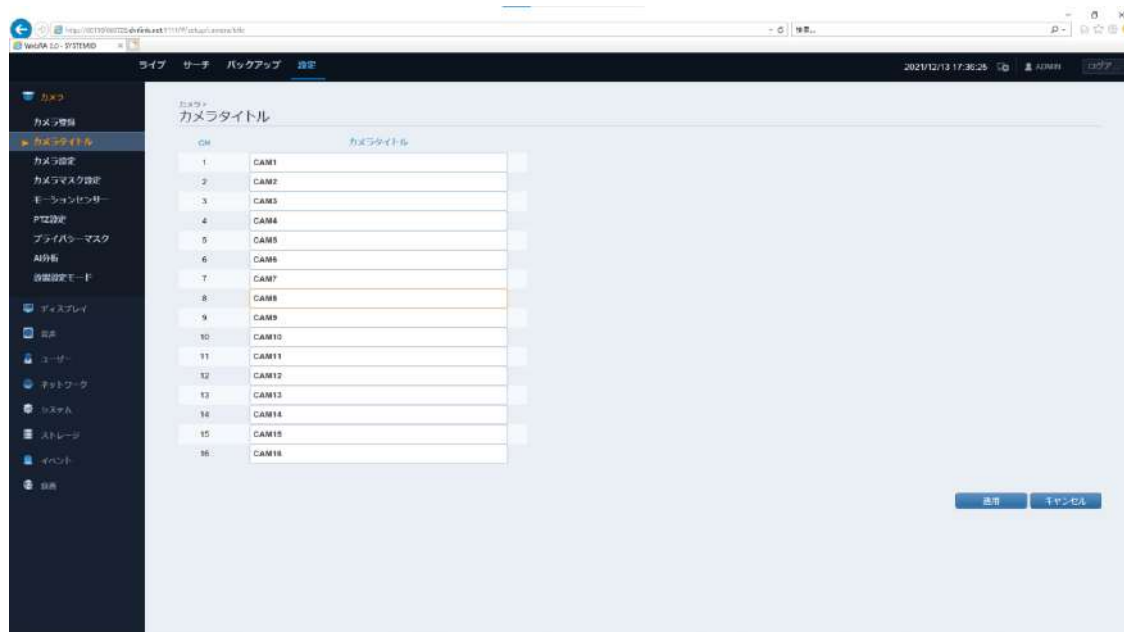
FTP の操作項目

アイコン	説明
ホスト名	接続先の FTP サーバーのホスト名を設定します。
ポート	接続先の FTP サーバーのポート番号を設定します。
ユーザー名	FTP サーバーへのログイン時のユーザー名を設定します。
パスワード	FTP サーバーへのログイン時のパスワードを設定します。
ディレクトリ	FTP サーバーへのデータ保存先を設定します。
接続テスト	設定した FTP サーバーへの接続テストを行います。

設定変更後は、「適用」をクリックしてください。

7.3.7 本機の設定を行う

画面左上の「設定」タブをクリックすると、接続中のレコーダーの設定を変更できます。



設定項目については本機設定と同様です。

詳細は、「3 章 各種設定(p.63)」をご覧ください。

＜ 注意 ＞

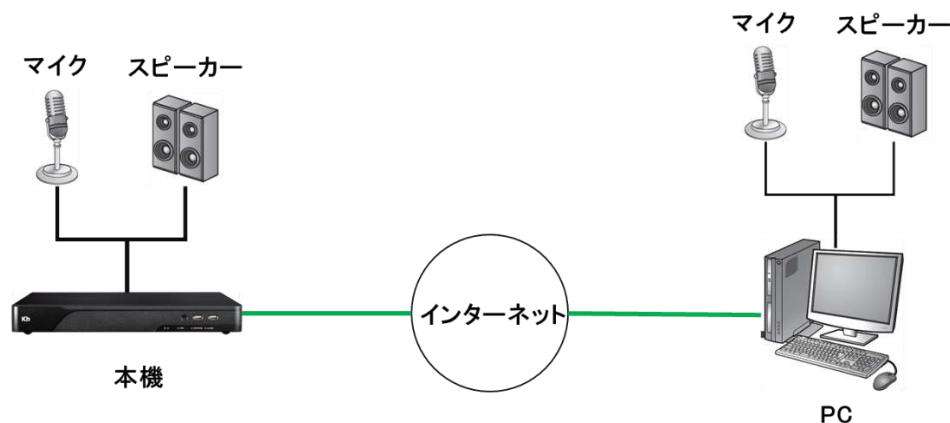
本機で設定画面を開いているときは、WEB ビューワーから設定変更することはできません。

7.4 遠隔地のレコーダーと音声通話を行う

お使いの PC にマイクとスピーカーを用意することで、接続先のレコーダーと音声通話ができます。
本項目の機能を使用するには、本機がネットワークに接続できている必要があります。
ネットワーク設定については、「3.5 ネットワーク(p.110)」をご覧ください。

1. 下記図を参考に各機器を接続します。

本機への音声機器接続については、「1.5.7 音声機器を接続する(p.35)」をご覧ください。



2. レコーダー側にてメニュー＞システム設定＞音声＞音声 の順にクリックします。



3. < 音声出力タイプ > を選択します。

RCA ... RCA 端子ケーブルを使用してスピーカーから出力する場合

HDMI ... スピーカー内蔵モニターなどの HDMI ケーブルに映像と重畳させて出力する場合

4. < ネットワーク音声送話・受話 > を < オン > にします。

5. 各種設定後、< 適用 > をクリックします。

6. ライブ画面の音声出力アイコン  をクリックし、音声出力 CH を選択します。

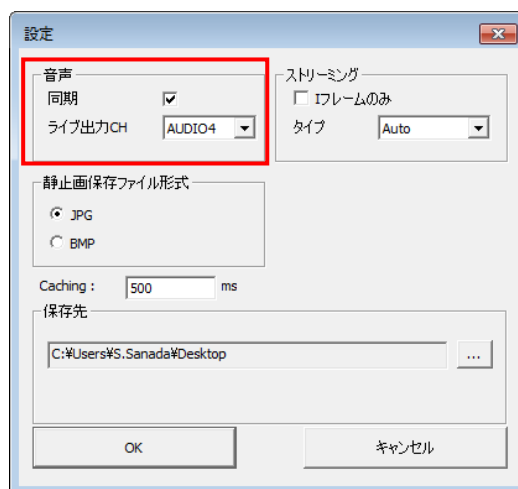
遠隔地のレコーダーと音声通話を行う(つづき)

7. PC から WEB ビューワーにて本機へアクセスします。



8. 設定アイコン  をクリックし、設定画面を開きます。

9. 「音声」欄の「同期」にチェックを入れ、「ライブ出力 CH」欄で、ライブ画面で音声出力を行う CH を選択します。設定後は、「OK」をクリックしてください。



10. WEB ライブ画面のマイクアイコン  とスピーカーアイコン  を有効にすると通話を開始します。

以上で、マイクへ話した内容が相手側のスピーカーから出力されます。

8章 スマートフォンからの遠隔接続

スマートフォンの専用アプリ「P2P nViewer」をダウンロードすることで、スマートフォンから本機へアクセスし、ライブ映像監視などを行うことができます。

【 スマートフォンの必要スペック 】

- Android（Android は、Google Inc.の登録商品です。）
プロセッサ … 1GHz以上
フラッシュ … 512MB 以上
RAM … 512MB 以上
SD カード … 16GB 以上
OS … Android 4.0 以上
- iPhone（iPhone は、Apple Inc.の登録商品です。）
iPhone8 以上
iPhone OS 14 以上

※ スマートフォン専用アプリ「P2P nViewer」のご利用について（免責事項）

P2P nViewer のご利用の際は下記の内容に同意したうえでご利用ください。

P2P nViewer のご利用はお客様の責任の下でご利用ください。

P2P nViewer のダウンロードおよびご利用には通信費が発生する場合がございます。

発生した通信費に関して、当社は一切の責任を負いません。

8.1 P2P nViewer をインストール・アカウント登録する

以下の手順でアプリをインストールしてください。

1. メニュー画面から App Store(または Play ストア)を開きます。



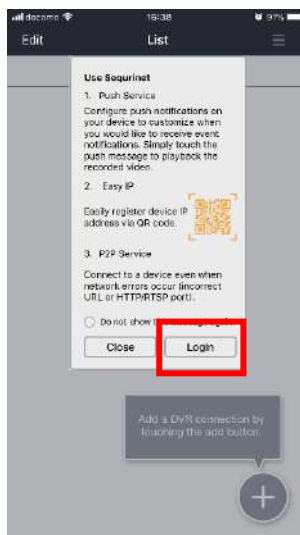
2. 検索欄に「P2P nViewer」と入力し、検索します。



3. 「P2P nViewer」をインストールします。

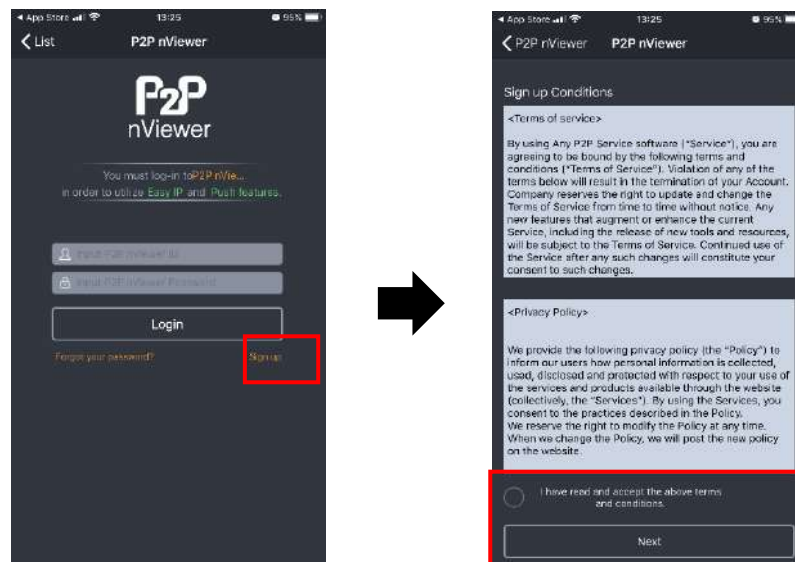


4. アプリを起動させて「Login」をタップします。

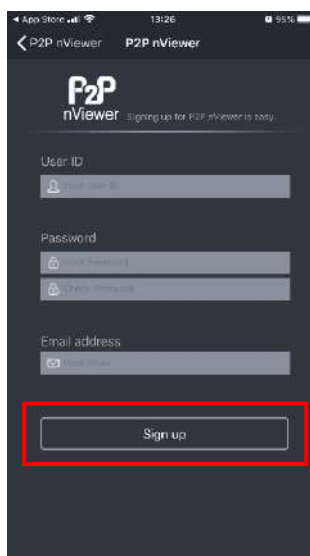


P2P nViewer をインストール・アカウント登録する(つづき)

5. 〈 Sign up 〉をタップします。
6. 規約画面下の同意ボタンをタップして〈 Next 〉をタップします。



7. 各項目に登録情報を入力し、〈 Sign up 〉をタップしてアカウントを登録します。



- User ID … ログイン時のユーザーID を入力します。(必須)
 - Password … ログイン時のパスワードを入力します。(必須)
 - Email address … パスワードを忘れた際のメール送信先アドレスを入力します。(任意)
8. 登録後は、ユーザーID とパスワードを入力してログインしてください。
レコーダーの登録方法については、次のページをご覧ください。

8.2 レコーダー情報を登録する

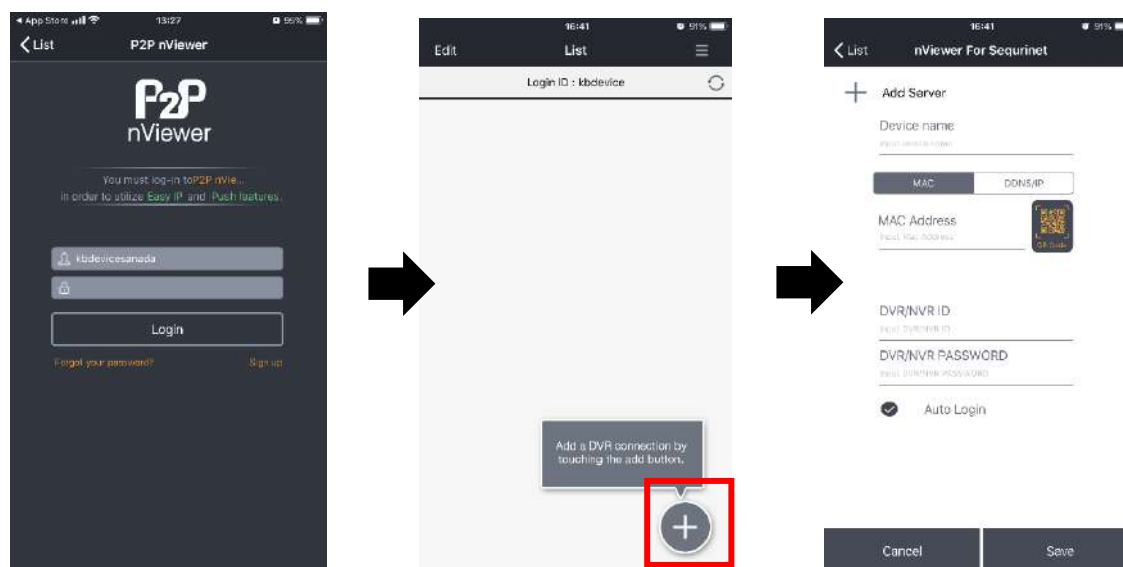
8.2.1 QRコードから登録を行う

1. レコーダーにてメニュー > P2P nViewer の順にクリックし、QRコードを表示します。



2. 「P2P nViewer」を起動し、登録したアカウントでログインします。

3. ログイン後、Add アイコンをタップします。



4. < Device name >に登録する機器の名称を入力します。

Device name
Input device name

QRコードから登録を行う(つづき)

5. < MAC >タブをタップし、< QR Code >アイコンをタップします。

The screenshot shows a registration interface with two tabs at the top: 'MAC' and 'DDNS/IP'. The 'MAC' tab is selected and highlighted with a red box. Below the tabs, there is a section titled 'MAC Address' with a placeholder text 'Input Mac Address'. To the right of this section, there is a QR code icon, also highlighted with a red box. The QR code is labeled 'QR Code'.

6. 手順 1 にて表示した QRコードを読み取ります。
読み取りに成功すると、< MAC Address >に自動的にレコーダーのアドレス情報が入力されます。

The screenshot shows the same registration interface as before, but now the 'MAC Address' field is populated with the recorded address '001 956'. The 'MAC' tab is still selected. The QR code icon is still present on the right.

7. レコーダーのユーザーID とログインパスワードを入力します。

The screenshot shows the registration interface with the 'Device ID' and 'Device Password' fields. The 'Device ID' field is labeled 'Device ID' and contains the text 'ADMIN'. The 'Device Password' field is labeled 'Device Password' and is currently empty.

8. < Save >をタップすると接続先情報が登録されます。

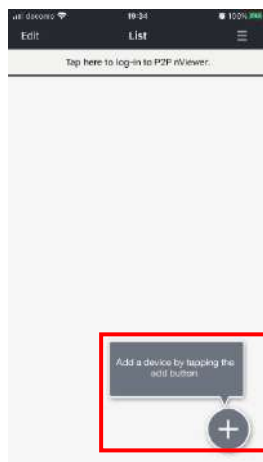
The screenshot shows a single button labeled 'Save'.

8.2.2 DDNS アドレスから登録を行う

1. 「P2P nViewer」を起動します。



2. 画面右下の「+」をタップします。



3. 「Server Name(任意)」を入力します。



4. 「URL(本機の IP アドレス)」
「HTTP Port(本機の WEB サーバーポート)」
「RTSP Port(本機の RTSP ポート)」
をそれぞれ入力します。

URL
IP address or Domain name
HTTP Port
RTSP Port

5. 「DVR/NVR UserID

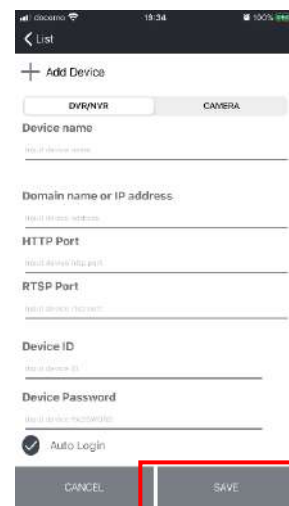
(本機のユーザー名)」

「DVR/NVR Password

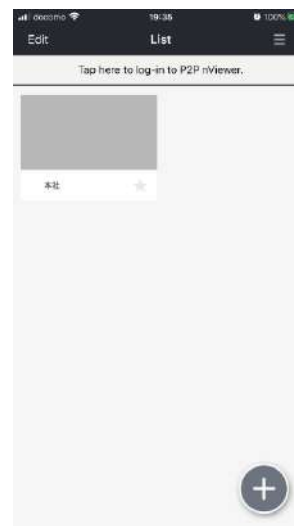
(本機のパスワード)」

をそれぞれ入力し、

「Save」をタップします。



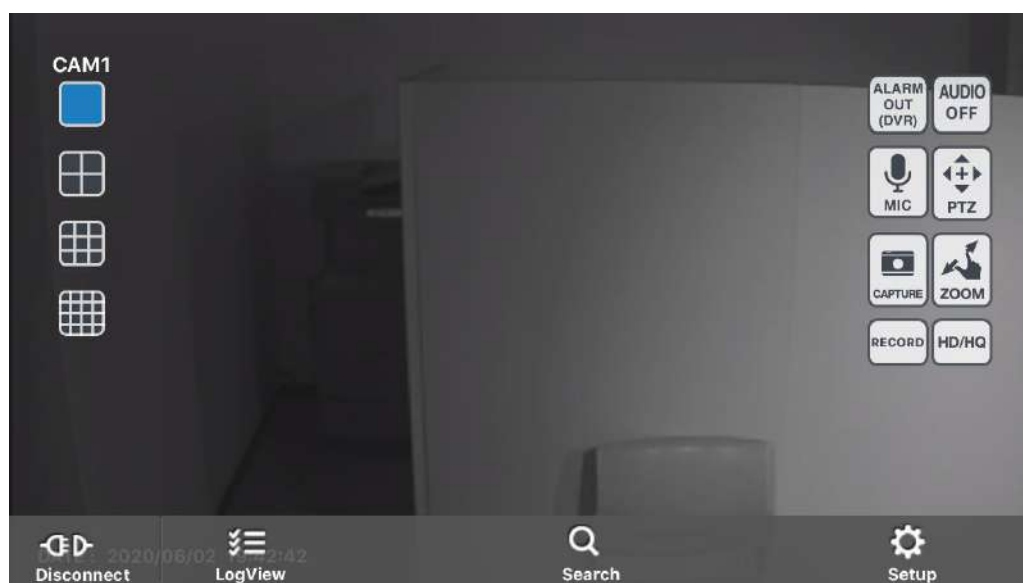
6. 登録した情報が接続先リストに追加されます。
リストからタップすると、本機へ接続します。



8.3 ライブ画面の操作・見方

接続先リストから本機を選択すると本機へ接続し、ライブ画面が表示されます。

ライブ画面をタッチすると、メニュー画面が表示されます。



画面表示アイコン

アイコン	アイコン名	効果・内容
CAM1	カメラタイトル	カメラタイトルを表します。
	画面制御	分割モードを選択します。 表示パネルを左右に指でフリックすると、表示CHを切替えます。
	音声出力	ライブ画面の音声出力のOFF/ONを切替えます。
	PTZ制御	PTZカメラの操作画面を表示します。 ※1画面表示のときのみ操作できます。
	デジタルズーム	映像を拡大表示します。 ※1画面表示のときのみ操作できます。
	画質	表示画質を変更します。 ※1画面表示のときのみ操作できます。

ライブ画面の操作・見方(つづき)

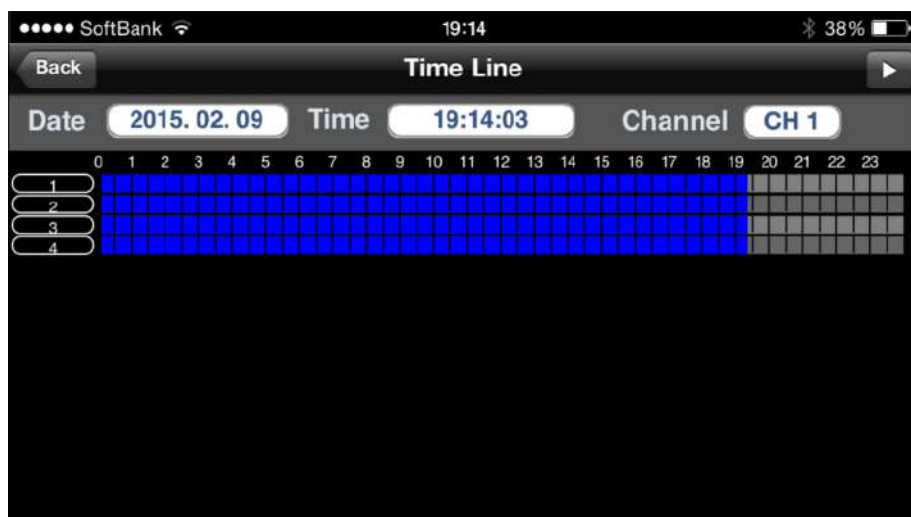
画面表示アイコン

アイコン	アイコン名	効果・内容
	マイク	マイク機能を有効にします。 レコーダーに接続しているスピーカーへ音声を出力します。
	キャプチャー	静止画を取得します。 ※1画面表示のときのみ操作できます。
	レコード	ライブ映像および録画映像を動画として保存します。 タップするとお使いのスマートフォンへ録画を開始し、再度タップすると録画を終了します。 ※1画面表示のときのみ操作できます。
	接続切断	スマートフォンからの接続を解除します。
	ログ表示	レコーダーの動作ログを表示します。
	タイムサーチ	タイムライン検索を行います。
	セットアップ	接続先のレコーダーのシステム設定を変更します。 設定内容については、「3章 各種設定(p.63)」をご覧ください。

8.4 タイムサーチ

【 iPhone の場合 】

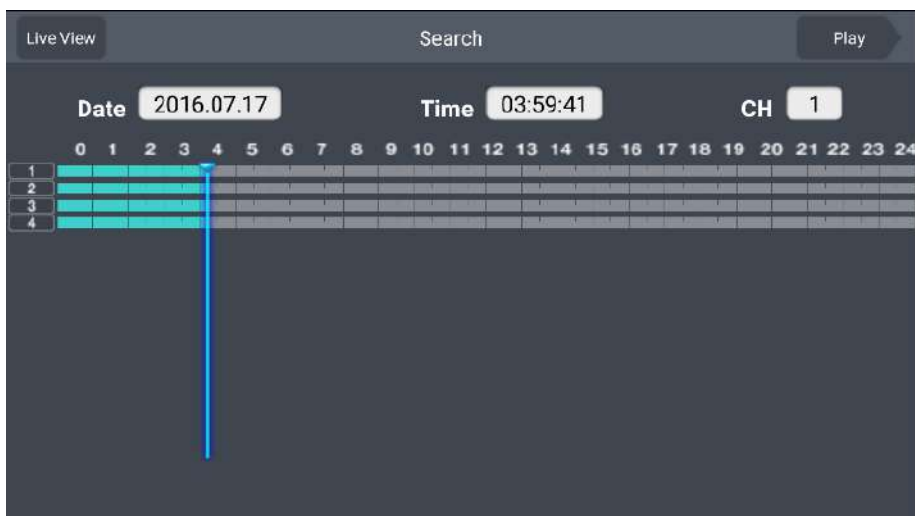
1. ライブ画面で  をタップします。
2. < Date >で日付を選択し、< Time >で時刻を選択します。
3. < Channel >で再生するカメラチャンネルを選択します。



画面右上の  をタップすると、映像が再生されます。

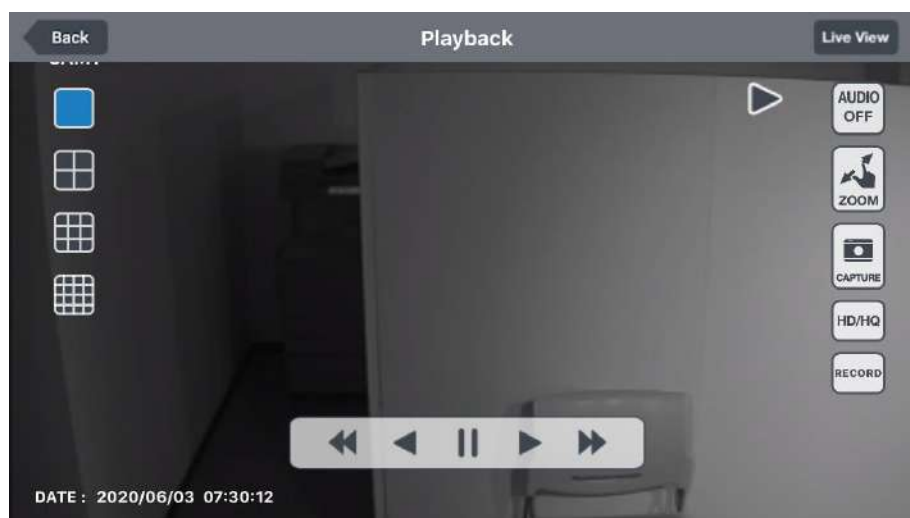
【 Android の場合 】

1. ライブ画面で  をタップします。
2. < Date >で日付を選択し、< Time >で時刻を選択します。
3. < Channel >で再生するカメラチャンネルを選択します。



画面右上の< Play >をタップすると、映像が再生されます。

8.5 再生画面での操作・見方



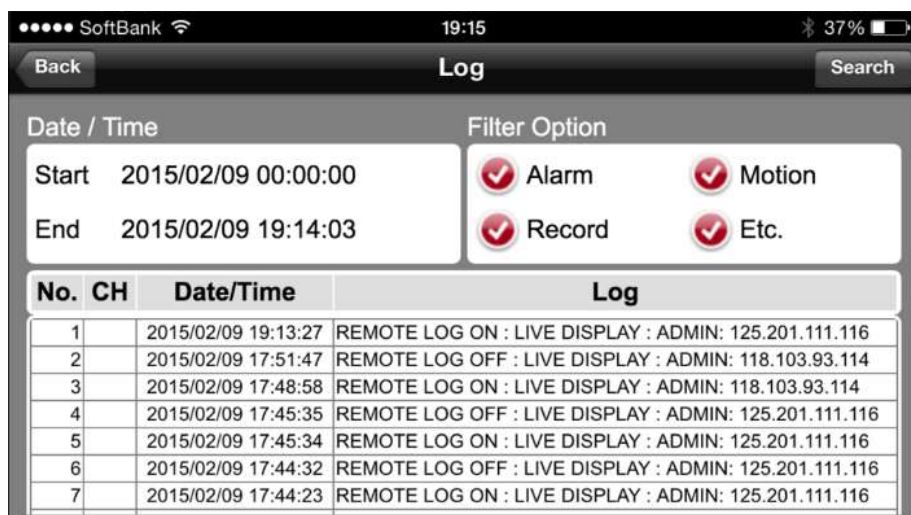
画面表示アイコン

アイコン	アイコン名	効果・内容
CAM1	カメラタイトル	カメラタイトルを表します。
	画面制御	分割モードを選択します。 表示パネルを左右に指でフリックすると、表示CHを切替えます。
	音声出力	録音した音声出力のOFF/ONを切替えます。
	デジタルズーム	映像を拡大表示します。 ※1画面表示のときのみ操作できます。
	キャプチャー	静止画を取得します。 ※1画面表示のときのみ操作できます。
	レコード	ライブ映像および録画映像を動画として保存します。 タップするとお使いのスマートフォンへ録画を開始し、再度タップすると録画を終了します。 ※1画面表示のときのみ操作できます。
	画質	表示画質を変更します。 ※1画面表示のときのみ操作できます。
	一時停止	記録映像を一時停止します。
	(逆)再生	記録映像を再生/逆再生します。
	早戻し/早送り	記録映像を倍速再生/倍速逆再生します。

8.6 イベントログを表示する

【 iPhone の場合 】

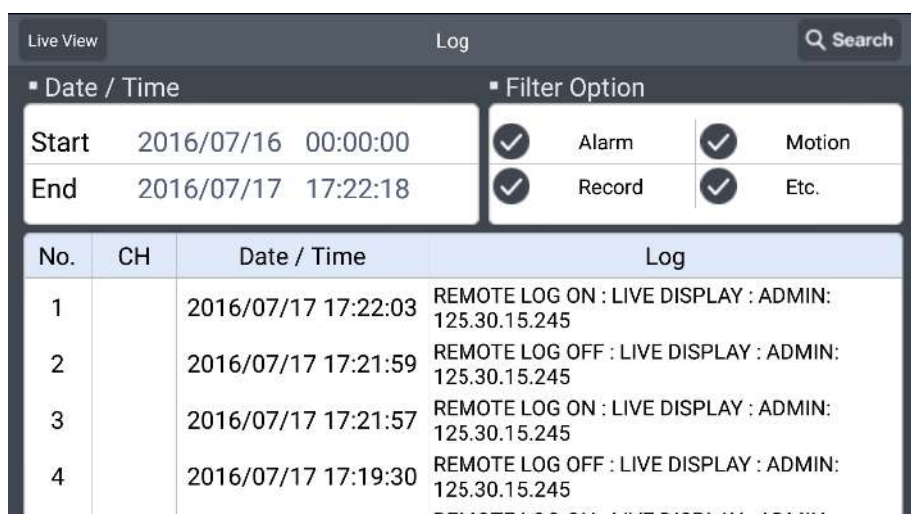
1. ライブ画面で  **LogView** をタップします。
2. < Start / End >で検索範囲の開始点・終了点を選択します。
3. < Filter Option >で検索対象とするイベントを選択します。



画面右上の「 Search 」をタップすると、ログリストが表示されます。

【 Android の場合 】

1. ライブ画面で  **LogView** をタップします。
2. 「 Start 」 「 End 」で検索範囲の開始点・終了点を選択します。
3. 「 Filter Option 」で検索対象とするイベントを選択します。



画面右上の「 Search 」をタップするとログリストが表示されます。

8.7 遠隔地のレコーダーと音声通話を行う

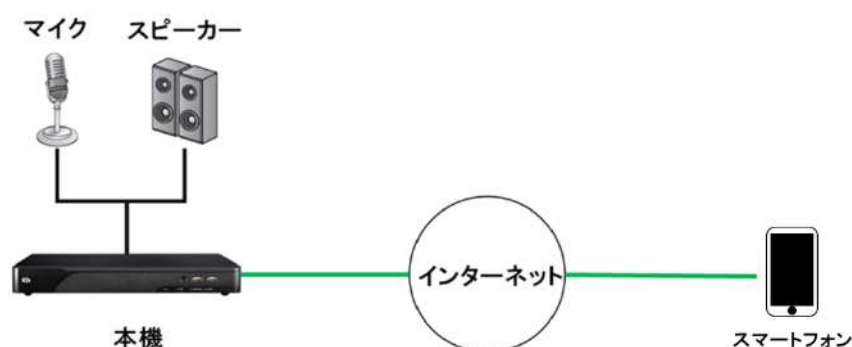
お使いのスマートフォンと接続先のレコーダーとで音声通話ができます。

本項目の機能を使用するには、本機がネットワークに接続できている必要があります。

ネットワーク設定については、「3.5 ネットワーク(p.110)」をご覧ください。

1. 下記図を参考に各機器を接続します。

レコーダーへの音声機器接続については、「1.5.7 音声機器を接続する(p.35)」をご覧ください。



2. レコーダー側にてメニュー＞システム設定＞音声＞音声の順にクリックします。



3. <音声出力タイプ>を選択します。

- RCA ... RCA 端子ケーブルを使用してスピーカーから出力する場合
- HDMI ... スピーカー内蔵モニターなどの HDMI ケーブルに映像と重畳させて出力する場合

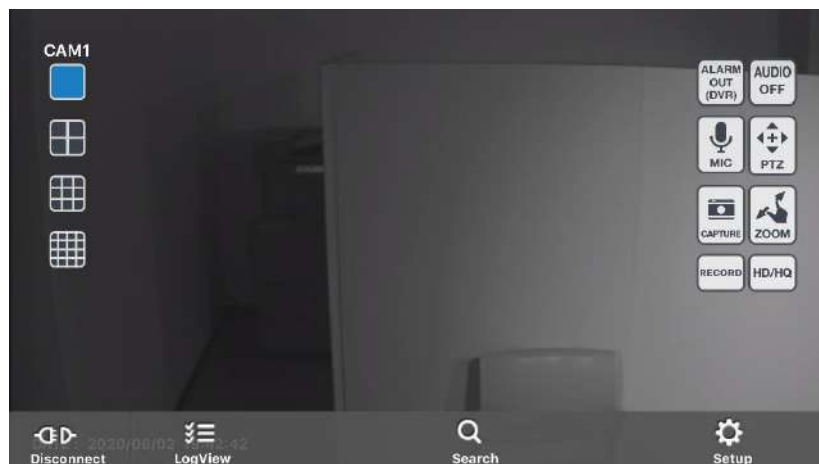
4. <ネットワーク音声送話・受話>を<オン>にします。

5. 各種設定後、<適用>をクリックします。

6. ライブ画面の音声出力アイコン  をクリックし、音声出力 CH を選択します。

遠隔地のレコーダーと音声通話を行う(つづき)

7. つづいて、スマートフォンから P2P nViewer にてレコーダーへアクセスします。



8. マイクアイコン  をタップすると通話を開始します。

以上で、マイクへ話した内容が相手側のスピーカーから出力されます。

9章

トラブルシューティング

症状	確認	対処
電源が入らない	電源コードが本機側およびコンセント側に接続されていますか？	電源コードを正しく接続してください。 →p.27をご覧ください。
映像が何も表示されない	本機とモニターが正しく接続できていますか？	本機背面の映像出力端子にモニターを接続してください。 →p.26をご覧ください。
	モニターの電源が入っていますか？	モニターの電源を「オン」にしてください。
	モニターの入力解像度は当機種に対応していますか？	対応するモニターを用意してください。 →p.26をご覧ください。
カメラの映像が表示されない	カメラの電源は入っていますか？	カメラに電源を供給してください。 ワンケーブルカメラの場合は、専用のコントローラを接続してください。
	「カメラマスク」がオンになっていませんか？	カメラマスク設定で、表示するカメラCHを「オフ」にしてください。 →p.80をご覧ください。
設定画面に入れない	ログイン中のユーザーに設定の権限がありますか？	設定の権限のあるユーザーもしくは管理者でログインしてください。 →p.109をご覧ください。
ライブ音声が出ない	カメラおよびマイクの電源は入っていますか？	カメラおよびマイクの電源を確認し、正しく接続してください。 →p.24をご覧ください。
	音声出力タイプの設定は正しいですか？	音声出力方式を選んでください。 →p.100をご覧ください。

症状	確認	対処
マウス操作ができない	マウスがUSB端子に接続できていますか？	マウスを本機前面または本機背面のUSBポートに接続してください。 →p.35をご覧ください。
カメラ映像にちらつきが生じる	東日本(50Hz電源地域)で ご使用されていますか？	カメラのフリッカレス設定等を 確認してください。
録画ができない	ライブ画面でカメラ映像の右上に 「C」や「P」などのアイコンは 表示されていますか？ アイコン表示がなければ録画が 行われていません。	ライブ画面の録画モードアイコンを確認し、 録画設定で正しく設定を行ってください。 →p.48をご覧ください。
	上書きはONになっていますか？	HDD動作設定で、HDD上書きモードを 〈オン〉にしてください。 →p.144をご覧ください。
カメラのPTZコントロール ができない	カメラがPTZに対応していますか？	カメラの取扱説明書等で仕様を 確認してください。
	信号線が正しく 配線されていますか？	RS-485端子にPTZカメラの信号線を 正しく配線してください。 →p.33をご覧ください。
検索再生ができない	ログイン中のユーザーに 検索再生の権限がありますか？	検索再生の権限のあるユーザーで ログインしてください。 →p.109をご覧ください。
ライブ画面中の操作が 効かない	ログアウト状態に なっていませんか？	ログインしてください。 →p.43をご覧ください。
バックアップしたファイル が再生できない	BackupPlayer以外のプレイヤーで 再生していませんか？	ビデオコーデックをインストールするか、 または専用のBackupPlayerを使用して 再生してください。 →p.211をご覧ください。
PCから遠隔監視が できない	アドレス等は正しいですか？	ネットワークステータス画面で レコーダーのアドレスを確認してください。 →p.110をご覧ください。 遠隔接続の権限のあるユーザーで アクセスしてください。 →p.109をご覧ください。

10章 製品仕様

品番		KB-IRIP04A	KB-IRIP08A	KB-IRIP16A
本体仕様	カメラ入力数	4	8	16
	カメラ入力信号	IP		
	入力インターフェース	マウス、リモコン		
ハードウェア	電源電圧	DC12V (AC アダプター)	AC100V	
	消費電力	12W ※HDD 標準容量 搭載時	22W ※HDD 標準容量搭載時	
	PoE 給電電力	86W	180W	
	外形寸法	260(幅) x 44(高さ) x 264(奥行き) mm (突起物、ゴム足 除く)	380(幅) x 44(高さ) x 316(奥行き) mm (突起物、ゴム足除く)	
	質量	約 2.3kg (HDD1 台のとき)	約 3.3kg (HDD1 台のとき)	約 3.3kg (HDD1 台のとき)
	動作温度(湿度)	0°C ~ 40°C (10% ~ 90% ただし結露なきこと)		
ライブ	メインモニター出力	HDMI 3840x2160、2560x1440、1920x1080、 1280x1024、1280x720		
		VGA 1920x1080、1280x1024、1280x720		
	スポットモニター出力	BNC (SPOT OUT) :最大 4 分割(1CH ~ 4CH)	BNC (SPOT OUT) :最大 4 分割(1CH ~ 8CH)	BNC (SPOT OUT) :最大 4 分割(1CH ~ 16CH)
ライブ	シーケンス表示	○ (最大 4 分割)	○ (最大 9 分割)	○ (最大 16 分割)
	PTZ コントロール	RS-485 (パン・チルト・ズーム、プリセット、UTC、自動巡回)		
	デジタルズーム	○		
	静止画スナップショット	○		

品番		KB-IRIP04A	KB-IRIP08A	KB-IRIP16A
ライブ	録画モード	常時、モーション、アラーム、緊急、簡易設定		
	録画解像度	2592×1944、2592×1520、2048×1536、2304×1296、1920×1080、1280×1024、1280×720、1024×768、640×480、640×460、352×240、352×288		
	録画フレーム数	最大 30FPS (合計 120FPS)	最大 30FPS (合計 240FPS)	最大 30FPS (合計 480FPS)
音声	音声入力	RCA × 1 (LINE レベル)	RCA × 1 (LINE レベル)	RCA × 1 (LINE レベル)
	音声出力	RCA × 1 (LINE レベル) または HDMI (映像に重畳)		
	音声双方向通信	○		
再生	検索モード	タイムサーチ、イベントサーチ、サムネイルサーチ		
	再生速度	最大 64 倍速		
バックアップ	ファイル形式	AVI / 独自形式 (パスワード設定可)		
	保存メディア	USB メモリー、FTP		
イベント/アラーム	接点入力	4 (NC/NO 選択可・ 無電圧接点)	8 (NC/NO 選択可・ 無電圧接点)	16 (NC/NO 選択可・ 無電圧接点)
	接点出力	1 (NC/NO 選択可・ 無電圧接点)	1 (NC/NO 選択可・ 無電圧接点)	1 (NC/NO 選択可・ 無電圧接点)
	モーション検知	○ (領域選択可)		
イベント/アラーム	イベント	接点入力、モーション、ビデオロス、 上書き開始、HDD 空き容量なし、HDD 使用量警告、 SMART エラー、HDD 認識エラー、 緊急録画開始、システム起動、ログインエラー、PoE エラー ネットワークエラー、クライアントログインエラー、 DDNS 更新エラー、IP 衝突イベント		

品番		KB-IRIP04A	KB-IRIP08A	KB-IRIP16A
イベント/アラーム	アクション	接点出力、ブザー、メール送信、プリセット、CH ポップアップ、携帯電話プッシュ通知		
ネットワーク	LAN 端子 (RJ-45)	10 / 100BASE-T	LAN : 10 / 100 / 1000BASE-T WAN : 10 / 100 / 1000BASE-T	
	クライアントソフト	ライブ、検索・再生、バックアップ、PTZ コントロール、設定		
	WEB ブラウザ	ライブ、検索・再生、バックアップ、PTZ コントロール、設定		
	スマートフォン	iOS 12 以上 / Android 4.0 以上※1 ライブ監視 / データ検索・再生 / PTZ コントロール 遠隔設定		
	ネットワークストリーム	FPS 制限		
その他	RAID	－		
	多言語	○		
	ファームウェア更新	USB メモリー		
	ネットワーク時刻同期	○		
	原産国	韓国		

※ 仕様は改良の為、予告無く変更することがございます。

※ 1 …… iPhone は、Apple Inc.の登録商標です。Android は Google Inc.の登録商標です。

【 クライアント PC の推奨スペック 】

OS	Windows 10
CPU	Intel Core i5 2GHz 以上
メモリー	4GB 以上
解像度	1920 x 1080
ストレージ空き容量	1GB 以上 (Active X インストール用)
ネットワーク	100BASE-T 以上
グラフィックカード	DirectX10 以上、ビデオメモリー1GB 以上

※ 仕様は改良の為、予告無く変更することがございます。

11章 初期設定リスト

工場出荷時の初期設定値は、以下のようになっています。

第1階層	第2階層	設定項目	詳細設定項目	初期値
カメラ	カメラ タイトル			CAM1～CAM 16
	カメラ設定	各種設定項目		接続したカメラの設定に依存
	カメラ マスク設定	CH		オフ（全権限、全CH同様）
		画面表示		接続なし（全権限、全CH同様）
		エリア設定	日中時間	9:00～18:00
			感度	設定なし
			最小ブロック数	設定なし
	モーション センサー	有効		オン（全CH同様）
		表示		オフ（全CH同様）
		感度		15/15（全CH同様）
	PTZ設定	RS-485		チェックなし（全CH同様）
		ID		0
		プロトコル		PELCO-D（全CH同様）
		ボーレート		9600（全CH同様）
	プライバシー マスク	有効		オン（全CH同様）
		マスク表示色		黒（全CH同様）
		エリア設定		未設定（全CH同様）
	AI分析 設置設定 モード			なし（全CH同様）
				オープンモード（Advanced）

第1階層	第2階層	設定項目	詳細設定項目	初期値
ディスプレイ	ディスプレイ	カメラタイトル		オン
		イベントアイコン		オン
		オーディオアイコン		オン
		アイコンの説明		オン
		システム状態アイコン		オン
		全画面表示時の ステータスバー		自動的に隠す
		全画面表示時の タイムライン		自動的に隠す
		デジタルズーム時の ワイプ画面		常にオン
		境界線		オン
		境界線の色		グレー
		ユーザー名		オン
		言語		日本語
	モニター	シーケンス切換時間		5秒
		スポット画面切換時間		5秒
		モニター解像度		自動
	シーケンス			DEFAULTのみ登録済み
	スポット出力	SPOT OUT CH1		SPOT OUT CH1のみ登録済み
音声	音声	音声出力タイプ		HDMI
		初期ライブ音声CH		オフ
		ネットワーク 音声送信		オン
		ネットワーク 音声受信		オン
	ブザー	リモコン		オン
ユーザー	管理			ADMINのみ登録
	グループ 権限	MANAGER		サーチ/システム設定/録画設定/ イベント動作の制御/音声出力/ マイク入力/PTZ制御/シャットダウン が有効
		USER		イベント動作の制御/音声出力/ マイク入力/シャットダウン が有効

第1階層	第2階層	設定項目	詳細設定項目	初期値
ネットワーク	IP設定 (IPv4)	DHCP		チェックなし
		IPアドレス		192.168.0.100
		ゲートウェイ		192.168.0.1
		サブネットマスク		255.255.255.0
		DNSサーバー1		8.8.8.8
ネットワーク	IP設定 (IPv4)	DNSサーバー2		8.8.4.4
		自動 ポートアップデート		オン
		自動 ポートステータス		ルーターがUPNPをサポートしていません。
		RTSPポート		5554
		WEBサーバーポート		8080
		ネットワーク 帯域制限		制限なし
	IP設定 (IPv6)	IPv6		オフ
	DDNS	DDNS		オン
		DDNSサーバー		dvrlink.net
		レコーダー名		MACアドレス
		ユーザー名		なし
		パスワード		なし
		DVRアドレス		MACアドレス.dvrlink.net
		P2P		オン
	メール	サーバー		未設定
		ポート		587
		ネットワーク セキュリティ		オン
		ユーザー		未設定
		パスワード		未設定
		テストメールアドレス		未設定
	ネットワーク セキュリティ	RTSP暗号化有効		オフ
		RTSP暗号化方式		SEED_128
		HTTPS有効		オフ
		HTTP認証方式		BASIC
		IPフィルター有効		オフ
		IPフィルタールール		未設定
システム	日付/ 時刻	日付/時刻		現在時刻
		日付表示形式		年/月/日
		時刻表示形式		24時間
		タイムサーバー		pool.ntp.org
		自動時刻同期		オフ
		同期化周期		7日
		同期時刻		00:00
		同期予定日時		オフ

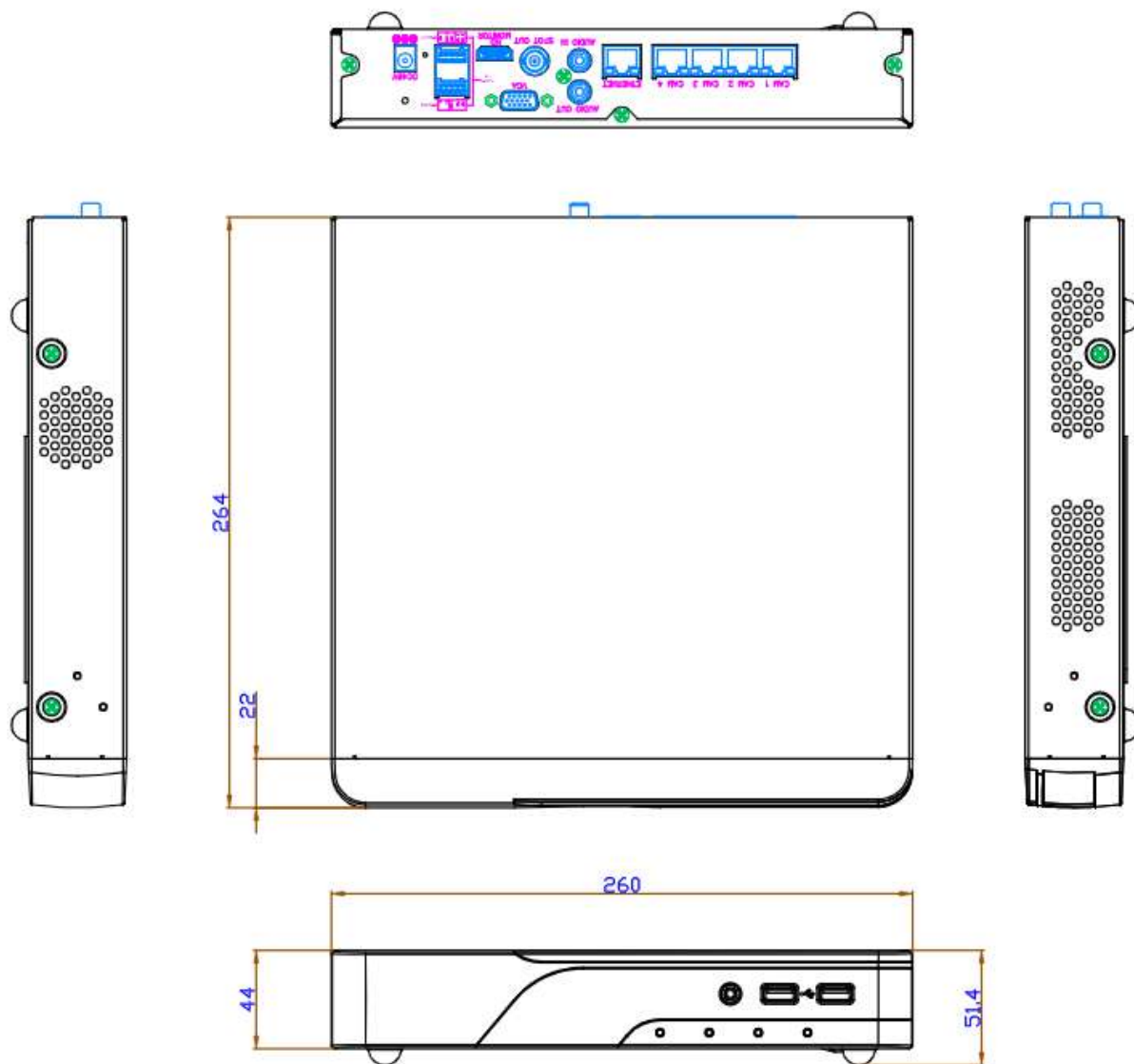
第1階層	第2階層	設定項目	詳細設定項目	初期値
システム	日付/時刻	タイムゾーン		GMT+09:00 Asia/Tokyo
		サマータイム		オフ
	システム 管理	システムID		SYSTEMID
		パスワード		オン
		パスワード有効期間		なし
		最初のパスワード変更		オフ
		オートログオフ		オフ
		待機時間		選択不可(10分)
		PoE供給電力制限		選択不可(180W)
		ビデオ出力周波数		60Hz
	デバイス 設定	デバイス	システムID	0
			プロトコル	D-Max
			ボーレート	9600
		リモコンID		0
	ネットワーク セキュリティ	音声サポート		オン
		スナップショットサポート		オン
		ログイン時のID入力		ID選択方式
		強力なユーザーIDルール		オフ
		強力なパスワードルール		オフ
ストレージ	HDD動作	HDD上書きモード		オン
		記録映像保存期限		オフ
	S.M.A.R.T 情報	S.M.A.R.T検査間隔		24時間 (内蔵ディスク / 外部記憶装置 両方)
イベント	アラーム 出力	名前		AO1
		動作		N/O
		持続時間		5秒 (全CH同様)
		ON/OFFスケジュール		すべて イベント
	イベント 通知	ブザー		5秒
		ディスプレイ	チャンネルポップアップ 持続時間	5秒
			インフォメーション ポップアップ 持続時間	5秒

第1階層	第2階層	設定項目	詳細設定項目	初期値
イベント	イベント通知	メール	最小メール送信間隔	1分
			スナップショットイメージを含める	チェックなし
		FTP	ホスト名	設定なし
			ポート	21
			ユーザー名	設定なし
			パスワード	設定なし
			ディレクトリ	ユーザー入力/設定なし
			ファイル名	ユーザー入力/設定なし
			最小通知間隔	1分
			Web Linkを含める	チェックなし
			スナップショットイメージを含める	チェックなし
			映像を含める	チェックなし
		携帯電話	最小通知間隔	1分
イベント	アラームセンサー	名前		SENSOR1 ~ SENSOR16
		動作		N/O (全CH同様)
		アラーム出力		N/A (全CH同様)
		チェック項目		すべてチェックなし
	モーションセンサー	無視する時間		5秒 (全CH同様)
		アラーム出力		N/A (全CH同様)
		チェック項目		すべてチェックなし
	ビデオロス	アラーム出力		N/A (全CH同様)
		チェック項目		すべてチェックなし
	AI分析	二重認証		オフ (全CH同様)
		アラーム出力		N/A (全CH同様)
		チェック項目		全てチェックなし
	システムイベント	チェック項目		以下の項目にチェック済み • S.M.A.R.T.エラー • HDD認識エラー • PoEエラー • IP衝突イベント • AIボックス障害イベント
録画設定	録画モード設定	モード		マニュアル設定
		スケジュール設定		毎日
		プリイベント録画時間		5秒
		ポストイベント録画時間		30秒
		緊急録画時間		手動
		ビットレート		固定ビットレート

第1階層	第2階層	設定項目	詳細設定項目	初期値
録画設定	常時録画	パラメータ	モニター出力 解像度	接続したカメラの設定に依存 (全時間帯・全CH同様)
			FPS	7 (全時間帯・全CH同様)
			画質	高 (全時間帯・全CH同様)
			音声	オフ (全時間帯・全CH同様)
		スケジュール		オン (全時間帯・全CH同様)
	モーション 録画	パラメータ	モニター出力 解像度	接続したカメラの設定に依存 (全時間帯・全CH同様)
			FPS	7 (全時間帯・全CH同様)
			画質	高 (全時間帯・全CH同様)
			音声	オフ (全時間帯・全CH同様)
		スケジュール		オフ (全時間帯・全CH同様)
	アラーム 録画	パラメータ	モニター出力 解像度	接続したカメラの設定に依存 (全時間帯・全CH同様)
			FPS	7 (全時間帯・全CH同様)
			画質	高 (全時間帯・全CH同様)
			音声	オフ (全時間帯・全CH同様)
		スケジュール		オフ (全時間帯・全CH同様)
	緊急録画	モニター出力解像度		接続したカメラの設定に依存 (全時間帯・全CH同様)
		FPS		7 (全時間帯・全CH同様)
		画質		標準 (全時間帯・全CH同様)
		音声		オフ (全時間帯・全CH同様)
	ネットワーク ストリーミング	FPS		30 (全CH同様)

12章 外形寸法図

【 KB-IRIP04A 】



単位:mm

13章 録画日数表

表の録画日数はあくまで参考値であり、録画日数を保証するものではありません。

<< 算出条件 >>

HDD 4TB / IP カメラ 1 台 / 音声記録なし / 可変ビットレート

※注意※

本機は、録画設定の画質・フレームレートの値によって自動的にビットレートを制御して録画を行います。
画質とフレームレートの組み合わせによって設定されるビットレートは決まっているため、解像度による録画日数の変化はありません。

単位: 日

画質	フレームレート					
	1	2	3	7	15	30
長時間	268	249	236	227	186	176
低	189	176	165	157	119	109
標準	147	136	127	113	85	79
高	117	108	99	88	67	62
最高	96	88	81	73	55	51

保証書

品番		販売店名
シリアルナンバー(S/N)		
お買い上げ年月日		
保証期間	商品お買い上げ後 5 年間	
会社名		
ご住所		
ご担当者		
電話番号		

※お願い: お買い上げ時に必ずご記入ください。本書は大切に保存してください。再発行は致しません。

<保証規定>

1. 本保証は、持ち込みされた機器の修理サービスを提供するものであり、修理に係る費用(オンコール費、出張修理費、施工費)、修理期間の代替器対応をご提供するサービスではありません。但し、同時にメンテナンス契約を締結する際は、その限りではありません。
2. 不具合機器の取り外し、取付け、再設定等は別途費用が発生します。
3. 次の事由による損害の場合は、保証の対象にはなりません。
 - A 弊社窓口以外に修理を依頼された場合
 - B 修理に際し、保証書の提示がない場合
 - C 次に掲げる事由によって生じた本商品の故障または損傷
 - ・不適切な使用(落下、衝撃、冠水、電池液漏れ等)、または維持、管理の不備によって生じた故障または損傷
 - ・使用上の誤り(取扱説明書記載以外の使用)、または純正部品以外の管理の不備によって生じた故障または損傷
 - ・記録媒体の故障または損傷による保存データの損失などの損害。また、修理後に保存データが消去した場合などの損害
 - ・地震・噴火・津波・地盤変動・地盤沈下・風害・水害・その他の天災ならびにガス害・塩害・公害および異常電圧
 - ・火災・落雷・破裂・爆発または外部からの物体の落下・飛来・衝突、もしくは倒壊等の偶然かつ外来の事由
 - D 取付場所の移動、落下等によって生じた本商品の故障または損傷
4. 保証期間について
 - A 機器販売のみの場合…機器発送日を保証開始日とします。
 - B 工事を含む場合…工事完了日を保証開始日とします。

<保証条件>

1. 次に該当する故障は保証期間であっても実費にて修理を申し受けます。
 - A 誤った取り扱い、不当な修理・改造を受けた製品の故障。また故意・不注意による損傷に起因する故障
 - B 災害など不可抗力による損傷
 - C 本書上記項目に必要事項の記入がない場合。また本書の提示がない場合
2. 消耗品(赤外線リモコン用電池、時計保持用ボタン電池)は、保証外です。

内蔵 HDD・CF カード・SSD およびファンの故障については、保証対象となります。

※映像データの保証はできません

3. 本製品の故障または損傷に起因して、他の財物(PC、ソフトウェアを含みます)に生じた故障もしくは損傷等の損害は保証の対象にはなりません。
4. 本製品の故障または損傷に起因して、他の財物が使用できなかったことによって生じた損害は保証の対象にはなりません。
5. 故障および損害の認定等について、弊社と使用者の間で見解の相違が生じた場合には、中立的な第三者の意見を求めることがあります。
6. 遠隔地への出張修理を依頼される場合は、その出張に要する実費を申し受けます。
7. 本保証は日本国内においてのみ有効です。

<補修用性能部品の保有期間>

弊社では防犯カメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後 7 年間保有しています。性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。ただし、保有期間内であっても無くなる場合、また期間が終わっても保有している場合がありますので詳しくは修理窓口にお問い合わせください。

<修理不能の場合>

修理不能の場合は、代替器または後継機器によるユニット交換となる場合があります。

<メンテナンスについて>

防犯・監視用途でご使用の場合、定期的メンテナンス(点検・保守)をお勧め致します。詳しくはお買い上げ販売店(又は工事店)にご確認ください。



本社 〒600-8086 京都市下京区松原通東洞院東入本燈籠町 22 番地 2

TEL 075-354-3372 FAX 075-354-3382

※製品の定格及びデザインは改良の為予告無く変更することがあります。